

2026 年度

教 育 要 項

(シラバス)

第 2 学年



岩手医科大学医学部

目 次

医学部第2学年

教育要項（シラバス）の利用の仕方	1
医学部における学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）	2
医学部における教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）	3
医学部における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	5
医学部における評価方針（アセスメント・ポリシー）	7
学生心得	9
岩手医科大学医学部学生 行動規範	16
岩手医科大学医学部卒業時コンピテンシー	20
医学部コンピテンシ達成ロードマップ・マトリックス	33
医学部履修系統図	34
医学部カリキュラムマップ	39
年間行事予定	40
カリキュラムカレンダー	41
授業科目のコマ数・時間数	42
大学における単位の考え方と授業外学修について	43
授業時間割	44
矢巾キャンパス平面図	48
講座・分野名の省略記載について	54

履修科目

組織学	56
人体発生学	69
臨床解剖学	74
器官生理学	97
医化学Ⅱ	109
基本的医療手技Ⅰ	125
神経科学	130
微生物学	148
免疫学	162
病理学総論	169
基礎医学演習	175
症例基盤・問題解決型学修（実践）	181
薬理学	189

医療プロフェッショナルリズムⅡ	199
データサイエンスⅡ	203
医学英語入門	209

自由科目

海外英語演習	220
地域医療課題解決演習	222

諸規則

岩手医科大学学則	226
岩手医科大学における各学部の人材養成及び 教育研究上の目的と使命に関する規程	244
岩手医科大学障害のある学生等への合理的配慮に関する規程	246
岩手医科大学学生の欠席の取扱いに関する規程	250
岩手医科大学医学部試験規程	252
成績評価に関する異議申し立て制度について	256
第2学年進級試験・進級判定基準	257
追・再試験願・再試験仮受験願	258
岩手医科大学における人体標本取扱指針	261
岩手医科大学生命倫理規範	262
GPA 制度について	263
CAP 制度について	264
学生の教育成果物の利用について	265
本学医学部学生の大学院授業科目の先行履修に関する取扱い	266
岩手医科大学における風水害等に伴う授業及び定期試験の取扱要領	268

附图

医学部医学科教育課程ナンバリング表	270
学生健康診断規程	272
学生健康診断等実施要領	274
オフィスアワー一覧	276

教育要項（シラバス）の利用の仕方

この教育要項は、本学医学部の授業を受ける学生諸君に、各教育科目とそれぞれの授業計画および授業内容を知らせるためのものです。

学生諸君が本学における医学教育の内容を把握するとともに、充実した履修を行うために本要項を有意義に活用されることを希望します。

具体的な利用の仕方について以下に示します。

授業計画、授業内容について

科目ごとに学習方針、教育成果(アウトカム)、到達目標(SBOs)、その日の授業内容を掲げています。

教育成果 —— 学習の成果であり、学習された知識・技能・態度が将来どのように利用されるかが分かります。

到達目標 —— 学習者がこの授業で学んだことにより、具体的に何ができるようになるかを記したものです。

すなわち、学生諸君は各回の授業で何を理解し、何が出来るようになればよいかを示されているわけですから、日々の予習復習の目安にもなると思います。各授業に対する事前学習の時間は最低 30 分は要することになります。

なお、医学部第1～4学年の専門科目の授業ごとの到達目標については、WebClass に掲載していますので、本教育要項と併せて必ず確認するようにしてください。

教科書（教）・参考図書（参）・推薦図書（推）について

授業科目ごとに、教科書（教）または、学習に必要な参考図書（参）・推薦図書（推）を掲げています。図書館にもありますから、積極的に利用してください。

なお、教科書として指定された図書については各自準備・購入してください。

成績評価方法について

授業科目毎に、学習者の成績を評価するための基準を明示していますから、あらかじめ理解したうえで授業に臨んでください。

なお、試験に関する全体的なことについては、「医学部試験規程」および「同取扱内規」によります。

オフィスアワーについて

オフィスアワーとは、学生が各科目の教員に学業や大学生活全般に関する質問・相談、あるいは指導等を受けるために設定されている時間で、広く学生に対して開かれた時間である。

学生諸君は、日々の授業での疑問などを後々まで残さないよう、この制度を積極的に利用してください。

面談を希望する学生は、科目ごとに記載されているオフィスアワー一覧（シラバスに掲載）により各教員の実施方法を確認の上、面談希望教員とそれぞれの方法に従い連絡をとり、面談を受けてください。

授業時間について

授業時間は1時限を90分とし、次のとおり授業を行います。

1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	5 時限目
8 : 50～10 : 20	10 : 30～12 : 00	13 : 00～14 : 30	14 : 40～16 : 10	16 : 20～17 : 50

医学部における学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本学の建学の精神「医療人たる前に、誠の人間たれ」を深く理解したうえで医師として必要な知識・技能・態度を修得し、チーム医療や地域社会において活躍できる医師として以下のような能力などを身につけ、かつ所定の課程を修めた者に対して、学士（医学）の学位を授与します。

1. 医療倫理：全人的人間性を持ち、社会正義と患者の福祉を最優先とする「誠の人間」として、常に自己研鑽に努め、臨床医として最新かつ最善の医療を地域にもたらし、研究医として人類の福祉に貢献する姿勢を示すことができること。
2. プロフェッショナリズム：豊かな教養と幅広い知識、優れた技術、「誠の人間たる」態度を身につける必要があることを理解し、日々研鑽を続ける責務と後進育成の使命を自覚すること。
3. 医療安全：安全な医療を提供し続けるために、感染対策、医療安全管理に対する知恵を身につけ、自己の身体的および精神的健康にも気を配りつつ、医療の質の向上に努めることができること。
4. 医学的知識・医学研究：臨床研修医あるいは研究医としての業務を行うために必要な基礎生命科学、臨床医学、行動科学、社会医学および医学英語の知識と科学的思考方法を有しており、疾患の予防、診断と治療、あるいは研究に活用できること。
5. 診療技術・患者ケア：的確な医療情報を収集し、それをもとに適確な診断を下し、プライマリケアを実践して記録する、という基本的な課程を「誠の医師」として患者に真摯に向き合っておこなえること。
6. コミュニケーション・チーム医療：「誠の人間」にふさわしい謙虚さを身につけ、患者やその家族および医療従事者間で、互いの立場を尊重した関係を構築することができること。
7. 医療の社会性：「厚生済民」の建学の精神に基づき、社会保障制度および法律に関する知識を修得し、国内外の保健医療に貢献する意志を有すること。
8. 地域医療：本学は医療の偏在化を是正するために作られた医育機関であることをわきまえ、地域の特性を理解し、地域のニーズに配慮した診療や予防医学、あるいは災害医療に貢献するという将来ビジョンを描き、地域医療で果たすべき責任を自覚していること。

以上の内容は、卒業時に達成していなければならない能力として、卒業時コンピテンシーに盛り込まれています。これらの教育成果を達成することができるよう六年一貫で順次性をもったカリキュラムが構成されています。本学のすべてのカリキュラムを完遂し、年次ごとの科目を着実に修得することが必要です。そのため、学則第2条に定める期間を在学し、かつ第6条に定める所定の授業科目及び単位を履修修得することが要件となります。

医学部における教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

本学の建学の精神「医療人たる前に、誠の人間たれ」を深く理解したうえで、医師として必要な知識・技能・態度を修得したものに、医学士の学位を与えます。そこに至るため、六年一貫の教育カリキュラムが作られています。

1. 実社会における複雑な事象に余裕を持って対応するためには、医学以外の領域にも幅広い知識を有していることが大事です。そのため、初年次からさまざまな教養科目を選択で学びます。法や倫理に関しては、医学専門課程を学びながら4年生で履修できるようにしています。
2. 入学直後から、地域医療あるいは研究の場で活用できる知識・技能と、前向きな姿勢を持てるようにするため、1年生より地域保健介護福祉見学研修、地域医療体験実習、看護・介護体験実習、初年次ゼミナールをおこないます。初年次ゼミナールでは、おもに基礎医学系の研究室で専門的な学問に触れることができます。
3. 社会正義と患者の福祉優先原則のもとに行動し、倫理的態度を自分のものとするため、倫理教育やプロフェッショナルリズム教育を1年生から受けるとともに、医療現場における見学と研修では行動と言動の是非を指導されます。
4. 入試形態の相違によるハンディキャップを解消して、無理なく医学専門課程が履修できるような橋渡し教育を1年生でおこないます。また、習熟度に応じた正規、あるいは課外の授業をおこないます。
5. 1～4年生では、基礎生命科学、臨床医学、社会医学、行動科学の知識を修得し、常に自分を振り返る謙虚な態度をもてるようにするため、レポートやポートフォリオによる学修記録や小テスト、定期試験を実施します。臨床現場に出て診療活動に Student Doctor として参加するだけの知識・技能・態度が身についているかどうかは、4年生の共用試験（CBT と OSCE）で判断するため、共用試験前に基礎生命科学、臨床医学、社会医学、行動科学の知識の定着を確認する演習や基本的臨床技能実習を実施します。
6. 医療・医学の進歩に遅れることなく、最新かつ最善の知識と技能を修得し、科学的思考方法を身につけるため、初年次にゼミナールに参加し、医学英語を2・3年生で学び、3年生で各講座・部門にて研究室配属をおこないます。図書館や教養教育センターあるいは学部専門講座の教員が、科学的リテラシーを教育する支援体制を構築しています。
7. 臨床医として、地域医療の現場で働く将来ビジョンを描き、コミュニティーで果たすべき責任を自覚するため、4・5・6年生は大学附属病院と地域医療機関で Student Doctor という立場で、見学型から実際の診療チームに加わる診療参加型の実習へ進むように実習を整備しています。
8. 人間関係を良好に保つことは、医療プロフェッショナルとして必要な資質です。そのため、1年生は全員が寮に入り、グループで生活する場に慣れるような環境を整備しています。初年次ゼミナールや3年生の研究室配属、あるいは各学年で配されているさ

まざまな実習は、少人数によるグループワークが基本になっています。臨床現場での診療参加型実習は、医療従事者、患者、家族などの質問や助言に真摯に耳を傾ける姿勢を身につける場となっています。

9. 医療現場で求められている多職種連携をスムーズにできるようになるため、他の学部の学生と一緒に作業をおこなうプログラムを複数学年に設けています。
10. 学位授与方針に述べている卒業時学修成果を達成できるように、カリキュラムは段階的に順次性をもって構築されております。各課程では、知識・態度・技能の面で所定の目標に到達したかどうかをアセスメント・ポリシーに則って多面的に評価し、学年ごとに進級判定をします。卒業前には、医学知識と問題解決能力を総合的に判定する試験と、技能・態度を評価する臨床実習後客観的臨床能力試験を実施しています。

医学部における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、「医療人たる前に、誠の人間たれ」という建学の精神のもとに、地域医療に貢献する医療人育成を使命として設立されました。学則には、「まず人間としての教養を高め、十分な知識と技術とを習得し、更に進んでは専門の学理を極め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献する」ことが掲げられています。医学教育・教養教育を通して、優れた資質と深い人間愛を有する医療人、研究者、人格的に成長できる人材の育成が、本学の目指すところです。

医学部では、次のような人材を求めています。

1. 生命倫理を尊重し、医学を修得し実践するための知性と科学的論理性を有している。
2. 広い視野でものごとを捉え、自律的かつ積極的に課題を発見し、解決することができる旺盛な探求心を有している。
3. 病む人・悩める人の体と心を理解し、彼らに向きあう強い意志と情熱を有している。
4. 世界的視野から医学の進歩と発展に貢献するという向上心を有している。
5. さまざまな地域において、医療に誠意をもって貢献しようとする利他精神を有している。
6. 生涯にわたる継続的な学修をするため、自ら学ぶ意欲と積極性を有している。
7. 自己の身体的および精神的健康に気を配る実績を有している。

これらの資質を備えた人材であるか否かを判断するために、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜および歯科医師学士編入学者選抜を行い、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性などを多面的・総合的に評価します。

一般選抜では、学力試験として数学と理科（物理、化学、生物のうち2科目）と英語の筆記試験を行います。大学での学びに必要な基礎的な知識と論理的思考能力を備えているかどうか、また、最新の医学知識の学修や収集、研究成果の発信に必要な英語力を備えているかどうかを評価します。

学校推薦型選抜および総合型選抜では、基礎学力試験と調査書により大学での学びに必要な知識を備えているかどうかを評価します。基礎学力試験として、数学と理科（物理、化学、生物のうちから2科目）と英語の筆記試験を行います。また、前者では志望理由書によって将来医師となるための熱意や自覚を持っているかどうかを評価し、後者では自己推薦書によって本学の建学の精神を理解し地域医療に貢献する医師としての意欲・適性を評価します。

学士編入学者選抜では、既に生命科学の基礎的な知識を有する歯科医師を対象とし、学力試験を行い生命科学の基礎知識や一般教養を評価します。

以上に加え、上記いずれの入試区分においても面接を行い、人格的資質や基本的なコミュ

コミュニケーション能力、地域医療と研究にかける意欲、自己管理能力を評価します。選抜以前の学修態度、課外活動などについては面接の際に調査書に基づいて評価します（学士編入学者選抜を除く）。また、課題を抽出して解決する能力および論理展開能力を評価するために、学士編入学者選抜では小論文を課し、学校推薦型選抜および総合型選抜では Multiple Mini Interview（MMI）を行います。

なお、入学者の受け入れにあたっては、民族、宗教、国籍、年齢、性別、家庭環境、居住地域および性的指向などを問わず、多様な人材を募集します。一方、大学設立使命に則って、地域医療の維持および促進を考慮した人材育成のための入試区分の枠を設けます。

医学部における評価方針（アセスメント・ポリシー）

本学医学部は、医療人として備えるべき資質を学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に定めて、それに沿ってカリキュラムを構成しています。「誠の人間を育成する」との大学・学部の理念に立脚し、以下の指針に則って、学年ごとあるいは科目ごとに、認知領域、精神運動領域並びに情意領域を多面的に評価します。

- 講義・演習のみの科目では、知識とその応用を査定します。実習を伴う科目では、技能、態度、コミュニケーション能力も評価します。臨床現場での実習科目では更に倫理・遵法精神と利他精神を評価対象にします。
- 知識とその応用に関しては筆記試験や口頭試問、技能は実技試験、その他の能力は実習現場評価（レポート、スケッチ、段階的スキル・行動表と業務現場評価法、および自己進捗度表等を取りまとめたポートフォリオ）で査定します。
- 筆記試験、口頭試問、実技試験は数値化して達成度を査定します。実習現場評価では、可能な限り数値化できる評価法を用いて達成度を客観的に査定します。
- 評価方法の選定と合否基準の設定にあたっては、その妥当性、客観性ならびに実現可能性を考慮し、担当委員会にて年度ごとに見直しを行い、次年度開始時に被評価者と評価者にシラバスで呈示します。
- 医学教育における順次性を考慮し、原則的に年度ごとの総括評価（進級判定あるいは卒業判定）をおこないます。
- 科目合否判定や進級あるいはまた卒業時の判定にもちいる総括評価に加え、形成的評価を適宜おこなうことで、到達目標に至る道程を明らかにします。
- 総括評価の試験で、所定の到達目標に達しなかった場合は、再試験をおこないます。また総括試験を何らかの事情で受験できなかった場合は、追試験をおこなうことがあります（獲得した点数の9割に減じられたのが、最終評価になります）。
- 総括評価では、被評価者が不利益を被らないように客観性と公平性を保証するため、教務委員会と教授会の2段階で、追試験・再試験の結果判定も加えて2回おこないます。
- 総括評価にあたっては、被評価者と評価者に利益相反がないことを確認します。
- 評価結果は被評価者と学費負担者に開示し、疑義があった場合は応じます。
- 科目（講義・演習・実習）を 1/3 以上欠席した学生は、原則として評価対象から外れます（欠点となります）。また、科目履修は出席することが前提ですので、出席することで総括評価に点数が加点されることはありません（いわゆる「出席点」は、ありません）。

- 各学年の進級・卒業要件と各科目の合否基準の詳細は、シラバスに明示するとともに、学年当初に被評価者に確認をとります。
- 各科目の査定をもとにGrade Point Average; GPAを算出し、進路に対する助言をします。
- 被評価者からの照会に応じる体制を整備します（総括試験問題と正答あるいは判定基準の保管、照会時の答案開示、等）。
- 何らかの障がいにより通常の試験を受けることが出来なくなった場合は、学修支援の一環として補助を提供します。

注

- 大学入学者選抜時の評価指針は、学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）に含めます。
- 「誠の医療人」にふさわしくない行動をとった学生は、他に定める処罰規定によって、罰します。
- やむを得ない事由で欠席した場合の取り扱いに関しては、進級・卒業要件に記します。

学生心得

本学の目的は、「医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成する」にあります（学則第1章第1条）。この建学の精神を認識し、大学の内外を問わず、良識ある公民として自らの責任で行動してください。

1. 本学学生としての心構え

- (1) 医師、歯科医師、薬剤師、看護職を志す者としての自覚を常に持って行動してください。
- (2) 学生としてふさわしい言動、礼儀作法及び服装等について十分注意を払ってください。
- (3) 学生同士、教員、医療従事者、患者、およびその家族を尊重し適切な行動をとるよう努めてください。
- (4) 講義、実習等に出席し、学修に対して意欲を持ち知識・技能・態度の修得に努めてください。

○アンプロフェッショナルな行動の例示

本学は医学教育、歯学教育、薬学教育および看護学教育を通じて、誠の人間を育成することを建学の精神としています（学則第1章第1条）。この建学の精神を認識し、大学の内外を問わず、医療人を志す学生としての自覚を持った行動を求めます。

それに反する行為、行動の例を以下に示します。

(1) 不適切な態度・行動の繰り返し

- ・ 活動に参加しない、臨床現場での学習に参加しない
- ・ 事務手続き、教員からの連絡を無視する
- ・ 時間管理ができない
- ・ 講義、実習等を特段の理由がないにもかかわらず欠席する
- ・ 患者や同僚などへの無礼
- ・ 他者からの建設的なフィードバックから学ぶことができない
- ・ 学修環境や臨床現場を混乱させる
- ・ 教員へ挑戦的行動をとる
- ・ 教員からの指摘を受け入れない

(2) 不正行為

- ・ 定期試験等での携帯電話・スマートフォン等の不正利用やカンニング行為
- ・ 講義、実習での出席届の不正
- ・ 他者が行った活動を自分が行ったと偽ること
- ・ 自分が受けた試験の内容を他の学生に伝える
- ・ 評価表での指導者のサインの捏造や、試験、ポートフォリオへの不正行為
- ・ レポート等における剽窃、盗用、および生成AI等の不適切な利用

- (3) 職務上の役割以外の不正行為または詐欺
 - ・ 研究でのデータ捏造
 - ・ 金銭的詐欺
 - ・ 経歴詐欺、書類偽造
 - ・ 資格詐称
 - ・ ポートフォリオなどの書類の偽造、改ざん
 - ・ 不正行為や健康問題の大学への未申告
 - ・ 健康問題（例えば、インフルエンザやコロナの罹患）の故意隠蔽
- (4) 医療人を目指す者としての不適切な行動
 - ・ ソーシャルメディア等の悪用（教育病院での臨床現場を批判するなど）
 - ・ 守秘義務の不履行
 - ・ ケアや治療について、指導者に相談せずに患者に間違ったことを伝える
 - ・ 患者からの同意を得ずに医療行為を行う
 - ・ 性的、人種的およびその他のハラスメント
 - ・ 不適切な診察や一線を越えた行動
 - ・ 不当な差別
- (5) 攻撃的な暴力や脅し
 - ・ 暴行、身体的暴力
 - ・ いじめ（ソーシャルメディア等によるものを含む）
 - ・ ハラスメント
 - ・ ストーカー行為
- (6) 薬物またはアルコールの誤用や濫用
 - ・ 飲酒運転
 - ・ 処方薬の乱用
 - ・ 飲酒により臨床業務、職場環境や教育環境を乱す
 - ・ 薬物の不適切使用
 - ・ 不適切な過度の飲酒
- (7) その他の不適切行動または犯罪行為
 - ・ 違法薬物の所持、取り扱い、提供
 - ・ 窃盗
 - ・ 無賃乗車
 - ・ 金融詐欺
 - ・ 児童ポルノ
 - ・ 児童虐待またはその他の虐待
 - ・ 犯罪の仲介・斡旋

また、学生生活を送る上で、以下のことを厳守してください。

2. 伝達方法

大学からの通知や連絡は掲示板への掲示や学修支援システム（WebClass、moodle 等）を通じて行いますので、未確認による不利益を被ることがないように必ず確認してください。利用する学修支援システムは、所属学部の指示に従ってください。また、メールアドレスを変更した場合は学修支援システムに登録されているアドレスも必ず変更してください。

父母等から大学へ電話による学生の呼出しを依頼される場合がありますが、緊急かつ必要と認められる場合を除き、原則として掲示板、学修支援システムによって通知する以外はできませんので、ご了承ください。

3. 学生証について

学生証は本学学生であることを証明するものですので、常時携帯してください。また、学内で諸手続きをする場合は、学生証の呈示が必要ですので、破損・紛失した場合は直ちに所属学部の教務課にて再交付の手続きをしてください。

学生証は卒業・退学・除籍等の場合は直ちに所属学部の教務課に返納してください。

4. ネームプレートの着用について

ネームプレートは学内では必ず着用してください。破損・紛失した場合は直ちに所属学部の教務課にて再交付の手続きをしてください。

5. ロッカーについて

全学生に対してロッカーを貸与します。貴重品を置く場合は必ず施錠して下さい。ロッカーの室内は共用の場所ですので私物を放置しないでください。また、ロッカーの鍵を破損・紛失した場合は直ちに所属学部の教務課で再購入（実費負担）の手続きをしてください。

6. 授業料等の納付について

入学年度以降の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費は、毎年 4 月 25 日までに納入してください。なお、授業料は 2 回に分割することができ、分納する場合の 2 回目の納入期限日は 9 月 25 日です。授業料等を所定の期日までに納入しない場合は、学則により出席停止の上、除籍となる場合があります。

7. 自動車通学について

矢巾キャンパスへの自動車通学は、「自動車通学許可申請書」を学事課（矢巾）に提出し、大学で定める自動車安全講習会を受講した後、許可証が発行された場合のみ許可されます。なお、許可まで 1 ヶ月程度時間がかかります。

また、内丸キャンパスへの自動車通学は原則として認めていません。やむを得ず通学を希望する場合は、学事課（矢巾）に相談してください。学生駐車場以外に駐車した場合、自動車通学の許可を取り消します。

登録料	2,000 円 (年間)
有効期限	申請年度内に限り有効 ※年度毎に更新申請が必要
通学許可基準	大学と居住地との距離が半径 1.3 km以上離れていること
申請に必要なもの	① 自動車通学許可申請書 ②登録料 ③免許証
登録証の発行	申請後、自動車安全講習会(初年度のみ)を受講し、許可された場合のみ発行

8. 自転車・バイクの登録について

自転車・バイクで通学する場合は必ず登録してください。1 回の登録で在学期間中は有効です。

登録料	バイク 1,000 円 自転車 500 円
有効期限	在籍中有効
申請に必要なもの	② 登録申請書 ②登録料 ③免許証 (バイクのみ)
登録証の発行	申請後、即日ステッカーを発行

ステッカーは後輪カバーの下部に貼付し、指定駐輪区域内に整然と駐輪し、歩道・道路にはみ出した場合は別の場所に移動すること。

※車両買い替え時、再申請が必要です。

9. 自動車・バイク・自転車の使用について

自動車・バイク・自転車を使用する場合は、交通法規等に違反しないことはもちろん、生命を尊ぶべき医学生、歯学生、薬学生及び看護学生として常に安全運転に徹してください。交通事故または道路交通法違反を起こした場合、大学として処分するのみならず、医師法・歯科医師法・薬剤師法・保健師助産師看護師法により各免許の交付を受けられない場合があります。万一、交通事故及び交通違反を起こしてしまった場合には、その軽重にかかわらず、直ちに報告してください。

【学生の交通事故又は道路交通法違反に対する処分の内容の一例】

交通事故・道路交通法違反の内容		酒酔い・酒気帯び運転	無免許運転	酒酔い・酒気帯び・無免許運転でない場合
死亡事故又は重大な傷害事故	運転者	無期停学	無期停学	6 ヶ月以内の停学
	同乗者	6 ヶ月以内の停学	状況に応じた処分	状況に応じた処分
傷害事故	運転者	無期停学	6 ヶ月以内の停学	戒告又は注意
	同乗者	3 ヶ月以内の停学	状況に応じた処分	状況に応じた処分
上記以外の交通事故・道路交通法違反	運転者	無期停学	1 ヶ月以内の停学	注意
	同乗者	状況に応じた処分	状況に応じた処分	状況に応じた処分
死亡事故又は重大な傷害事故を起した場合で、極めて悪質な行為があった場合	運転者	退学あるいは退学の上、除籍又は無期停学	退学あるいは退学の上、除籍又は無期停学	退学あるいは退学の上、除籍又は無期停学
	同乗者	状況に応じた処分	状況に応じた処分	状況に応じた処分

10. トラブル防止

若者が狙われる悪徳商法等のトラブルが急増しています。手口も年々巧妙になっています。

トラブルに巻き込まれないよう日頃から十分注意してください。トラブルに巻き込まれた場合は1人で悩まずクラス担任・チューター・大学窓口や公共の相談機関にまず相談してください。

内容	対応	日頃の注意点
【ワンクリック詐欺】 パソコンのWEBサイトや、携帯電話のメールを利用した架空請求	払わない 連絡しない	①知らないアドレスからのメールは見ない ②怪しいページは見に行かない ③利用規約は必ずチェックする
【悪質商法】 マルチ商法、デート商法など「うまい話」で引き込み、巧妙な手口や脅迫めいた行為で商品を売り込む	クーリング・オフ制度を利用する	①街頭で声をかけられても相手にしない ②契約（署名や押印）は慎重に ③入会等は即断せず家族や知人に相談する

11. 注意事項

(1) 飲酒

20歳未満の飲酒は法律により禁止されています。また、新入生歓迎コンパ等でいき飲みという行為から急性アルコール中毒になる事故が発生しています。悪質な場合は大学として処分するだけでなく、同席している成人（先輩）と保護者が監督責任を問われ社会的制裁を受けることもあります。さらに、飲み会における過度な飲食代の負担も発生していますので、医師・歯科医師・薬剤師・看護職を志す者として節度ある飲酒を心掛けてください。

(2) 拾得物

大学構内で本学学生の所有物とみられる物があつた場合は、総務課・所属学部の教務課・学事課・内丸キャンパス事務室のいずれかへ届けられます。また、遺失物を拾得した場合は、速やかに前述のいずれかに届けてください。

(3) 盗難防止及び郵便物

貴重品や現金及び自転車等の盗難防止のため、次のことに注意してください。

- 1) 多額の現金は持ち歩かず、貴重品は自分の身から離さないようにしてください。更衣室等での盗難には十分注意してください。
- 2) ロッカー周辺の私物の盗難が多発しています。ロッカーに貴重品を置く時は必ず施錠してください。また、各自整理整頓を心掛けてください。
- 3) 自転車、自動車、バイクから離れる時は必ず施錠してください。
- 4) 学内（駐車場・駐輪場等を含む）で盗難にあつた時、または不審者を見かけた時は直ちに所属学部の教務課に連絡してください。学外の場合は、最寄りの交番等に届けてください。
- 5) 学生個人宛の郵便物は、自宅等に直接郵送してもらってください。やむを得ず大学を經由し、郵便物を送付してもらう場合は、必ず所属学部の教務課に申し出て指示を受けてください。

(4) 校舎内、講義室等の美化

校舎内・講義室等へ雑誌類やゴミ等を散乱・放置したままにしないでください。特に講義室は、講義時間外に研究発表等で学内外者へ貸出することがあるので、個人所有物は各自ロッカー内において管理してください。放置している個人所有物は撤去の上、廃棄処分します。

(5) 喫煙

20歳未満の喫煙は法律により禁止されています。周囲から勧められても決して吸ってはいけません。なお、大学及び病院の敷地内は全面禁煙です。医療系大学の学生である自覚を強く持ちマナーを守ってください。

なお、禁煙をお考えの方は健康管理センターまでご相談ください。

(6) 薬物

近年、芸能人・スポーツ選手などの麻薬や大麻・覚せい剤などの薬物乱用が増え、若い人たち、特に大学生の間での薬物汚染が拡大しています。薬物使用は、言うまでもなく重大な犯罪です。脳機能障害を来すなど身体や生命に悪影響を及ぼすだけでなく、殺人などの犯罪を引き起こすこともあります。勧められても絶対に断る強い意志と勇気を持ち、すぐに専門家に相談してください。

1.2. 受講マナー

他大学のみならず本学においても講義を受ける学生のマナー、いわゆる受講マナーの低下がみられます。受講マナーを欠くということは、講義を担当する先生方への礼を失することです。

「誠の人間を育成する」という建学の精神を十分認識し、医師・歯科医師・薬剤師・看護職を志す者として良識ある行動を取ってください。なお、マナー違反となる行為はアンプロフェッショナルな行為として、処分の対象となる場合があります。

【マナー違反】

- (1) 私語 (2) 居眠り (3) 途中入退室 (4) 携帯電話・スマートフォンの私的利用 (5) 食事や飲酒 (6) 受講中の化粧
- (7) 服装の乱れ

1.3. 日常のマナー

窓口やキャンパス内であまりに幼稚な言葉を平気で使う学生がいます。また、医療系大学の学生とは思えないような配慮のない行動をしている学生がいます。医療人を目指す以前に、大学生はすでに大人であるという自覚をしてください。

言葉遣いや日頃の態度で学生の知性が疑われることのないよう切に願います。

【マナー違反】

(1) ごみの放置

学内外に寄らず自分が飲み食いしたものを平気でその場に放置する学生がいます。掃除する方を考えましょう。

(2) タバコのポイ捨て

大学及び病院の敷地内は全面禁煙です。また、学内外を問わず、タバコの吸殻のポイ捨て、歩きタバコはしないでください。

(3) 言葉遣い

言葉遣いはその人の品性そのものです。岩手医大の学生である自覚を持ち、礼節ある言動を心掛けてください。

(4) 駐輪

指定の駐輪場スペースからはみ出したり、次の人のことを考えない止め方はやめましょう。

岩手医科大学医学部学生 行動規範

【序文】

医学部で学ぶすべての学生は、将来、生命と尊厳を守る医療人として社会から高い倫理性・専門性・人間性を求められる存在である。医学部での学びは、知識や技術の習得だけでなく、医師としてのプロフェッショナリズム (Professionalism) を身につけ、生涯にわたり体現する姿勢を育む過程である。プロフェッショナリズムは、誠実さ、謙虚さ、利他的精神、説明責任、倫理的判断、多職種協働、能力向上への不断の努力など、多面的な価値から成り立つ。

本行動規範は、低学年の講義・演習から 早期臨床体験、高学年の臨床実習に至るまで、医学部 6 年間を通じて学生が信頼される医療者へ成長するための指針として策定する。

【1. 医療人を志す者としての自覚とプロフェッショナリズム】

- ・ 医師を志す者としての誇りと責任を持ち、学内外で模範となる行動をとる。
- ・ 「学ばせていただいている」という感謝の気持ちを忘れずに、患者さん・地域住民・医療スタッフへ敬意を払う。
- ・ 誠実さ、謙虚さ、倫理性を重んじ、医療者としてふさわしい人格を日々涵養する。
- ・ 自身の行動が医師全体の信頼に影響することを認識し、公共性のある行動をとる。
- ・ 医療者に不可欠な倫理観と人間性（誠実・謙虚・礼節）を日常生活から養い、「誠の人間」へと成長する。

【2. 基本的マナー・態度】

- ・ 礼儀・挨拶を徹底し、丁寧な言葉遣いを心がけ、周囲への敬意を示す。
- ・ 立場や背景の異なる人々を尊重し、多様性と協調性を重んじる。
- ・ 不適切な態度を指摘された場合は謙虚に受け入れ、改善する。

【3. 清潔で適切な身だしなみ】

- ・ 髪型・爪・衣服を清潔に整え、髪色は華美な染色を避け自然な色合いを保つなど、周囲に安心感を与える身だしなみを心がける。
- ・ 白衣やスクラブは院内のみで使用し、衛生的に管理する。
- ・ 実習施設・地域活動では、各施設の規定に従い、プロフェッショナルとしての外見を保つ。

【4. 講義・演習・実習における学修姿勢】

- ・ 遅刻・欠席を避け、主体的かつ積極的な姿勢で学修に取り組む。
- ・ スマートフォン操作、居眠り、飲食などのマナー違反を行わない。
- ・ 私語・失笑・無断離席など、周囲の学修環境を乱す行為を禁ずる。
- ・ 疑問点は積極的に質問し、学びの深化につなげる。
- ・ 建設的なフィードバックを謙虚に受け入れ、自己改善に活かす。
- ・ 医師として求められる能力(コンピテンス)を高めるため、継続的に学び続ける (Lifelong Learning)。

【5. 守秘義務の絶対遵守】

- ・実習・講義で知り得た患者さん、利用者、地域住民およびご検体などの個人情報を第三者に漏らしてはならない。
- ・学生同士の会話であっても、周囲に聞こえる場所で個人情報を話すことを厳に禁ずる (Professional Secret)。
- ・SNS を含むいかなる媒体においても、医療現場を想起させる情報を一切投稿しない。
- ・守秘義務は「卒業後も継続する」。これは医療者の基本倫理である。
- ・誘惑や不正の機会に直面しても、誠実で公平な判断を貫く姿勢を保つ。

【6. 情報の適切な取り扱い】

- ・カルテ、画像検査、介護記録などの資料を施設外へ持ち出したり、複写したりしてはならない。
- ・配布資料やレポート等は丁寧に管理し、紛失・破損を起こさない。
- ・電子記録（カルテ等）へのアクセスは、学修目的に必要な範囲に限って行う。
- ・情報セキュリティに対する自覚を持ち、医療機関のルールに従う。

【7. 早期臨床体験での姿勢】

- ・初めて医療・介護・地域の現場に触れる者として、謙虚で誠実な姿勢を保つ。
- ・地域住民や医療・介護スタッフの協力に感謝し、学びの機会を大切にする。
- ・私語や失笑を慎み、対象者の背景や価値観を尊重した、思いやりのある態度を身につける。
- ・観察・体験を通じて、医療の社会的役割や医師としての責務を理解する。

【8. 高学年臨床実習での責任ある行動】

- ・医師法による Student Doctor である自覚をもって実習に臨む。
- ・実習施設の一員としての自覚を持ち、医療安全と院内感染防止を最優先に行動する。特に、手指消毒を妨げる物品 (iPad 等) を手に持ったまま病棟に入らないなど、基本的感染対策を徹底する。指導医の指示を遵守し、不明な点は必ず確認・報告する。
- ・指導医の指示を遵守し、不明な点は必ず確認・報告する。
- ・診断名や医療内容などを学生単独で患者・家族へ説明してはならない。
- ・患者さんの情報の記録・取り扱いを適切に行い、情報漏洩を防ぐ。
- ・ICU・PICU・HCU・SCU・手術室等の特殊エリアの規則を厳守し、清潔操作を徹底する。
- ・臨床現場での経験を通じ、患者中心の視点と倫理的判断力を育む。

【9. 多職種への敬意と協働】

- ・医師のみならず、歯科医師、薬剤師、看護師、検査技師、放射線技師、リハビリ職、管理栄養師・調理師、臨床工学技士、介護職、事務職、物品管理員、清掃員など、すべての職種を尊重する。
- ・各職種の専門性と意見を尊重し、協調性と柔軟性をもってチーム医療の一員として協働する。
- ・他職種の意見に耳を傾け、協調性と柔軟性を持って行動する。
- ・多様な価値観を尊重し、相互の信頼を醸成するコミュニケーションを行う。

【10. 時間管理と責任ある行動】

- ・時間厳守は、患者さんの安全確保とチームからの信頼を支える基盤である。
- ・集合時間を厳守し、遅刻や欠席が避けられない場合は、必ず速やかに指定された公式の連絡先（教務課、実習担当科、教育担当など）へ直接連絡し、必要な手続きを確実に行うこと。友人を介した連絡や、独自の判断で連絡先を選ぶことは認められない。
- ・欠席の際には速やかに連絡し、必要な手続きを確実に行う。
- ・約束を守り、説明責任（Accountability）を果たす態度を大切にする。

【11. 望ましい医学部学生像】

- ・時間管理や学修態度が安定し、主体的に学びに取り組む。
- ・仲間と協力し、建設的な意見交換やフィードバックを活かせる。
- ・穏やかで誠実なコミュニケーションができ、周囲に配慮した言動がとれる。
- ・不正・暴言・ハラスメントなどプロフェッショナリズムに反する行為を行わない。
- ・医療者として求められる倫理観、責任感、利他的姿勢を備えている。

【結語】

医学を学ぶ 6 年間は、知識と技術を習得するだけでなく、医療人としての人格とプロフェッショナルリズムを確立する重要な時期である。

本行動規範を日々の生活・講義・実習の中で体現し、誠実で信頼される医師として社会に貢献することを心より期待する。

行動規範の目標

1. 医療人を志す者としての自覚とプロフェッショナリズム

誠実さと倫理性を持ち、公共性を自覚し、社会の信頼に応える行動をとる。

2. 基本的マナー・態度

丁寧な言葉遣いと協調性で周囲へ敬意を払い、謙虚に学び多様な価値観を尊重する。

3. 清潔で適切な身だしなみ

清潔で整った身だしなみを徹底し、患者さんに安心感を与える外見を保つ。

4. 講義・演習・実習における学修姿勢

周囲の学修環境を尊重しながら、積極的な学修姿勢で生涯学習の基盤を築く。

5. 守秘義務の絶対遵守

患者さんの尊厳とプライバシーを厳格に保護し、生涯にわたる医療倫理の根幹を実践する。

6. 情報の適切な取り扱い

医療情報を適切に管理し、紛失・漏洩を防ぐ。

7. Early Exposure (低学年実習) での姿勢

初学者として謙虚に学び、感謝と誠実さをもって現場に触れ、思いやりのある態度を身につける。

8. 高学年臨床実習での責任ある行動

Student Doctor として医療安全を徹底し、患者さん中心の視点を養いながら、チームの一員として責任ある行動をとる。

9. 他職種への敬意と協働

多職種の専門性を尊重し、信頼関係を築き、協働の姿勢でチーム医療に貢献する。

10. 時間管理と責任ある行動

時間を厳守し、適切な報告・連絡を通じて患者の安全とチームの信頼を支える。

11. 望ましい医学部学生像

主体的に学び、倫理観と責任感をもって医療者としての成長を続ける。

岩手医科大学 医学部 卒業時コンピテンシー

「誠の人間を育成する」という本学の理念を達成するために

本学医学部では、ディプロマポリシーに掲げる、

学生が卒業時に習得すべき8つの能力（=コンピテンス）について

具体的な達成目標として次のとおりコンピテンシーを定めている。

I. 医療倫理

岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に全人的人間性を持ち、社会正義と患者の福祉を最優先とする「誠の人間」として、常に自己研鑽に努め、臨床医として最新かつ最善の医療を地域にもたらし、研究医として人類の福祉に貢献する姿勢を示すことができる。

III. 医療安全

岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に地域に安全な医療を提供し続けるために、感染対策、医療安全管理に対する知識を身につけ、医療の質の向上に努めることができる。

V. 診療技術・患者ケア

岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に患者の意思を尊重し、誠の医師として患者に接し、的確な診療を実践できる。

VII. 社会における医療の実践

岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に社会保障制度および法律に関する知識を有し、国内外の保健医療に貢献できる。

II. プロフェッショナリズム

岩手医科大学医学部の学生は、幅広い知識、優れた技術、「誠の人間たる」態度を身につける必要があることを理解し、日々研鑽を続けることができる。

IV. 医学的知識

岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に診療の場において、基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学の知識を習得し、疾患の予防、診断、治療に活用できる。


VI. コミュニケーションとチーム医療

岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に患者中心の医療を実践するために、「誠の人間」にふさわしい謙虚さを身につけ、患者やその家族・医療従事者間で、互いの立場を尊重した関係を構築することができる。

VIII. 地域医療

岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に地域の特性を理解し、地域のニーズに配慮した診療や予防医学を実践できる。


I. 医療倫理

		マイルストーン	
		レベル C	レベル B
I-1 倫理観		医療倫理・研究倫理の原則を説明できる。	生命倫理に基づき、個人の尊厳・福利を第一とし、社会・人類への利益を最大化する科学的思考について述べるができる。
I-2 利益相反		利益相反について説明できる。	利益相反となる問題点を列挙できる。
I-3 守秘義務		守秘義務と個人情報保護について説明できる。	




II. プロフェッショナリズム

		マイルストーン	
		レベル C	レベル B
II-1 謙虚な姿勢と 自己規制	a	医学生・医師として社会に信頼される行動について説明できる。	社会的立場をふまえ、常に自らを律し、傲ることなく、謙虚に行動できる。
	b	自身の抱える問題を列挙し、それらの問題に対し自身の能力で対処可能かどうかの判断ができる。	自己解決不可能な問題について、指導者や上級医に助言を求めることができる。
II-2 利他的・ 共感的態度		利他的・共感的な態度について説明できる。	患者の課題を理解し、効果的に関わる方法を選択できる。
II-3 臨床経験・ 研究成果の発表		与えられたテーマや模擬症例についてグループ内でディスカッションし、その結果をクラス内で発表できる。	経験した症例や研究について指導者と共に解析および考察し、学内でプレゼンテーションできる。
II-4 生涯学習		医学生として必要な最低限の常識を身につけ、継続して学習する姿勢を身につける。	将来にわたる自己学習の重要性を理解し、医師になるための基礎知識を身につける。
II-5 後進の育成		自ら学んだ知識を後輩へ伝えることができる。	自ら学んだ知識や技能を後輩へ伝えることができる。

卒業時コンピテンシー	
レベル A	
医療人として生命倫理に基づき、個人の尊厳・福利を第一とし、社会・人類への利益を最大化する科学的方策を提案できる。	
利益相反を開示できる。	
守秘義務を順守し、個人情報を保護できる。	

advanced	
レベル S	
医療人として生命倫理に基づき、個人の尊厳・福利を第一とし、社会・人類への利益を最大化する科学的思考に基づいた診療・研究ができる。	
利益相反を生じる可能性を認識し適切に対処できる。	
	

卒業時コンピテンシー	
レベル A	
全人的人間性に基づき、自身を振り返ることにより行動改善ができる。	
他者からの助言・指導を真摯に受け止め、受け入れることができ、後輩に対しては適切な助言ができる。	
患者の苦痛・心情に配慮し、患者および家族に対し、利他的・共感的な態度で行動できる。	
経験した症例や研究について指導医と共に解析および考察し、それらを社会に発信することができる。	
医師として、進歩し続ける医療における最新の知識を収集することができる。	
「誠の人間たる」態度を身につけることの必要性を後輩に説明できる。	

advanced	
レベル S	
	
	
	
経験した症例や研究について指導医の下で自身が主体となり解析および考察し、それらを社会に発信することができる。	
進歩し続ける医療において、最新・最善の医療を提供するために、継続して学習し続けることができる。	
教育・研究・診療を次世代に受け継いで行く使命を認識し、後進の指導・育成を行うことができる。	

Ⅲ. 医療安全

		マイルストーン	
		レベル C	レベル B
Ⅲ-1 感染対策		感染症と感染対策について説明できる。	指導のもとに、一般的な感染予防策を立案できる。
Ⅲ-2 安全管理	a	インシデント、アクシデントの違いを理解し、説明できる。	インシデント、アクシデント発生時の対応について説明できる。
	b	医療事故調査制度を説明できる。	事例から医療事故のレベルを判断できる。
	c	医療安全規範について説明できる。	医療安全規範に基づき、状況に応じた行動方法を提示できる。
Ⅲ-3 医療の質		診療技能や安全管理について振り返ることの重要性を説明できる。	

卒業時コンピテンシー

レベル A

感染対策について理解し、予防策を実践できる。

岩手医科大学の医療安全マニュアルを理解し、実践できる。

医療事故を認識し、発生時に必要な対応を列挙できる。

医療安全規範についての知識を持ち、患者・医療スタッフの安全を守るための対応ができる。

自らが実施している診療技能や安全管理について振り返り、改善に努めることができる。

advanced

レベル S

感染対策の重要性を理解し、着実に予防策を実践し、指導することができる。

インシデント、アクシデントレポートを適切にかつ速やかに報告でき、今後の対策に活用することができる。

医療事故発生時の対応を理解し、指導医のもと実践できる。

医療安全規範について深く理解し、地域の医療現場において反映できる。

組織や自身が実施している医療の質や安全管理について常に振り返り、改善・向上を図ることができる。

IV. 医学的知識

		マイルストーン	
		レベル C	レベル B
IV-1 基礎医学	a	人体の正常な構造・機能とその成立・維持に関わる機構を説明できる。	基礎医学の知識を主要な疾患の病因・病態・症候の理解に応用できる。
	b	病気の発症と進展に関わる因子・機構を説明できる。	
	c	ライフサイクル（発達、成長、加齢、死）を説明できる。	
IV-2 社会医学	a	疾病予防、健康増進の重要性、健康行動に関する理論について説明できる。	社会医学に関する理論を活用し、個人・集団を対象とした予防活動・健康増進について立案できる。
	b	保健・医療・福祉・介護の関連法規・制度・組織・専門職について概説できる。	モデル事例を用いた行動立案演習において、保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職を考慮できる。
IV-3 疫学、統計学		医学に必要な疫学、統計学の基礎を説明できる。	疫学や生物統計学の知識を応用して、実習・実験データを評価することができる。
IV-4 行動科学		精神機能と行動、人間関係、社会との関わりを説明できる。	基礎科学や行動科学に裏付けられた知識から、人の心理と行動について考察できる。
IV-5 医学英語		医学英単語を用いて簡単なコミュニケーションができる。	指導の下に、英字の医学書・論文を読み、内容を概説することができる。
IV-6 臨床医学		高頻度または重要な疾患について、疫学・病因・病理・病態・症候・診断・治療・予後を説明できる。	高頻度または重要な疾患について、知識を用いて、臨床推論に基づく適切な診断ができる。
IV-7 リサーチ マインド		疑問点や問題点をピックアップすることができる。	疑問点、問題点をピックアップし、それを解決するための研究計画の立案・実施に必要な科学的情報を収集できる。

卒業時コンピテンシー

レベル A

基礎医学の知識を基盤に、疾患の病因、病態、症候を説明し、診断、治療に活用できる。

指導の下で個人・集団を対象とした予防活動に参加できる。

医療の現場で、保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職を意識して行動できる。

生物統計学や疫学に関する基本的知識を用いて、医学情報を説明できる。

人間の生涯にわたる行動と心理の特性を理解し、適切な対応ができる。

英語の医療文書や医学論文を読み、その内容を概説できる。

適切に診察を行い、臨床推論に基づく適切な診断ができ、治療方針を提案できる。

疑問点、問題点をピックアップし、それを解決するための研究計画の立案・実施に必要な科学的情報を収集し、それを基に論理的・批判的に思考できる。

advanced

レベル S

基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学の知識を、診断や治療へ応用することができる。

地域のニーズと特性を考慮し、個人・集団を対象とした予防活動を実践できる。

医療の現場で、保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職を考慮した活動を提案できる。

診療データや研究データを整理・統合し、生物統計学や疫学に関する基本的知識を論文や学会発表の形で発信できる。

人間の生涯にわたる行動と心理の特性を理解し、適切な対応と医療を提供できる。

英語を用いて患者とコミュニケーションをとり、症例サマリーなどを適切に英文で記載できる。

高頻度または重要な疾患について、知識や臨床推論を用いて、診断を適切に行い、初期治療ができる。




V. 診療技術・患者ケア

		マイルストーン	
		レベル C	レベル B
V-1 医療面接		聴取すべき項目について説明できる。	病歴を正確に聴取することができる。
V-2 臨床技能		基本的身体診察や臨床手技について概説できる。	模擬患者やシミュレータに対して基本的身体診察や臨床手技を実践できる。
V-3 問題解決		重要な症候について鑑別すべき疾患を挙げることができる。	与えられた医療情報から異常所見について基礎医学を用いて概説し、鑑別疾患を列挙し、検査計画を立案できる。
V-4 文書作成	a	医療文書、問題志向型診療記録について概説できる。	模擬症例の情報を問題志向型診療記録形式で模擬診療録に記載し、問題リストを作成できる。
	b	診断書、処方箋について概説できる。	模擬書類を用いて診断書、各種処方箋を記載できる。
V-5 プレゼンテーション	a	相手にわかりやすく、簡潔なプレゼンテーションの作成方法を説明できる。	模擬症例について、病態・診断・検査・治療などのプレゼンテーションができる。
	b	病状説明や患者教育の手法について概説できる。	模擬患者に対して、病状説明や患者教育を行うことができる。
V-6 救急医療		緊急を要する疾患や救急医療体制の概要を説明できる。	シミュレーターで、緊急性の高い状況を判断でき、一次救命処置を行うことができる。
V-7 患者への配慮		患者や家族の精神的・身体的苦痛に配慮できる。	日常において、障害を持った人に対して、誠実で適切な支援を行うことができる。

卒業時コンピテンシー	
レベル A	
病歴を聴取し、情報を取捨選択し、整理できる。	
患者に対して、診断に必要な基本的身体診察や基本的臨床手技を安全に実践できる。	
収集した病歴・身体所見より臨床推論ができ、頻度の高い、または、緊急性や重症度の高い疾患・病態の診断を行い、治療計画を立案できる。	
問題志向型診療記録形式で電子カルテを正確に記載できる。	
診断書・各種処方箋を計画できる。	
病歴についての要約を作成し、プレゼンテーションができる。	
病状説明や患者教育に参加できる。	
緊急を要する疾患・外傷の病態を理解し、医療チームの一員として救急医療の場で介助できる。	
患者の苦痛・心情に配慮し、患者や家族に対する誠実で適切な支援を行うことができる。	

advanced	
レベル S	
病歴を要領よく正確に聴取し、診断に役立てることができる。	
日常診療に用いる臨床手技を安全に実施できる。	
収集した医学情報から鑑別診断を行い、診断・治療に必要な検査計画を立案した上で、指導医のもとで治療を実施できる。	
問題志向型診療記録形式で診療録に必要十分な内容を記載できる。	
指導医のもとで診断書・各種処方箋を記載できる。	
目的に応じた内容で、情報共有に役立つわかり易いプレゼンテーションができる。	
指導医のもとで患者、家族の個別性やニーズを考慮して適切な病状説明や患者教育を行うことができる。	
救急医療の場で医療チームの一員として、指導医のもと適切な医療を行うことができる。	
患者の苦痛・心情に配慮し、患者や家族に対する誠実で適切な支援と助言を行うことができる。	

VI. コミュニケーションとチーム医療

		マイルストーン	
		レベル C	レベル B
VI-1	患者医師関係	患者や家族に関わる身体的、精神的、社会的背景や問題を列挙できる。	患者や家族に関わる身体的、精神的、社会的背景を理解し、問題点を提示することができる。
VI-2	コミュニケーション スキル	a コミュニケーションにおける共感、敬意、思いやりの重要性を説明することができる。	
		b 病状説明の要点項目を述べるができる。	
VI-3	インフォームド コンセント	インフォームドコンセントの概要を説明できる。	模擬患者に対してインフォームドコンセントを実践することができる。
VI-4	チーム医療	a 歯・薬・看護学部の学生との演習において、適切な関係を築くことができる。	他学部の学生とで構成されたグループやチーム間で協力して、課題から問題点を抽出し、解決法を提示することができる。
		b 同級生やグループ間で、お互いに協力しながら学びあうことができる。	同級生やグループ間で協力して、課題から問題点を抽出することができる。
		c 他の職種の専門性を理解し、チーム医療の必要性と構成員の役割分担を説明できる。	同級生や他学部の学生とで行う模擬カンファランスにおいて、担当患者の要約を作成できる。
		d チーム間における情報交換の重要性について説明できる。	同級生や他学部の学生とで構成されたグループやチーム間で情報の共有や説明、伝達ができる。

卒業時コンピテンシー

レベル A

患者や家族に関わる身体的、精神的、社会的背景や問題を理解し、良好な人間関係を築くことができる。

コミュニケーションにおける共感、敬意、思いやりの重要性を理解し、実践できる。

指導医・医療スタッフに対し、患者への説明を想定したわかりやすい病状説明を行うことができる。

インフォームド・コンセントの必要性を理解した上で、参加もしくは一部実践できる。

医師としての誠実さや公正性を示し、患者・家族を含めた医療チームの一員であることを自覚し、診療に参加できる。

上級医、同級生や医療スタッフ間で、抽出された問題点について話し合い、共に学び合うことができる。

多職種で構成されるカンファレンスに参加し、担当患者の要約を報告できる。

医療チーム内で情報交換を行い、情報の共有や説明、伝達ができる。

advanced

レベル S

患者や家族に関わる身体的、精神的、社会的背景や問題を理解し、確たる信頼関係を築くことができる。



病状をわかりやすく説明した上で、指導医のもと患者や家族の意向を尊重した方針の決定ができる。

指導医のもと、患者に適切なインフォームド・コンセントを実施できる。

医師としての誠実さや公正性を備え、患者・家族を含めた円滑なチーム医療を実践できる。

提供する医療の向上のために、医師や医療スタッフ間で、建設的なフィードバックを行い、協力して学び合うことができる。

患者・家族を含めたチーム医療に参加し、積極的な情報交換を行える環境を作り、自ら意見を述べることができる。

医療チームの一員として組織内外の改善案を提案すると共に、チーム内で情報交換を行い、患者やその家族、および医療スタッフからのアドバイスを真摯に受けることができる。

VII. 社会における医療の実践

		マイルストーン	
		レベル C	レベル B
VII-1 社会保障	a	社会保障の理念および制度とそれに携わる職種について説明できる。	社会保障に携わる各専門職と連携した医療を体験し、連携の必要性を説明できる。
	b	医療関連法規を概説し、医師の義務を列挙できる。	
VII-2 国際貢献		医療に関わる国際協力の重要性・仕組みを説明できる。	保健・医療に関する国際的課題を説明できる。
VII-3 保険診療・医療経済		各種保険診療と診療報酬制度を説明できる。	各種保険診療と診療報酬制度の問題点を抽出できる。

VIII. 地域医療

		マイルストーン	
		レベル C	レベル B
VIII-1 地域医療		地域包括ケアの概念および地域医療および医師偏在の現況を概説できる。	地域医療を体験し、地域包括ケアにおけるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。
VIII-2 健康増進と予防医学	a	社会と健康・疾病の関係および予防医学の概念を説明できる。	地域医療を体験し、健康に関する地域の特性と医学的な問題点を説明できる。
	b	健康増進に係る各機関の役割を説明できる。	
VIII-3 災害医療		大規模災害での医療の特殊性とそれに関与する組織（DMAT 等）について説明できる。	岩手県の被災地の特性や災害から災害後に必要な医療と公衆衛生を説明できる。

卒業時コンピテンシー	
レベル A	
<p>● 社会保障制度を理解し、その知識を臨床の場で活用できる。</p>	
<p>● 国際社会の一員として、文化・社会・環境に配慮した医療活動に参画できる。</p>	
<p>● 保険診療・医療経済の問題を考慮した診療を提示できる。</p>	

advanced	
レベル S	
<p>● 医療・社会問題について関心をもち、対策を立案できる。</p>	
<p>● 医療チームに加え、行政、福祉および介護施設、その他関連機関と連携できる。</p>	
<p>● 国内外で医師として医療・保健・研究等の活動を通じて国際社会に貢献できる。</p>	
<p>● 保険診療・医療経済の問題を考慮した診療を実践できる。</p>	

卒業時コンピテンシー	
レベル A	
<p>● 疾病予防・包括ケア・救急医療・在宅医療・慢性期医療の地域における問題点を抽出し、医療チームの一員として参画できる。</p>	
<p>● 地域医療に参画し、予防医学や健康増進を推進できる。</p>	
<p>● 災害の各時期に必要とされる組織および多職種連携を理解した行動ができる。</p>	

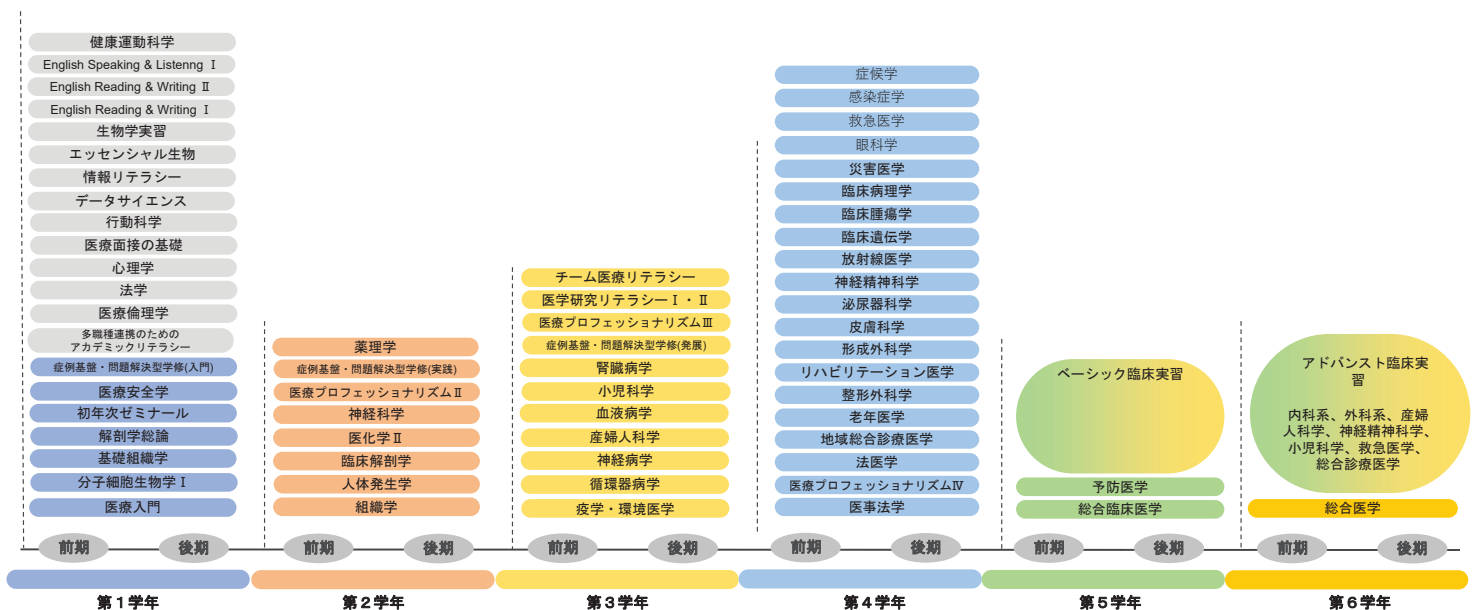
advanced	
レベル S	
<p>● 地域の特性を考慮して、地域包括ケアと連携した医療を実践し、指導医のもと、地域コミュニティの発展に向けて提言ができる。</p>	
<p>● 健康に関する地域の特性と医学的な問題点を把握し、地域のニーズに応じた医療を実践することで地域の予防医学・健康増進の推進に貢献できる。</p>	
<p>● 国内外の大規模災害の実態を理解し、指導医のもと、医療と公衆衛生を実践できる。</p>	

令和8年度岩手医科大学 医学部第1～6学年教育要項

履修系統図（必修科目のみ掲載）

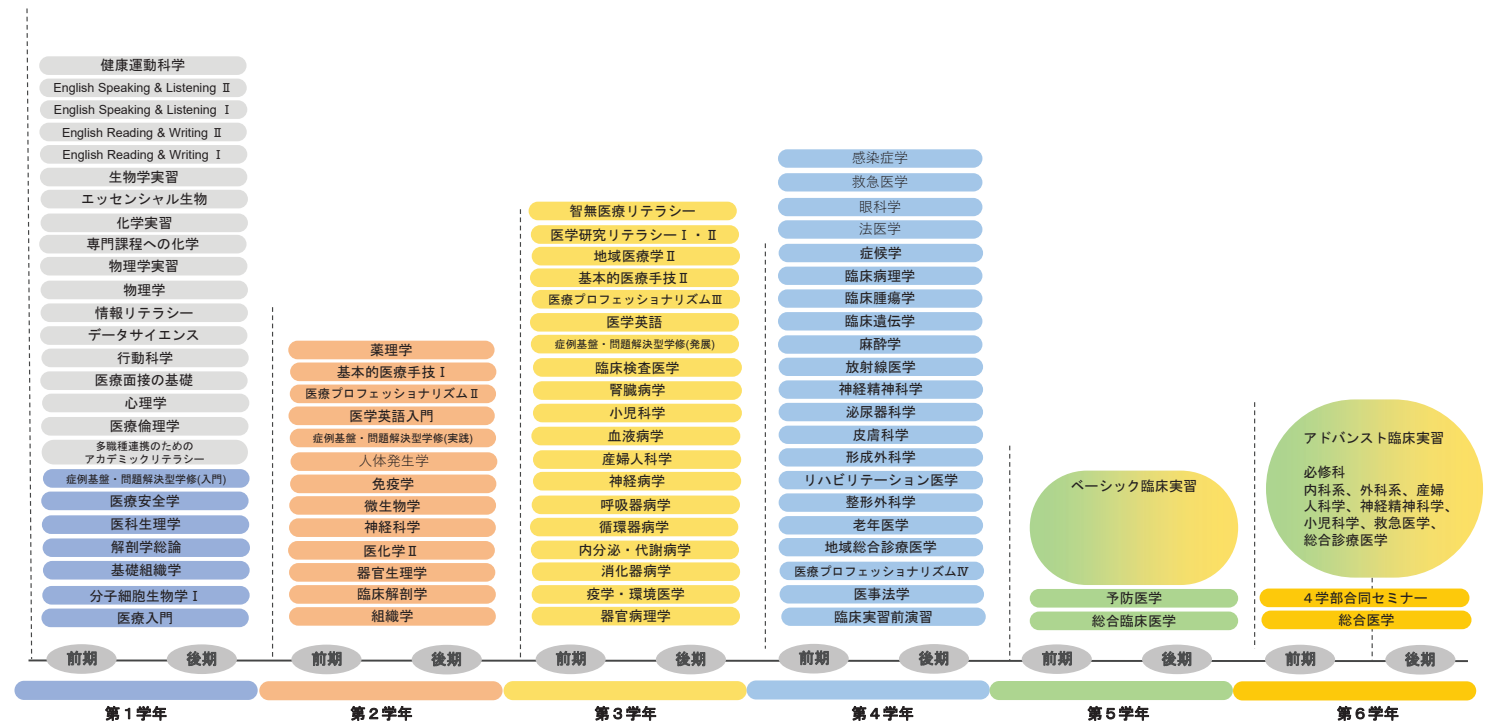
DP1：医療倫理

全人的人間性をもち、社会正義と患者の福祉を最優先とする「誠の人間」として、常に自己研鑽に努め、臨床医として最新かつ最善の医療を地域にもたらし、研究医として人類の福祉に貢献する姿勢を示すことができること。



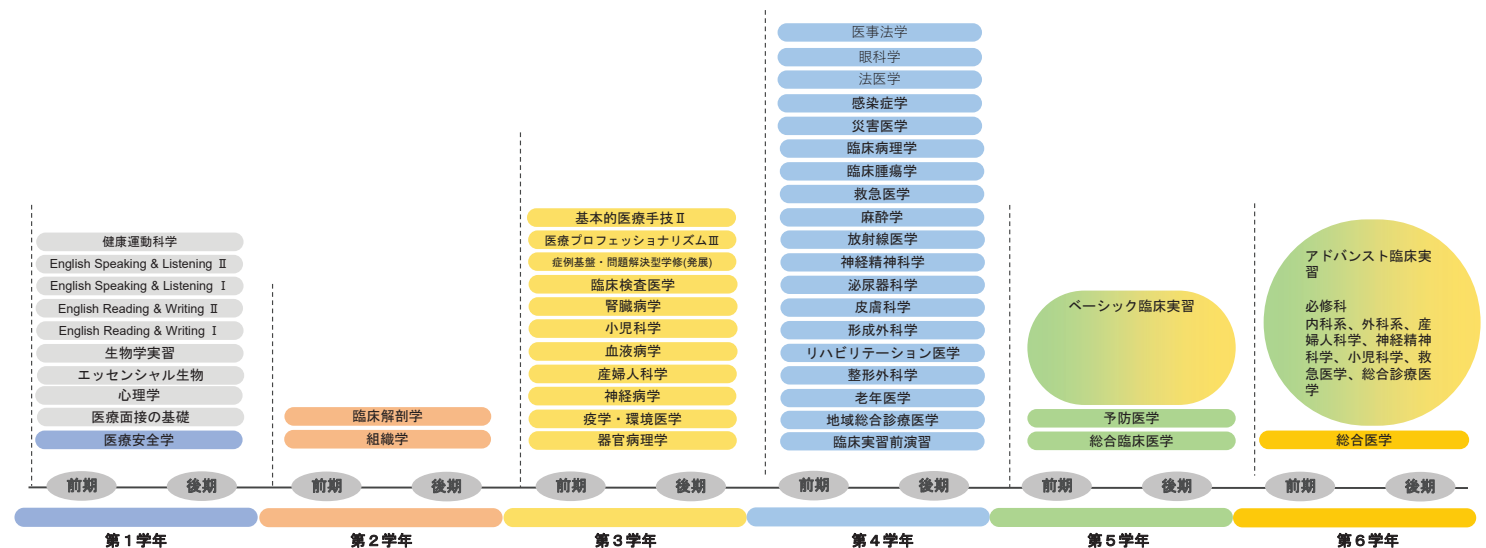
DP2：プロフェッショナリズム

豊かな教養と幅広い知識、優れた技術、「誠の人間たる」態度を身につける必要があることを理解し、日々研鑽を続ける責務と後進育成の使命を自覚すること。



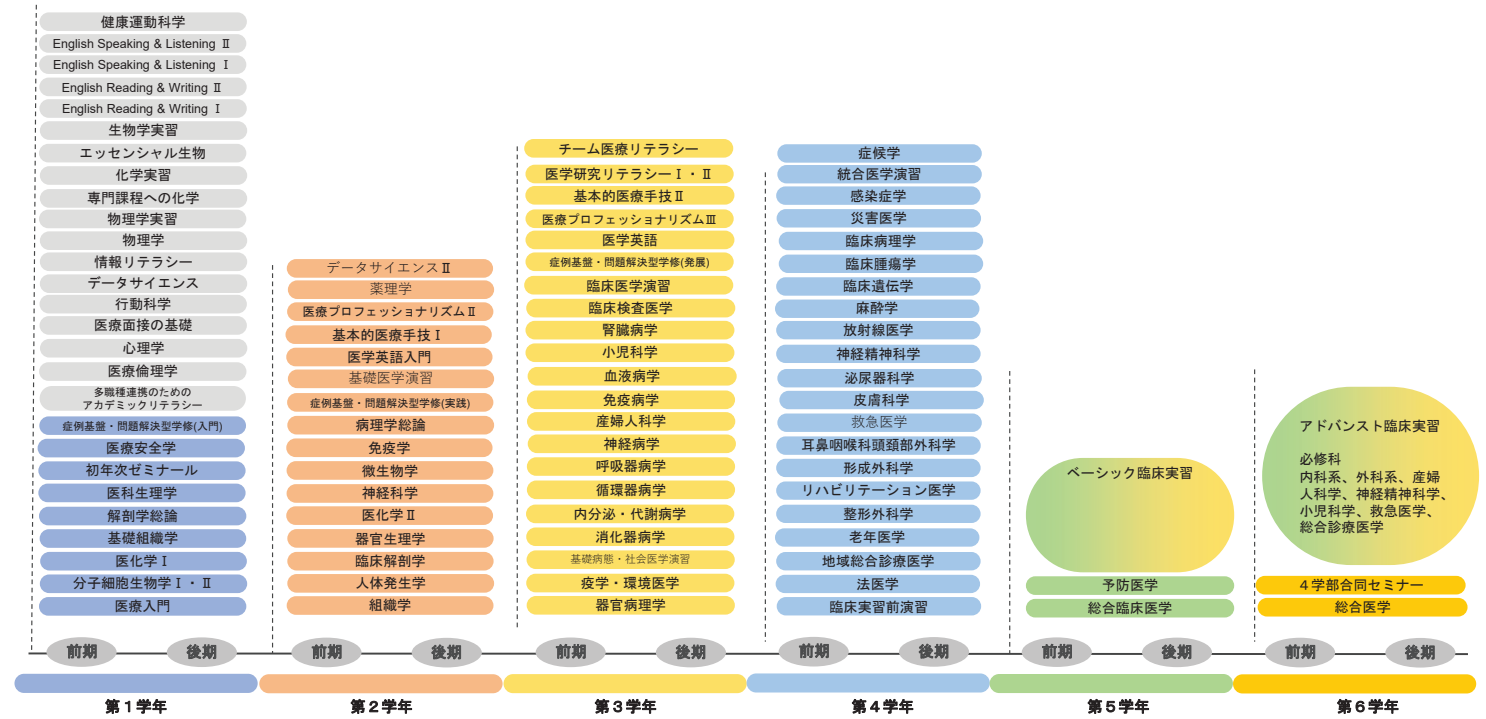
DP3：医療安全

安全な医療を提供し続けるために、感染対策、医療安全管理に対する知恵を身につけ、自己の身体的および精神的健康にも気を配りつつ、医療の質の向上に努めることができること。



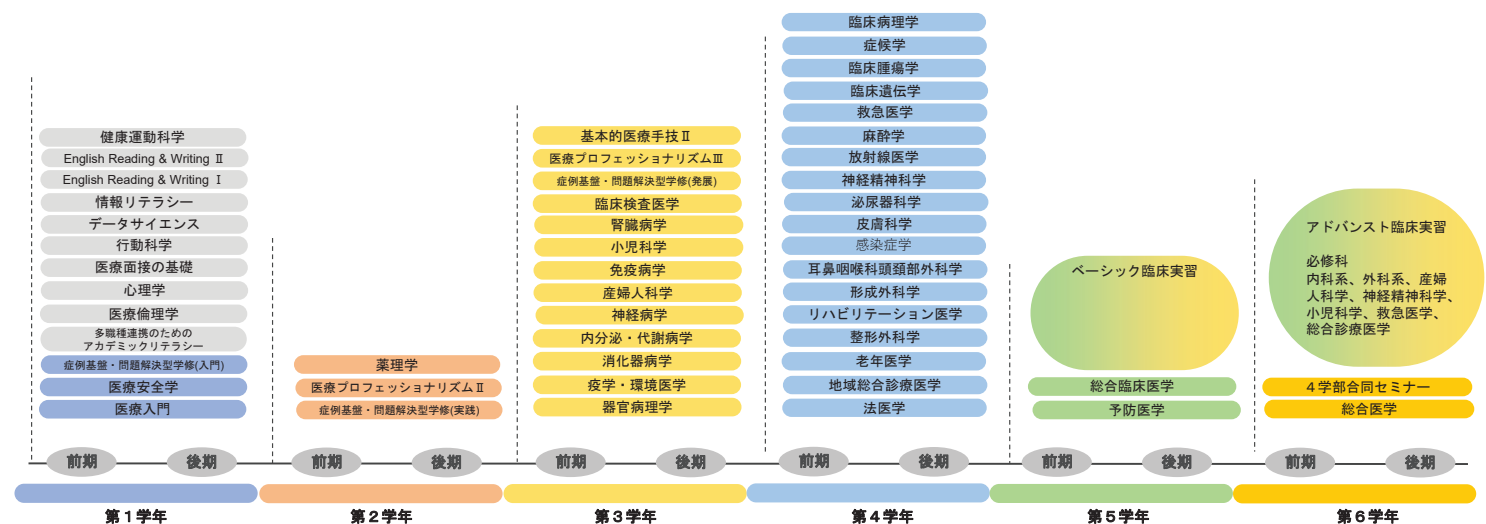
DP4：医学的知識

初期臨床研修医あるいは研究医としての業務を行うために必要な基礎生命科学、臨床医学、行動科学、社会医学および医学英語の、知識と科学的思考方法を有しており、疾患の予防、診断と治療、あるいは研究に活用できること。



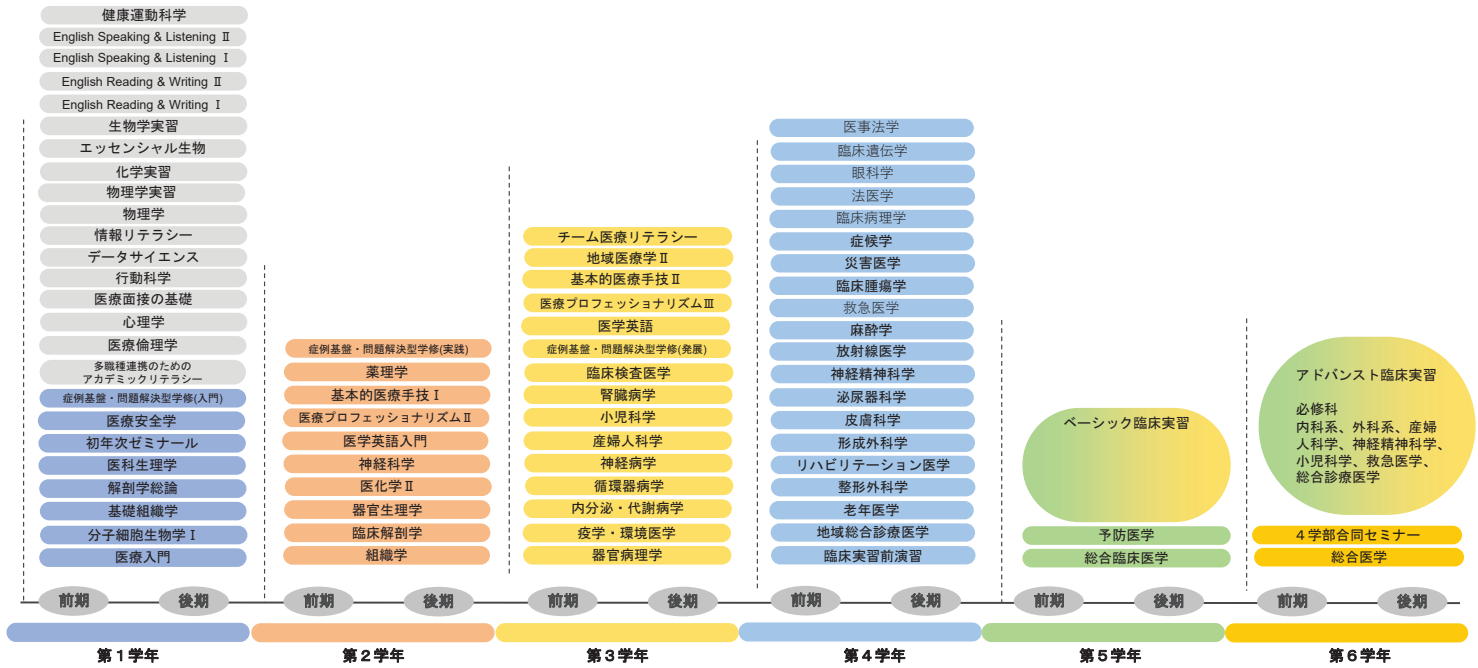
DP5：診療技術・患者ケア

的確な医療情報を収集し、それをもとに適確な診断を下し、プライマリケアを実践して記録する、という基本的な課程を「誠の医師」として患者に真摯に向き合っておこなえること。



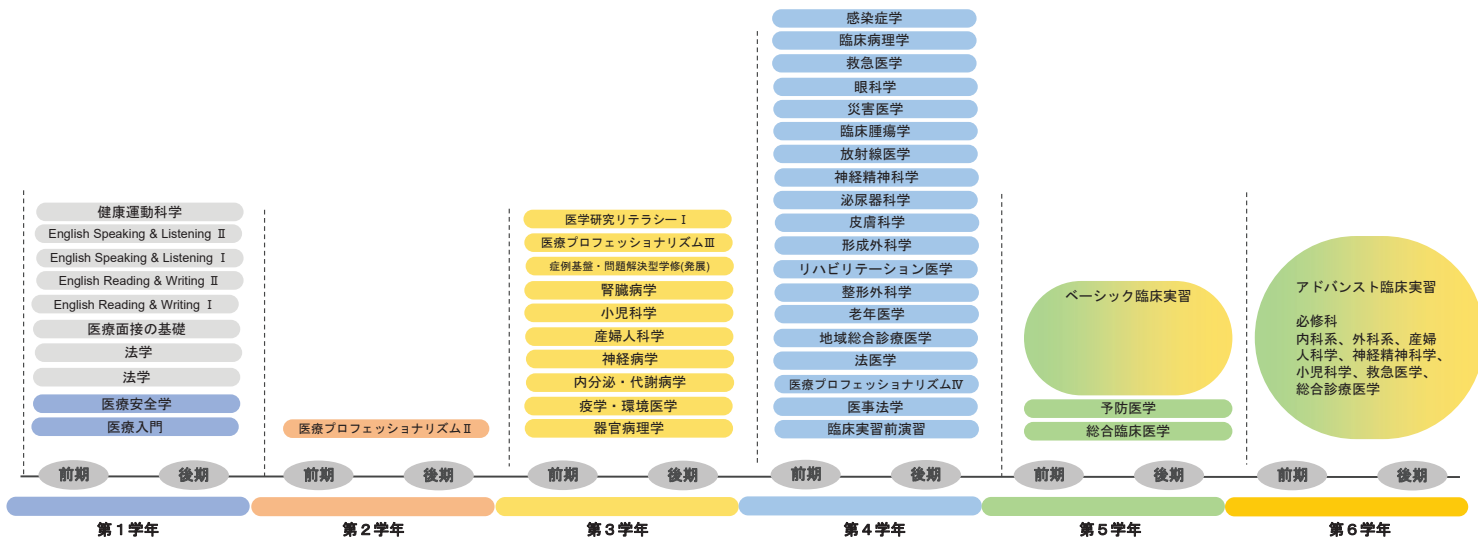
DP6：コミュニケーションとチーム医療

「誠の人間」にふさわしい謙虚さを身につけ、患者やその家族および医療従事者間で、互いの立場を尊重した関係を構築することができること。



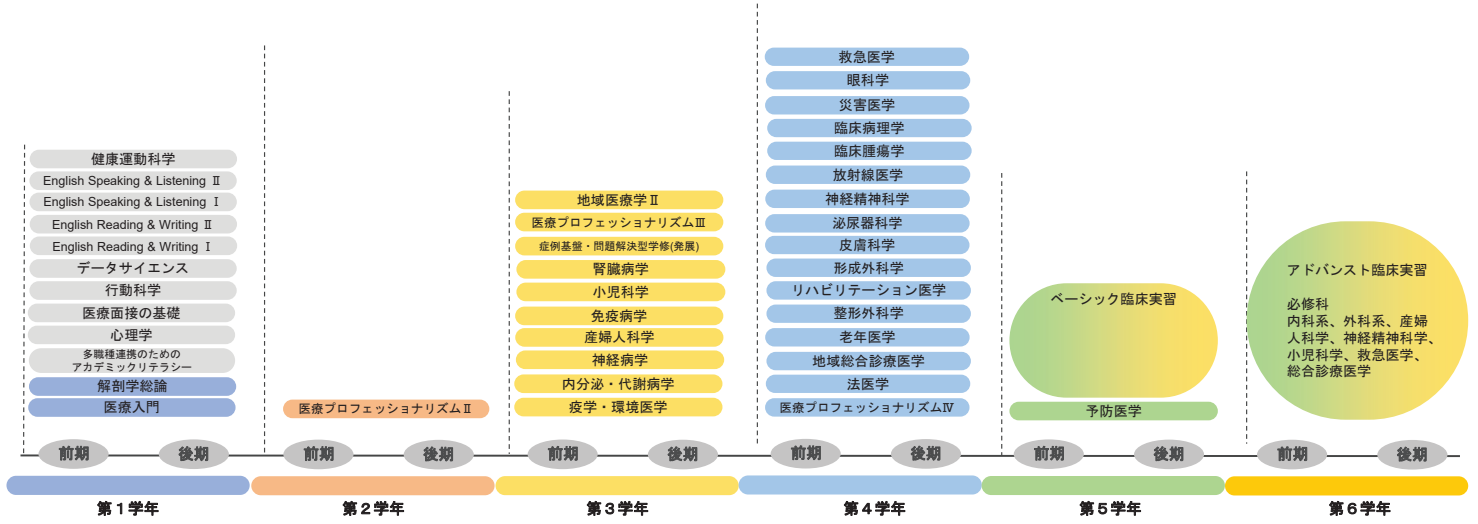
DP7：医療の社会性

「厚生済民」の建学の精神に基づき、社会保障制度および法律に関する知識を修得し、国内外の保健医療に貢献する意志を有すること。



DP8：地域医療

本学は医療の偏在化を是正するために作られた医育機関であることをわきまえ、地域の特性を理解し、地域のニーズに配慮した診療や予防医学、あるいは災害医療に貢献するという将来ビジョンを描き、地域医療で果たすべき責任を自覚していること。



医学部医学科カリキュラムマップ 2026

医師国家試験

臨床研修

ディプロマ・ポリシー (DP)

CP10

DP1
医療倫理

DP2
プロフェSSIONナリズム

DP3
医療安全

DP4
医学的知識

DP5
診療技術・患者ケア

DP6
コミュニケーションとチーム医療

DP7
医療の社会性

DP8
地域医療

6年次

5年次

4年次

3年次

2年次

1年次

DP 1-8 CP 10 総合医学試験 (知識・思考領域) DP 1-8 CP 10 臨床実習後OSCE (態度・技能領域)

DP 1-8 CP 10 総合医学 (講義)

DP 1-8 CP 9 4学部合同セミナー (IPE)

DP 1-8 CP 7,8 アドバンスト臨床実習 (地域医療臨床実習必修) (内科・外科・小児科・産婦人科・精神科・救急。総合診療は必修、学外施設での実習含)

DP 1-8 CP 10 総合試験 (知識・思考領域)

DP 1-8 CP 5,6,7,8 総合臨床医学 (ベーシック臨床実習) (臨床実習前演習)

DP 1,2,3,4,6,7,8 CP 10 予防医学

DP 1,2,7,8 CP 7,8 医療プロフェSSIONナリズムⅣ キャリア教育

CBT (知識・思考領域)

DP 1-8 CP 5 共用試験

DP 2,4-6 CP 8 症候学

臨床実習前OSCE (態度・技能領域)

DP 1-8 CP 1,5 臨床医学系科目 (講義)
消化器病学、内分泌・代謝病学、循環器病学、呼吸器病学、免疫病学、血液病学、神経病学、腎臓病学、産婦人科学、小児科学、臨床検査医学、老年医学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、眼科学、耳鼻咽喉科頭頸部外科学、泌尿器科学、神経精神科学、皮膚科学、放射線医学、麻酔学、救急医学、臨床腫瘍学、臨床病理学、感染症学、臨床遺伝学、地域総合診療医学、災害医学

DP 4 CP 5 統合医学演習

DP 5,6 CP 5,8 基本的臨床技能実習

DP 4 CP 5 臨床医学演習

DP 1-8 CP 5,8 地域医療学Ⅱ 地域医療研修

DP 4 CP 5 基礎病態・社会医学演習

DP 1-8 CP 1,5,8 社会医学系科目 (講義+実習)
疫学・環境医学、医事法学、法医学、データサイエンスⅡ

DP 1,2,4,6 CP 9 チーム医療リテラシー (IPE)

DP 4 CP 5 基礎医学演習

DP 1-7 CP 1,5,6,8 基礎医学系科目 (講義+実習)
分子細胞生物学 (Ⅰ・Ⅱ)、医化学Ⅰ、基礎組織学、解剖学総論、医科生理学、医学英語入門、組織学、人体発生学、臨床解剖学、器官生理学、医化学Ⅱ、神経科学 (神経生理学、神経解剖学)、免疫学、微生物学 (含、寄生虫病学)、病理学総論、医学英語、器官病理学、薬理学

DP 1,2,7,8 CP 5,8 医療プロフェSSIONナリズムⅢ 救急車同乗体験研修 救急心肺蘇生法研修

DP 1-8 CP 8 症例基盤・問題解決型学修 (入門・実践・発展)

DP 1,2,4,5,6,7,8 CP 5,8 医療プロフェSSIONナリズムⅡ 当直体験実習

DP 1-7 CP 2,3,8 医療入門 (地域医療学Ⅰ、医療プロフェSSIONナリズムⅠ) 地域医療体験実習 看護・介護体験実習 地域保健介護福祉見学研修

DP 1,2,4,5,6,8 CP 9 多職種連携のためのアカデミックリテラシー (IPE)

DP 1,2,4,6 CP 2,6,8 初年次ゼミナール

DP 1,2,4,7 CP 6,8 医学研究リテラシー・研究室配属

専門への橋渡し科目 (講義+実習)
DP 1,2,3,4,5,6,7,8 CP 1,4,4, 医療面接の基礎、行動科学、データサイエンス、情報リテラシー、物理学、専門課程への化学、健康運動科学、実習 (物理・化学・生物)、ESLⅠ、ESLⅡ、ERWⅠ、ERWⅡ、アドバンスト生物、自然・文化人類学、解析学入門、医療とスポーツ、アドバンスト化学、医療とコミュニケーション、医療と福祉、実践英語、科学英語、医療と物語、医療と法律、パーソナリティ心理学、アドバンスト数学

高校からの橋渡し科目 (講義)
エッセンシャル生物、スタンダード生物、ベーシック生物、ベーシック物理、ベーシック化学、ベーシック数学

一般教養科目
文学の世界、道徳のしくみ、人間関係論、哲学の世界

(自由科目) 海外英語演習 1~6年次の3月

DP 2,4 CP 1 地域医療課題解決演習 1~6年次の5~12月

DP 1,2,4,6,8 CP 1

知識・思考領域 (臨床医学) 知識・思考領域 (基礎医学・社会医学) 知識・思考領域 (教養科目・橋渡し教育) アンダーラインは選択必修
態度・技能領域 (基礎医学・社会医学・臨床医学) 知識・思考領域 (基礎医学・臨床医学統合) 知識・思考・技能・態度 (行動科学)

ディプロマ・ポリシー (DP: 1~8)、カリキュラム・ポリシー (CP: 1~10)

2026年度 第2学年 年間行事予定

予 定	期 間
ガイダンス	4月1日(水)
前期授業	4月1日(水) ～ 7月6日(月)
中間試験①	5月19日(火)
中間試験②	6月2日(火)
講演会	6月2日(火)
中間試験③	6月16日(火)
中間試験④	6月22日(月)
基本的医療手技Ⅰ (シミュレーション実習)	6月29日(月) ～ 7月3日(金)
前期進級試験	7月14日(火) ～ 7月24日(金) 8科目 組織学、人体発生学、器官生理学、医化学Ⅱ、神経科学、 症例基盤・問題解決型学修(実践)、データサイエンスⅡ、医学英語入門
夏休み	7月27日(月) ～ 8月28日(金)
後期授業	8月31日(月) ～ 12月18日(金)
医療安全シンポジウム	9月26日(土)
中間試験⑤	9月28日(月)
中間試験⑥	10月5日(月)
中間試験⑦	10月13日(火)
中間試験⑧	11月4日(水)
冬休み	12月21日(月) ～ 1月8日(木)
後期進級試験	1月13日(水) ～ 1月28日(木) 9科目 臨床解剖学、神経科学、微生物学、免疫学、病理学総論、薬理学、 症例基盤・問題解決型学修(実践)、医学英語入門、基礎医学演習
次年度研究室 配属ガイダンス	2月2日(火)
判定Ⅰ	2月10日(水)
再試験	2月17日(水) ～ 2月22日(月)
判定Ⅱ	3月3日(水)
春休み	3月4日(木) ～

2026年度第2学年カリキュラムカレンダー

4月	5月	6月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 1 2 </div> ガイダンス 前期授業 (~7/7)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 </div> 中間試験①	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 </div> 中間試験② 講演会 中間試験③ 中間試験④ 基本的医療手技 I
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 </div> 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 </div> 31	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 </div> 28 29 30
7月	8月	9月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 1 </div> 基本的医療手技 I 前期進級試験 (~7/24)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 </div> 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 </div> 後期授業 (~12/18) 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 中間試験⑤
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 </div> 26 27 28 29 30 31 夏休み (~8/28)		医療安全シンポジウム
10月	11月	12月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 </div> 中間試験⑥ 中間試験⑦ 中間試験⑦	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 </div> 中間試験⑧ 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 </div> 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 冬休み (~1/8) 27 28 29 30 31
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 </div> 25 26 27 28 29 30 31		
【2027年】1月	2月	3月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 </div> 10 11 12 13 14 15 16 後期進級試験 (~1/28)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 </div> 研究室配属ガイダンス 判定 I 再試験 (~2/24)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 </div> 判定 II 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 </div> 31	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 </div> 28	

： 休日

2026年度 第2学年 授業科目のコマ数と時間数

科目名	区分	前期		後期		合計		
		コマ数	時間数	コマ数	時間数	コマ数	時間数	単位数
組織学	講義	17	34			37	74	3
	演習	1	2					
	実習	19	38					
人体発生学	講義	14	28			14	28	1
臨床解剖学	講義			20	40	99	198	7
	実習			79	158			
器官生理学	講義	27	54			47	94	4
	実習	20	40					
医化学Ⅱ	講義	21	42			39	78	4
	実習	18	36					
神経科学	講義	33	66	1	2	56	112	6
	演習	1	2					
	実習	14	28	7	14			
微生物学	講義			35	70	45	90	5
	演習			2	4			
	実習			8	16			
免疫学	講義			14	28	19	38	2
	演習			1	2			
	実習			4	8			
病理学総論	講義			13	26	15	30	2
	演習			2	4			
薬理学	講義			25	50	31	62	3
	実習			6	12			
基礎医学演習	演習			14	28	14	28	1
基礎科目計		185	370	231	462	416	832	38
症例基盤・問題解決型学修(実践)	講義	8	16	9	18	17	34	2
医療プロフェッショナルリズムⅡ	講義	3	6	1	2	13	26	1
	実習	9	18					
基本的医療手技Ⅰ	実習	20	40			20	40	1
臨床科目計		40	80	10	20	50	100	4
データサイエンスⅡ	講義	10	20			10	20	1
	演習	4	8			4	8	
医学英語入門	講義	11	22	11	22	22	44	2
教養科目計		15	30	11	22	26	52	2
合計		240	480	252	504	492	984	44

※1コマ2時間計算 一部科目除く

大学における単位の考え方と授業外学修について

日本の大学教育は単位制度を基本としており、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することが標準であると大学設置基準に定められています。

第二十一条 各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。

2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、第二十五条第一項に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね十五時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって一単位として単位数を計算するものとする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が定める時間の授業をもって一単位とすることができる。

つまり、1単位の科目を履修するためには、講義室等で受講する授業と自宅等で学修する授業外学修を合わせて45時間の学修が必要になるため、授業時間外の予習・復習にあたる事前・事後学修が必要になります。

例えば以下の例を考えてみます。

例) 講義・実習 14 コマで1単位の科目の場合

講義・実習 14 コマ × 1 コマ 2 時間 (90 分を 2 時間として計算) = 28 時間

45 時間 - 28 時間 = 17 時間

計 17 時間分 (1 コマあたり 72 分以上) の授業外学修が必要

この場合、講義室等で受講する 14 コマの授業以外に、1 コマ当たり 72 分以上の学修が必要となります。

シラバスには、科目または授業毎に必要な事前・事後学修の内容と時間が記載されていますので、その内容に従って自己学修を行うことが求められます。なお、事前学修は各授業の前に、事後学修は授業後または定期試験の準備期間や長期休暇を活用することができます。

医学部、歯学部における臨床実習等の一部の科目では、単位時間 (90 分=2 単位時間) ではなく実時間 (実際の授業時間) に基づいて単位計算がされますが、1 単位 45 時間の考え方に基づいた事前事後学修は必要です。

令和8年度 第2学年 時間割

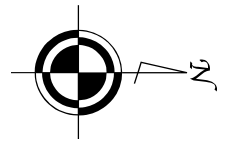
週数	月日	曜日	1	2	3	4	5	
			8:50~10:20	10:30~12:00	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50	
1	4月1日	水			ガイダンス	神経科学		
	4月2日	木	組織学	組織学	組織学実習	組織学実習		
	4月3日	金	医学英語入門	データサイエンスⅡ	器官生理学	器官生理学		
2	4月6日	月	医化学Ⅱ	医化学Ⅱ	器官生理学	器官生理学		
	4月7日	火	人体発生学	人体発生学	組織学	組織学実習		
	4月8日	水			器官生理学	器官生理学		
	4月9日	木	人体発生学	人体発生学	組織学	組織学実習		
	4月10日	金	医学英語入門	データサイエンスⅡ	神経科学	神経科学		
3	4月13日	月	医化学Ⅱ	医化学Ⅱ	器官生理学	器官生理学		
	4月14日	火	データサイエンスⅡ	組織学	組織学実習	組織学実習		
	4月15日	水	神経科学	神経科学	神経科学	器官生理学		
	4月16日	木	人体発生学	人体発生学	組織学	組織学実習		
	4月17日	金	医学英語入門	データサイエンスⅡ	神経科学	神経科学		
4	4月20日	月	症例基盤	症例基盤	神経科学	神経科学		
	4月21日	火	組織学	組織学	組織学実習	組織学実習		
	4月22日	水	器官生理学	器官生理学	健康診断			
	4月23日	木	人体発生学	人体発生学	組織学	組織学実習		
	4月24日	金	医学英語入門	データサイエンスⅡ	器官生理学	器官生理学	初年次ゼミ	
	4月27日	月	医化学Ⅱ	医化学Ⅱ	神経科学	神経科学		
5	4月28日	火	人体発生学	人体発生学	組織学	組織学実習		
	4月29日	水	祝日					
	4月30日	木	人体発生学	人体発生学	組織学	組織学実習		
	5月1日	金	医学英語入門	データサイエンスⅡ	器官生理学	器官生理学		
	6	5月4日	月	祝日				
5月5日		火	祝日					
5月6日		水	祝日					
5月7日		木	人体発生学	人体発生学	神経科学	医化学Ⅱ		
5月8日		金	医学英語入門	データサイエンスⅡ	神経科学実習	神経科学実習		
7		5月11日	月	医化学Ⅱ	医化学Ⅱ	神経科学実習	神経科学実習	
	5月12日	火	医化学Ⅱ	医化学Ⅱ	神経科学実習	神経科学実習		
	5月13日	水	神経科学	器官生理学	神経科学実習	神経科学実習		
	5月14日	木	組織学	組織学	組織学実習	組織学実習		
	5月15日	金	医学英語入門	データサイエンスⅡ	医化学Ⅱ	器官生理学		
8	5月18日	月	症例基盤	症例基盤	神経科学実習	神経科学実習		
	5月19日	火	中間試験①	組織学	組織学実習	組織学実習		
	5月20日	水	神経科学	神経科学	神経科学実習	神経科学実習		
	5月21日	木	医化学Ⅱ	組織学演習	組織学	組織学実習		
	5月22日	金	医学英語入門	データサイエンスⅡ	神経科学実習	神経科学実習		
9	5月25日	月	器官生理学	器官生理学	器官生理実習	器官生理実習		
	5月26日	火	医化学Ⅱ	医化学Ⅱ	組織学	組織学実習		
	5月27日	水	神経科学	神経科学	器官生理実習	器官生理実習		
	5月28日	木	器官生理学	器官生理学	器官生理実習	器官生理実習		
	5月29日	金	医学英語入門	データサイエンスⅡ	器官生理実習	器官生理実習		

週数	月日	曜日	1	2	3	4	5
			8:50~10:20	10:30~12:00	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50
10	6月1日	月	症例基盤	症例基盤	器官生理実習	器官生理実習	
	6月2日	火	中間試験②	器官生理学	器官生理実習	器官生理実習	講演会
	6月3日	水	医化学Ⅱ	医化学Ⅱ	器官生理実習	器官生理実習	
	6月4日	木	医化学Ⅱ	医化学Ⅱ	器官生理実習	器官生理実習	
	6月5日	金	医学英語入門	データサイエンスⅡ	器官生理実習	器官生理実習	
11	6月8日	月	神経科学	器官生理学	器官生理実習	器官生理実習	
	6月9日	火	医化学Ⅱ	医化学Ⅱ	医化学Ⅱ実習	医化学Ⅱ実習	
	6月10日	水	器官生理学	器官生理学	医化学Ⅱ実習	医化学Ⅱ実習	
	6月11日	木	神経科学	神経科学	医化学Ⅱ実習	医化学Ⅱ実習	
	6月12日	金	医学英語入門	データサイエンスⅡ	医化学Ⅱ実習	医化学Ⅱ実習	
12	6月15日	月	症例基盤	症例基盤	医化学Ⅱ実習	医化学Ⅱ実習	
	6月16日	火	中間試験③	神経科学	医化学Ⅱ実習	医化学Ⅱ実習	初年次ゼミ
	6月17日	水	神経科学	神経科学	医化学Ⅱ実習	医化学Ⅱ実習	
	6月18日	木	神経科学	神経科学	医化学Ⅱ実習	医化学Ⅱ実習	
	6月19日	金	器官生理学	データサイエンスⅡ	医化学Ⅱ実習	医化学Ⅱ実習	
13	6月22日	月	中間試験④	神経科学	神経科学	医療プロフェッショナルリズム	
	6月23日	火		器官生理学	組織学	組織学実習	
	6月24日	水	神経科学	神経科学	神経科学	医療プロフェッショナルリズム	
	6月25日	木		神経科学	神経科学	神経科学演習	
	6月26日	金	医療プロフェッショナルリズム	データサイエンスⅡ			
14	6月29日	月	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	
	6月30日	火	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	
	7月1日	水	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	
	7月2日	木	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	
	7月3日	金	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	基本的医療手技Ⅰ(シミュレーション実習)	
15	7月6日	月	医療プロフェッショナルリズム	医療プロフェッショナルリズム	医療プロフェッショナルリズム	医療プロフェッショナルリズム	
試験前休み(7月7日~7月13日)							
前期進級試験(7月14日~7月24日)							
夏休み(7月27日~8月28日)							

週数	月日	曜日	1	2	3	4	5	
			8:50~10:20	10:30~12:00	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50	
1	8月31日	月		臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月1日	火		臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月2日	水	微生物学	微生物学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月3日	木		臨床解剖学実習	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月4日	金	医学英語入門	症例基盤	免疫学	免疫学		
2	9月7日	月		臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月8日	火		臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月9日	水	微生物学	微生物学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月10日	木		臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月11日	金	医学英語入門		免疫学	免疫学		
3	9月14日	月	微生物学	微生物学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月15日	火		臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月16日	水	微生物学	微生物学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月17日	木		臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月18日	金	医学英語入門	基礎医学演習	免疫学	免疫学		
4	9月21日	月	祝日					
	9月22日	火	祝日					
	9月23日	水	祝日					
	9月24日	木			臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月25日	金	医学英語入門	基礎医学演習	免疫学	免疫学		
	9月26日	土	医療安全シンポジウム					
5	9月28日	月	中間試験⑤	臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月29日	火	基礎医学演習	臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	9月30日	水	微生物学	免疫学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月1日	木		医療プロフェッショナリズム	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月2日	金	医学英語入門		微生物学	微生物学	症例基盤	
6	10月5日	月	中間試験⑥	臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月6日	火	基礎医学演習	臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月7日	水	微生物学	微生物学	基礎医学演習	基礎医学演習		
	10月8日	木	基礎医学演習	基礎医学演習	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月9日	金	医学英語入門		微生物学	免疫学演習		
7	10月12日	月	祝日					
	10月13日	火	中間試験⑦	臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月14日	水	微生物学	微生物学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月15日	木	基礎医学演習	臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月16日	金	医学英語入門		症例基盤	症例基盤		
8	10月19日	月	病理学総論	臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月20日	火	基礎医学演習	病理学総論	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月21日	水	微生物学	微生物学	インフルエンザワクチン接種			
	10月22日	木	病理学総論	臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月23日	金	医学英語入門	基礎医学演習	微生物学	微生物学演習		
9	10月26日	月		臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月27日	火	基礎医学演習	臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月28日	水	微生物学	微生物学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月29日	木		臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	10月30日	金	医学英語入門	薬理学	微生物学	微生物学		
10	11月2日	月		臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	11月3日	火	祝日					
	11月4日	水	中間試験⑧	薬理学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	11月5日	木			臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	11月6日	金	医学英語入門	薬理学	微生物学	微生物学		

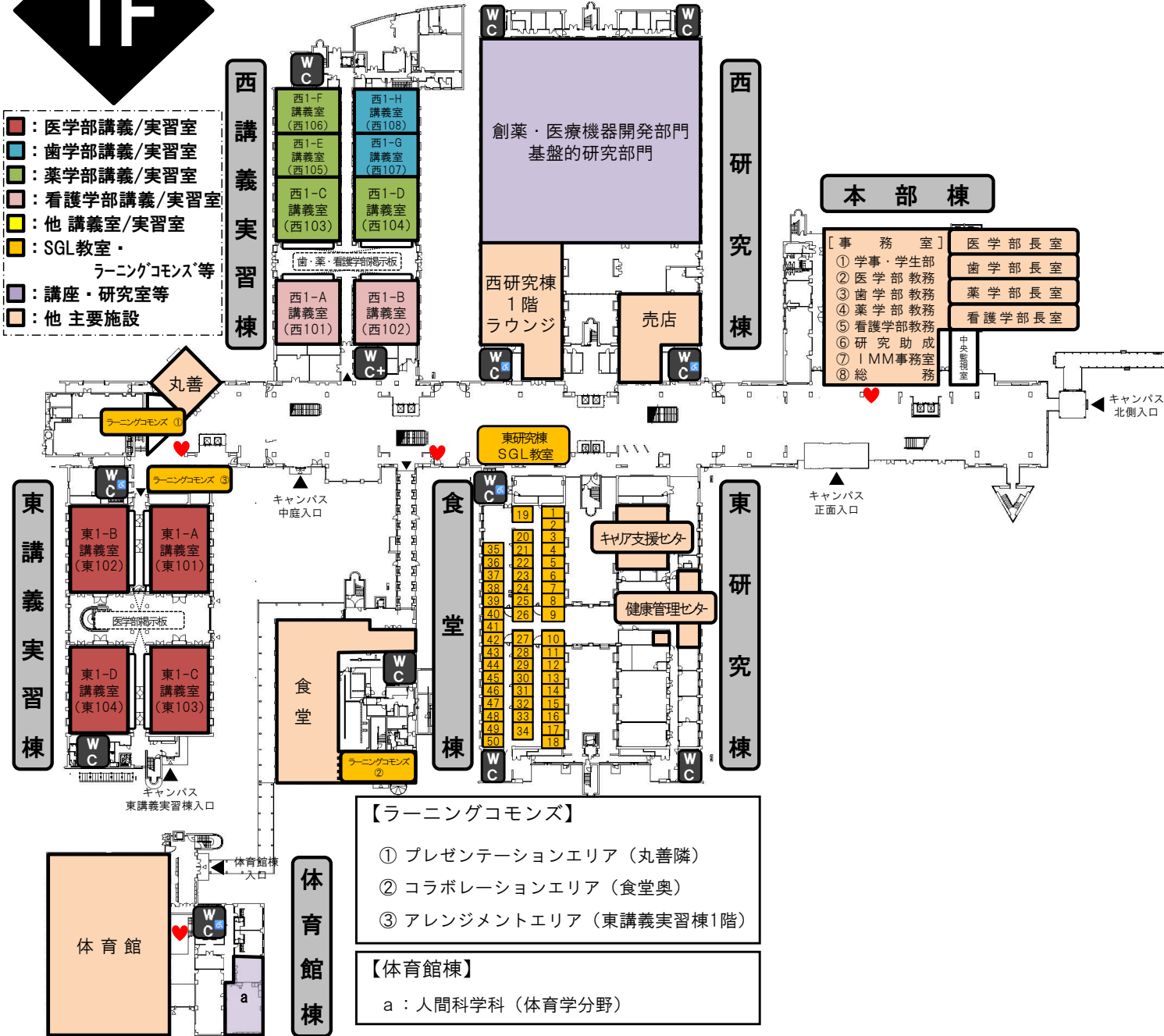
週数	月日	曜日	1	2	3	4	5	
			8:50~10:20	10:30~12:00	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50	
11	11月9日	月		病理学総論	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	11月10日	火	薬理学	薬理学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	11月11日	水	微生物学	微生物学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	11月12日	木	病理学総論	病理学総論	微生物学実習	微生物学実習		
	11月13日	金	医学英語入門	薬理学	微生物学実習	微生物学実習		
12	11月16日	月		臨床解剖学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	11月17日	火	薬理学	病理学総論	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	11月18日	水	微生物学	免疫学	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習		
	11月19日	木	基礎医学演習	基礎医学演習	神経科学	神経科学実習		
	11月20日	金	薬理学	薬理学	免疫学実習	免疫学実習		
13	11月23日	月	祝日					
	11月24日	火	病理学総論	病理学総論	免疫学実習	免疫学実習		
	11月25日	水	医学研究リテラシー(研究室配属報告会)					
	11月26日	木	薬理学	薬理学	微生物学実習	微生物学実習		
	11月27日	金	薬理学	薬理学	微生物学実習	微生物学実習		
14	11月30日	月	病理学総論		症例基盤			
	12月1日	火			神経科学実習	神経科学実習		
	12月2日	水	病理学総論	病理学総論	微生物学	微生物学演習		
	12月3日	木	薬理学	薬理学	神経科学実習	神経科学実習		
	12月4日	金	薬理学	薬理学	神経科学実習	神経科学実習		
15	12月7日	月	薬理学	薬理学	薬理学実習	薬理学実習	病理学総論	
	12月8日	火	病理学総論	病理学総論	納棺式			
	12月9日	水	微生物学	微生物学	症例基盤	症例基盤		
	12月10日	木	薬理学	薬理学	微生物学	微生物学		
	12月11日	金			薬理学実習	薬理学実習		
16	12月14日	月	薬理学	薬理学	薬理学実習	薬理学実習		
	12月15日	火			免疫学	免疫学		
	12月16日	水			症例基盤	症例基盤		
	12月17日	木	微生物学	微生物学	免疫学	免疫学		
	12月18日	金	薬理学	薬理学				
冬休み(12月21日~1月8日)								
後期進級試験(1月13日~1月28日)								
次年度医学研究リテラシーガイダンス(2月2日)								
進級判定Ⅰ 2月10日(水)								
再試験(2月17日~2月22日)								
進級判定Ⅱ 3月3日(水)								

矢巾キャンパス平面図

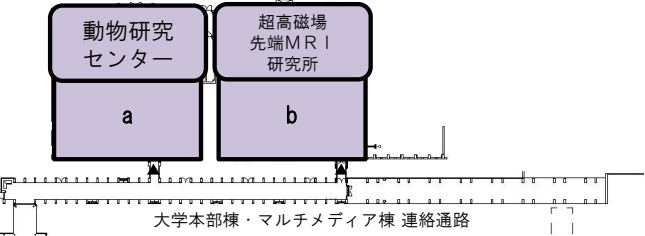


1F

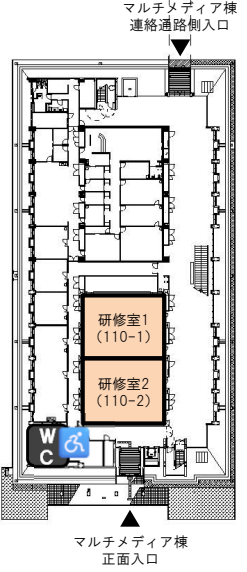
- : 医学部講義/実習室
- : 歯学部講義/実習室
- : 薬学部講義/実習室
- : 看護学部講義/実習室
- : 他講義室/実習室
- : SGL教室・
ラーニングcommons等
- : 講座・研究室等
- : 他主要施設



【動物研究センター・超高磁場先端MRI研究所】
a, b : 歯歯薬総合研究所・基盤的研究部門



災害時地域医療支援教育センター・
マルチメディア教育研究棟

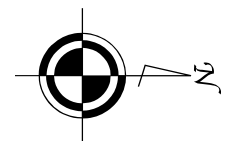


- 【ラーニングcommons】
- ① プレゼンテーションエリア (丸善隣)
 - ② コラボレーションエリア (食堂奥)
 - ③ アレンジメントエリア (東講義実習棟1階)

- 【体育館棟】
- a : 人間科学科 (体育学分野)

- ♥ : AED (自動体外式除細動器)
- WC : トイレ (♿: 多目的付, +: オストメイト対応)

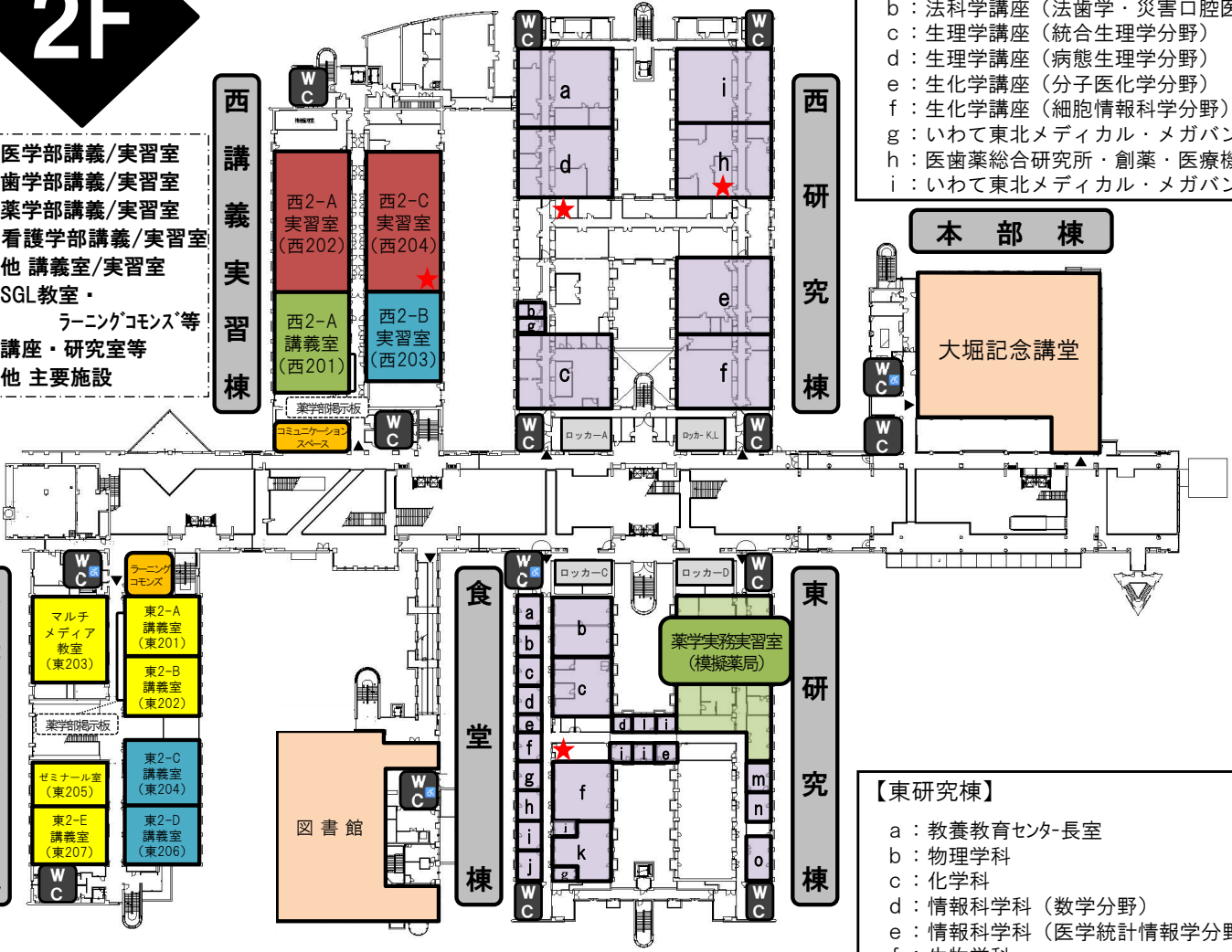
2F



- : 医学部講義/実習室
- : 歯学部講義/実習室
- : 薬学部講義/実習室
- : 看護学部講義/実習室
- : 他 講義室/実習室
- : SGL教室・ラーニングcommons等
- : 講座・研究室等
- : 他 主要施設

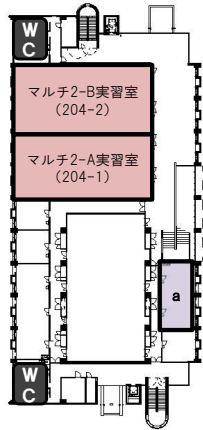
- 【西研究棟】
- a : 法科学講座 (法医学分野)
 - b : 法科学講座 (法歯学・災害口腔医学分野)
 - c : 生理学講座 (統合生理学分野)
 - d : 生理学講座 (病態生理学分野)
 - e : 生化学講座 (分子医化学分野)
 - f : 生化学講座 (細胞情報科学分野)
 - g : いわて東北メディカル・メガバンク機構
 - h : 医歯薬総合研究所・創薬・医療機器開発部門
 - i : いわて東北メディカル・メガバンク機構

- 動物研究センター
- 超高磁場先端MRI研究所

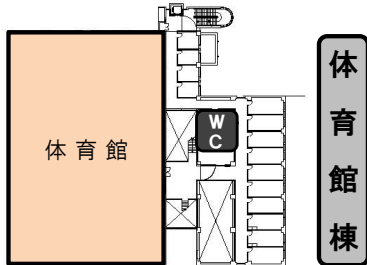


- 【東研究棟】
- a : 教養教育センター-長室
 - b : 物理学科
 - c : 化学科
 - d : 情報科学科 (数学分野)
 - e : 情報科学科 (医学統計情報学分野)
 - f : 生物学科
 - g : 人間科学科 (心理学・行動科学分野)
 - h : 人間科学科 (文学分野)
 - i : 外国語学科 (英語分野)
 - j : 人間科学科 (哲学分野)
 - k : 人文社会語学系研究室
 - l : 人間科学科 (法学分野)
 - m : 全学教育推進機構長室
 - n : 口腔医学講座 (歯科医学教育学分野)
 - o : 看護専門基礎講座

災害時地域医療支援教育センター・マルチメディア教育研究棟

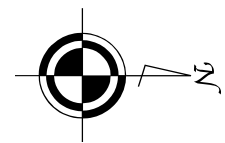


- 【災害時地域医療支援教育センター】
- a : 救急・災害医学講座



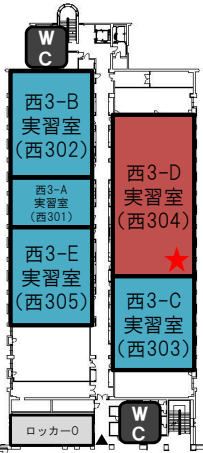
- ★ : 緊急時用シャワー
- WC : トイレ (♿ : 多目的付)

3F



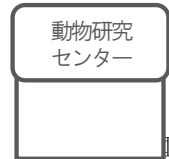
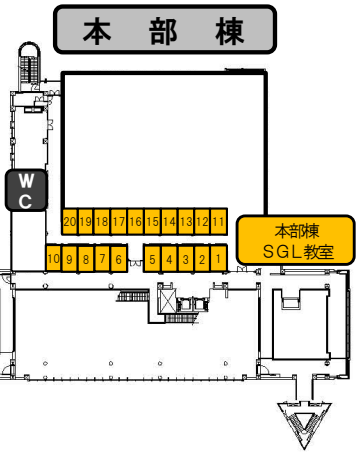
- : 医学部講義/実習室
- : 歯学部講義/実習室
- : 薬学部講義/実習室
- : 看護学部講義/実習室
- : 他 講義室/実習室
- : SGL教室・ラーニングcommons等
- : 講座・研究室等
- : 他 主要施設

西 講義 実習 棟



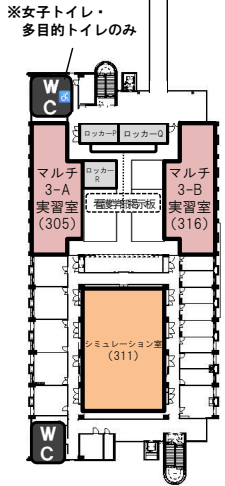
- 【西研究棟】
- a : 医療工学講座
 - b : 衛生学公衆衛生学講座
 - c : 微生物学講座 (感染症学・免疫学分野)
 - d : 微生物学講座 (分子微生物学分野)
 - e : 薬理学講座 (情報伝達医学分野)
 - f : 薬理学講座 (病態制御学分野)
 - g : 病態薬理学講座 (分子細胞薬理学分野)
 - h : 病態薬理学講座 (薬剤治療学分野)
 - i : 医学教育学講座教育支援システム開発分野

西 研 究 棟

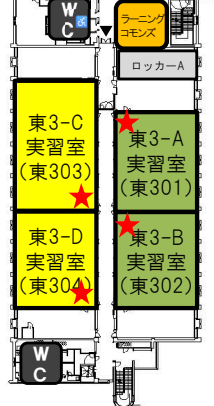


マルチメディア棟
附属病院連絡通路

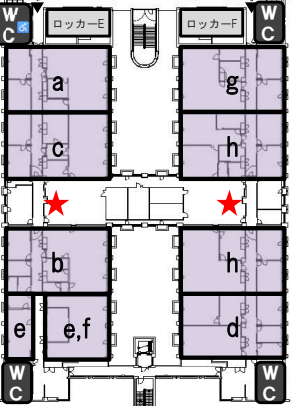
災害時地域医療支援教育センター・マルチメディア教育研究棟



東 講義 実習 棟



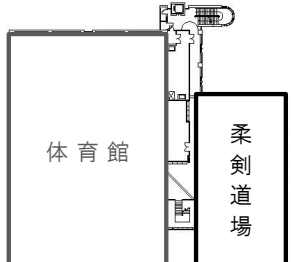
食 堂 棟



東 研 究 棟

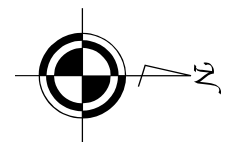
- 【東研究棟】
- a : 生物薬学講座 (生体防御学分野)
 - b : 生物薬学講座 (機能生化学分野)
 - c : 臨床薬学講座 (情報薬科学分野)
 - d : 臨床薬学講座 (臨床薬剤学分野)
 - e : 臨床薬学講座 (地域医療薬学分野)
 - f : 臨床薬学講座 (薬学教育学分野)
 - g : 病態薬理学講座 (臨床医化学分野)
 - h : いわて東北メディカル・メガバンク機構

体 育 館 棟



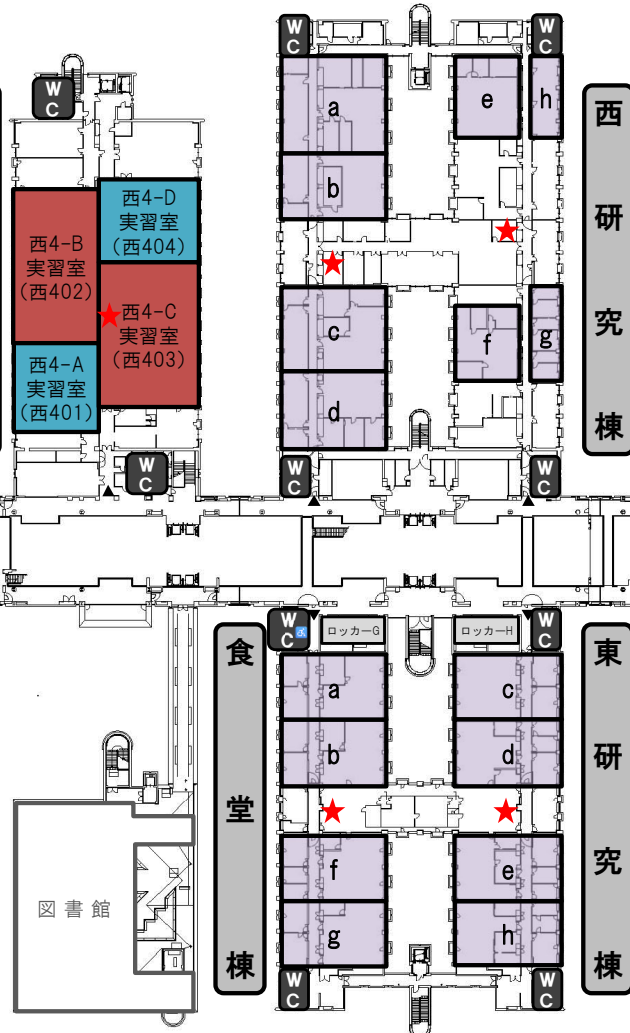
- ★ : 緊急時用シャワー
- WC : トイレ (♿ : 多目的付)

4F



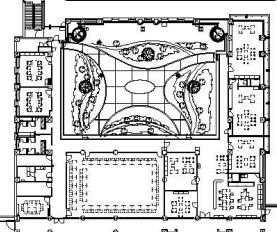
- : 医学部講義/実習室
- : 歯学部講義/実習室
- : 薬学部講義/実習室
- : 看護学部講義/実習室
- : 他 講義室/実習室
- : SGL教室・ラーニングcommons等
- : 講座・研究室等
- : 他 主要施設

西講義実習棟

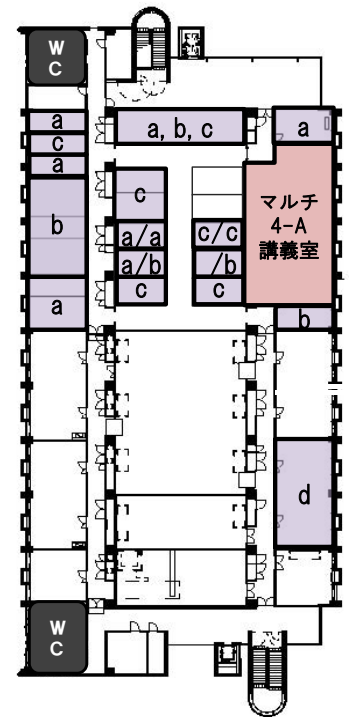


- 【西研究棟】
- a : 解剖学講座 (人体発生学分野)
 - b : 解剖学講座 (機能形態学分野)
 - c : 解剖学講座 (細胞生物学分野)
 - d : 解剖学講座 (発生生物・再生医学分野)
 - e : 病理学講座 (機能病態学分野)
 - f : 病理学講座 (病態解析学分野)
 - g : 病理学講座 教授室
 - h : 病理学講座 スタッフルーム

本部棟



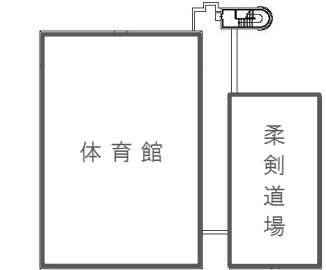
災害時地域医療支援教育センター・マルチメディア教育研究棟



- 【東研究棟】
- a : 生物薬学講座 (神経科学分野)
 - b : 薬科学講座 (分析化学分野)
 - c : 薬科学講座 (天然物化学分野)
 - d : 薬科学講座 (創薬有機化学分野)
 - e : 薬科学講座 (構造生物薬学分野)
 - f : 医療薬科学講座 (薬物代謝動態学分野)
 - g : 医療薬科学講座 (創剤学分野)
 - h : 医療薬科学講座 (衛生化学分野)

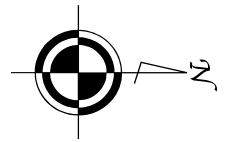
- 【マルチメディア教育研究棟】
- a : 共通基盤看護学講座
 - b : 地域包括ケア講座
 - c : 成育看護学講座
 - d : 医学教育学講座

東講義実習棟



- ★ : 緊急時用シャワー
- WC : トイレ (♿ : 多目的付)

トクタヴェール
(店 舗 棟)



2F

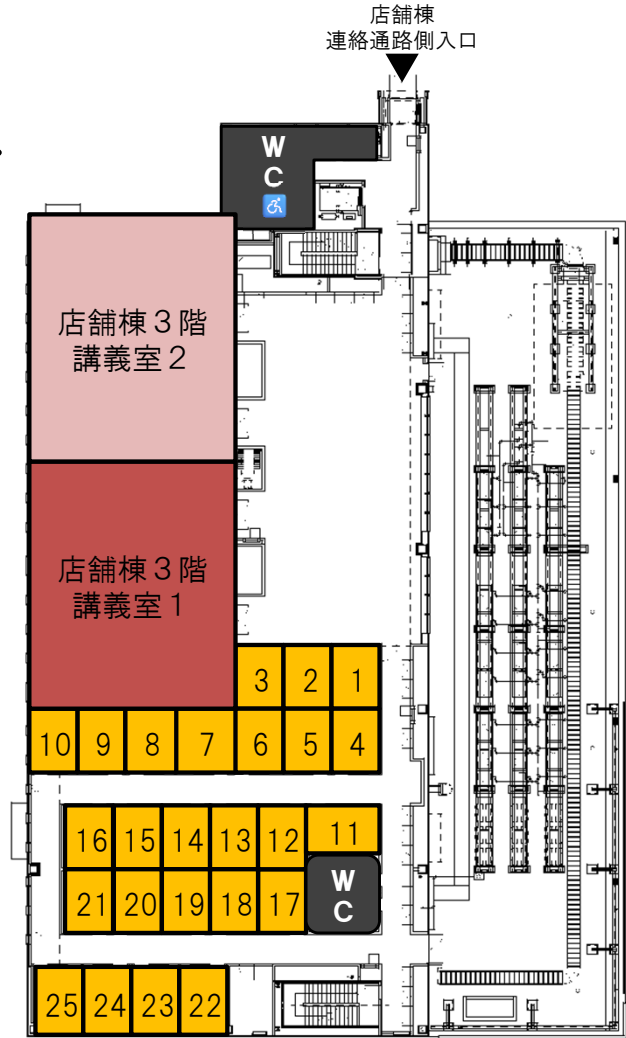
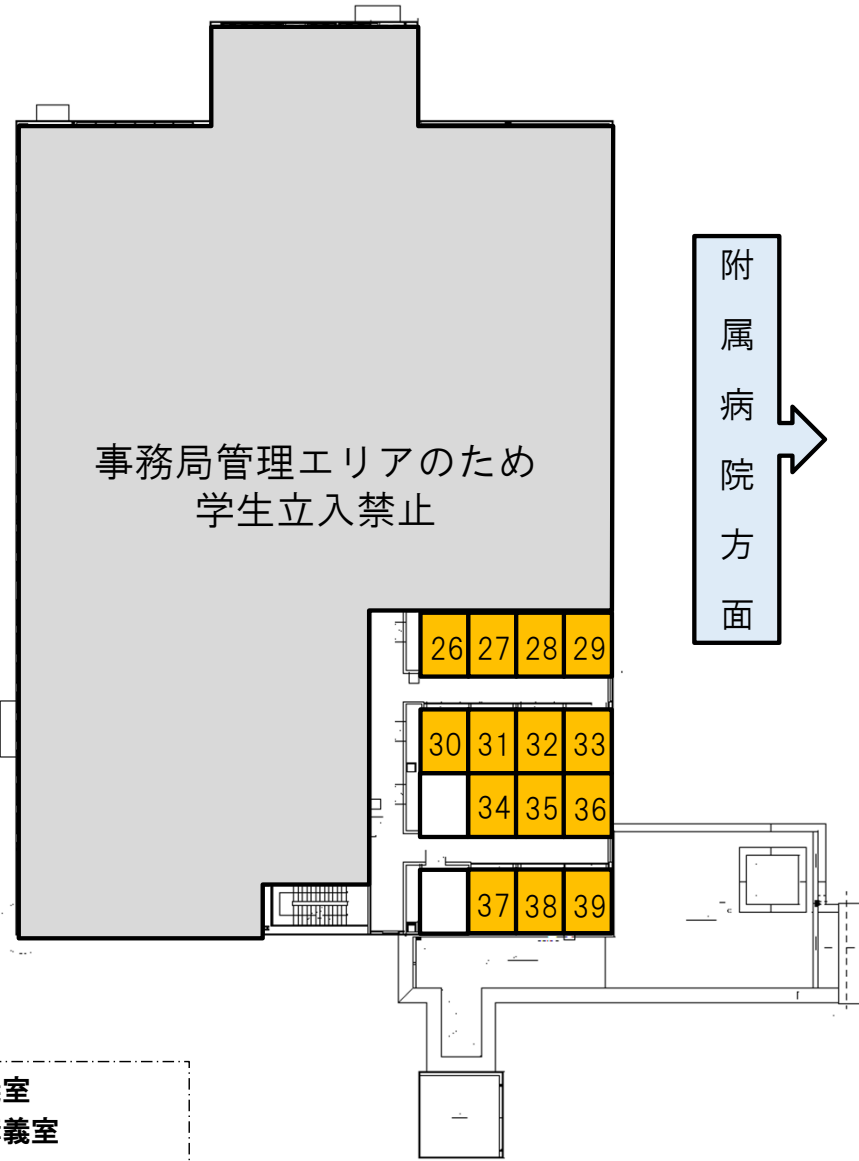
3F

大学本部棟方面

附属病院方面

大学本部棟方面

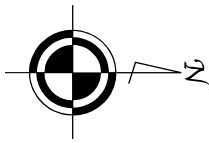
附属病院方面



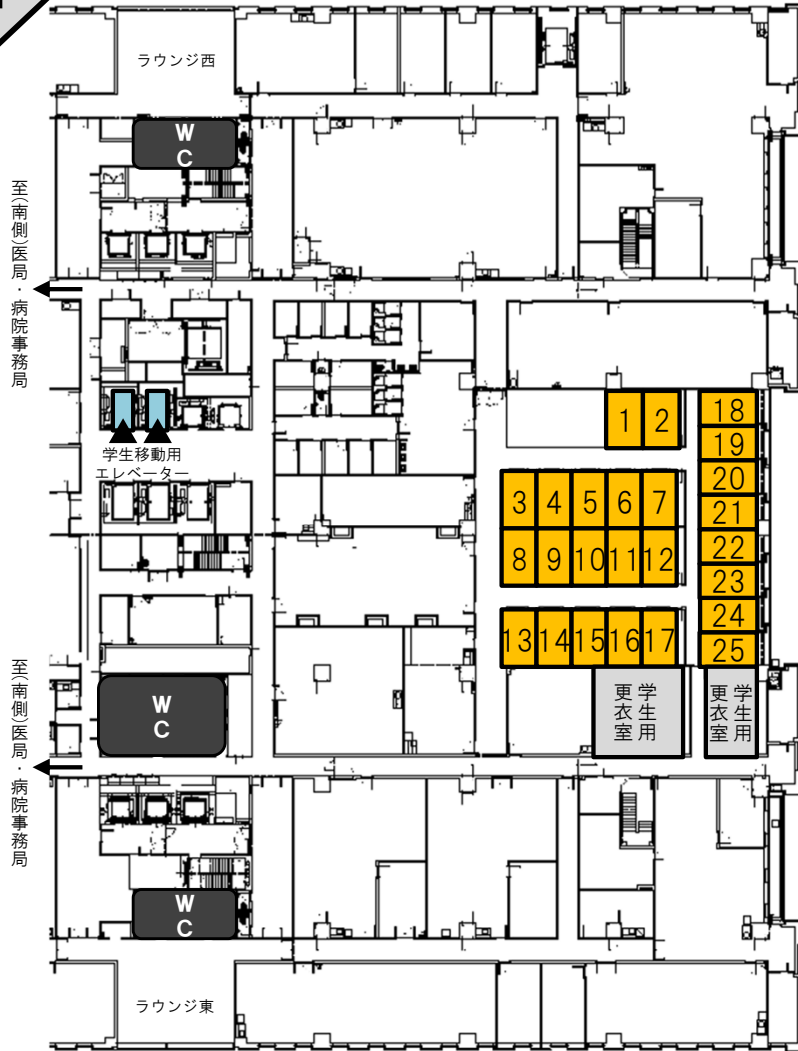
- : 医学部講義室
- : 看護学部講義室
- : SGL教室
- WC : トイレ (♿ : 多目的付)

※店舗棟のSGL教室は、各学部で調整の上、運用方法を定める

附属病院



5F



: SGL教室
WC : トイレ (♿ : 多目的付)

※附属病院のSGL教室は、各学部で調整の上、運用方法を定める

講座・分野名の省略記載について

※教育要項（シラバス）に講座・分野名を記載するにあたり、下記のとおり名称を省略して記載する。

<u>正式名称</u>	<u>省略名称</u>
解剖学講座 人体発生学分野	人体発生学分野
解剖学講座 細胞生物学分野	細胞生物学分野
解剖学講座 機能形態学分野 ※歯学部	機能形態学分野
解剖学講座 発生生物・再生医学分野 ※歯学部	発生生物・再生医学分野
生理学講座 統合生理学分野	統合生理学分野
生理学講座 病態生理学分野 ※歯学部	病態生理学分野
生化学講座 分子医化学分野	分子医化学分野
生化学講座 細胞情報科学分野 ※歯学部	細胞情報科学分野
微生物学講座 感染症学・免疫学分野	感染症学・免疫学分野
微生物学講座 分子微生物学分野 ※歯学部	分子微生物学分野
薬理学講座 情報伝達医学分野	情報伝達医学分野
薬理学講座 病態制御学分野 ※歯学部	病態制御学分野
病理学講座 機能病態学分野	機能病態学分野
病理学講座 病態解析学分野 ※歯学部	病態解析学分野
法科学講座 法医学分野	法医学分野
法科学講座 法歯学・災害口腔医学分野 ※歯学部	法歯学・災害口腔医学分野
医学教育学講座 医学教育学分野	医学教育学分野
医学教育学講座 地域医療学分野	地域医療学分野
内科学講座 消化器内科分野	消化器内科分野
内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野	糖・代・内分泌内科分野
内科学講座 腎・高血圧内科分野	腎・高血圧内科分野
内科学講座 循環器内科分野	循環器内科分野
内科学講座 呼吸器内科分野	呼吸器内科分野
内科学講座 リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野
内科学講座 血液腫瘍内科分野	血液腫瘍内科分野
内科学講座 脳神経内科・老年科分野	脳神経内科・老年科分野
医歯薬総合研究所創薬・医療機器開発部門	創薬・医療機器開発部門
医歯薬総合研究所基盤的研究部門	基盤的研究部門
医歯薬総合研究所創薬支援リソース部門	創薬支援リソース部門
医歯薬総合研究所生命科学研究技術支援センター	生命科学研究技術支援センター
医歯薬総合研究所動物研究センター	動物研究センター
医歯薬総合研究所超高磁場先端MR I 研究センター	超高磁場先端MR I 研究センター
医歯薬総合研究所アイソトープ研究室	アイソトープ研究室
いわて東北メディカル・メガバンク機構生体情報解析部門	メガバンク生体情報解析部門

※教養教育センターについては、学科名・分野名のみの記載とする。

履 修 科 目

組織学

ナンバリング M2-S1-B07

責任者・コーディネーター	細胞生物学分野 齋野 朝幸 教授		
担当講座・学科（分野）	細胞生物学分野、消化器内科分野、腎・高血圧内科分野、産婦人科学講座		
担当教員	齋野 朝幸 教授、旭 浩一 教授、小山 理恵 特任教授、成田 啓之 准教授、柿坂 啓介 准教授、阿久津 仁美 助教、アブタリ サイト シャリフ 助教、平川 正人 助教、		
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 17コマ 34.0時間
期間	前期		演習 1コマ 2.0時間 実習 19コマ 38.0時間

・学習方針（講義概要等）

解剖学 (Anatomy) は、生物を構成する分子、細胞、組織、器官といった階層的構造を対象とし、一定の時間軸における形態（構造と構成）を明らかにするとともに、その形態に基づいて生体機能や動態を理解する学問分野である。すなわち、形態を観察・記載することを通して、生物のダイナミクスを考察する基礎医学分野である。

解剖学の研究対象は、生物種および構造の大きさを問わず多岐にわたるが、組織学 (Histology) では主としてヒトを対象とし、人体を構成する器官およびそれらを形成する組織の正常構造を、講義および実習を通して学修する。

本科目では、光学顕微鏡および電子顕微鏡レベルで観察される組織構築の特徴を理解し、器官と組織の相互関係、ならびに形態と機能の相関を体系的に把握することを目的とする。これにより、人体の恒常性維持の構造的基盤を理解するとともに、将来学修する病理学および臨床医学において不可欠となる正常構造に基づく異常理解の基礎を形成する。

・教育成果（アウトカム）

病気の成立機転を理解し、将来適切な治療方法を選択できるようになるために、授業および演習を通じて、さまざまな生命現象がいつ、どこで生じているかを理解することで、各器官の構造的特徴を概説できるようになる。

さらに、組織の顕微鏡標本を観察し、スケッチする実習を行うことで、器官を構成する組織および細胞の正常な形態を同定し、それらを機能と関連付けて説明できるようになる。これらの学修を通して、人体の基本構造を体系的に理解することで、正常構造に基づいて病態を考察するための基盤を形成できるようになる。

（ディプロマ・ポリシー： 1,2,3,4,6 ）

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	初期臨床研修医あるいは研究医としての業務を行うために必要な人体の解剖学的・組織学的知識を、講義を通じて習得し、また、実習と演習により細胞相互の関係を類推できる科学的思考方法を体得することで、人体の成り立ちの全体像を説明できる。
2	医師として必要な「的確な医療情報を収集し、それをもとに適確な診断を下し、記録する」という基本的な課程を学修するため、実習では、光学顕微鏡を用いて顕微鏡標本を観察し、スケッチすることで、特定の器官の組織とその構成細胞を同定する技能を習得し、科学的思考方法を身につける。
3	授業を通じて、未知なる人体への尊敬と幅広い知識や優れた技術の習得のため日々研鑽を続けるプロフェッショナルとしての態度を身につける。
4	顕微鏡標本の作製法を学び、人体組織を扱う教育・研究を実施する際の、医療倫理、個人情報保護、感染対策の必要性を説明できる。
5	細胞・組織・器官の違いを説明できる。
6	器官の正常な微細構造を観察し、名称と構成を記述できる。また、その機能の関連を説明できる。

・ 講義場所

講義：東1-B講義室 実習：西4-B実習室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標 番号	事前事後学修/ICT
講義	4/2(木)	1	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学1 リンパ性器官	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 教科書「標準組織学 各論」のp.39-77を読んでリンパ器官の概要を把握しておく。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料も加え、リンパ器官の構造と機能について理解を深める。自分なりに講義の内容を適切にまとめ理解しておくこと。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 Web Class上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	4/2(木)	2	細胞生物学分野	阿久津 仁美 助教	組織学2 口腔とその付属器	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 教科書「標準組織学 各論」のp.79-110、p461-465を読んで口腔とその付属器の構造の概要を把握しておく。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料も加え、口唇、舌、唾液腺、歯と歯周組織の構造と機能について理解を深める。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	4/7(火)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学3 刺激伝導系	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 教科書「標準組織学 各論」のp24-32を読んで、心筋と刺激伝導系の構造の概要を把握しておく。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、刺激伝導系の構造と機能について標準組織学各論や組織細胞生物学を使ってまとめる。刺激伝導系の全長の構造、形態学的特徴をまとめておく。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】 WebClass上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>

講義	4/9(木)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学4 上部消化管：食道・胃・ 十二指腸	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 基礎組織学で学んだ基礎的な内容をもう一度復習しておく。教科書「標準組織学 各論」のp113-145を読み、大まかな特徴を予習する。Web Class上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、消化管の構造と機能について組織学や組織細胞生物学を使ってまとめる。特に、食道、胃、十二指腸が構造的にどう違うか。また、胃の外分泌機構について理解する。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClass上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	4/14(火)	2	細胞生物学分野	阿久津 仁美 助教	組織学5 呼吸器系 鼻腔・喉頭・ 気管・肺の顕微構造	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 教科書「標準組織学 各論」のp176-195、p465-471を読んで、鼻腔・喉頭・気管・肺の構造をおおまかに理解し、構成する細胞・組織について予習する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義・実習時の配付資料を参考に復習し、鼻腔・喉頭・気管・肺の組織の特徴や機能についての説明文を作成する。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClass上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	4/16(木)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学6 下部消化管；小腸と大腸 の顕微構造	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 基礎組織学で学んだ基礎的な内容をもう一度復習しておく。教科書「標準組織学 各論」のp119-145、p228-250を読み、大まかな特徴を予習する。Web Class上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、消化管の構造と機能について組織学や組織細胞生物学を使ってまとめる。特に、小腸・大腸が構造的にどのように違うか。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClass上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>

講義	4/21(火)	1	細胞生物学分野	成田 啓之 准教授	組織学7 内分泌系I 視床下部・下垂体系の顕微構造	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 教科書「標準組織学 各論」のp254-270を読み、内分泌機能の概略を予習する。所要時間30分以上視床下部、下垂体および松果体の位置と大まかな構造を確認する。</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、下垂体前葉細胞の染色性と前葉ホルモンとの関係を復習する。所要時間30分以上血管支配の観点から下垂体および視床下部から分泌されるホルモンの動態を復習する。</p> <p>【ICT】WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	4/21(火)	2	細胞生物学分野	成田 啓之 准教授	組織学8 内分泌系II 副腎・甲状腺・上皮小体の顕微構造	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 教科書「標準組織学 各論」のp273-297を読み、副腎、甲状腺および上皮小体の位置と大まかな構造を予習する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、副腎皮質細胞の微細構造をホルモンの種類と関連付けて復習する。所要時間30分以上 副腎髄質細胞の特徴を交感神経系の神経細胞と比較する。 甲状腺の特徴的な構造を甲状腺ホルモンの動態と関連付けて復習する。 カルシトニンと上皮小体ホルモンに関して、分泌細胞およびその機能を比較する。</p> <p>【ICT】WebClass上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	4/23(木)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学9 消化器系 肝・胆・膵の顕微構造	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 基礎組織学で学んだ基礎的な内容をもう一度復習しておく。教科書「標準組織学 各論」のp149-173読み、大まかな特徴を予習する。Web Class上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、肝・胆・膵の構造と機能について組織学や組織細胞生物学を使ってまとめる。肝臓での血液と胆汁の流れについてまとめる。膵臓は外分泌・内分泌について構造に照らし合わせてまとめておく。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>

講義	4/28(火)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学10 感覚器 I 視覚器の顕微構造	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 基礎組織学で学んだ基礎的な内容をもう一度復習しておく。教科書「標準組織学 各論」のp401-432を読み、視覚器について大まかな特徴を予習する。Web Class上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、視覚器の構造と機能について組織学や組織細胞生物学を使ってまとめる。視覚の伝導路についてまとめる。網膜の光情報の伝達経路、血行支配の違いについてまとめておく。血液網膜関門とは？所要時間30分以上</p> <p>【ICT】 WebClass上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	4/30(木)	3	細胞生物学分野	成田 啓之 准教授	組織学11 感覚器 II 平衡聴覚器	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 基礎組織学で学んだ基礎的な内容をもう一度復習しておく。教科書「標準組織学 各論」のp434-459を読み、腎臓の大まかな組織像や特徴を予習する。Web Class上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、平衡斑・膨大部稜が受容する平衡覚の違いを構造と関連付けてまとめる。所要時間30分以上</p> <p>音の伝達と受容機能を外耳・中耳・内耳の各構造と関連付けて復習する。</p> <p>【ICT】 WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	5/14(木)	1	細胞生物学分野	成田 啓之 准教授	組織学12 男性生殖器 精巢	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 教科書「標準組織学 各論」のp299-321を読み、大まかな男性生殖器的構造を予習する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 精子形成・成熟の過程を精巢の構造および血液精巢関門と関連付けてまとめる。所要時間30分以上</p> <p>セルトリ細胞と間細胞の局在とその機能を比較する。</p> <p>精巢輸出管と精巢上体管の構造を比較する。</p> <p>【ICT】 今までWebClassに講義の資料、演習問題が提示されているので各自自己学習すること。</p>

講義	5/14(木)	2	細胞生物学分野	成田 啓之 准教授	組織学13 男性生殖器 精巣附属器	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 教科書「標準組織学 各論」のp320-327を読み、大まかな男性生殖器の構造を予習する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 精囊・前立腺の構造および機能をまとめる。何から発生するかについてもまとめておく。 精囊液・前立腺液の組成についても調べておく。勃起・射精のメカニズムをまとめる。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】今までWebClassに講義の資料、演習問題が提示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	5/19(火)	2	細胞生物学分野	成田 啓之 准教授	組織学14 泌尿器系 腎・尿管・膀胱の顕微構造	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 基礎組織学で学んだ基礎的な内容をもう一度復習しておく。教科書「標準組織学 各論」のp198-225を読み、腎臓の大まかな組織像や特徴を予習する。Web Class上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、腎臓の構造と機能について組織学や組織細胞生物学を使ってまとめる。対向流増幅系についてまとめておく。尿細管の機能についてまとめておく。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに演習の問題が提示されているので各自自己学習すること。</p>
演習	5/21(木)	2	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	中間試験	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 今までに勉強した組織学的な内容をもう一度確認しておく。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 TBLでの演習の内容を再確認し、事後学習を行う。期末試験に向けての準備を行う。</p> <p>【ICT】WebClassに演習の問題が提示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	5/21(木)	3	細胞生物学分野	阿久津 仁美 助教	組織学15 女性生殖器 I 卵巣と卵管の顕微構造	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 教科書「標準組織学 各論」のp331-348を読んで、卵巣・卵管の構造をおおまかに理解し、構成する細胞・組織について予習する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義・実習時の配付資料を参考に、virtual slideの145・145a'・145b・145c・145d・146・146'を用いて復習し、卵巣・卵管の特徴を正しく理解し、組織の構成細胞や機能についての説明文を作成する。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに演習の問題が提示されているので各自自己学習すること。</p>

講義	5/26(火)	3	細胞生物学分野	阿久津 仁美 助教	組織学16 女性生殖器Ⅱ 子宮・胎盤の顕微解剖	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 教科書「標準組織学 各論」のp348-363を読んで、子宮・膣・膺帯・胎盤のおおまかな構造を理解し、構成する細胞・組織について予習する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義・実習時の配付資料を参考に、virtual slideの148・149・190・191・191'を用いて復習し、子宮・膣・膺帯・胎盤の特徴を正しく理解し、組織の構成細胞や機能についての説明文を作成する。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	6/23(火)	3	細胞生物学分野	成田 啓之 准教授	組織学17 感覚器Ⅲ 皮膚の顕微構造	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 教科書「標準組織学 各論」のp366-397を読み、大まかな皮膚の構造、皮膚に存在する感覚器官を予習する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、触覚や温痛覚の受容器について構造と関連付けてまとめる。皮膚のそれぞれの構造、特に表皮の層構造についてまとめる。汗腺の種類、および脂腺それぞれの分泌様式について復習する。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。</p>
実習	4/2(木)	3	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習1	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。</p>
実習	4/2(木)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習2	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。</p>

実習	4/7(火)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習3	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
実習	4/9(木)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習4	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
実習	4/14(火)	3	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習5A	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
実習	4/14(火)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習5B	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。

実習	4/16(木)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学6 下部消化管； 小腸と大腸の顕微構造	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
実習	4/21(火)	3	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習7	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
実習	4/21(火)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習8	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
実習	4/23(木)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 消化器内科分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教 柿坂 啓介 准教授	組織学実習9	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。

実習	4/28(火)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アフタリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習10	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
実習	4/30(木)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アフタリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習11	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
実習	5/14(木)	3	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アフタリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習12	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
実習	5/14(木)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アフタリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習13	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。

実習	5/19(火)	3	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 腎・高血圧内科分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブタリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教 旭 浩一 教授	組織学実習14A	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
実習	5/19(火)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 アブタリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習14B	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
実習	5/21(木)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブタリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習15	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
実習	5/26(火)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 産婦人科学講座	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブタリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教 小山 理恵 特任教授	組織学実習16	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。

実習	6/23(火)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	組織学実習17	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間30分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間30分以上 【ICT】 WebClassにスライド等掲示されているので各自自己学習すること。
----	---------	---	--	--	---------	-------------	---

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	入門組織学 改訂第2版	牛木辰男	南江堂	2013
教科書	標準組織学 総論 6版	藤田恒夫、藤田尚男 著	医学書院	2022
教科書	標準組織学 各論 5版	藤田恒夫、藤田尚男 著	医学書院	2017
参考書	新編 カラーアトラス 組織・細胞学	岩永 敏彦、木村俊介、小林純子	医歯薬出版	2017
推薦図書	ウィーター 図説で学ぶ機能組織学 第6版	後藤薫、和栗聡	エルゼビア・ジャパン	2018
推薦図書	di Fiore人体組織図譜 第11版	相磯貞和	南江堂	2011
参考書	組織学 第20版	阿部和厚 他	南山堂	2019
参考書	組織細胞生物学 原著第5版	内山安男	南江堂	2022
参考書	Essential 細胞生物学 第5版	中村佳子、松原謙一 監訳	南江堂	2021

・成績評価方法

【総括評価】

“進級試験（55%）、中間試験（25%）、実習記録（20%）で評価し、100点満点に換算して60点以上を合格とする。定期試験受験のためには、講義出席回数が2/3以上、かつ、基本的に全ての実習に出席しなければならないが、実習が1/5以上欠席となった場合、期末試験の受験を認めない。実習を欠席する場合に病欠などの理由がある場合は、診断書等を提出すること。加えて組織学実習では実習記録（スケッチ）提出が必須である。実習の最後に配布する記述課題プリントは期末試験終了後に回収し、加点材料とする。”

【形成的評価】

授業の最後にMCQ形式の問題を出題し、回答してもらう。答えは解説を行う。ICTを活用した問題形式にすることもある。

実習中の態度を評価する。その評価点数を加点として用いる事がある。実習の最後にクイズを実施して講義・実習内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックする。実習後に配布する記述課題の提出により加点する。また、その課題から1題を中間試験、または期末試験に出題する。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1-6	1,2,3,4,6	25					10	35
1-6	1,2,3,4,6				55		10	65
合計		25			55		20	100

・特記事項・その他

実習に当たっての注意事項：

実習中の実習室内での飲食（ガムを含む）を禁止する。水分を補給したい場合、実習室ではなく、室外で補給すること。また、実習標本をデジカメなどで撮影することを禁止する。これらに従わなかった場合厳罰に処する。COVID-19感染状況により、バーチャルスライドと顕微鏡のどちらを使用しても良いように実習を施行するのでコンピューターを必ず実習に持参すること。

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前・事後学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前・事後学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

本科目では、事前事後学修以外に24時間の自己学修を要す。

講義資料はWebClassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

“教科書・参考書、講義室、実習室、図書館、組織標本、顕微鏡、バーチャルスライド、PC、インターネット環境、コンピューターソフトウェア”

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	PC画面投影装置	2	講義
講義	ノートパソコン	2	講義
実習	Zeiss顕微鏡	150	実習
実習	スケッチブック・色鉛筆（各自）	150	スケッチに使用
講義・実習	ノートパソコン	1	講義・実習
実習	個人用ノートパソコン	150	実習

人体発生学

ナンバリング M2-S1-B08

責任者・コーディネーター	人体発生学分野 木村 英二 教授				
担当講座・学科（分野）	人体発生学分野				
担当教員	木村 英二 教授、足立 礼孝 助教、勝本 恵一 助教、野中 茂 紀 非常勤講師				
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義	14コマ	28.0時間
期間	前期		演習	0コマ	0.0時間
			実習	0コマ	0.0時間

・学習方針（講義概要等）

ヒトの身体は、精子と卵子が受精して生じた受精卵が分裂を繰り返して、分化および形態形成を経ることによって構築されます。人体発生学では、人体の構造がいかなる過程を経て形成されるのかを体系的に理解することを目的としています。

講義では、まず配偶子がどのように形成されるのか、また受精後に胚がどのような過程を経て形成されるのかについて学修します。続いて、身体の基本軸の形成について理解を深めます。その後、体幹および四肢の形成、鰓弓や顔面形成など、身体の基本構造が成立する過程を扱います。さらに、心臓・脈管系、消化器系、呼吸器系、神経系・感覚器系、泌尿生殖器系といった各器官系の発生について順次講義を進め、ヒトの身体が統合的に形成される過程について理解を深めていきます。講義の終盤では、全体の内容を振り返るとともに、外皮および内分泌系の発生についても講義します。

各講義後には講義内容の定着を目的として、学生自身によるMCQ問題の作成、または振り返り（まとめ）シートの作成を行い、理解の深化を図ります。本コースを通じて、ヒトの発生過程における形態変化を手がかりとして、生体形成に内在する動的な原理について考察できるようになることを目指します。

・教育成果（アウトカム）

発生異常や疾患の成立機転を理解し、適切な診断および治療方針を選択するためには、さまざまな生命現象が、生体の「いつ・どこで・どのように」起こっているのかを正確に理解することが不可欠です。本科目では、人体を構成する各器官の形成過程について、講義および振り返りを通じて体系的に学修することにより、発生過程を含めた解剖学的特性を理解し、説明できるようになります。

また、人体の構造とその発生過程を深く理解することを通じて、生命現象の成り立ちを多角的に捉える視点を養うとともに、生命の尊厳および個人の尊厳についても考察できるようになることが期待されます。

(ディプロマ・ポリシー： 1,2,4)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	臨床医または研究者として必要となる、人体の基本構造およびその発生過程に関する解剖学的知識を、講義を通じて理解する。
2	受精から原腸形成に至るまでの過程および原腸形成の意義を説明できる。
3	三胚葉および神経堤の由来と、それらから生じる細胞分化について説明できる。
4	心臓の発生過程およびその異常を説明できる。
5	大血管の発生過程およびその異常を説明できる。
6	咽頭弓の形成過程とその変遷について説明できる。
7	顔面および口蓋の形成過程とその異常を説明できる。
8	体腔形成の過程およびその異常を説明できる。
9	前腸の発生過程およびその異常を説明できる。
10	中腸および後腸の発生過程とその異常を説明できる。
11	呼吸器系の発生過程およびその異常を説明できる。
12	中枢神経系の発生過程を説明できる。
13	末梢神経系の発生過程を説明できる。

14	神経堤細胞の発生および分化について説明できる。
15	体壁および体肢の発生過程を説明できる。
16	尿生殖系系の発生過程およびその異常を説明できる。
17	視覚器の発生過程を説明できる。
18	平衡聴覚器の発生過程を説明できる。
19	発生異常の成り立ちとその病態について理解し、科学的に類推・考察できる。
20	講義および振り返りを通じて、人体への尊敬を理解し、幅広い知識の習得に向けて日々研鑽を続ける、医療専門職としての姿勢を身につける。

・ 講義場所

講義：東1-B講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時 限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標 番号	事前事後学修/ICT
講義	4/7(火)	1	人体発生学分野	木村 英二 教授	人体発生学1 発生第1週から第3週ま で：原腸形成	1,2,3,12, 14,15,19, 20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 原腸形成の過程とその意義について概説できる。 所要時間80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	4/7(火)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	人体発生学2 発生第3週から第8週ま で：胚子期	1,2,3,12, 14,15,19, 20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 三胚葉と神経堤細胞の分化について概説できる。 所要時間80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	4/9(木)	1	人体発生学分野 人体発生学分野	野中 茂紀 非常勤講師 木村 英二 教授	人体発生学3 軸の発生Ⅰ	1,2,3,19, 20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 体軸形成の概要を説明できる。 所要時間80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	4/9(木)	2	人体発生学分野 人体発生学分野	野中 茂紀 非常勤講師 木村 英二 教授	人体発生学4 軸の発生Ⅱ	1,2,3,19, 20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 体軸形成の概要を説明できる。 所要時間80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

講義	4/16(木)	1	人体発生学分野	足立 礼孝 助教	人体発生学5 体壁と体肢の発生	1,8,14,15, 19,20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 体壁と体肢の発生を概説できる。 所要時間80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	4/16(木)	2	人体発生学分野	足立 礼孝 助教	人体発生学6 鰓弓・顔面の発生	1,6,7,14, 15,19,20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 咽頭弓の形成と顔面と口蓋の形成を概説できる。 所要時間80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	4/23(木)	1	人体発生学分野	勝本 恵一 助教	人体発生学7 心臓の発生	1,4,5,14, 19,20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 心臓形成の過程とその異常について概説できる。 所要時間80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	4/23(木)	2	人体発生学分野	勝本 恵一 助教	人体発生学8 脈管の発生	1,4,5,19, 20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 大血管の発生過程とその異常を概説できる。 所要時間80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	4/28(火)	1	人体発生学分野	勝本 恵一 助教	人体発生学9 消化管の発生	1,2,3,8,9, 10,11,19, 20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 消化管の形成の過程とその異常を概説できる。 所要時間80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

講義	4/28(火)	2	人体発生学分野	勝本 恵一 助教	人体発生学10 肝胆膵・肺の発生	1,2,3,8,9, 10,11,19, 20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 前腸に由来する臓器の発生とその異常を概説できる。 所要時間80分以上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
講義	4/30(木)	1	人体発生学分野	足立 礼孝 助教	人体発生学11 神経系の発生	1,2,3,12, 13,14,19, 20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 神経系の発生過程を概説できる。 所要時間80分以上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
講義	4/30(木)	2	人体発生学分野	足立 礼孝 助教	人体発生学12 末梢神経と感覚器の発生	1,3,12, 13,14,17, 18,19,20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 ブラコード由来の臓器の発生過程を概説できる。 所要時間80分以上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
講義	5/7(木)	1	人体発生学分野	木村 英二 教授	人体発生学13 泌尿生殖器の発生	1,16,19, 20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 泌尿生殖器の発生とその異常を概説できる。 所要時間80分以上 【ICT】WebClassに事前小テストをアップする

講義	5/7(木)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	人体発生学14 外皮と内分泌系の発生・ 振り返りとまとめ	1,2,3,4,5,6, 7,8,9, 10,11,12, 13,14,15, 16,17,18, 19,20	【事前学修】 事前資料を読んで、解剖学用語を調べ、適切に使用できるように努める。 所要時間30分以上 【事後学修】 外皮と内分泌系の発生過程を説明できる。人体の発生過程の全容を概説できる。 所要時間80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
----	--------	---	---------	----------	------------------------------------	--	--

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参考書	ラングマン人体発生学 12版	T. W. Sadler 著、山田重人(翻訳)、安田峯生(翻訳)	メディカルサイエンス・インターナショナル	2024
参考書	カラー図解 人体発生学講義ノート 第2版	塩田浩平 著	金芳堂	2018
参考書	カラー版 ラーセン人体発生学 第4版	ゲイリー C. シェーンウォルフほか著、仲村 春和、大谷浩 訳	西村書店	2013
参考書	ムーア人体発生学 原著第11版	K.L.Moore (原著)、大谷 浩(翻訳)、小川 典子(翻訳)、松本 暁洋(翻訳)	医歯薬出版	2022
参考書	Human Embryology and Developmental Biology 第7版	Bruce M. Carlson MD PhD	Elsevier	2023

・成績評価方法

【総括評価】 期末試験(90%)、特別講義における提出物(10%)で評価し、100点満点に換算して60点以上を合格とする。								
【形成的評価】 講義内容を振り返りより深く理解できるように、各講義ごとに振り返りシートまたはMCQ問題を作成させる。また遅刻・欠席を繰り返す学生に対しては、個別に面談を実施して改善を促す。								
到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1-20	1,2,4		10		90			100
合計			10		90			100

・特記事項・その他

<p>シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジユメを用いて事前学修(予習・復習)を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を、事後学修は最低80分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。</p> <p>講義では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。なお講義資料はWebClassで事前に配信する。</p> <p>当該科目に関連する実務経験の有無 有</p> <p>大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。</p>
--

・教育資源

教科書・参考書、講義室、PC画面投影装置、ノートパソコン(演習の際には各自のノートPCを持参すること)

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	MacBook Pro Apple MX2K3J/A	1	講義や講義資料の作成に使用
講義	ビデオカメラ 一式 Panasonic HCVX3K	1	講義や講義資料の作成に使用
講義	デジタルカラー複合機 RICOH RICOH IM C4510F	1	講義や講義資料の作成に使用

臨床解剖学

ナンバリング M2-S1-E02

責任者・コーディネーター		人体発生学分野 木村 英二 教授	
担当講座・学科(分野)		人体発生学分野、細胞生物学分野、放射線医学講座、心臓血管外科学講座、外科学講座、呼吸器外科学講座、脳神経外科学講座	
担当教員		木村 英二 教授、金 一 教授、齊藤 元 教授、折居 誠 講師、馬場 誠朗 講師、中野 真人 特任講師、足立 礼孝 助教、勝本 恵一 助教、平川 正人 助教、菊地 晃司 助教、大志田 創太郎 助教、相澤 幸夫 非常勤講師、金澤 潤 非常勤講師	
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 20コマ 40.0時間
期間	後期		演習 0コマ 0.0時間 実習 79コマ 158.0時間

・学習方針(講義概要等)

人体構造に関する幅広い知識を修得し、臨床の現場において応用できる能力を身につけることを目的として、献体してくださった方々のご遺体を用いて解剖実習を行います。人体(生命体)を機能単位ごとに整理して理解する系統解剖学は、神経系・心臓血管系・呼吸器系・運動器系・消化器系・泌尿器系・生殖器系などに区分され、各臓器の構造を重視する学問領域です。一方、臨床医学の現場では、局所ごとに神経・血管・結合組織、筋や臓器、さらにそれらの表面を被う膜が、どのような位置関係にあるかを立体的に把握することが重要となります。系統解剖学と臨床局所解剖学は、それぞれ異なる視点から人体を理解する枠組みであり、本科目では両者を統合することで、人体の構造と機能を三次元的に思考できる能力の獲得を目指します。

本科目では、学生自らが神経および血管の分布を中心に、各器官の相互関係や特定領域を構成する要素の配置を形態学的に確認し、人体の活動を構造と機能の関連として説明できる知識を身につけることが求められます。その達成のために必要となる十分な学修環境と学修時間を提供します。

・教育成果(アウトカム)

篤志献体されたご遺体を自らの手で解剖する実習を通じて、臨床医学を学び、将来医療活動を行ううえで必要となる人体構造の多様性を理解できるようになります。また、解剖学用語を正確かつ適切に想起し、使用できる能力を身につけます。

4~5人で構成されるチームで解剖を進める過程において、他者との協働を通じたコミュニケーション能力が向上するとともに、知識や観察結果を共有する方法を習得します。さらに、人体構造の精緻さを観察・記録することを通じて、人体に対する畏敬の念を涵養すると同時に、事象を正確に図式化し記載することの重要性とその難しさを理解します。

実習を通じて、当初は困難であると感じていた課題を達成する経験を積むことで、学修に対する充実感を得るとともに、自身の能力開発に対する自信を深めることが期待されます。さらに、授業や実習に先立って配付される資料や教科書等を用いて十分な予習を行うことで、実習中の理解が促進され、作業効率の向上につながります。一方で、教科書的記載とは異なる想定外の構造的変異に遭遇することもあり、そのような場合には、変異の成因や背景について考察することで、科学的な推論力を養うことができます。

(ディプロマ・ポリシー: 1,2,3,4,6)

・到達目標(SBOs)

No.	項目
1	人体構造の概要について、解剖学用語を用いて説明できる。
2	人体を構成する各器官の構造および相互関係について、解剖学用語を用いて説明できる。
3	人体の特定領域における形態学的特徴について、解剖学用語を用いて説明できる。
4	実習の目的を理解したうえで、チームの一員として協調しながら解剖実習を遂行できる。
5	科学的な観察に基づいて、実習記録およびスケッチを作成できる。
6	局所解剖学的知識を、臨床医学の学修に応用できる。
7	献体してくださった方々の意思を理解し、それに応える姿勢として、医師を目指す者に求められる向上心および自己規律を身につける。

・講義場所

講義: 東1-B講義室 実習: 西4-C・西4-D実習室

・講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時間	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標 番号	事前事後学修/ICT
講義	8/31(月)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	臨床解剖学講義 1 体幹腹側浅層の解剖 解剖実習の心得 皮むきと皮神経の剖出法 体幹腹側の皮神経と皮静脈	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	8/31(月)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 1 体幹前面の体表の観察と記録 前胸腹壁の剥皮 胸腹部前面皮下の皮静脈、皮神経（前皮枝）、乳腺枝の剖出	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	8/31(月)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 1 体幹前面の体表の観察と記録 前胸腹壁の剥皮 胸腹部前面皮下の皮静脈、皮神経（前皮枝）、乳腺枝の剖出	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	9/1(火)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	臨床解剖学講義 2 背側浅層の解剖 脊髄神経の前枝と後枝 皮枝と筋枝 背部の皮神経 背部浅層の解剖 殿部の解剖	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/1(火)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 2 前胸腹壁の剥皮 胸腹部前面皮下の皮静脈、皮神経（前皮枝）、乳腺枝の剖出 胸腹部外側皮下の皮神経 RCLと乳腺外側枝の剖出 頸部の剥皮と広頸筋の剖出 頸神経叢の皮神経の剖出	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	9/1(火)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 2 前胸腹壁の剥皮 胸腹部前面皮下の皮静脈、皮神経（前皮枝）、乳腺枝の剖出 胸腹部外側皮下の皮神経 RCLと乳腺外側枝の剖出 頸部の剥皮と広頸筋の剖出 頸神経叢の皮神経の剖出	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/2(水)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師	臨床解剖学実習 3 体表背面の観察と記録 背中 of 剥皮と皮神経（後枝皮枝）の剖出	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点をそれぞれ100字程度に纏め、ポートフォリオに記載する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/2(水)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師	臨床解剖学実習 3 体表背面の観察と記録 背中 of 剥皮と皮神経（後枝皮枝）の剖出	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/3(木)	2	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 4 背中 of 剥皮（腋窩も含む） 背中 of 皮神経（後頭と殿部まで）の剖出	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/3(木)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教	臨床解剖学実習 4 背中 of 剥皮（腋窩も含む） 背中 of 皮神経（後頭と殿部まで）の剖出	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	9/3(木)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 4 背中の剥皮（腋窩も含む） 背中の皮神経（後頭と殿部まで）の剖出	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	9/7(月)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	臨床解剖学講義 3 頸部・大腿伸側浅層の解剖 頸部の解剖 頸神経叢 大腿伸側浅層の解剖	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/7(月)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 5 頸部浅層の筋・血管・神経の剖出 大腿伸側の剥皮と皮下の静脈と神経、大腿筋膜の剖出 大腿伸側の浅層と大腿内側の筋、神経、血管の剖出	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/7(月)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 5 頸部浅層の筋・血管・神経の剖出 大腿伸側の剥皮と皮下の静脈と神経、大腿筋膜の剖出 大腿伸側の浅層と大腿内側の筋、神経、血管の剖出	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	9/8(火)	2	人体発生学分野	中野 真人 特任講師	臨床解剖学講義 4 下肢① 大腿伸側の解剖 殿部および大腿屈側の解剖 膝関節および股関節の解剖	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	9/8(火)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 6 頸部浅層の筋・血管・神経の剖出 大腿伸側の剥皮と皮下の静脈と神経、大腿筋膜の剖出 大腿伸側の浅層と大腿内側の筋、神経、血管の剖出	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/8(火)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 6 頸部浅層の筋・血管・神経の剖出 大腿伸側の剥皮と皮下の静脈と神経、大腿筋膜の剖出 大腿伸側の浅層と大腿内側の筋、神経、血管の剖出	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/9(水)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 7 浅背筋の剖出と起始離断 殿部と大腿屈側の筋と血管と神経	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/9(水)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 7 浅背筋の剖出と起始離断 殿部と大腿屈側の筋と血管と神経	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	9/10(木)	2	人体発生学分野	中野 真人 特任講師	臨床解剖学講義 5 上肢① 腕神経叢 体幹と四肢との境界 体幹腹側の解剖 上腕の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	9/10(木)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 8 背側における上肢帯筋の停止部を剥離（肩甲骨の開放） 殿部と大腿屈側の深層の解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/10(木)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 8 背側における上肢帯筋の停止部を剥離（肩甲骨の開放） 殿部と大腿屈側の深層の解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/14(月)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 9 頸部深層の解剖 胸筋群とその周囲の解剖 大腿深層の解剖 大腿伸筋と内転筋群	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/14(月)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 9 頸部深層の解剖 胸筋群とその周囲の解剖 大腿深層の解剖 大腿伸筋と内転筋群	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	9/15(火)	2	人体発生学分野	中野 真人 特任講師	臨床解剖学講義 6 下肢② 膝窩と下腿の解剖 下腿の筋と神経と血管の分布と走行 距腿関節・足背・足底の解剖 下肢の筋と支配神経のまとめ	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	9/15(火)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 10 頭部深層の解剖 胸筋群とその周囲の解剖 大鎖骨上窩と腋窩の開放 (鎖骨除去) 大腿深層の解剖 大腿伸筋と内転筋群	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/15(火)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 10 頭部深層の解剖 胸筋群とその周囲の解剖 大鎖骨上窩と腋窩の開放 (鎖骨除去) 大腿深層の解剖 大腿伸筋と内転筋群	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/16(水)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師	臨床解剖学実習 11 上腕の剥皮・皮神経・皮静脈の剖出 上腕内側筋間中隔の開放 腕神経叢の剖出 大腿深層の解剖 大腿伸筋と内転筋群 下腿伸側・足背の剥皮・皮神経皮静脈	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/16(水)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師	臨床解剖学実習 11 上腕の剥皮・皮神経・皮静脈の剖出 上腕内側筋間中隔の開放 腕神経叢の剖出 大腿深層の解剖 大腿伸筋と内転筋群 下腿伸側・足背の剥皮・皮神経皮静脈	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

講義	9/17(木)	2	人体発生学分野	中野 真人 特任講師	臨床解剖学講義 7 上肢② 上腕の筋と神経と血管の分布と走行 前腕の筋と神経と血管の分布と走行 肘関節および手関節の構造と運動 手根管 手指の筋と神経と血管の分布と走行 上肢の筋と支配神経のまとめ	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/17(木)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教	臨床解剖学実習 1 2 腕神経叢の剖出 上腕屈側の解剖 下腿伸側・足背の解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/17(木)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教	臨床解剖学実習 1 2 腕神経叢の剖出 上腕屈側の解剖 下腿伸側・足背の解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/24(木)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 1 3 腕神経叢の剖出 上腕屈側の解剖 下腿伸側・足背の解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	9/24(木)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 1 3 腕神経叢の剖出 上腕屈側の解剖 下腿伸側・足背の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	9/28(月)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	臨床解剖学講義 8 胸腹壁の解剖 胸壁と胸郭 腹壁の構造 体壁の神経と血管の分布 鼠径管の構成 開胸開腹手順	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/28(月)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 1 4 上腕伸側の剥皮・皮神経の剖出 上腕伸側の筋と神経と血管の解剖 腋窩隙の解剖 前腕伸側・手背の剥皮、皮神経と皮静脈の剖出 殿部および大腿屈側、下腿屈側・外側の筋と神経と血管の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	9/28(月)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 1 4 上腕伸側の剥皮・皮神経の剖出 上腕伸側の筋と神経と血管の解剖 腋窩隙の解剖 前腕伸側・手背の剥皮、皮神経と皮静脈の剖出 殿部および大腿屈側、下腿屈側・外側の筋と神経と血管の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	9/29(火)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	臨床解剖学講義 9 胸部内臓① 胸腺 胸膜と胸膜腔 心膜と心膜腔 気管と肺の解剖 心臓肺摘出 スケッチの描き方①	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	9/29(火)	3	<p>人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野</p>	<p>木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師</p>	<p>臨床解剖学実習 1 5 上腕伸側の剥皮・皮神経の剖出 上腕伸側の筋と神経と血管の解剖 腋窩隙の解剖 前腕伸側・手背の剥皮 皮神経と皮静脈の剖出 殿部および大腿屈側 下腿屈側・外側の筋と神経と血管の解剖 足底の解剖</p>	1.2,3,4,5,6,7	<p>【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する</p>
実習	9/29(火)	4	<p>人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野</p>	<p>木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師</p>	<p>臨床解剖学実習 1 5 上腕伸側の剥皮・皮神経の剖出 上腕伸側の筋と神経と血管の解剖 腋窩隙の解剖 前腕伸側・手背の剥皮 皮神経と皮静脈の剖出 殿部および大腿屈側 下腿屈側・外側の筋と神経と血管の解剖 足底の解剖</p>	1.2,3,4,5,6,7	<p>【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する</p>
実習	9/30(水)	3	<p>人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 呼吸器外科学講座 人体発生学分野</p>	<p>木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師 齊藤 元 教授 相澤 幸夫 非常勤講師</p>	<p>臨床解剖学実習 1 6 側腹筋 腹部の肋間神経 腹直筋鞘の解剖 鼠径管の解剖 臨床ミニ講義</p>	1.2,3,4,5,6,7	<p>【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する</p>
実習	9/30(水)	4	<p>人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 呼吸器外科学講座 人体発生学分野</p>	<p>木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師 齊藤 元 教授 相澤 幸夫 非常勤講師</p>	<p>臨床解剖学実習 1 6 側腹筋 腹部の肋間神経 腹直筋鞘の解剖 鼠径管の解剖 臨床ミニ講義</p>	1.2,3,4,5,6,7	<p>【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する</p>

実習	10/1(木)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 1 7 開胸と開腹 前縦隔、上縦隔 心周囲の大血管 心臓神経の解剖 腹部内臓の概観 腹膜、腸間膜、腸管極部の観察解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で割出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/1(木)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 1 7 開胸と開腹 前縦隔、上縦隔 心周囲の大血管 心臓神経の解剖 腹部内臓の概観 腹膜、腸間膜、腸管極部の観察解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で割出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	10/5(月)	2	人体発生学分野	足立 礼孝 助教	臨床解剖学講義 1 0 胸部内臓② 縦隔の構成 心臓の解剖 胸部大血管 胸部の神経 甲状腺と胸腺 後胸壁の解剖	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/5(月)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 放射線医学講座	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 折居 誠 講師	臨床解剖学実習 1 8 前縦隔、上縦隔、心周囲の大血管、心臓神経の解剖 心膜、心門、胸膜の解剖と心臓と肺の摘出 臨床ミニ講義	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で割出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/5(月)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 放射線医学講座	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 折居 誠 講師	臨床解剖学実習 1 8 前縦隔、上縦隔、心周囲の大血管、心臓神経の解剖 心膜、心門、胸膜の解剖と心臓と肺の摘出 臨床ミニ講義	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で割出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

講義	10/6(火)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	臨床解剖学講義 1 1 腹部内臓① 消化器系の概要 腹膜の構成 (網嚢・網嚢孔・大網・小網) 肝臓の間膜 腹部内臓一括摘出	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/6(火)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 心血管外科学講座	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金 一 教授	臨床解剖学実習 1 9 心臓外景 (摘出心) 肺外景 (摘出肺) 網嚢の構成の確認 臨床ミニ講義	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/6(火)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 心血管外科学講座	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金 一 教授	臨床解剖学実習 1 9 心臓外景 (摘出心) 肺外景 (摘出肺) 網嚢の構成の確認 臨床ミニ講義	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/8(木)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 外科学講座 外科学講座	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 馬場 誠朗 講師 菊地 晃司 助教	臨床解剖学実習 2 0 網嚢の構成の確認と肝臓の横隔膜からの剥離 後縦隔および後胸壁の解剖 臨床ミニ講義	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/8(木)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 外科学講座 外科学講座	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 馬場 誠朗 講師 菊地 晃司 助教	臨床解剖学実習 2 0 網嚢の構成の確認と肝臓の横隔膜からの剥離 後縦隔および後胸壁の解剖 臨床ミニ講義	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

講義	10/13(火)	2	人体発生学分野	勝本 恵一 助教	臨床解剖学講義 1 2 腹部内臓② 消化管の構造 胃間膜の臓器：脾臓と脾臓、 肝臓の構造と胆路 腹部内臓の血行支配と神経支配 横隔膜の解剖	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/13(火)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 2 1 下位腸間膜の血管と神経の剖出と生理的癒着部の剥離 後胃間膜の剥離と上腸間膜動脈の枝の剖出 後縦隔および後胸壁の解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/13(火)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 2 1 下位腸間膜の血管と神経の剖出と生理的癒着部の剥離 後胃間膜の剥離と上腸間膜動脈の枝の剖出 後縦隔および後胸壁の解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/14(水)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師	臨床解剖学実習 2 2 後胃間膜の剥離と腹腔動脈/腹腔神経節の解剖 腹部内臓の摘出 後縦隔および後胸壁の解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/14(水)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師	臨床解剖学実習 2 2 後胃間膜の剥離と腹腔動脈/腹腔神経節の解剖 腹部内臓の摘出 後縦隔および後胸壁の解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

講義	10/15(木)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	臨床解剖学講義 1 3 腹部内臓③ 腎臓と尿管・膀胱の解剖 副腎とその支配血管 後腹壁と周囲臓器の解剖 スケッチの描き方②	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】WebClassに事前資料を配付する
実習	10/15(木)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 2 3 後縦隔および後胸壁の解剖 消化管を支配する血管系の解剖 肝臓の解剖 心臓内景の解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で割出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】WebClassに事前資料を配付する
実習	10/15(木)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 2 3 後縦隔および後胸壁の解剖 消化管を支配する血管系の解剖 肝臓の解剖 心臓内景の解剖	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で割出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】WebClassに事前資料を配付する
講義	10/19(月)	2	人体発生学分野 人体発生学分野	金澤 潤 非常勤講師 木村 英二 教授	臨床解剖学講義 1 4 会陰と外生殖器 会陰の構成：直腸と肛門、肛門挙筋と尿生殖隔膜の構成と支配神経 骨盤内臓の構成：膀胱と尿道の構造と分布する血管、神経 腰神経叢と仙骨神経叢の構成と分布	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】WebClassに事前資料を配付する
実習	10/19(月)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師	臨床解剖学実習 これまでの実習の振り返り①	1,2,3,4,5,6,7	【事前学修】 これまでの実習を振り返り、チェックリストの項目を説明できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 振り返りで説明を受けた項目の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】WebClassに事前資料を配付する

実習	10/19(月)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師	臨床解剖学実習 これまでの実習の振り返り①	1,2,3,4,5,6 ,7	【事前学修】 これまでの実習を振り返り、チェックリスの項目を説明できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 振り返りで説明を受けた項目の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/20(火)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 2 4 後縦隔および後胸壁の解剖 腹腔神経節および副腎周囲浅層の解剖 腎周囲の血管系および内臓神経の解剖	1,2,3,4,5,6 ,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/20(火)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 2 4 後縦隔および後胸壁の解剖 腹腔神経節および副腎周囲浅層の解剖 腎周囲の血管系および内臓神経の解剖	1,2,3,4,5,6 ,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	10/22(木)	2	人体発生学分野	中野 真人 特任講師	臨床解剖学講義 1 5 背中の解剖 固有背筋と後頭下筋群の構成とその走行 脊髄神経との関係 脊柱管と脊髄	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/22(木)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 2 5 胸部と腰部の固有背筋の解剖 後頭部と頸部の固有背筋 後頭下筋と後頭下深部の解剖	1,2,3,4,5,6 ,7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	10/22(木)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 2 5 胸部と腰部の固有背筋の解剖 後頭部と頸部の固有背筋 後頭下筋と後頭下深部の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	10/26(月)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	臨床解剖学講義 1 6 脳頭蓋と髄膜 脳摘出の方法	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/26(月)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 2 6 脊柱管の開放	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/26(月)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 2 6 脊柱管の開放	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	10/27(火)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	臨床解剖学講義 1 7 骨盤内臓器の解剖と分布する血管、神経 骨盤神経叢の構成と分布	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	10/27(火)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 脳神経外科学講座	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師 大志田 創太郎 助教	臨床解剖学実習 2 7 脳摘出 脊髄の摘出 脊髄および脊髄神経の観察 臨床ミニ講義	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/27(火)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 脳神経外科学講座	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師 大志田 創太郎 助教	臨床解剖学実習 2 7 脳摘出 脊髄の摘出 脊髄および脊髄神経の観察 臨床ミニ講義	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/28(水)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 金澤 潤 非常勤講師 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 2 8 鼠径管周囲の観察 腹腔内の腰神経叢の解剖 会陰の尿生殖部の剥皮と浅層の解剖 前腕屈側と手掌浅層の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/28(水)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 金澤 潤 非常勤講師 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 2 8 鼠径管周囲の観察 腹腔内の腰神経叢の解剖 会陰の尿生殖部の剥皮と浅層の解剖 前腕屈側と手掌浅層の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	10/29(木)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	臨床解剖学講義 1 8 頭部の解剖① 頭部離断と頭部切半のための解剖 神経頭蓋の構造 脳神経の概要 脳神経 (X・XI・XII)	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	10/29(木)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 2 9 腹腔内の腰神経叢の解剖 前腕伸側と手背の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	10/29(木)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 相澤 幸夫 非常勤講師	臨床解剖学実習 2 9 腹腔内の腰神経叢の解剖 前腕伸側と手背の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	11/2(月)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	臨床解剖学講義 1 9 頭部の解剖② 顔面の知覚の神経支配 顔面表情筋の分布と神経支配 鼻腔、口腔、咽頭と喉頭の解剖 側頭下窩の解剖	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	11/2(月)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 3 0 後頭鱗の除去と頭関節の解剖 殿部と大腿屈側の筋と血管と神経 殿部および大腿屈側、下腿屈側・足底の筋と神経と血管 会陰の尿生殖部の剥皮と浅層の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	11/2(月)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 3 0 後頭鱗の除去と頭関節の解剖 殿部と大腿屈側の筋と血管と神経 殿部および大腿屈側、下腿屈側・足底の筋と神経と血管 会陰の尿生殖部の剥皮と浅層の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	11/4(水)	3	<p>人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野</p>	<p>木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師</p>	<p>臨床解剖学実習 3 1 頭部離断の前処置 頭部離断 腹腔内の腰神経叢の解剖</p>	1,2,3,4,5,6 ,7	<p>【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する</p>
実習	11/4(水)	4	<p>人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野</p>	<p>木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師</p>	<p>臨床解剖学実習 3 1 頭部離断の前処置 頭部離断 腹腔内の腰神経叢の解剖</p>	1,2,3,4,5,6 ,7	<p>【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する</p>
実習	11/5(木)	3	<p>人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野</p>	<p>木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教</p>	<p>臨床解剖学実習 3 2 頭部の正中切半と顔面の剥皮 耳下腺と下顎後隙の解剖 骨盤内臓の解剖と折半 会陰の神経と血管の解剖 骨盤内臓の構成</p>	1,2,3,4,5,6 ,7	<p>【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する</p>
実習	11/5(木)	4	<p>人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野</p>	<p>木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教</p>	<p>臨床解剖学実習 3 2 頭部の正中切半と顔面の剥皮 耳下腺と下顎後隙の解剖 骨盤内臓の解剖と折半 会陰の神経と血管の解剖 骨盤内臓の構成</p>	1,2,3,4,5,6 ,7	<p>【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する</p>

実習	11/9(月)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 3 3 頭部切半の内面の観察 鼻腔と口腔の神経の解剖 咀嚼筋群の剖出と下顎骨の露出 骨盤内臓の解剖 仙骨神経叢と内腸骨動脈の枝の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	11/9(月)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 3 3 頭部切半の内面の観察 鼻腔と口腔の神経の解剖 咀嚼筋群の剖出と下顎骨の露出 骨盤内臓の解剖 仙骨神経叢と内腸骨動脈の枝の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	11/10(火)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 3 4 側頭下窩深部の解剖 仙骨神経叢と内腸骨動脈の枝の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	11/10(火)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 3 4 側頭下窩深部の解剖 仙骨神経叢と内腸骨動脈の枝の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	11/11(水)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 金澤 潤 非常勤講師	臨床解剖学実習 3 5 側頭下窩深部の解剖 仙骨神経叢と内腸骨動脈 の枝の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	11/11(水)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 金澤 潤 非常勤講師	臨床解剖学実習 3 5 側頭下窩深部の解剖 仙骨神経叢と内腸骨動脈 の枝の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
講義	11/16(月)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	臨床解剖学講義 2 0 頭部の解剖③ 眼窩の解剖(視覚器) 側頭骨の解剖(平衡聴覚器)	1,2,3,6,7	【事前学修】 事前配布資料を読んで、解剖学用語を調べて講義の概要を把握しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義で学んだ項目の要点を振り返り、重要な点をまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	11/16(月)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 3 6 海綿静脈洞の解剖 眼窩の開放と眼窩内容の解剖 股関節・膝関節の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	11/16(月)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 3 6 海綿静脈洞の解剖 眼窩の開放と眼窩内容の解剖 股関節・膝関節の解剖	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する

実習	11/17(火)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 3 7 外耳・中耳の解剖 内耳の解剖 肩関節・肘関節の解剖 消化管内腔の観察 膵管と胆管の内腔の観察	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	11/17(火)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教	臨床解剖学実習 3 7 外耳・中耳の解剖 内耳の解剖 肩関節・肘関節の解剖 消化管内腔の観察 膵管と胆管の内腔の観察	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 実習要項を読んで、解剖学用語を調べ、実習内容について速やかに実施できるよう準備する。所要時間 60分 【事後学修】 実習で剖出した項目をチェックリストで振り返り、それぞれの構造の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	11/18(水)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師	臨床解剖学実習 これまでの実習の振り返り②	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 これまでの実習を振り返り、チェックリストの項目を説明できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 振り返りで説明を受けた項目の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
実習	11/18(水)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師	臨床解剖学実習 これまでの実習の振り返り②	1,2,3,4,5,6 .7	【事前学修】 これまでの実習を振り返り、チェックリストの項目を説明できるように準備する。所要時間 60分 【事後学修】 振り返りで説明を受けた項目の特徴についてまとめておく。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに事前資料を配付する
納棺	12/8(火)	3	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師	納棺	4,7	【事前学修】 実習を振り返りご遺体への感謝の気持ちを確認する。所要時間 30分 【事後学修】 実習を振り返りご遺体への感謝の気持ちを確認する。所要時間 30分
納棺	12/8(火)	4	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	木村 英二 教授 中野 真人 特任講師 勝本 恵一 助教 足立 礼孝 助教 平川 正人 助教 金澤 潤 非常勤講師	納棺	4,7	【事前学修】 実習を振り返りご遺体への感謝の気持ちを確認する。所要時間 30分 【事後学修】 実習を振り返りご遺体への感謝の気持ちを確認する。所要時間 30分

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参考書	分担 解剖学 改定11版 全3冊	森 於菟、小川 鼎三、大内 弘、森 富 著	金原出版	1982
参考書	人体解剖学: Human Anatomy 改訂42版	藤田恒太郎 著	南江堂	2003
参考書	解剖学講義 第3版	伊藤隆 著、高野廣子 編集	南山堂	2012
参考書	グレイ解剖学 原著第5版	Richard L.Drake、A.Wayne Vogl、Adam W.M.Mitchell著、秋田恵一 訳	エルゼビア ジャパン株式会社	2024
参考書	ネッター解剖学アトラス 原著7版	F.H.Netter著、相磯貞和/今西 宣晶監訳	南江堂	2022
参考書	グラント解剖学図譜 第8版	Anne M. R. Agur, Arthur F. Dalley 著、坂井 建雄 訳	医学書院	2022
参考書	プロメテウス解剖学コアアトラス	Anne M. Gilroy, Brian R. MacPherson, Jamie C. Wikenheiser 著、坂井建雄監訳	医学書院	2022
参考書	解剖学カラーアトラス 第9版	坂井建雄、松村讓児 監訳	医学書院	2023
参考書	ソボッタ解剖学アトラス 原書24版 第1-3巻	Friedrich Paulsen、Jens Waschke 著・監修、山田重人 訳	丸善出版	2022
参考書	イラスト解剖学 第10版	松村 讓児 (著)	中外医薬社	2021

・成績評価方法

【総括評価】

進級試験(70%)、実習の記録・割出(20%)、実習態度(10%)で評価し、100点満点に換算して60点以上を合格とする。定期試験受験のためには、体調不良や身内の不幸を除き、全ての実習に出席しなければならない(実習の特殊性から安易に実習を欠席することは厳に慎むこと)。尚、ご遺体に対して不適切な行動を認めた場合や実習室における規則を守らない場合、正当な理由なく実習への遅刻欠席を複数回認めた場合は、実習記録の割合を超えて大幅な減点を行う場合もある。

【形成的評価】

実習中に適宜口頭試問を行い、学生の理解度を確認し、その場でフィードバックする。また実習の態度不良な学生や遅刻・欠席を繰り返す学生に対しては、個別に面談を実施して改善を促す。改善されない場合は、個別に予習シートを作成を課す。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
4,7	1-3,6						10	10
1-3,6	4		10		70		10	90
合計			10		70		20	100

・特記事項・その他

実習開始前に提示する実習室における規則を順守すること。シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジュメ等を用いて事前事後学修(予習・復習)を十分行うこと。各授業に対する事前・事後学修の時間は最低60分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

講義資料は事前にWebClassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

授業用配布資料、参考書

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	解剖実習セット	40	解剖学実習
実習	実体顕微鏡	33	摘出組織の観察
講義・実習	パソコン (HR3300)	1	学生用教材作成・データ管理
講義・実習	パソコン (Mate MY24R/A-5)	1	学生用教材作成・データ管理
講義・実習	一眼レフカメラ (EOSKISSX3 LKIT)	1	標本撮影
講義・実習	パソコン (Endeavor MR6000)	1	ビデオ編集
講義・実習	ノートパソコン YOGA 710 一式	1	講義実習のため

器官生理学

ナンバリング	M2-S1-B09
--------	-----------

責任者・コーディネーター	統合生理学分野 中隴 克己 教授		
担当講座・学科（分野）	統合生理学分野、腎・高血圧内科分野		
担当教員	中隴 克己 教授、旭 浩一 教授、鈴木 喜郎 准教授、木村 眞吾 准教授、望月 圭 講師、駒切 洋 助教、鈴木 享 助教、佐藤 洋一 非常勤講師、古山 和道 非常勤講師		
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 27コマ 54.0時間
期間	前期		演習 0コマ 0.0時間
			実習 20コマ 40.0時間

・学習方針（講義概要等）

生理学は生体の機能とそのメカニズム（仕組み）を理解する学問であり、構成体（分子、細胞、組織、器官）から個体に至るまでの各レベルに備わる機能を対象とする。器官生理学では解剖学的・生化学的知見に立脚しながら、各器官系の正常機能のしくみ、さらには器官系－器官系間の機能連関について学習する。そして個体の正常機能の発現様式を学ぶことを通して、臨床医学における多様な病因と病態生理を理解するための基盤となる広範な生理学的知識体系の修得を目指す。

・教育成果（アウトカム）

一般生理学の知識を礎に、医科生理学としての各器官系の機能について学ぶ。各論として循環器生理学、消化器生理学、腎・体液生理学、内分泌生理学、代謝・環境生理学についての理解を深めることで、臨床医学分野における多様な病態を生理学的観点から考察できるようになる。

（ディプロマ・ポリシー： 2,4,6 ）

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	心臓の基本的機能と血液循環について概説できる。
2	刺激伝導系と心筋の活動電位について説明できる。
3	心電図の成立機序と代表的な異常心電図について説明できる。
4	心周期と興奮・収縮連関について説明できる。
5	心機能の神経性、体液性調節について説明できる。
6	動脈循環の特性について説明できる。
7	静脈循環と微小循環の特性について説明できる。
8	特殊部位（脳、心臓、胎児・胎盤）の循環について説明できる。
9	血行力学と血圧調節について説明できる。
10	腎糸球体濾過の機序について説明できる。
11	腎クリアランスの意義とその応用について説明できる。
12	近位、および遠位尿細管機能について説明できる。
13	尿細管に作用するホルモンとその作用について説明できる。
14	腎による体液調節の機序について説明できる。
15	視床下部・下垂体ホルモンの種類と作用について説明できる。
16	甲状腺ホルモンの合成・分泌と作用について説明できる。
17	ホルモンによる骨・カルシウム代謝について説明できる。
18	膵臓の内分泌機能について説明できる。
19	副腎ホルモンの種類とそれぞれの作用について説明できる。
20	生殖器系の機能について説明できる。
21	消化器系の機能を概説できる。
22	口腔内消化について説明できる。
23	胃消化と胃酸分泌機序について説明できる。
24	膵液・胆汁の分泌機序とその作用について説明できる。
25	肝臓の正常構造と機能を説明できる。
26	小腸での栄養素の消化・吸収について説明できる。

27	大腸の機能と排便反射について説明できる。
28	ヒトのエネルギー代謝について説明できる。
29	体温の調節メカニズムについて説明できる。
30	種々の環境下における生体の反応について説明できる。
31	加齢に伴う身体機能の諸変化について説明できる。
32	適切な服装、真摯な態度で実習に参加できる。
33	チームワークを意識して実習に参加できる。
34	実習に際して、グループ員や指導教員と適切なコミュニケーションをとることができる。
35	実習で得られたデータを統計学的に解析することができる。
36	実習で得られたデータを元に発表原稿を作成し、プレゼンテーションソフトを用いて発表できる。

・ 講義場所

講義：東1-B講義室 実習：西2-C実習室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標 番号	事前事後学修/ICT
講義	4/3(金)	3	統合生理学分野	鈴木 喜郎 准教授	【腎・体液生理Ⅰ】 腎血流量と糸球体濾過	10,11	【事前学修】 腎血管系と糸球体濾過について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	4/3(金)	4	統合生理学分野	鈴木 喜郎 准教授	【腎・体液生理Ⅱ】 尿細管の機能	12,13,14	【事前学修】 近位尿細管、ヘンレループ、遠位尿細管、集合管の役割について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	4/6(月)	3	統合生理学分野	鈴木 喜郎 准教授	【腎・体液生理Ⅲ】 尿の濃縮/希釈	12,14	【事前学修】 ヘンレループの対向流増幅機構について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする

講義	4/6(月)	4	統合生理学分野	鈴木 喜郎 准教授	【腎・体液生理Ⅳ】 体液浸透圧と体液量の調節	13,14	【事前学修】 バソプレシンとアルドステロンの作用について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	4/8(水)	3	統合生理学分野	望月 圭 講師	【腎・体液生理Ⅴ】 腎臓の酸塩基輸送、排尿	12,14	【事前学修】 尿細管における酸分泌と重炭酸再吸収について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	4/8(水)	4	統合生理学分野	中隲 克己 教授	【循環器生理Ⅰ】 心臓のポンプ機能	4	【事前学修】 静脈還流量と心拍出量について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	4/13(月)	3	腎・高血圧内科分野	旭 浩一 教授	【腎・体液生理Ⅵ】 腎臓の臨床	10,11,12, 13,14	【事前学修】 腎不全・尿毒症について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする

講義	4/13(月)	4	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	【循環器生理Ⅱ】 心筋の基本的特性と電気的活動	1,2	【事前学修】 固有筋と特殊心筋（刺激伝導系）の違いと、刺激伝導系の構成について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	4/15(水)	4	統合生理学分野	望月 圭 講師	【腎・体液生理Ⅶ】 酸塩基平衡の制御と異常	12,14	【事前学修】 体液緩衝系について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	4/22(水)	1	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	【循環器生理Ⅲ】 心筋の興奮と心電図	3	【事前学修】 心電図各波形の名称と波形の意味することについて参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	4/22(水)	2	統合生理学分野	中隴 克己 教授	【循環器生理Ⅳ】 心機能の調節	5	【事前学修】 心機能に対するカテコラミンの作用について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする

講義	4/24(金)	3	統合生理学分野	鈴木 喜郎 准教授	【循環器生理Ⅴ】 血管系の機能的特性と動 静脈循環・微小循環	6,7,9	【事前学修】 血管系の解剖学的区分と生 理的区分（機能的区分）に ついて参考書の該当する箇 所を読み、A4版1枚程度に まとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い 「講義内容詳細および到達 目標」について図説したま とめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資 料をWebClassにアップロー ドする
講義	4/24(金)	4	統合生理学分野	鈴木 喜郎 准教授	【循環器生理Ⅵ】 特殊部位の循環、血流・ 血圧の調節	8,9	【事前学修】 脳循環、冠循環、および胎 児・胎盤循環の特性につい て参考書の該当する箇所を 読み、A4版1枚程度にまと めておく。所要時間 60分 以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い 「講義内容詳細および到達 目標」について図説したま とめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資 料をWebClassにアップロー ドする
講義	5/1(金)	3	統合生理学分野	望月 圭 講師	【生殖生理Ⅰ】 性ホルモンと性周期	20	【事前学修】 生殖器系の機能について参 考書の該当する箇所を読 み、A4版1枚程度にまとめ ておく。所要時間 60分以 上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い 「講義内容詳細および到達 目標」について図説したま とめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資 料をWebClassにアップロー ドする
講義	5/1(金)	4	統合生理学分野	駒切 洋 助教	【消化器生理Ⅰ】 肝胆膵と栄養素の消化・ 吸収	24,25	【事前学修】 膵液・胆汁について消化器 系の概略について参考書の 該当する箇所を読み、A4版 1枚程度にまとめておく。 所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い 「講義内容詳細および到達 目標」について図説したま とめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資 料をWebClassにアップロー ドする。講義中にクリッ カーを使用し理解度を測定 する。

講義	5/13(水)	2	統合生理学分野	駒切 洋 助教	【消化器生理Ⅱ】 小腸における栄養素の消化・吸収	26	【事前学修】 小腸における糖質、アミノ酸、脂質の吸収について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	5/15(金)	4	統合生理学分野	古山 和道 非常勤講師	【消化器生理Ⅲ】 肝臓の機能	25	【事前学修】 肝臓の機能について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	5/25(月)	1	統合生理学分野	駒切 洋 助教	【消化器生理Ⅳ】 大腸の機能	27	【事前学修】 小腸と大腸における電解質の輸送について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	5/25(月)	2	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	【内分泌生理Ⅰ】 視床下部の内分泌機能	15	【事前学修】 内分泌中枢としての視床下部について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする

実習	5/25(月)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 1日目】 血液、腎機能、膵内分 泌機能、心機能・血圧調 節、呼吸機能に関する実 習を、7グループに分か れて順番に行く。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容 の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをま とめてレポートを作成し、 指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
実習	5/25(月)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 1日目】 血液、腎機能、膵内分 泌機能、心機能・血圧調 節、呼吸機能に関する実 習を、7グループに分か れて順番に行く。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容 の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをま とめてレポートを作成し、 指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
実習	5/27(水)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 2日目】 血液、腎機能、膵内分 泌機能、心機能・血圧調 節、呼吸機能に関する実 習を、7グループに分か れて順番に行く。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容 の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをま とめてレポートを作成し、 指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
実習	5/27(水)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 2日目】 血液、腎機能、膵内分 泌機能、心機能・血圧調 節、呼吸機能に関する実 習を、7グループに分か れて順番に行く。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容 の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをま とめてレポートを作成し、 指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
講義	5/28(木)	1	統合生理学分野	鈴木 享 助教	【内分泌生理Ⅱ】 甲状腺ホルモン	16	【事前学修】 甲状腺ホルモンについて参 考書の該当する箇所を読 み、A4版1枚程度にまとめ ておく。所要時間 60分以 上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い 「講義内容詳細および到達 目標」について図説したま とめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資 料をWebClassにアップロー ドする
講義	5/28(木)	2	統合生理学分野	佐藤 洋一 非常勤講 師	【消化器生理Ⅴ】 消化器生理総論	21	【事前学修】 消化器系の概略について参 考書の該当する箇所を読 み、A4版1枚程度にまとめ ておく。所要時間 60分以 上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い 「講義内容詳細および到達 目標」について図説したま とめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資 料をWebClassにアップロー ドする。講義中にクリッ カーを使用し理解度を測定 する。

実習	5/28(木)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 3日目】 血液、腎機能、膵内分泌機能、心機能・血圧調節、呼吸機能に関する実習を、7グループに分かれて順番に行く。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをまとめてレポートを作成し、指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
実習	5/28(木)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 3日目】 血液、腎機能、膵内分泌機能、心機能・血圧調節、呼吸機能に関する実習を、7グループに分かれて順番に行く。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをまとめてレポートを作成し、指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
実習	5/29(金)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 4日目】 血液、腎機能、膵内分泌機能、心機能・血圧調節、呼吸機能に関する実習を、7グループに分かれて順番に行く。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをまとめてレポートを作成し、指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
実習	5/29(金)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 4日目】 血液、腎機能、膵内分泌機能、心機能・血圧調節、呼吸機能に関する実習を、7グループに分かれて順番に行く。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをまとめてレポートを作成し、指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
実習	6/1(月)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 5日目】 血液、腎機能、膵内分泌機能、心機能・血圧調節、呼吸機能に関する実習を、7グループに分かれて順番に行く。	3,9,14,18, 32,33,34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをまとめてレポートを作成し、指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
実習	6/1(月)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 5日目】 血液、腎機能、膵内分泌機能、心機能・血圧調節、呼吸機能に関する実習を、7グループに分かれて順番に行く。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをまとめてレポートを作成し、指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
講義	6/2(火)	2	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	【内分泌生理Ⅲ】 下垂体ホルモン	15	【事前学修】 脳下垂体ホルモンについて参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする

実習	6/2(火)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 6日目】 血液、腎機能、膵内分泌機能、心機能・血圧調節、呼吸機能に関する実習を、7グループに分かれて順番に行う。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをまとめてレポートを作成し、指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
実習	6/2(火)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 6日目】 血液、腎機能、膵内分泌機能、心機能・血圧調節、呼吸機能に関する実習を、7グループに分かれて順番に行う。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをまとめてレポートを作成し、指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
実習	6/3(水)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 7日目】 血液、腎機能、膵内分泌機能、心機能・血圧調節、呼吸機能に関する実習を、7グループに分かれて順番に行う。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをまとめてレポートを作成し、指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
実習	6/3(水)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【実習 7日目】 血液、腎機能、膵内分泌機能、心機能・血圧調節、呼吸機能に関する実習を、7グループに分かれて順番に行う。	3,9,14, 18,32,33, 34	【事前学修】 実習書を熟読し、実習内容の全体像を把握しておく。 所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で得られたデータをまとめてレポートを作成し、指定期日厳守で提出する。 所要時間 120分以上
実習	6/4(木)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【討論会準備】 実習データのまとめ、資料収集、討論会原稿、スライド作成	35	【事前学修】 割り当てられた発表担当実習項目について、他のグループの実習データを収集する。発表内容の大きな筋立てをグループ内で相談する。所要時間 60分以上 【事後学修】 発表担当実習項目に関連する事項を参考書や講義資料を使って調べる。作成した発表原稿やスライドのチェックを行う。所要時間 60分以上
実習	6/4(木)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【討論会準備】 実習データのまとめ、資料収集、討論会原稿、スライド作成	35	【事前学修】 割り当てられた発表担当実習項目について、他のグループの実習データを収集する。発表内容の大きな筋立てをグループ内で相談する。所要時間 60分以上 【事後学修】 発表担当実習項目に関連する事項を参考書や講義資料を使って調べる。作成した発表原稿やスライドのチェックを行う。所要時間 60分以上

実習	6/5(金)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【討論会準備】 実習データのまとめ、資料収集、討論会原稿、スライド作成	35	【事前学修】 割り当てられた発表担当実習項目について、他のグループの実習データを収集する。発表内容の大まかな筋立てをグループ内で相談する。所要時間 60分以上 【事後学修】 発表担当実習項目に関連する事項を参考書や講義資料を使って調べる。作成した発表原稿やスライドのチェックを行う。所要時間 60分以上
実習	6/5(金)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【討論会準備】 実習データのまとめ、資料収集、討論会原稿、スライド作成	35	【事前学修】 割り当てられた発表担当実習項目について、他のグループの実習データを収集する。発表内容の大まかな筋立てをグループ内で相談する。所要時間 60分以上 【事後学修】 発表担当実習項目に関連する事項を参考書や講義資料を使って調べる。作成した発表原稿やスライドのチェックを行う。所要時間 60分以上
講義	6/8(月)	2	統合生理学分野	鈴木 享 助教	【内分泌生理Ⅳ】 降ホルモン	18	【事前学修】 糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝に及ぼすインスリンの作用について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
実習	6/8(月)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【討論会】 各実習項目の討論会	36	【事前学修】 発表時間には制限がある。時間内に分かりやすく、円滑なプレゼンが出来るよう十分に発表練習をしておく。発表内容についての質問に対し、的確に応じられるよう準備しておく。所要時間 120分以上 【事後学修】 発表についての総評を発表者や質問対応者、スライド作成者等と共有する。所要時間30分以上
実習	6/8(月)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教	【討論会】 各実習項目の討論会	36	【事前学修】 発表時間には制限がある。時間内に分かりやすく、円滑なプレゼンが出来るよう十分に発表練習をしておく。発表内容についての質問に対し、的確に応じられるよう準備しておく。所要時間 120分以上 【事後学修】 発表についての総評を発表者や質問対応者、スライド作成者等と共有する。所要時間30分以上

講義	6/10(水)	1	統合生理学分野	望月 圭 講師	【生殖生理Ⅱ】 妊娠と生殖補助医療	20	【事前学修】 妊娠と初期発生について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	6/10(水)	2	統合生理学分野	中隴 克己 教授	【消化器生理Ⅵ】 口腔内消化、胃の消化作用	21,22,23	【事前学修】 口腔内消化および胃内消化について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	6/19(金)	1	統合生理学分野	鈴木 喜郎 准教授	【内分泌生理Ⅴ】 骨・カルシウム代謝の内分泌性調節、副腎ホルモン	17,19	【事前学修】 骨・カルシウム代謝および副腎ホルモンについて参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする
講義	6/23(火)	2	統合生理学分野	駒切 洋 助教	【代謝と環境生理】 エネルギー代謝と体温調節、特殊環境と加齢の生理学	28,29,30,31	【事前学修】 体温調節の機序および高所・高圧環境、加齢に伴う身体機能の変化について参考書の該当する箇所を読み、A4版1枚程度にまとめておく。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い「講義内容詳細および到達目標」について図説したまとめを作成する。所要時間 60分以上 【ICT】講義に先立ち講義資料をWebClassにアップロードする

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参考書	カラー図解 人体の正常構造と機能 改訂5版	坂井建雄、河原克雅総編集	日本医事新報社	2025
参考書	標準生理学 第10版	本間研一 監修	医学書院	2025
参考書	カラー版 ボロン・ブルペープ生理学	Walter F. ボロン/Emile L. ブールペープ編、泉井亮 総監訳	西村書店	2011
参考書	ギャノン生理学 原書26版	Kim E. Barrettほか著、岡田泰伸 監修、佐久間康夫・岡村康司 監訳	丸善	2022

・成績評価方法

<p>【総括評価】 講義出席回数2/3以上、かつ、実習への参加（全出席およびレポートの提出）を筆記試験の受験要件とする。筆記試験（中間試験 50点、期末試験 100点）を合算し、100点に換算して 60点以上を合格とする。なお、筆記試験の問題は講義および実習の内容から出題する。</p> <p>【形成的評価】 講義または実習中に口頭試問や課題、討論を適宜実施して講義内容の理解度を確認し、対話形式で解説してフィードバックする。</p>								
到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1-31	4	33			67			100
合計		33			67			100

・特記事項・その他

<p>シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低60分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。</p> <p>講義資料はWebClassで配信する。</p> <p>当該科目に関連する実務経験の有無 有 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。</p>
--

・教育資源

教科書・参考書、講義室、実習室、図書館、PC、インターネット環境、コンピューターソフトウェア、心電図記録装置、電子血圧計、水銀血圧計、生体情報モニター、指尖容積脈波計、聴診器、手動式背上診察台、折りたたみ式ベッド、顕微鏡、分光光度計、マイクロセルカウンター、血糖測定器、採血器、体温計、比重計、屈折計、浸透圧計、スパイロメーター、データレコーダー、液晶プロジェクター

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン VAIO SX12	1	講義で使用
実習	ミニパソコン miniMagnate ZE カスタマイズ	1	実習で使用
講義	デスクトップパソコン	1	講義で使用
講義	デスクトップパソコン	1	講義で使用
講義	スモールデスクトップパソコン Inspiron	1	講義で使用
講義	ノートパソコン DAIV Z6-I9G70SR-A	1	講義で使用
実習	ホルムアルデヒドガス消毒器		実習で使用
講義	14インチ MacBook Pro 一式 Apple	1	講義で使用
講義	ノートパソコン FMVUH3007 富士通	1	講義で使用
講義	27型ディスプレイ EV2781-WT EIZO	1	講義で使用

医化学Ⅱ

ナンバリング M2-S1-B10

責任者・コーディネーター	分子医化学分野 次期教授		
担当講座・学科（分野）	分子医化学分野、創薬・医療機器開発部門、糖・代・内分泌内科分野、細胞情報科学分野、教育支援システム開発分野		
担当教員	石垣 泰 教授、石崎 明 教授、帖佐 直幸 准教授、金子 桐子 講師、真柳 平 講師、安平 進士 講師、鈴木 亘 助教、高橋 隼一郎 助教		
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 21コマ 42.0時間
期間	前期		演習 0コマ 0.0時間
			実習 18コマ 36.0時間

・学習方針（講義概要等）

医化学は生命現象を分子レベルで明らかにしようとする学問である。言い換えれば、生体がどのような特性を持つ分子から成り立っているのか、それらの分子が生体内で如何にして合成・分解されるか、さらにこれらの分子が生体システムのなかでどのように統合・調節され、その機能を営んでいるかを、生化学的手法で明らかにする生命科学である。学習者は、医化学を学ぶにあたって、単なる知識の暗記にとどまることなく、科学的思考を基盤にして、生命現象の法則性を理解するように努めなければならない。

・教育成果（アウトカム）

基本的な生化学的事項を学修することで、ヒトの正常時あるいは病態時の変化とその生化学的な背景を説明できるようになる。
(ディプロマ・ポリシー： 1,2,4,6)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	生体構成成分の基本的な構造、化学的特性、機能との関連性を説明できる。
2	細胞が生命活動を維持するために行っているエネルギーの利用について概略を説明できる。
3	アミノ酸代謝について説明できる。
4	代謝の概略が説明できる。
5	生体物質(糖質、脂質、タンパク質、ヌクレオチドなど)の中間代謝とその調節機構について説明できる。
6	様々な組織における代謝や機能の相違と関連を生化学的に説明できる。
7	細胞間のシグナル伝達を説明できる。
8	活性酸素種の生成と分解、及びその制御機構について説明できる。
9	実験結果を統計学を用いて評価し、結果を解釈できる。
10	細胞外基質を構成する分子の機能を説明できる。
11	ビタミンの種類と役割について説明できる。
12	ホルモンの種類と役割について説明できる。
13	水分とミネラル代謝について説明できる。
14	骨、筋肉、神経、血液などにおける代謝や機能の生化学的特徴を説明できる。
15	細胞骨格を構成する分子と、その役割を説明できる。
16	鉄代謝、ヘム代謝について説明できる。

17	糖タンパク質の合成と役割について説明できる。
18	生化学実験や分子生物学実験を実施し、その結果を正しく評価できる。
19	他の学生と協力して必要な情報を収集し、それらの情報をもとに考察できる。
20	糖尿病の病因、病態生理、分類、症候と診断を説明できる。
21	シナプスの形態とシナプス伝達の機能と可塑性を説明できる。
22	アポトーシスについて説明できる

・ 講義場所

講義：東1-B講義室 実習：西2-C実習室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標 番号	事前事後学修/ICT
講義	4/6(月)	1	分子医化学分野	金子 桐子 講師	医化学IIガイダンス アミノ酸代謝 1(アミノ酸の異化と尿素回路)	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 イラストレイテッド生化学の20章を読み、アミノ酸の基本的な構造と種類、それぞれのアミノ酸が体内でどのように利用されるかについての概略を説明文として作成する。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 細胞内において様々なアミノ酸が異化される条件や、その必然性について100字程度にまとめてみる。所要時間 100分</p> <p>【ICT】 予習や復習に利用することを目的に、講義資料をWebClassに掲載する。また、重要な質問に対する回答や、講義・講義資料の修正についてもWebClassを利用する。</p>

講義	4/6(月)	2	分子医化学分野	金子 桐子 講師	アミノ酸代謝2 (アミノ酸から合成される分子)	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 イラストレイテッド生化学の19章を読み、アミノ酸を他の分子に変換するためにどのような仕組みが備わっているかを説明文としてまとめてみる。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ尿素回路が機能しなくなるのはどのような場合か、また、その結果何が起るのかを100時程度にまとめてみる。所要時間 100分</p> <p>【ICT】 予習や復習に利用することを目的に、講義資料をWebClassに掲載する。また、重要な質問に対する回答や、講義・講義資料の修正についてもWebClassを利用する。</p>
講義	4/13(月)	1	分子医化学分野	金子 桐子 講師	アミノ酸代謝異常症	1,2,3,4,5,6	<p>【事前学修】 イラストレイテッド生化学の21章を読み、アミノ酸から合成されるアミノ酸以外の分子にはどのようなものがあるかまとめてみる。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 アミノ酸から変換された様々な分子について、合成の基質となるアミノ酸の構造を確認する。所要時間 100分</p> <p>【ICT】 予習や復習に利用することを目的に、講義資料をWebClassに掲載する。また、重要な質問に対する回答や、講義・講義資料の修正についてもWebClassを利用する。</p>

講義	4/13(月)	2	分子医化学分野	鈴木 亘 助教	ヌクレオチド代謝 1	1,4,5,6	<p>【事前学修】 イラストレイテッド生化学の22章を読み、ピリミジンヌクレオチドの生合成と分解について説明文を作成する。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 事前学習で作成した説明文をもう一度確認し、ブラッシュアップする。所要時間 100分</p> <p>【ICT】事前にwebclassに講義資料を掲示する。確認問題をwebclassに提示し、講義時間内に実施、正答率の確認、解説を行う。小テスト、練習問題をwebclassに掲示する。</p>
講義	4/27(月)	1	分子医化学分野	鈴木 亘 助教	ヌクレオチド代謝 2	1,4,5,6	<p>【事前学修】 イラストレイテッド生化学の22章を読み、ピリミジンヌクレオチドの生合成と分解について説明文を作成する。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 事前学習で作成した説明文をもう一度確認し、ブラッシュアップする。所要時間 100分</p> <p>【ICT】事前にwebclassに講義資料を掲示する。確認問題をwebclassに提示し、講義時間内に実施、正答率の確認、解説を行う。小テスト、練習問題をwebclassに掲示する。</p>
講義	4/27(月)	2	創薬・医療機器開発部門	真柳 平 講師	ビタミン1	1,2,3,4,5,6,11	<p>【事前学修】 ビタミンの定義、水溶性ビタミンの種類と機能について教科書を読んで概要をつかんでおく。所要時間 80分</p> <p>【事後学修】 配布した要点まとめ資料を復習し、キーワードの意味について講義資料および教科書を参照して説明できるようにしておく。所要時間 80分</p> <p>【ICT】webclassに講義資料を掲載するので確認しておく。 演習問題およびその解説をwebclassに掲示する。</p>

講義	5/7(木)	4	分子医化学分野	金子 桐子 講師	血液の生化学	6,14,16	<p>【事前学修】 血清と血漿の違いを明らかにし、血液の液体成分にはどのような分子が含まれており、どのような役割を果たすのか、まとめてみる。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 様々な疾患で血液の液体成分に含まれる分子がどのように変化するか、まとめてみる。所要時間 100分</p> <p>【ICT】 予習や復習に利用することを目的に、講義資料をWebClassに掲載する。また、重要な質問に対する回答や、講義・講義資料の修正についてもWebClassを利用する。</p>
講義	5/11(月)	1	分子医化学分野	金子 桐子 講師	鉄代謝・ヘム代謝とその異常	16	<p>【事前学修】 教科書の該当部分を読み、ヒトにおける鉄の吸収と利用の仕組みを理解し、ヘム生合成経路をまとめてみる。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 鉄を大量に利用する赤芽球とそれ以外の細胞で、鉄代謝とヘム生合成系の仕組みや制御について異なる部分を抜き出してまとめてみる。所要時間 100分</p> <p>【ICT】 予習や復習に利用することを目的に、講義資料をWebClassに掲載する。また、重要な質問に対する回答や、講義・講義資料の修正についてもWebClassを利用する。</p>

講義	5/11(月)	2	創薬・医療機器開発部門	真柳 平 講師	ビタミン2	1,2,4,5,6,11	<p>【事前学修】 脂溶性ビタミンの種類と機能について教科書を読んで概要をつかんでおく。所要時間 80分</p> <p>【事後学修】 要点まとめ資料を復習し、キーワードの意味について説明できるようにしておく。配布した演習問題を解いてからWebclassの解答・解説を参照しておく。所要時間 80分</p> <p>【ICT】webclassに講義資料を掲載するので確認しておく。 演習問題およびその解説をwebclassに掲示する。 webclassで確認問題を実施し、後日その解説を掲示する。</p>
講義	5/12(火)	1	創薬・医療機器開発部門	真柳 平 講師	ホルモン	1,2,4,5,6,7,12	<p>【事前学修】 血糖値に関わる部分を中心に、糖質・脂質・アミノ酸代謝について教科書およびこれまでの配布資料をもとに復習しておく。 配布したホルモンの要点まとめ資料を予習しておく。所要時間 80分</p> <p>【事後学修】 血糖調節ホルモンによる糖質・脂質・アミノ酸の代謝調節と臓器間の関連について説明できるようにしておく。 要点まとめ資料を復習し、キーワードの意味について説明できるようにしておく。配布した演習問題を解いてからWebclassの解答・解説を参照しておく。所要時間 80分</p> <p>【ICT】webclassに講義資料を掲載するので確認しておく。 演習問題およびその解説をwebclassに掲示する。 webclassで確認問題を実施し、後日その解説を掲示する。</p>

講義	5/12(火)	2	分子医化学分野	鈴木 亘 助教	代謝関連	1,2,3,4,5,6,7,14,20	<p>【事前学修】 リップスコット生化学の23章、24章を読み、インスリンとグルカゴンの作用について、さらには摂食／空腹サイクルについて理解が不十分な点を挙げる。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 リップスコット生化学の23章、24章の章末の学習問題を解き、自己採点をする。所要時間 100分</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	5/15(金)	3	糖・代・内分泌内科分野	石垣 泰 教授	糖代謝異常症	2,4,5,6,14	<p>【事前学修】 リップスコット生化学の25章、26章を読み、糖尿病や肥満症に関する。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 リップスコット生化学の25章、26章の章末の学習問題を解き、自己採点をする。所要時間 100分</p> <p>【ICT】 webclassに講義資料を掲示する。小テスト、練習問題をwebclassに掲示する。</p>
講義	5/21(木)	1	分子医化学分野	高橋 隼一郎 助教	フリーラジカル、活性酸素	5,8,14,20	<p>【事前学修】 リップスコット生化学13章を読み、活性酸素の機能と種類をまとめてみる。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 配布資料および教科書を用いて生体内における活性酸素の作用、発生と消去およびそれらの機序をそれぞれまとめてみる。所要時間 100分</p> <p>【ICT】 予習や復習に利用することを目的に、講義資料をWebClassに掲載する。また、重要な質問に対する回答や、講義・講義資料の修正についてもWebClassを利用する。</p>

講義	5/26(火)	1	細胞情報科学分野	帖佐 直幸 准教授	水分とミネラル代謝	6,13	<p>【事前学修】 カラー図解人体の正常構造と機能の「運動器 骨格系」の内容について理解し、とくに骨代謝の分子メカニズムについて予習しておく。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 講義終了時に配布する復習プリントの各問いに答えるとともに、その正解について講義プリントで確認すること。所要時間 100分</p> <p>【ICT】予習や復習に利用することを目的に、講義資料をWebClassに掲載する。また、重要な質問に対する回答や、講義・講義資料の修正についてもWebClassを利用する。</p>
講義	5/26(火)	2	細胞情報科学分野	石崎 明 教授	骨の生化学	6,7,10,11,12,13,14	<p>【事前学修】 カラー図解人体の正常構造と機能の「運動器 骨格系」の内容について理解し、とくに骨代謝の分子メカニズムについて予習しておく。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 講義終了時に配布する復習プリントの各問いに答えるとともに、その正解について講義プリントで確認すること。所要時間 100分</p> <p>【ICT】予習や復習に利用することを目的に、講義資料をWebClassに掲載する。また、重要な質問に対する解答や、講義・講義資料の修正についてもWebClassを利用する。</p>
講義	6/3(水)	1	分子医化学分野	鈴木 亘 助教	アポトーシス	22	<p>【事前学修】 アポトーシスについて教科書で基本的な事項を確認しておく。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 WebClassで配布した資料と講義で学んだ内容を元に、アポトーシスが関与する生体内の様々な現象について簡潔にまとめる。所要時間 100分</p> <p>【ICT】予習や復習に利用することを目的に、講義資料をWebClassに掲載する。また、重要な質問に対する解答や、講義・講義資料の修正についてもWebClassを利用する。</p>

講義	6/3(水)	2	創薬・医療機器開発部門	真柳 平 講師	細胞骨格・筋肉の生化学	1,6,7,14,15	<p>【事前学修】 1年次細胞生物学IIで学習した細胞骨格に関する内容を復習しておく。教科書の当該部分について参照しておく。カラー図解 人体の正常構造と機能 運動器筋系の項について予習しておく。所要時間 80分</p> <p>【事後学修】 配布資料・講義内容について理解が不十分な箇所を確認し、教科書等を参照して復習し、知識を整理しておく。所要時間 80分</p> <p>【ICT】webclassに講義資料を掲載するので確認しておく。 演習問題およびその解説をwebclassに掲示する。</p>
----	--------	---	-------------	---------	-------------	-------------	---

講義	6/4(木)	1	創薬・医療機器開発部門	真柳 平 講師	脳の生化学	6,7,14, 15,21	<p>【事前学修】 カラー図解 人体の正常構造と機能 神経系(1)神経系の情報伝達、高次神経機能の項について予習しておく。所要時間 80分</p> <p>【事後学修】 配布資料・講義内容について理解が不十分な箇所を確認し、教科書等を参照して復習し、知識を整理しておく。所要時間 80分</p> <p>【ICT】webclassに講義資料を掲載するので確認しておく。 演習問題およびその解説をwebclassに掲示する。 webclassで確認問題を実施し、後日その解説を掲示する。</p>
講義	6/4(木)	2	分子医化学分野	鈴木 亘 助教	糖タンパク質	1,5,6,10,1 7	<p>【事前学修】 リッピンコット生化学の14章を読み、糖タンパク質の種類と役割についてまとめてみる。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 リッピンコット生化学の14章の書末の学習問題を解き、自ら答え合わせを試みる。所要時間 100分</p> <p>【ICT】予習や復習に利用することを目的に、講義資料をWebClassに掲載する。また、重要な質問に対する解答や、講義・講義資料の修正についてもWebClassを利用する。</p>
講義	6/9(火)	1	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	実習講義	1,6	<p>【事前学修】 解剖学の教科書等を用いて、肝臓の構造と機能について復習し、まとめておく。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 肝機能の異常により、血液中の成分がどのように変化するのかまとめてみる。所要時間 100分</p>

講義	6/9(火)	2	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	基本手技の確認	6,18,19	【事前学修】 実習書により、当日実施する手技を確認し、使用する器具の名称と機能を実習ノートに列挙する。所要時間 60分 【事後学修】 実際に使用した器具の使用方法に関する注意点を実習ノートにまとめる。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/9(火)	3	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	基本手技の確認	6,9,14,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/9(火)	4	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	基本手技の確認	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/10(水)	3	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>TAG定量	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。

実習	6/10(水)	4	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>TAG定量	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/11(木)	3	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>TAG定量	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/11(木)	4	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>TAG定量	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/12(金)	3	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>PT測定	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。

実習	6/12(金)	4	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>PT測定	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/15(月)	3	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>血清コレステロール定量	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/15(月)	4	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>血清コレステロール定量	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/16(火)	3	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>血清コレステロール定量	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。

実習	6/16(火)	4	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>血清コレステロール定量	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】 WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/17(水)	3	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>血清AST、ALT定量	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】 WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/17(水)	4	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>血清AST、ALT定量	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実験結果について自班、他班の結果を記載し、統計学的処理を行い結果と考察を含め実習ノートに記載する。所要時間 100分 【ICT】 WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/18(木)	3	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>血清AST、ALT定量	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により形質転換実験の目的と手技を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 実習講義で得られた情報を元に、それぞれの実験により何が明らかになるのかを確認しておく。所要時間 100分 【ICT】 WebClassに講義資料を掲示する。

実習	6/18(木)	4	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>血清AST、ALT定量	6,9,18,19	【事前学修】 実習書により当日実施する実験を確認し、その背景も含めて方法の要点を実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 当日の実験結果について自班の結果を実習ノートに記録し、他班の結果とも比較しながら考察する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/19(金)	3	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>まとめ	6,9,18,19	【事前学修】 肝機能実習で行った実験の結果をまとめて実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 教員から得られた情報を参考にし、他班の結果とも比較しながら考察する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。
実習	6/19(金)	4	分子医化学分野 分子医化学分野 創薬・医療機器開発部門 教育支援システム開発分野 分子医化学分野	金子 桐子 講師 鈴木 亘 助教 真柳 平 講師 安平 進士 講師 高橋 隼一郎 助教	<肝機能実験>まとめ	6,9,18,19	【事前学修】 肝機能実習で行った実験の結果をまとめて実習ノートに書き出しておく。所要時間 60分 【事後学修】 教員から得られた情報を参考にし、他班の結果とも比較しながら考察する。所要時間 100分 【ICT】WebClassに講義資料を掲示する。

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	リップンコットシリーズ イラストレイテッド生化学 原書8版	E. E. Abali, S.D. Cline 他著	丸善出版	2023
教科書	イラストレイテッド ハーパー・生化学 原書32版	P. J. Kennelly, K. M. Botham 他著	丸善出版	2024
参考書	レーニンジャーの新生化学 上・下 第7版	D. L. Nelson, M. M. Cox 著	廣川書店	2019
参考書	カラー図解 人体の正常構造と機能 改訂4版 全10巻縮刷版	坂井建雄、河原克雄（編集）	日本医事新報社	2021

・成績評価方法

【総括評価】

進級試験（50%）、中間試験（25%）、実習記録（25%）

【形成的評価】

小テストを実施して講義内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックすることがある。実習時間中に実習内容等についてディスカッションを行い、学生にフィードバックする。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1-7, 11, 12	4	25						25
1, 5, 9, 18	1, 2, 4, 6						25	25
1-22	4				50			50
合計		25			50		25	100

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低60分を、事後学習は100分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業あるいはWeb Class上で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。中間試験・進級試験については問題と解答例を公開する。また、実習は基本的に少人数によるグループワークとして進め、複数のグループによる結果を用いて統計解析を行い結果を得る。

講義資料はWebClassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

教科書、参考書、講義室、実習室、図書館、PC

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	サーマルサイクラー	3	実習
実習	分光光度計	3	実習
実習	アルミブロック恒温器	1	実習
講義	ノートパソコン	1	出欠、成績、講義準備
講義	ペンタブレット	1	講義
実習	ポータブル電気伝導率計	1	実習
実習	ポータブル電気伝導率計	1	実習
講義	パソコン	1	講義（出席状況等）記録
実習	超低温フリーザー	1	実習試薬保管
講義	レーザービームプリンター	1	講義配布物、試験印刷
講義	デスクトップパソコン iMac Retina 4K 一式	1	講義資料の作成
講義	ノートパソコン MacBook 一式 1.3GHz Intel Core i5	1	講義にて使用

基本的医療手技 I

ナンバリング M2-S1-H01

責任者・コーディネーター	医学教育学分野 高田 亮 教授、実践教育部門長、OSCE委員長		
担当講座・学科（分野）	医学教育学分野、産婦人科学講座、呼吸器内科分野、脳神経内科・老年科分野、看護学部共通基盤看護学講座		
担当教員	高田 亮 教授、相澤 純 特任講師、鈴木 真沙子 講師、内海裕 特任講師、羽場 徹 助教、各診療科指導医		
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 0コマ 0.0時間
期間	前期		演習 0コマ 0.0時間 実習 20コマ 40.0時間

・学習方針（講義概要等）

医師という職業は、知識があることを求められているのではなく、目の前にいる患者さんの問題を解決するために知識を活用できることを求められる職業である。さらに、問題解決のためには医行為を正確に、安全に行えることが必須となる。令和5年度からは医師法改正に伴い、Student Doctorの立ち位置が明確になり、指導医の監視の下、患者さんに対し医療手技を行うことが法的に認められることとなった。患者さんに医療手技を行うにあたっては、事前の十分なトレーニングと医療プロフェッショナルとしての行動・態度が求められている。本科目においては、これまでの学びで得た知識を融合しながら、基本的な医療手技の修得を目指すとともに、これからの学びで必要なことを考える。

・教育成果（アウトカム）

客観的臨床能力試験（OSCE）に即した実践的な実習を行うことで、医師としてのプロフェッショナルな態度で、2学年時で修得しておくべきレベルの基本的医療手技ができる。また、実習前後に自己省察を行うことで、今までの学びを振り返り、これからの学びで自分自身で必要なことが何かを考えられる。

（ディプロマ・ポリシー： 2,3,4,5,6 ）

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	2学年時で修得しておくべきレベルの基本的医療手技ができる。
2	医師としてのプロフェッショナルな態度で行動ができる。
3	実習前後に自らの行動を省察できる。

・ 講義場所

配属先の教員が指定する場所

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはWebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標 番号	事前事後学修/ICT
実習	6/29(月)	1限	医学教育学分野	高田 亮 教授 相澤 純 特任講師	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 医療面接での模擬患者の回答方法についてまとめ、評価に備えて記憶しておくこと（所要時間 60分）。 【事後学修】 医療面接シーンを録画したビデオを視聴し、その内容を評価すると共に、面接手技についての省察をおこなうこと（所要時間 60分）。 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	6/29(月)	2限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	6/29(月)	3限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	6/29(月)	4限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	6/30(火)	1限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 実技実習の前に与えられた課題（ビデオ視聴）を必ず行うこと（所要時間 60分） 【事後学修】 実技実習での手技のポイントをノートにまとめておくこと（所要時間 60分） 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	6/30(火)	2限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	6/30(火)	3限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

実習	6/30(火)	4限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	7/1(水)	1限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 実技実習の前に与えられた課題（ビデオ視聴）を必ず行うこと（所要時間 60分） 【事後学修】 実技実習での手技のポイントをノートにまとめておくこと（所要時間 60分） 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	7/1(水)	2限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	7/1(水)	3限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	7/1(水)	4限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	7/2(木)	1限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 各手技の臨床実習前OSCE教育・学修用動画と同じ手技ができるように、ペアでトレーニングを行うこと（所要時間60分） 【事後学修】 評価結果を基に各手技のポイントをノートに再度まとめておくこと。また各手技について、ペアで復習を行うこと。（所要時間 60分） 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	7/2(木)	2限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	7/2(木)	3限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

実習	7/2(木)	4限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
実習	7/3(金)	1限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 各手技の臨床実習前OSCE教育・学修用動画と同じ手技ができるように、ペアでトレーニングを行うこと（所要時間60分） 【事後学修】 評価結果を基に各手技のポイントをノートに再度まとめておくこと。また各手技について、ペアで復習を行うこと。（所要時間 60分） 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
実習	7/3(金)	2限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
実習	7/3(金)	3限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
実習	7/3(金)	4限		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	診療参加型臨床実習に必要なとされる技能と態度についての学修・評価項目（1.1版）	医療系大学間共用試験実施評価機構	左記ホームページ内医学系OSCE公開資料より入手	
参考書	診察ができるVol.1 身体診察		MEDIC MEDIA	2023
参考書	医学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂版	モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会	文部科学省ホームページより入手	2022

・成績評価方法

<p>【総括評価】 ・胸部診察・腹部診察・神経診察の各々について、技能と態度を評価票で評価する。全ての手技を個別必須条件とし、1つでも不合格の場合は（不合格の手技についてのみ）再試験を行う。 ・各手技について100点満点換算し、60点以上を合格とする。総合評価は、全ての手技の平均点を用いるが、60点以下の手技があった場合は、その点数（複数ある場合は最低点）を総合評価とする。 ・欠席で評価を受けなかった学生については、正当な事由で欠席届が提出された場合のみ、個別に別日程で評価をおこなう。それ以外の場合は評価を行わない。 ・基本的臨床手技（心電図と静脈採血）は、形成的評価のみで総括評価を行わない。</p> <p>＜医療面接＞ 2年生と3年生がペアを組み、医療面接手技の技能・態度評価をおこなう。具体的には、まず学生は事前に提示された課題と内容を学修する。当日は2年生が医療面接模擬患者、3年生が医療面接医師役として医療面接を行う。評価は、評価員によって行われる。</p> <p>＜胸部診察・腹部診察・神経診察＞ 同学年でペアを組み、各診察手技の技能・態度評価をおこなう。具体的には、まず学生は各診察手技について、動画と実習で学修を行う。当日は、患者役と医師役に分かれて、各診察手技を行う。手技は前半と後半に分けて、後半は医師役と患者役を交代する。評価は医師役として行った診察手技の内容で、評価者が評価をおこなう。前半を担当するか、後半を担当するかは、評価時にランダムに指定する。</p> <p>【形成的評価】 各手技の実習時に、観察とフィードバックを行う。 胸部診察・腹部診察・神経診察の総括評価時に、評価結果のフィードバックを行う。</p>								
到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1,2,3	2,3,4,6						100	100
合計							100	100

・特記事項・その他

<p>実技実習の前に与えられた課題（ビデオ視聴）を必ず行うこと（予習時間目安：60分）。 実技実習での手技のポイントをノートにまとめておくこと（復習時間目安：60分）。</p> <p>講義資料はWebclassで配信する。</p> <p>当該科目に関連する実務経験の有無 有 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。</p>

・教育資源

講義室、実習室、インターネット環境、シミュレーター

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			

神経科学

ナンバリング M2-S1-B11

責任者・コーディネーター		統合生理学分野 中隴 克己 教授	
担当講座・学科(分野)		統合生理学分野、細胞生物学分野、脳神経外科学講座、脳神経内科・老年科分野、放射線医学講座	
担当教員		中隴 克己 教授、齋野 朝幸 教授、赤松 洋祐 教授、前田 哲也 教授、成田 啓之 准教授、木村 眞吾 准教授、鈴木 喜郎 准教授、望月 圭 講師、鈴木 美知子 講師、阿久津 仁美 助教、アブタリ サイト シャリフ 助教、駒切 洋 助教、平川 正人 助教、鈴木 享 助教、稲瀬 正彦 非常勤講師、永福 智志 非常勤講師、川崎 敏 非常勤講師、岩淵 玲子 非常勤講師	
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 34コマ 68.0時間
期間	前期		演習 1コマ 2.0時間
			実習 21コマ 42.0時間

・学習方針(講義概要等)

本科目は、神経解剖学分野と神経生理学分野を水平統合した科目として、神経系の構造と機能、ならびにその作動原理を統合的に理解することを目的とする。

神経系は、動物個体と外界をつなぐ高度な情報処理システムであり、感覚入力を受容、情報の統合、運動および行動の制御を通じて、個体の生存と適応に不可欠な役割を果たしている。とりわけ哺乳動物においては、中枢神経系と末梢神経系が階層的かつ協調的に機能することで、高度な認知機能や行動制御が可能となっている。

一方、我が国においては、社会の高齢化および生活環境の複雑化に伴い、認知症や脳卒中をはじめとする中枢神経疾患が重大な社会的課題となっている。いわゆる「脳の世紀」と呼ばれる現代において、脳神経医学および脳機能イメージング技術は著しく進展し、高度な診断・治療が可能となってきたが、依然として解明されていない神経機構や治療困難な疾患も多く残されている。

本科目では、これまでに人類が蓄積してきた神経科学の知見を基盤として、神経系の構造と機能に対応づけながら、系統的かつ具体的に学修する。具体的には、分子・細胞レベルから神経回路、さらには個体レベルに至るまで、神経系の成り立ちと働きを多階層的に理解することを目指す。

さらに、垂直統合の観点から、臨床医学分野における代表的な神経疾患の病態生理を視野に入れ、基礎的知識が臨床的理解へとどのように結びつくかを学修する。そのため、講義に加えて実習を行い、臨床専門科目において即戦力となる神経科学の基盤的理解を形成する。

・教育成果(アウトカム)

神経系の各領域について、解剖学から生理学へと段階的に学修することで、形態的知識と生理的機能を効率的に関連付けて理解できるようになる。

神経解剖学の講義を通して、脳および脊髄を中心とした人体神経系の構造と神経伝導路の基本概念および専門用語を学修することで、神経系の形態的構成を体系的に説明できるようになる。

神経解剖学実習において、脳脊髄の実物標本を観察することで、各部位の名称および神経伝導路との位置関係を正確に同定できるようになる。

神経生理学の講義および実習を通して、神経系の機能に関する基礎的知識と生理学的思考法を修得することで、神経系の働きを機能的に説明できるようになる。

形態学的知識と生理学的理解を統合することで、臨床医学分野における多様な神経疾患の病因および病態を生理学的観点から考察できるようになる。

神経科学として構造と機能を総合的に理解することで、診断および治療に必要な神経系の基礎的知識を身に付け、脳神経外科学、神経内科学、整形外科等々の臨床専門科目へ円滑に移行できるようになる。

(ディプロマ・ポリシー: 1,2,4,6)

・到達目標(SBOs)

No.	項目
1	脳・脊髄・末梢神経の発生過程を、成体における構造と関連づけて説明できる。
2	終脳・間脳・中脳・橋・延髄・脊髄・小脳の各部位の名称を機能と関連づけて説明できる。
3	中枢神経系および末梢神経系の構造と機能を体系的に説明できる。
4	大脳皮質の機能局在について、構造的特徴と関連づけて説明できる。

5	大脳皮質の高次機能について、関連する構造と対応づけて説明できる。
6	大脳半球間および皮質内の線維連絡（交連線維、連合線維、投射線維）について、その機能的意義を説明できる。
7	脳および脊髄の血管支配を理解し、主要な血管と支配領域を説明できる。
8	神経細胞および筋細胞における興奮・伝導・シナプス伝達の基本機構を説明できる。
9	感覚系に関連する神経系の構造と機能を説明できる。
10	運動系および自律神経系に関連する神経系の構造と機能を説明できる。
11	正常な神経生理機能と神経疾患の病態との対応関係を説明でき、神経内科学および脳神経外科学における神経解剖学の重要性を説明できる。

・ 講義場所

東 1-B講義室 実習：西 2-C・西 4-B・西4-C実習室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	4/1(水)	4	統合生理学分野	中隴 克己 教授	感覚総論	2,3,4,8,9	【事前学修】 感覚一般について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上 【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする
講義	4/10(金)	3	統合生理学分野	中隴 克己 教授	体性感覚	2,3,4,8,9	【事前学修】 体性感覚について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上 【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする
講義	4/10(金)	4	細胞生物学分野	成田 啓之 准教授	脳・脊髄の概略	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11	【事前学修】 教科書（カラー図解 神経解剖学講義ノート）136～144頁、180～193頁、202～207頁を読み、脳の大まかな外形と脳室系を予習する。所要時間 85分以上 【事後学修】 講義資料を基に、脳の外形と血管分布との関係をまとめる。 脳回と大脳皮質の機能局在との関係を把握する。 髄膜・脳室系の連続性を理解して脳脊髄液の循環経路を復習する。所要時間 85分以上 【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする

講義	4/15(水)	1	細胞生物学分野	成田 啓之 准教授	脊髄	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11	<p>【事前学修】 教科書（カラー図解 神経解剖学講義ノート）40～51頁を読み、脊髄の構造と根糸の関係を予習する。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、脊髄前角・後角に分布する神経細胞と前根・後根の機能連関を復習する。 脊髄の伝導路を復習し、大脳皮質の機能局在との関係を理解する。 脳脊髄の髄膜・脳室系の連続性を理解し、中枢神経系における脳脊髄液の循環をまとめる。所要時間 85分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前学習資料ならびに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	4/15(水)	2	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	脳・脊髄の発生	1,2,3,4,6,7,8	<p>【事前学修】 教科書（カラー図解 神経解剖学講義ノート）18～39頁を読み、神経系の発生、変性、再生について大まかな予習を行うこと。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、中枢神経系の発生についてまとめる。 特に神経管の発生、ニューロンとグリアの発生、神経再生について把握する。 講義内容を復習する。所要時間 85分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前学習資料ならびに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	4/15(水)	3	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	自律神経系	2,3,5,8,9,10,11	<p>【事前学修】 自律神経系について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上</p> <p>【ICT】 講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>

講義	4/17(金)	3	細胞生物学分野	成田 啓之 准教授	脳幹	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11	<p>【事前学修】 教科書（カラー図解 神経解剖学講義ノート）52～93頁を読み、内部構造の概要を知る。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 教科書と講義資料を基に、脳幹の外形や脳神経核群の位置を三次元的に把握する。 また、それぞれの脳神経核に関して関連する機能的神経連絡を抽出し、列記してみる。所要時間 85分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする。WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	4/17(金)	4	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	小脳	1,2,3,4,5,6,7,8,10,11	<p>【事前学修】 教科書（カラー図解 神経解剖学講義ノート）94～107頁を読み、小脳の構造と機能について予習する。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードするに授業のpdfファイルを提示しておくので予習しておくこと。所要時間85分以上</p> <p>【ICT】 講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>
講義	4/20(月)	3	統合生理学分野	中隼 克己 教授	大脳皮質・視床	2,3,4,5,6,7,9,10,11	<p>【事前学修】 大脳皮質・視床について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間 85分以上</p> <p>【ICT】 講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>
講義	4/20(月)	4	統合生理学分野	稲瀬 正彦 非常勤講師	大脳基底核	2,3,4,5,6,7,8,9,10,11	<p>【事前学修】 大脳基底核について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間 85分以上</p> <p>【ICT】 講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>

講義	4/27(月)	3	統合生理学分野	望月 圭 講師	脊髄反射	2,3,8,9,10,11	<p>【事前学修】 脊髄について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間 85分以上</p> <p>【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>
講義	4/27(月)	4	統合生理学分野	中隴 克己 教授	平衡感覚	2,3,4,7,8,9,10,11	<p>【事前学修】 平衡感覚について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間 85分以上</p> <p>【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>
講義	5/7(木)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	間脳	1,2,3	<p>【事前学修】 教科書（カラー図解 神経解剖学講義ノート）108～125頁を読み、内部構造の概要を知る。視床を構成する神経核の働きについて大まかに理解しておく。視床下部の働きについても大まかに理解しておく。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 教科書と講義資料を基に、間脳の構造を三次元的に把握する。 また、関連する機能的神経連絡を抽出し、列記してみる。所要時間 85分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料をアップする。WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
実習	5/8(金)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	神経機能計測法	5,8,9,10	<p>【事前学修】 生体信号計測について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上</p> <p>【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する</p>

実習	5/8(金)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中疇 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	実習説明会	8,9,10	【事前学修】 事前に提示した実習の手引きを基に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習の流れ、実習目的、およびレポートの作成法をしっかりと理解し、イメージする。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する
実習	5/11(月)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中疇 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	Pflügerの攣縮法則	8,9,10,11	【事前学修】 事前に提示した実習の手引きを基に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習目的、方法、結果、考察を簡潔にまとめたレポートを作成して実習内容を整理・理解した後、提出する。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する
実習	5/11(月)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中疇 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	Pflügerの攣縮法則	8,9,10,11	【事前学修】 事前に提示した実習の手引きを基に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習目的、方法、結果、考察を簡潔にまとめたレポートを作成して実習内容を整理・理解した後、提出する。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する
実習	5/12(火)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中疇 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	グループ討論	8,9,10,11	【事前学修】 測定データを基にグループ毎に話し合い、実習に関わる基礎知識を確認・理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習結果およびその理解に必要な基礎知識を、討論しながら再確認、修正することで実習内容の理解を深める。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する

実習	5/12(火)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	グループ討論	8,9,10,11	【事前学修】 測定データを基にグループ毎に話し合い、実習に関わる基礎知識を確認・理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習結果およびその理解に必要な基礎知識を、討論しながら再確認、修正することで実習内容の理解を深める。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する
講義	5/13(水)	1	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	基底核・辺縁系	1,2,3,4,5,6 7,8,9, 10,11	【事前学修】 教科書（カラー図解 神経解剖学講義ノート）126～135頁を読み、内部構造の概要を知る。基底核の働きについて大まかに理解しておく。所要時間85分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間 85分以上 【ICT】WebClassに事前学習資料ならびに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。
実習	5/13(水)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	ヒトの誘発筋電図の記録と分析	8,9,10,11	【事前学修】 事前に提示した実習の手引きを基に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習目的、方法、結果、考察を簡潔にまとめたレポートを作成して実習内容を整理・理解した後、提出する。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する
実習	5/13(水)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	ヒトの誘発筋電図の記録と分析	8,9,10,11	【事前学修】 事前に提示した実習の手引きを基に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習目的、方法、結果、考察を簡潔にまとめたレポートを作成して実習内容を整理・理解した後、提出する。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する

実習	5/18(月)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	グループ討論	8,9,10,11	【事前学修】 測定データを基にグループ毎に話し合い、実習に関わる基礎知識を確認・理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習結果およびその理解に必要な基礎知識を、討論しながら再確認、修正することで実習内容の理解を深める。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する
実習	5/18(月)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	グループ討論	8,9,10,11	【事前学修】 測定データを基にグループ毎に話し合い、実習に関わる基礎知識を確認・理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習結果およびその理解に必要な基礎知識を、討論しながら再確認、修正することで実習内容の理解を深める。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する
講義	5/20(水)	1	統合生理学分野	望月 圭 講師	大脳皮質連合野 I	2,3,4,5,6,11	【事前学修】 大脳皮質運動野について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間85分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上 【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする
講義	5/20(水)	2	統合生理学分野	中隴 克己 教授	大脳皮質運動野	3,4,5,6,11	【事前学修】 大脳皮質運動野について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間85分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上 【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする
実習	5/20(水)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中隴 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	脳波の記録および分析	4,5,6,8,11	【事前学修】 事前に提示した実習の手引きを基に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習目的、方法、結果、考察を簡潔にまとめたレポートを作成して実習内容を整理・理解した後、提出する。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する

実習	5/20(水)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	脳波の記録および分析	4,5,6,8, 11	【事前学修】 事前に提示した実習の手引きを基に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習目的、方法、結果、考察を簡潔にまとめたレポートを作成して実習内容を整理・理解した後、提出する。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する
実習	5/22(金)	3	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	グループ討論	4,5,6,8, 11	【事前学修】 測定データを基にグループ毎に話し合い、実習に関わる基礎知識を確認・理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習結果およびその理解に必要な基礎知識を、討論しながら再確認、修正することで実習内容の理解を深める。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する
実習	5/22(金)	4	統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野 統合生理学分野	中舘 克己 教授 木村 眞吾 准教授 鈴木 喜郎 准教授 望月 圭 講師 駒切 洋 助教 鈴木 享 助教 川崎 敏 非常勤講師 岩淵 玲子 非常勤講師	グループ討論	4,5,6,8, 11	【事前学修】 測定データを基にグループ毎に話し合い、実習に関わる基礎知識を確認・理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 実習結果およびその理解に必要な基礎知識を、討論しながら再確認、修正することで実習内容の理解を深める。所要時間 85分以上 【ICT】実習に関する資料を実習書及びWebClassに公開する
講義	5/27(水)	1	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	運動性伝導路	1,2,3,4,5,6, 7,8,10,11	【事前学修】 教科書（カラー図解 神経解剖学講義ノート）152～161頁を読み、運動路の予習を行う。以前の延髄や大脳皮質の部分の講義も復習して講義に臨むこと。所要時間 85分以上 【事後学修】 講義資料を基に、錐体路、錐体外路の伝導路についてまとめる。 特に錐体路については、大脳皮質運動野から始まって脊髄前角に終わるまでに、それぞれの部位でどこを通るのかきちんと説明できるようにしておくこと。どこで反対側に行くか理解する。所要時間 85分以上 【ICT】 WebClassに事前学習資料ならびに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。

講義	5/27(水)	2	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	視覚 I	2,3,4,6,8,9,10,11	<p>【事前学修】 視覚について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上</p> <p>【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>
講義	6/8(月)	1	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	視覚Ⅱ・聴覚Ⅰ	2,3,4,5,6,8,9,10,11	<p>【事前学修】 視覚・聴覚について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上</p> <p>【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>
講義	6/11(木)	1	統合生理学分野	望月 圭 講師	大脳皮質連合野Ⅱ：側頭連合野・前頭連合野	2,3,4,5,6,11	<p>【事前学修】 大脳皮質連合野について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上</p> <p>【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>
講義	6/11(木)	2	統合生理学分野	中嶋 克己 教授	小脳	2,3,6,8,9,10,11	<p>【事前学修】 小脳について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上</p> <p>【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>
講義	6/16(火)	2	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	聴覚Ⅱ	2,3,4,8,9,11	<p>【事前学修】 聴覚について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上</p> <p>【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>

講義	6/17(水)	1	統合生理学分野	望月 圭 講師	言語	3,4,5,8,11	【事前学修】 言語について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間85分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上 【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする
講義	6/17(水)	2	細胞生物学分野	阿久津 仁美 助教	特殊知覚の伝導路	1,2,3,4,5,6,7,8,9,11	【事前学修】 教科書「神経解剖学講義ノート」のp.173-179を読んで、視覚・聴覚・平衡覚・嗅覚・味覚についてまとめておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 配付資料をよく読み、教科書・参考書を用いて伝導路の説明文・説明図を作成する。所要時間 85分以上 【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする
講義	6/18(木)	1	統合生理学分野	中嶋 克己 教授	味覚・嗅覚	2,3,4,5,8,9,11	【事前学修】 味覚・嗅覚について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間85分以上 【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上 【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする
講義	6/18(木)	2	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	感覚性伝導路	1,2,3,4,5,6,7,8,9,11	【事前学修】 教科書(カラー図解 神経解剖学講義ノート) 162~173頁を読み、感覚路の予習を行う。また、視床との関係が重要なので、以前の間脳の部分の講義も復習して講義に臨むこと。所要時間85分以上 【事後学修】 脊髄視床路、長後索路がどこを通るのか、自分なりに脳の部位と通る場所についてきちんと把握すること。どこで反対側に行くかを説明できるようにする。脊髄でのそれぞれの伝導路の走行部位についてきちんと理解し説明できるようにすること。所要時間85分以上 【ICT】 WebClassに事前学習資料ならびに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。

講義	6/22(月)	2	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	視床下部と大脳辺縁系	2,3,4,5,6,8,11	<p>【事前学修】 視床下部・辺縁系について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上</p> <p>【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>
講義	6/22(月)	3	放射線医学講座	鈴木 美知子 講師	神経科学と放射線医学	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11	<p>【事前学修】 放射線医学診断における神経解剖の重要性を説明できる。</p> <p><事前学習> 今までの講義資料や教科書を用いて、脊髄や大脳の構造について再確認すること。特に、連合線維、交連線維、投射線維について再確認する。大脳の脳回、脳溝など形態的構造についても確認しておくこと。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、線維連絡についてまとめ、伝導路についてももう一度きちんと理解すること。大脳における機能局在について再度まとめておくこと。MRIやCTでの画像と実際の染色標本での画像を比較し、各部位を再度確認しておくこと。所要時間 85分以上</p> <p>【ICT】 WebClass上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	6/24(水)	1	統合生理学分野	望月 圭 講師	意識	3,4,5,8,11	<p>【事前学修】 意識について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上</p> <p>【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>
講義	6/24(水)	2	統合生理学分野	永福 智志 非常勤講師	高次脳機能研究	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11	<p>【事前学修】 高次脳機能について推薦図書や参考書の該当する箇所を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料や参考書を用い、講義内容詳細および到達目標について図説したまとめを作成する。所要時間85分以上</p> <p>【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>

講義	6/24(水)	3	脳神経外科学講座	赤松 洋祐 教授	脳神経外科学と神経解剖	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11	<p>【事前学修】 今まで講義で習った連合線維、交連線維、投射線維について復習しておく。伝導路（運動路・感覚路）について復習しておく。大脳の機能局在について復習しておく。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、今までの知識をまとめる。錐体路がどこを通るのか、自分なりに脳の部位と通る場所についてきちんと把握すること。どこで反対側に行くか？大脳を支配する血管（前・中・後大脳動脈）の支配部位について必ず把握すること。所要時間 85分以上</p> <p>【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>
講義	6/25(木)	2	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	脳神経（VII～XII）	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11	<p>【事前学修】 教科書（カラー図解 神経解剖学講義ノート）60～67頁、71～81頁を読み、脳神経のVII～XIIの大まかな機能とその伝導路を予習する。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、VII～XII脳神経の伝導路についてまとめる。それぞれどのような情報を伝えるのか理解する。所要時間 85分以上</p> <p>【ICT】WebClass上に授業に使用するpdfファイルを提示するのであらかじめ見ておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。</p>
講義	6/25(木)	3	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	臨床神経学と神経解剖	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11	<p>【事前学修】 今までの講義資料・教科書を用いて伝導路の予習・復習を行う。また、脊髄での関係が重要なので、以前の脊髄の講義資料を復習して講義に臨むこと。所要時間 85分以上</p> <p>【事後学修】 講義資料を基に、今までの知識をまとめる。錐体路がどこを通るのか、自分なりに脳の部位と通る場所についてきちんと把握すること。どこで反対側に行くか？大脳を支配する血管（前・中・後大脳動脈）の支配部位について必ず把握すること。所要時間 85分以上</p> <p>【ICT】講義に先立ち、講義資料をWebClassにアップロードする</p>

演習	6/25(木)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド`シャリフ 助教 平川 正人 助教	神経解剖学TBL	1,2,3,4,5,6 ,7,8,9, 10,11	【事前学修】 今までに学んだ神経科学の知識の復習を行い、TBLに対する準備を行う。所要時間 85分以上 【事後学修】 TBLで得られた情報を復習し、期末試験に向け準備する。所要時間 85分以上 【ICT】 今までWebClass上に授業に使用されたpdfファイルがあるので復習しておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。
講義	11/19(木)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	中枢神経の組織構造	1,2,3,4,5,6 ,7,8,9, 10,11	【事前学修】 教科書「標準組織学 各論」のp474-531を読んで、内容を大まかにつかんでおく。これまでの講義資料や教科書を用いて、脊髄や大脳の構造について再確認すること。特に、大脳を支配する血管であるWillis動脈輪について再確認する。大脳の脳回、脳溝など形態的構造についても確認しておくこと。所要時間 85分以上 【事後学修】 講義資料を基に、これまでの知識をまとめる。大脳や小脳、脳幹の組織構造を理解し、どの部位に神経核が存在するのか。灰白質はどのような構造になっているのか、自分なりにまとめきちんと把握すること。所要時間 85分以上 【ICT】 今までWebClass上に授業に使用されたpdfファイルがあるので復習しておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。
実習	11/19(木)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド`シャリフ 助教 平川 正人 助教	中枢神経の組織構造	1,2,3,4,5,6 ,7,8,9, 10,11	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成し最終的に提出する。実習内容を整理・理解する。所要時間 85分以上 【ICT】 今までWebClass上に授業に使用されたpdfファイルがあるので復習しておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。

実習	12/1(火)	3	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	大脳・脊髄の観察	1,2,3,4,5,6 .7,8,9,10,11	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成する。実習内容を整理・理解する。所要時間 85分以上 【ICT】 今までWebClass上に授業に使用されたpdfファイルがあるので復習しておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。
実習	12/1(火)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	脊髄・脳幹の観察	1,2,3,4,5,6 .7,8,9,10,11	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成する。実習内容を整理・理解する。所要時間 85分以上 【ICT】 今までWebClass上に授業に使用されたpdfファイルがあるので復習しておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。
実習	12/3(木)	3	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	小脳の観察	1,2,3,4,5,6 .7,8,9,10,11	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成する。実習内容を整理・理解する。所要時間 85分以上 【ICT】 今までWebClass上に授業に使用されたpdfファイルがあるので復習しておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。

実習	12/3(木)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	間脳・大脳基底核・辺縁系の観察	1,2,3,4,5,6 7,8,9, 10,11	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成する。実習内容を整理・理解する。所要時間 85分以上 【ICT】今までWebClass上に授業に使用されたpdfファイルがあるので復習しておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。
実習	12/4(金)	3	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	運動を支える伝導路	1,2,3,4,5,6 7,8,9, 10,11	【事前学修】 事前に配布した実習の手引きや教科書を元に、実習内容や手順を良く読んで理解しておく。所要時間 85分以上 【事後学修】 スケッチを行い、構造についてきちんと名称を記載する。自分なりにきちんと理解したポートフォリオを作成する。実習内容を整理・理解する。所要時間 85分以上 【ICT】今までWebClass上に授業に使用されたpdfファイルがあるので復習しておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。
実習	12/4(金)	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 成田 啓之 准教授 阿久津 仁美 助教 アブダリ サイド シャリフ 助教 平川 正人 助教	知覚を支える伝導路および実習の総復習	1,2,3,4,5,6 7,8,9, 10,11	【事前学修】 今まで実習で行った神経解剖学実習の範囲の復習を行い、実習スポッターテストに備える。所要時間 85分以上 【事後学修】 スポッター試験の復習を行い、期末テストに備えておく。それまでの合計学習時間6時間以上 【ICT】今までWebClass上に授業に使用されたpdfファイルがあるので復習しておくこと。また、WebClassに演習の問題が掲示されているので各自自己学習すること。

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	神経解剖学	監訳：水野昇・野村巖	三輪書店	2017
参考書	解剖実習の手びき 11版	寺田春水、藤田恒夫著	南山堂	2004
教科書	カラー図解 神経解剖学講義ノート	寺島俊雄著	金芳堂	2011
参考書	プラクティカル 解剖実習 脳	千田隆夫、小村一也	丸善出版	2012
推薦図書	臨床神経解剖学 原著第8版	監訳：井出千束・杉本哲夫	Elsevier	2022
参考書	カラー図解 人体の正常構造と機能 改訂第5版	坂井建雄、河原克雅編	日本医事新報社	2025
参考書	目で見る脳解剖－伝導路理解のために－	遠山稿二郎、佐々木真理著	岩手医科大学	2011
推薦図書	標準生理学 第10版	本間研一ほか 監修	医学書院	2025
推薦図書	カンデル神経科学 第2版	金澤一郎、宮下保司 監訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2022
参考書	ベアー コノーズ パラディーソ神経科学：脳の探求：改訂版	M. F.ベアー、B. W. コノーズ、M. A. パラディーソ著、加藤宏司ほか監訳	西村書店	2021
参考書	生理学テキスト 第9版	大地陸男	文光堂	2022
参考書	ギャノン生理学 原著26版	Kim E. Barrettほか著、岡田泰伸 監訳	丸善出版	2022

・成績評価方法

【総括評価】
神経科学の総括評価として、筆記試験100点満点とし、60点以上を合格、60点に満たない場合は再試験とする。

筆記試験は神経解剖学と神経生理学で一括して行い、その内訳は、1) 神経生理学＝中間試験15点＋前期期末試験35点、2) 神経解剖学＝中間試験10点＋前期期末試験30点＋後期期末試験10点、双方の合計で100点とする。

定期試験受験のためには、講義出席回数が2/3以上、かつ、基本的に全ての実習に出席しなければならないが、実習が1/5以上欠席となった場合、期末試験の受験を認めない。実習を欠席する場合に病欠などの理由がある場合は、診断書等を提出すること。加えて神経解剖学実習では実習記録（スケッチ）提出が必須である。スケッチは加算材料として用いる。加えて神経生理学実習では全てのレポート提出が必要である。

【形成的評価】

【神経解剖学】

講義終了時にCBT形式のチェックと解説を行い、フィードバックする。ICTを活用した問題形式のこともある。また、webclassに神経解剖学のCBT形式の問題が掲載されているので各自自己学習すること。

実習に当たっての注意事項：

1. 実習中の一切の飲食（ガム・飴を含む）を禁止する。水分を補給したい場合、実習室ではなく、室外で補給すること。
2. 実習室内では脱帽すること。サングラスなどの使用も禁止する。
3. 実習標本をデジカメなどで撮影することを禁止する。実習室への電子機器の持ち込みを認めない。
4. 実習中に、実習と関係ない内容を大声で話すこと、意味なく実習室内を徘徊することを禁止する。尚、上記の規則に従わない場合は、実習室から退室させ以降の実習への参加も認めない。
5. シラバスに記載されている内容に関して各回に配布・提示されるレジュメ等を用いて事前学修（予習）を行うこと。

これらに従わなかった場合厳罰に処する。事前学修で使用する資料はWebclassを通じて事前に配信する。実習スケッチは、後期期末試験終了後に提出が必要。成果物は点数化し、後期期末試験点数に加算する。

【神経生理学】

講義または実習中に口頭試問や課題、討論を適宜実施して講義内容の理解度を確認し、対話形式で解説してフィードバックする。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1-11	1,2,4,6	10			40			50
2-11	1,2,4,6	15			35			50
合計		25			75			100

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前・事後学修（予習・復習）を行うこと。各講義に対する事前・事後学修の時間は最低85分を要する。本内容は全講義に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、講義の中で試験やレポートを課す場合は、次回の講義またはwebclassで解説を行う。講義では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

講義資料はWebClassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

教科書、参考書、講義室、実習室、図書館、PC、コンピューターソフトウェア、実験動物、細胞内電位記録装置、細胞外電位記録装置、誘発筋電図記録装置、聴性脳幹反応記録装置、PowerLab A-D変換装置、ワークステーション式、液晶プロジェクター

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン1式 (MATE)	1	講義・実習資料作成
実習	純水製造装置オートスチル	1	講義・実習資料作成
実習	解剖用具一式		実習で使用
実習	エタノール		実習標本作製
実習	手ぬぐい		実習で使用
実習	ビニール袋		実習で使用
実習	スケッチブック (A4) 各自・色鉛筆 (各自)	150	実習で使用
実習	細胞内電位記録装置	1	単一細胞の細胞内電位を記録し、活動電位や受容体応答を観察する。
実習	誘発筋電図記録装置	2	ヒト坐骨神経刺激により誘発される筋電図を記録し、脊髄反射について学ぶ。
実習	聴性脳幹反応記録装置	1	ヒト聴覚刺激時に誘発される脳幹の電位応答から、聴覚伝導路について学ぶ。
実習	PowerLab A-D変換機	3	生体のアナログ信号をデジタル化しパソコンに取込む。
実習	ノートパソコン	2	データを解析
講義	ノートパソコン SurFace Pro3 (マイクロソフト QH2-00016)	8	講義資料作成
講義	液晶ディスプレイ FlexScan (EIZO EV2736W-ZBK)	8	講義資料作成
講義	ワークステーション式 (NEC Express5800/52Xa W8164 N8000-6205)	8	講義資料作成
講義	ノートパソコン VAIO SX12	1	講義で使用
実習	ミニパソコン miniMagnate ZE カスタマイズ	1	実習で使用
実習	個人用ノートパソコン	150	実習で使用
実習	色鉛筆 (各自)	150	実習で使用
講義・実習	ノートパソコン	1	講義・実習で使用
講義・実習	プロジェクター	1	講義・実習で使用
講義	デスクトップパソコン G-Tune DG-I7G7S マウスコンピューター	1	講義資料作成
講義	デスクトップパソコン 一式 Dell	1	講義資料作成
講義	ノートパソコン Panasonic	1	講義資料作成
講義	TeraStation 4ベイ NAS 12TB バッファロー	1	講義資料作成

微生物学

ナンバリング M2-S1-B12

責任者・コーディネーター	感染症学・免疫学分野 村木 靖 教授		
担当講座・学科（分野）	感染症学・免疫学分野、分子微生物学分野、臨床検査医学・感染症学講座、小児科学講座		
担当教員	村木 靖 教授、石河 太知 教授、海部 知則 准教授、小野寺直人 講師、石川 静麻 助教、小田切 崇 助教、松本 敦 助教、西條 政幸 非常勤講師		
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 35コマ 70.0時間
期間	後期		演習 2コマ 4.0時間 実習 8コマ 16.0時間

・学習方針（講義概要等）

微生物学（microbiology）では、ウイルス、細菌、寄生虫、真菌の構造、増殖、病原性について学ぶ。次にそれらの知識を基盤にして、それらの引き起こす感染性疾患と治療法を講義する。感染症はいずれの臨床科とも関わりがあるため、微生物学は今後臨床医学を学ぶ上で重要である。本科目の目的は、感染症を引き起こす病原微生物の性状を理解すること、さらに実習において実際に微生物を取り扱うことによりその知識を深めることである。

・教育成果（アウトカム）

各種の微生物の基本的な構造や性状を理解することで、微生物のもつ病原性とそれによって生じる病態を説明できるようになる。

（ディプロマ・ポリシー： 2.4 ）

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	微生物学と感染症学の歴史と発展について説明できる。
2	ウイルスの構造を図示し、各部の機能を説明できる。
3	ゲノム核酸やカプシドの性状に基づいたウイルスの分類を説明できる。
4	ウイルスの増殖過程（吸着から放出まで）の各過程を説明できる。
5	ウイルスの培養と感染による細胞変性効果を説明できる。
6	ウイルスの定量法とその意義を説明できる。
7	ウイルスに特徴的な遺伝的／非遺伝的機構を説明できる。
8	ウイルスの侵入門戸、伝播経路、伝播様式、病原性を説明できる。
9	ウイルスによる人獣共通感染症、および新興・再興感染症を説明できる。
10	ウイルスによる発がんを説明できる。
11	抗ウイルス薬の概要を説明できる。
12	ウイルス感染症の診断法を説明できる。
13	代表的なDNAウイルスの特徴とそれが引き起こす疾患を説明できる。
14	代表的なRNAウイルスの特徴とそれが引き起こす疾患を説明できる。
15	レトロウイルスの特徴とそれが引き起こす疾患を説明できる。
16	寄生虫（原虫・蠕虫）の特徴とその代表例を説明できる。
17	主な寄生虫の生活環と保有動物を説明できる。
18	主な寄生虫の感染経路、感染臓器、診断法、治療法を説明できる。

19	寄生虫感染宿主の生体防御の特徴を説明できる。
20	細菌の構造を図示し、各部の機能を説明できる。
21	形態と染色性に基づいた細菌の分類を説明できる。
22	細菌の増殖および遺伝学についての説明ができる。
23	生体各部の微生物叢の構成とその機能を説明できる。
24	滅菌と消毒についての概要を説明できる。
25	抗菌薬・消毒薬の種類とその作用機序について説明できる。
26	細菌感染症の検査法について説明できる。
27	細菌のもつ病原性を説明できる。
28	外毒素と内毒素の構造と毒素活性の発現機序を説明できる。
29	代表的なグラム陽性細菌の特徴とそれが引き起こす疾患を説明できる。
30	代表的なグラム陰性細菌の特徴とそれが引き起こす疾患を説明できる。
31	マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの特徴とそれが引き起こす疾患を説明できる。
32	スピロヘータの特徴とそれが引き起こす疾患を説明できる。
33	真菌の構造、形態学的特徴とその代表例を説明できる。
34	真菌の増殖および遺伝学について説明できる。
35	代表的な真菌の特徴とそれが引き起こす疾患を説明できる。

・ 講義場所

講義：東1-B講義室 実習：西3-D実習室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	9/2(水)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	微生物学総論	1	<p>【事前学修】 微生物学の概念と歴史について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】 WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	9/2(水)	2	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	ウイルスの構造と分類	2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 ウイルスの構造と分類について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】 WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>

講義	9/9(水)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	ウイルスの構造と分類	2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 ウイルスの構造と分類について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	9/9(水)	2	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	ウイルスの増殖	2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 ウイルスの増殖について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	9/14(月)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	ウイルスの培養	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 ウイルスの培養について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	9/14(月)	2	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	ウイルスの定量	2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 ウイルスの定量について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>

講義	9/16(水)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	インターフェロン	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 インターフェロンについて調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	9/16(水)	2	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	ウイルスの遺伝学	2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 ウイルスの遺伝学について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	9/30(水)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	ウイルスの病原性	2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 ウイルスの病原性について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	10/2(金)	3	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	ウイルスの病原性	2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 ウイルスの病原性について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>

講義	10/2(金)	4	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	抗ウイルス薬	2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 抗ウイルス薬について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	10/7(水)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	ウイルス感染症の診断	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 ウイルス感染症の診断について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	10/7(水)	2	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	代表的なウイルス感染症	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 ウイルス感染症について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	10/9(金)	3	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	寄生虫学	16,17,18,19	<p>【事前学修】 寄生虫について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>

講義	10/14(水)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	寄生虫学	16,17,18,19	<p>【事前学修】 寄生虫について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	10/14(水)	2	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	細菌の構造と分類	20,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32	<p>【事前学修】 細菌の構造と分類について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	10/21(水)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	細菌の構造と分類	20,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32	<p>【事前学修】 細菌の構造と分類について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>
講義	10/21(水)	2	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	細菌の増殖	20,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32	<p>【事前学修】 細菌の増殖について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。</p> <p>【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う</p>

講義	10/23(金)	3	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	常在微生物叢 滅菌・消毒	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32	【事前学修】 常在微生物叢滅菌・消毒について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う
演習	10/23(金)	4	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	微生物学中間試験 1	1,2,3,4,5,6 .7,8,9, 10,11,12, 13,14,15	【事前学修】 ウイルス学で学んだことについて、WebClassに過去問を含め、十分に復習すること。所要時間90分。 【事後学修】 試験問題に関連した事項について復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
講義	10/28(水)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	細菌の遺伝学	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32	【事前学修】 細菌の遺伝学について、標準微生物学を読み300字程度でまとめること。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う
講義	10/28(水)	2	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	スピロヘータ	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32	【事前学修】 スピロヘータについて調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う

講義	10/30(金)	3	感染症学・免疫学分野	西條 政幸 非常勤講師	新興・再興ウイルス感染症	1,2,3,4,5,6 .7,8,9, 10,11,12, 13,14,15	【事前学修】 新興・再興ウイルス感染症について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
講義	10/30(金)	4	感染症学・免疫学分野	西條 政幸 非常勤講師	新興・再興ウイルス感染症	1,2,3,4,5,6 .7,8,9, 10,11,12, 13,14,15	【事前学修】 新興・再興ウイルス感染症について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
講義	11/6(金)	3	感染症学・免疫学分野	石川 静麻 助教	抗菌薬	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32	【事前学修】 抗菌薬について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
講義	11/6(金)	4	感染症学・免疫学分野	石川 静麻 助教	抗菌薬・消毒薬	1,2,20,21, 22,23,24, 25,26,27, 28,29,30, 31,32	【事前学修】 抗菌薬・消毒薬について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
講義	11/11(水)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	非定型細菌	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32	【事前学修】 非定型細菌について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う

講義	11/11(水)	2	感染症学・免疫学分野	小田切 崇 助教	実習前講義	1,2,3,4,5,6 .7,8,9, 10,11,12, 13,14,15, 20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29	【事前学修】 ウイルス学・細菌学で学んだことについて調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
実習	11/12(木)	3	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	微生物学実習 (ウイルス学1)	1,2,3,4,5,6 .7,8,9, 10,11,12, 13,14,15	【事前学修】 ウイルス学で学んだことについて調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 実習で学んだ事項を復習し、レポートを作成する。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
実習	11/12(木)	4	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	微生物学実習 (ウイルス学2)	1,2,3,4,5,6 .7,8,9, 10,11,12, 13,14,15	【事前学修】 ウイルス学で学んだことについて調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 実習で学んだ事項を復習し、レポートを作成する。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
実習	11/13(金)	3	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	微生物学実習 (ウイルス学3)	1,2,3,4,5,6 .7,8,9, 10,11,12, 13,14,15	【事前学修】 ウイルス学で学んだことについて調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 実習で学んだ事項を復習し、レポートを作成する。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
実習	11/13(金)	4	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	微生物学実習 (ウイルス学4)	1,2,3,4,5,6 .7,8,9, 10,11,12, 13,14,15	【事前学修】 ウイルス学で学んだことについて調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 実習で学んだ事項を復習し、レポートを作成する。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする

講義	11/18(水)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	細菌の病原性	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32	【事前学修】 細菌の病原性について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う
実習	11/26(木)	3	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	微生物学実習 (細菌学1)	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32	【事前学修】 細菌学で学んだことについて調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 実習で学んだ事項を復習し、レポートを作成する。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
実習	11/26(木)	4	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	微生物学実習 (細菌学2)	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32	【事前学修】 細菌学で学んだことについて調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 実習で学んだ事項を復習し、レポートを作成する。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
実習	11/27(金)	3	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	微生物学実習 (細菌学3)	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32	【事前学修】 細菌学で学んだことについて調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 実習で学んだ事項を復習し、レポートを作成する。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
実習	11/27(金)	4	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	微生物学実習 (細菌学4)	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32	【事前学修】 細菌学で学んだことについて調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 実習で学んだ事項を復習し、レポートを作成する。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする

講義	12/2(水)	3	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	細菌の病原性	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32	【事前学修】 細菌の病原性について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う
演習	12/2(水)	4	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	微生物学中間試験 2	16,17,18, 19,20,21, 22,23,24, 25,26,27, 28,29,30, 31,32	【事前学修】 細菌学、寄生虫学で学んだことについて、WebClassに開示した過去問を含め、十分に復習すること。所要時間90分。 【事後学修】 試験問題に関連した事項について復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
講義	12/9(水)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	細菌の病原性	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32	【事前学修】 細菌の病原性について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う
講義	12/9(水)	2	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	真菌学	33,34,35	【事前学修】 真菌について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする Slidoによる講義内容の確認を行う

講義	12/10(木)	3	分子微生物学分野	石河 太知 教授	口腔領域の細菌学	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30	【事前学修】 口腔領域の細菌学について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
講義	12/10(木)	4	臨床検査医学・感染症学講座	小野寺 直人 講師	細菌学的検査	20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31, 32,33,34, 35	【事前学修】 細菌学的検査について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
講義	12/17(木)	1	小児科学講座	松本 敦 助教	小児の代表的な感染症	1,2,3,4,5,6 .7,8,9, 10,11,12, 13,14,15, 20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31	【事前学修】 小児の代表的な感染症について調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする
講義	12/17(木)	2	小児科学講座	松本 敦 助教	Vaccine Preventable Diseases	1,2,3,4,5,6 .7,8,9, 10,11,12, 13,14,15, 20,21,22, 23,24,25, 26,27,28, 29,30,31	【事前学修】 Vaccine Preventable Diseasesについて調べ、A4版1枚にまとめておく。所要時間90分。 【事後学修】 講義で学んだ事項を復習し、A4版1枚にまとめ、ポートフォリオに挟んでおく。所要時間90分。 【ICT】WebClassに資料をアップする

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	標準微生物学第15版	錫谷達夫、松本哲也	医学書院	2024
参考書	シンプル微生物学改訂第6版	小熊恵二、堀田博、若宮伸隆	南江堂	2018
参考書	標準微生物学第14版	中込治、神谷茂	医学書院	2021
参考書	戸田新細菌学改訂35版	柳雄介、林哲也、山崎晶	南山堂	2025
参考書	図説人体寄生虫学改訂10版	吉田幸雄、有菌直樹	南山堂	2021

参考書	Levinson's Review of Medical Microbiology and Immunology (17th edition)	Chin-Hong, Peter, Joyce, Elizabeth A., Karandikar, Manjiree, Matloubian, Mehrdad, Rubio, Luis Alberto	LANGE	2024
推薦図書	ウオームアップ微生物学	中込治	医学書院	2022

・成績評価方法

【総括評価】

進級試験（23%）、中間試験1（23%）、中間試験2（23%）、小テスト（19%）、実習（12%）で評価し、100点満点に換算して60点以上を合格とする。小テストは講義の進行にあわせ、適宜実施する。その日程については別途指示する。

【形成的評価】

各単元の終了直後にWebClassによる確認試験を実施し、講義内容の理解度を確認する。採点結果を直ちに学生にフィードバックする。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～15	2, 4	20	7	8	10			45
16～19	2, 4	6		2				8
20～32	2, 4	20	5	8	9			42
33～35	2, 4			1	4			5
合計		46	12	19	23			100

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。

各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次の授業で解説を行う。また各回講義の中で、教員とのディスカッションの機会を設ける。

授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

講義や実習における不適切な行為が認められた場合、それ以降の講義や実習を中止することもある。

講義資料はWebClassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

参考書、講義室、実習室、図書館、PC、カラー複合機、正立顕微鏡、倒立顕微鏡、培養器、冷蔵庫、冷凍庫

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	倒立顕微鏡	24	培養細胞の観察
実習	双眼顕微鏡	136	標本の観察
実習	遠心分離機	3	検体の遠心分離
実習	ふらん器	1	細菌の培養
実習	生物顕微鏡（寄生虫学）	136	組織実習
講義	液晶プロジェクター	1	講義
講義	パソコン	1	講義
講義	MSシュレッダー	1	試験資料用
講義	カラー複合機	1	試験資料用
講義	ノートパソコン	1	講義、ゼミ

実習	高圧蒸気滅菌器	1	感染性廃棄物の滅菌
講義	デスクトップパソコン EliteOne 800 G4 ALL-in-One/CT 一式	1	成績の入力・管理
実習	傾斜型 安全キャビネット	1	実習で使用
実習	製氷機	1	実習で使用
実習	超純水製造装置 Simplicity UV 一式	1	実習用試薬作製
実習	吸光マイクロプレートリーダー Sunrise Rainbow RC	1	実習結果測定
実習	Finnpipette F1 Multichannel Pipettes 12-channel 300 μL	1	実習で使用
実習	ガラス引き違い書庫	1	実習で使用
実習	薬品保管庫	1	実習で使用
講義	デスクトップパソコン EliteOne	1	講義
講義	MacbookAir 13インチ M3/8GB/256GB ミッドナイト	1	講義
講義	デスクトップパソコン Elite TWR 800 G9/CT 一式	1	講義

免疫学

ナンバリング M2-S1-B13

責任者・コーディネーター		感染症学・免疫学分野 村木 靖 教授	
担当講座・学科（分野）		感染症学・免疫学分野	
担当教員		村木 靖 教授、海部 知則 准教授、石川 静麻 助教、小田切 崇 助教	
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 14コマ 28.0時間
期間	後期		演習 1コマ 2.0時間 実習 4コマ 8.0時間

・学習方針（講義概要等）

本科目では、生体防御機構を担う免疫システムについて基礎知識を習得し、免疫システムが関わる疾患について理解する。免疫学の内容は、免疫システムの制御機構や病原体に対する生体防御反応、過剰な免疫応答による生じる疾患（アレルギー、慢性炎症）や自己免疫疾患、免疫不全症、腫瘍免疫など、多岐にわたる。また、ワクチンは免疫学や感染症学とともに発展してきた。免疫学は臨床医学と密接な関わりを持っており、今後の臨床医学を学ぶための土台となる学問である。

・教育成果（アウトカム）

免疫システムを担う細胞や関連する因子を理解することで、免疫応答を体系的に説明出来るようになる。さらにその理解を土台にして、病原体やがんに対する生体防御応答、免疫関連疾患（アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全症等）や移植の際に生じる免疫応答を説明出来るようになる。これらから臨床医学の理解に必要な免疫学の基礎を確立することが出来る。

(ディプロマ・ポリシー: 2.4)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	免疫反応に関わる組織と細胞について説明できる。
2	液性因子による細胞間情報伝達（自己分泌、傍分泌、内分泌）について説明できる。
3	自然免疫と獲得免疫の違いを説明できる。
4	生体防御機構における免疫系の特徴（特異性、多様性、寛容および記憶）を説明できる。
5	自然免疫系を構成する主な細胞とそれらの活性化機構（TLR等）を説明できる。
6	補体及び自然免疫細胞が病原体により活性化し、炎症を引き起こす仕組みについて説明できる。
7	抗原提示細胞の種類と役割、抗原提示機構について説明できる。
8	主要組織適合遺伝子複合体クラスIとクラスIIの基本構造と機能、抗原提示によるT細胞活性化の仕組みについて概説できる。
9	ヘルパーT細胞、細胞傷害性T細胞、制御性T細胞が担当する生体防御反応について説明できる。
10	免疫グロブリンとT細胞抗原レセプターの構造と反応様式を説明できる。
11	免疫グロブリンとT細胞抗原レセプター遺伝子の構造と遺伝子再構成に基づく多様性獲得の機構について説明できる。
12	B細胞の活性化による抗体産生の機構及び抗体の役割を説明できる。
13	アレルギーの基本的分類を挙げ、それぞれの反応について説明できる。
14	自己と非自己の識別機構と免疫学的寛容を概説できる。
15	免疫寛容の維持機構とその破綻による自己免疫疾患の発症について説明できる。

16	ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴について概説できる。
17	がん免疫に関わる細胞性機序について説明できる。
18	ワクチンによる細胞性免疫誘導と液性免疫誘導を説明できる。
19	免疫系を解析する機器（フローサイトメトリー等）の原理を説明できる。

・ 講義場所

講義：東1-B講義室 実習：西3-D実習室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標 番号	事前事後学修/ICT
講義	9/4(金)	3	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学1：免疫学概説 1.免疫担当細胞 2.受容体・液性因子 3.非特異的防御機構の概説	1,5	【事前学修】 免疫学1の配布資料および参考書で「白血球の基本的特性と分類」と「白血球と免疫」についてまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 講義で学んだ免疫担当細胞のそれぞれの性質について100字程度で説明できるようにすること。所要時間 80分 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
講義	9/4(金)	4	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学2：自然免疫 1.自然免疫の概説 2.自然免疫に関与する細胞の機能 3.自然免疫受容体 4.補体	1,5,6	【事前学修】 免疫学2の配布資料および参考書をもとに自然免疫受容体と補体についてまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 講義で学んだ補体活性経路についてまとめること。（図を記載するなどの工夫する）自然免疫に関与する細胞について100字程度で説明できるようにすること。所要時間 80分 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
講義	9/11(金)	3	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学3：獲得免疫 1.獲得免疫系の概説 2.抗原処理 3.抗原提示	1,2,3,7,8,1 6	【事前学修】 免疫学3の配布資料および参考書をもとに抗原提示細胞（特にマクロファージ、樹状細胞）についてまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 講義で学んだ抗原提示の仕組みについてMHCクラスに注意して100字程度で説明できるようにすること。所要時間 80分 【ICT】WebClassに事前資料をアップする

講義	9/11(金)	4	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学4：獲得免疫 1.T細胞受容体の多様性 2.HLAの構造と種類 3.レセプターの遺伝子再編成 4.中枢性免疫寛容	1,2,3,4,7,8,10,11,14,15	【事前学修】 免疫学4の配布資料および参考書をもとにT細胞についてまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 講義で学んだ胸腺で生じている胸腺細胞の分化の過程を100字程度で説明できるようにすること。所要時間 80分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	9/18(金)	3	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学5：獲得免疫 1.ヘルパーT細胞1 2.ヘルパーT細胞2	1,2,3,4,7,8,9,13,14	【事前学修】 免疫学5の配布資料および参考書をもとにヘルパーT細胞についてまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 講義で学んだヘルパーT細胞の分化過程と役割について100字程度で説明できるようにすること(対比させて記載してもよい)。所要時間 80分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	9/18(金)	4	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学6：獲得免疫 1.細胞傷害性T細胞（細胞性免疫） 2.制御性T細胞（末梢性免疫寛容） 3.γ δ T細胞 4.B細胞（液性免疫） 5.骨髄の役割	1,2,3,4,9,10,17,18	【事前学修】 免疫学6の配布資料と参考書をもとにT細胞の種類とB細胞の機能についてまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 講義で学んだB細胞分化と液性免疫について100字程度で説明できるようにすること。所要時間 80分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	9/25(金)	3	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学7：抗体の多様性 1.抗体の種類と構造 2.形質細胞 3.二次免疫応答	1,2,3,4,6,7,8,9,10,11,12,13,14,18	【事前学修】 免疫学7の配布資料をもとに抗体の種類と構造についてまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 講義で学んだ抗体の多様性について100字程度で説明できるようにすること。また二次免疫応答について100字程度で説明できるようにすること。所要時間 80分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

講義	9/25(金)	4	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学8：免疫記憶、全身免疫、粘膜免疫 1.免疫記憶 2.全身免疫の特徴 3.粘膜免疫の特徴	1,2,4	【事前学修】 免疫学8の配布資料をもとにそれぞれの免疫記憶についてまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 全身免疫と粘膜免疫のそれぞれの特徴と違いについて100字程度で説明できるようにすること。所要時間 80分 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
講義	9/30(水)	2	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学9：中間まとめ	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12	【事前学修】 免疫学1～8の配布資料をもとに免疫担当細胞の機能と細胞間の相互作用についてまとめておくこと。所要時間 80分 【事後学修】 まとめ講義の内容で理解が不十分だった項目を配布資料と参考書をもとに復習すること。所要時間 80分 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
演習	10/9(金)	4	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	免疫学中間試験	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12	【事前学修】 過去の問題をもとにまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 不正解の分野を重点的に復習しその内容について再度まとめること。所要時間 80分 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
講義	11/18(水)	2	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	実習前講義	1,2,3,4,6,19	【事前学修】 免疫学1～8の配布資料から実習内容に該当する領域を復習しまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 実習書を熟読し、実習内容に関して説明できるようにすること。所要時間 80分 【ICT】WebClassに事前資料をアップする

実習	11/20(金)	3	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	免疫学実習1： フローサイトメーターによる白血球表面の表現型解析 マクロファージ貪食試験によるオプソニン効果の観察 ゲル内沈降反応による抗原抗体反応の観察	1,2,3,10,19	【事前学修】 実習書の該当部分を熟読し、操作手技を事前に把握しておくとともに実習の免疫学的内容をまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 実習班ごとに結果をディスカッションする。レポートを作成する。所要時間 80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	11/20(金)	4	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	免疫学実習2： フローサイトメーターによる白血球表面の表現型解析 マクロファージ貪食試験によるオプソニン効果の観察 ゲル内沈降反応による抗原抗体反応の観察	1,2,3,10,19	【事前学修】 実習書の該当部分を熟読し、操作手技を事前に把握しておくとともに実習の免疫学的内容をまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 実習班ごとに結果をディスカッションする。レポートを作成する。所要時間 80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	11/24(火)	3	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	免疫学実習3： ゲル内沈降反応による抗原抗体反応の観察 ELISAによる特異抗体の検出と定量	1,3,4,6,10	【事前学修】 実習書の該当部分を熟読し、操作手技を事前に把握しておくとともに実習の免疫学的内容をまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 実習班ごとに結果をディスカッションする。レポートを作成する。所要時間 80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	11/24(火)	4	感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野 感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授 海部 知則 准教授 石川 静麻 助教 小田切 崇 助教	免疫学実習4： ゲル内沈降反応による抗原抗体反応の観察 ELISAによる特異抗体の検出と定量	1,3,4,6,10	【事前学修】 実習書の該当部分を熟読し、操作手技を事前に把握しておくとともに実習の免疫学的内容をまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 実習班ごとに結果をディスカッションする。レポートを作成する。所要時間 80分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

講義	12/15(火)	3	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学10：アレルギー、 感染免疫 1.アレルギーの基礎 2.感染免疫の特徴	2,7,9,10,1 3,16	【事前学修】 免疫学10の配布資料および参考書をもとにアレルギーの分類についてまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 クームス分類に基づいてそれぞれのアレルギーの型（I型～V型）についてまとめること。（対比表を作るなど工夫する）。所要時間 80分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	12/15(火)	4	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学11：自己免疫疾患、 腫瘍免疫と移植免疫 1.自己免疫応答 2.腫瘍免疫の特徴 3.移植免疫の特徴	2,7,9,10,1 4,15,17	【事前学修】 免疫学11の配布資料および参考書をもとに自己免疫疾患の種類についてまとめておく。所要時間 80分 【事後学修】 講義で学んだ移植時の免疫応答について100字程度で説明できるようにすること。腫瘍免疫について100字程度で説明できるようにすること。（対比表を作るなど工夫する）。所要時間 80分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	12/17(木)	3	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学12：免疫不全、 免疫制御 1.先天性免疫不全 2.後天性免疫不全 3.免疫調節（抗体医薬）	1,2,7,10,1 5	【事前学修】 免疫学12の配布資料および参考書をもとに生物製剤について100字程度でまとめておくこと。所要時間 80分 【事後学修】 講義で学んだ免疫不全について発症機序を考慮して100字程度でまとめること。所要時間 80分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	12/17(木)	4	感染症学・免疫学分野	海部 知則 准教授	免疫学13：免疫制御と まとめ 1.ワクチン 2.免疫血清学的検査 3.免疫学10-12のまとめ	18	【事前学修】 免疫学13の配布資料と参考書をもとにフローサイトメトリーの原理について100字程度でまとめること。所要時間80分 【事後学修】 講義で学んだワクチンの効果について感染予防と重症化予防の違いを100字程度でまとめること。所要時間80分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参考書	免疫生物学（原書第9版）	笹月健彦、吉開泰信	南江堂	2019

・成績評価方法

【総括評価】

進級試験（50%）、中間試験（30%）、実習（20%）で評価し、100点満点に換算して60点以上を合格とする。

【形成的評価】

小テストを実施して講義内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックする。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～12,14	2.4	25			10			35
13,15～19	2.4				35			35
1,6,12,19	4	5	20		5			30
合計		30	20		50			100

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。

各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次の授業で解説を行う。また各回講義の中で、教員とのディスカッションの機会を設ける。

授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

講義や実習における不適切な行為が認められた場合、それ以降の講義や実習を中止することもある。

講義資料はWebClassで配信する。

本科目では、事前事後学修以外に80分の自己学修を要す。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

参考書、講義室、実習室、PC、カラー複合機、吸光光度計、フローサイトメーター、倒立顕微鏡

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	倒立顕微鏡	12	細胞の観察
実習	双眼顕微鏡（免疫学）	130	標本の観察
実習	遠心分離機	3	検体の遠心分離
講義	液晶プロジェクター	1	講義
講義	パソコン	1	講義
講義	MSシュレッダー	1	試験資料用
講義	カラー複合機	1	講義
実習	Finnpipette F1 Multichannel Pipettes 12-channel 300 μ L	1	実習で使用
実習	ガラス引き違い書庫	1	実習で使用
実習	薬品保管庫	1	実習で使用

病理学総論

ナンバリング M2-S1-B14

責任者・コーディネーター	機能病態学分野 教授代理 齋野 朝幸 教授		
担当講座・学科（分野）	教育支援システム開発分野、病理診断学講座、機能病態学分野		
担当教員	前沢 千早 教授、柳川 直樹 教授、笹野 公伸 非常勤講師、佐藤 孝 非常勤講師		
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 13コマ 26.0時間
期間	後期		演習 2コマ 4.0時間 実習 0コマ 0.0時間

・学習方針（講義概要等）

病理学は解剖学的・生理学的・生化学的知識を基に、病的状態での各臓器の変化・原因・経過・転帰・死因を分析することで、疾病を科学的に解明しようとする学問である。病理学は現代の基礎・臨床医学において必要な知識・考え方・研究手法の根幹をなしていると言う点で重要な学問である。学生は疾病の病態生理を理解するために、形態観察の手法に加えて分子レベルでの機能や構造の異常と、個体への影響に関する知識を学ばなければならない。病理学総論では、疾病をいくつかのカテゴリーに分類し、全身の各臓器に共通する一般的な原理について学ぶ。即ち、疾病を組織と細胞を場として展開される異常として理解し、臓器の違いを問わない点に特徴がある。このことは、今後履修する病理学各論（器官病理学）および臨床医学の理解に不可欠な要素となる。

・教育成果（アウトカム）

病理学的な形態観察の手法に加えて、機能や構造に関わる分子レベルの異常を学習することで、疾病の成り立ちやその病態生理を説明できるようになる。

(ディプロマ・ポリシー： 4)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	病理学を学ぶ意義を説明できる。
2	病因を分類して説明できる。
3	代謝障害の分類と代表的疾患の病態を説明できる。
4	内分泌関連疾患の病態について説明できる。
5	退行性病変の概念、メカニズム、形態の異常を説明できる。
6	細胞死を説明できる。
7	生体の恒常性と代謝障害の概念を説明できる。
8	循環器系を構成する器官の機能と構造を説明できる。
9	局所的な循環障害に関連した用語（血栓、塞栓等）を定義し病態を説明できる。
10	全身の循環異常（高血圧、浮腫等）の発生機序と病態を説明できる。
11	心筋梗塞の病態を説明できる。
12	動脈硬化、血管炎など血管病変の発生機序と病態を説明できる。
13	奇形の定義、成り立ち、原因について説明できる。
14	炎症の原因、経過、転帰、種類について説明できる。
15	炎症メディエーターとその役割を説明できる。

16	急性炎症から慢性炎症に至る過程を説明できる。
17	各臓器の炎症の概念と組織学的特徴を説明できる。
18	進行性病変の概念、メカニズム、形態の異常を説明できる。
19	細胞増殖のメカニズムと侵襲に対する細胞の変化を説明できる。
20	細胞周期、細胞死、増殖の機構を理解し、成長・分化・形態形成の障害を説明できる。
21	腫瘍の定義を述べ、組織型と分化度について説明できる。
22	がん遺伝子とがん抑制遺伝子について説明できる。
23	がん関連遺伝子の異常と個体に対する影響を説明できる。
24	医療における診断病理学の役割を説明できる。
25	講義を聴いて、最新医学の知見を元に自ら問題点を見出し討議できる。

・講義場所

講義：東1-B講義室 実習：西4-B実習室

・講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	10/19(月)	1	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	病理学序論	1,2,5,6,7,18,24	<p>【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 60分</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする</p>
講義	10/20(火)	2	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	炎症と修復(1)	1,2,14,15,16,17	<p>【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。同時に、免疫学の復習も行う。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 60分</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする</p>

講義	10/22(木)	1	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	炎症と修復(2)	14,15,16,17	<p>【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。同時に、免疫学の復習も行う。所要時間60分 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。同時に、免疫学の復習も行う。所要時間 60分</p> <p>【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 60分</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料をアップする</p>
講義	11/9(月)	2	機能病態学分野	笹野 公伸 非常勤講師	特別講義：現代の病理学	1,2,24,25	<p>【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。同時に、生理学の復習も行う。所要時間60分</p> <p>【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 60分</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料をアップする</p>
講義	11/12(木)	1	機能病態学分野	佐藤 孝 非常勤講師	代謝障害(1)	1,2,3,4,7	<p>【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。同時に、生化学の復習も行う。所要時間60分</p> <p>【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 120分</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料をアップする</p>
講義	11/12(木)	2	機能病態学分野	佐藤 孝 非常勤講師	代謝障害(2)	1,2,3,4,7	<p>【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。同時に、生化学の復習も行う。所要時間60分</p> <p>【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 60分</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料をアップする</p>

講義	11/17(火)	2	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	遺伝性疾患および小児の疾患	1,2,7,13	【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。同時に、生化学の復習も行う。所要時間 60分 【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 60分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/24(火)	1	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	循環障害(1)	1,2,8,9,10,11,12	【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。同時に、生理学の復習も行う。所要時間 60分 【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 60分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/24(火)	2	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	循環障害(2)	2,8,9,10,11,12	【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。同時に、生理学の復習も行う。所要時間 60分 【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 60分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/30(月)	1	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	循環障害(3)	2,8,9,10,11,12	【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。同時に、生理学の復習も行う。所要時間 60分 【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 120分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	12/2(水)	1	病理診断学講座	柳川 直樹 教授	腫瘍(1)	1,2,19,20,21,22,23	【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。所要時間 60分 【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 60分 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

講義	12/2(水)	2	病理診断学講座	柳川 直樹 教授	腫瘍(2)	2,19,20, 21,22,23	【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。所要時間 60分 【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 60分 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
講義	12/7(月)	5	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	腫瘍(3)	2,19,20, 21,22,23	【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。所要時間 60分 【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 60分 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
演習	12/8(火)	1	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	病理学演習(1)	1,2,16,17, 21,24	【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。所要時間 60分 【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 120分 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
演習	12/8(火)	2	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	病理学演習(2)	1,2,16,17, 21,24	【事前学修】 病理学の教科書・参考書の該当箇所を通読し、全体像を把握する。所要時間 60分 【事後学修】 講義スライドを参考に、教科書の該当分野を再読する。所要時間 120分 【ICT】WebClassに事前資料をアップする

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参考書	ロビンス基礎病理学 原書10版	V. Kumar他著、豊國伸哉他監訳	丸善出版	2018
推薦図書	Robbins Basic Pathology, 10e (Robbins Pathology)	V. Kumar, et al	Elsevier	2017
教科書	標準病理学 第6版	北川昌伸監修	医学書院	2020
参考書	カラー版 アンダーウッド病理学	J.C.E.Underwood 編、鈴木利光、森道夫 監訳	西村書店	2002
参考書	カラーアトラス基礎組織病理学 4版	Alan Stevensほか著、松田幹夫ほか翻訳	西村書店	2004

参考書	カラーアトラスマクロ病理学 3版	Robin A. Cooke, Brian Stewart 著、山川光徳 訳	西村書店	2005
-----	------------------	--	------	------

・成績評価方法

【総括評価】

進級試験の結果(80%)に、スケッチ(10%)、レスポンスカード(10%、相互評価を含む)を加え、100点満点に換算して60点以上を合格とする。

【形成的評価】

単元毎にwebclassを使った演習問題を提示し、学生に回答・自己採点してもらう。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1-24	4		10		80			90
25	4						10	10
合計			10		80		10	100

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修(予習・復習)を行うこと。各授業に対する事前・事後学修の時間は最低各60分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

各回の事前事後学修時間以外に1560分の教科書・参考書を用いた自己学習を要す。

講義資料の一部はWebclassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

教科書、参考書、講義室、実習室、図書館、組織標本、顕微鏡、バーチャルスライド、PC、インターネット環境、コンピューターソフトウェア、WebClass

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン (VersaProYV13M/EDX)	1	講義実習用教材作成
講義	ノートパソコン (CF-W4GW9AXS)	1	講義実習用教材作成
実習	サーマルサイクラー (9700A)	1	実習用
講義	ノートパソコン (iBook12G/12.1COMBO)	1	講義のスライド投影
講義	レーザープリンター一式	1	講義資料作成
講義	カラーレーザープリンタ複合機	1	講義資料作成
講義	カラーレーザービームプリンター複合機 Satera MF753Cdw	1	講義資料作成

基礎医学演習

ナンバリング M2-S1-B15

責任者・コーディネーター	統合生理学分野 中膺 克己 教授		
担当講座・学科（分野）	統合生理学分野、細胞生物学分野、人体発生学分野、分子医化学分野		
担当教員	中膺 克己 教授、齋野 朝幸 教授、木村 眞吾 准教授、鈴木 喜郎 准教授、成田 啓之 准教授、足立 礼孝 助教、鈴木 享 助教		
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 0コマ 0.0時間
期間	後期		演習 14コマ 28.0時間 実習 0コマ 0.0時間

・学習方針（講義概要等）

適切な診断・治療の実践には、個々の患者の病態生理に関する十分な理解が必要である。そのためには広範な基礎医学・生命科学の知識とこれらを統合する能力が要求される。本演習では、1学年および2学年前期で学んだ基礎医学・生命科学の知識を個々の理解度（習熟度）に応じた学習方略で整理し、これらの知識が臨床医学の現場でどのように役立つのか演習形式で学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

1学年及び2学年前期で学んだ、解剖学・生理学・生化学等の各教科で学んできた知識を演習を通して横断的に整理し、医療を実践する上で必要な重要知識について説明できる。
(ディプロマ・ポリシー： 4)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	演習問題の作問意図を指摘できる。
2	演習問題の関連知識を説明できる。
3	正解を導くに至った基礎知識と思考過程を説明できる。

・講義場所

講義：東1-B講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標 番号	事前事後学修/ICT
演習	9/18(金)	2	人体発生学分野	足立 礼孝 助教	骨学・発生学 骨学、発生学に関する CBT類似の問題演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修 科目について、復習してお くこと。所要時間 40分以 上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答 をアップするので、作問の 意図を説明できるようにす ること。所要時間 40分以 上 【ICT】WebClassに演習問 題・正答をアップするの で、確認すること。
演習	9/25(金)	2	人体発生学分野	足立 礼孝 助教	骨学・発生学 骨学、発生学に関する CBT類似の問題演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修 科目について、復習してお くこと。所要時間 40分以 上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答 をアップするので、作問の 意図を説明できるようにす ること。所要時間 40分以 上 【ICT】WebClassに演習問 題・正答をアップするの
演習	9/29(火)	1	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	医科生理学 興奮性細胞の性質、シナ プス機能、筋収縮に関連 するCBT形式の問題演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修 科目について、復習してお くこと。所要時間 40分以 上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答 をアップするので、作問の 意図を説明できるようにす ること。所要時間 40分以 上 【ICT】WebClassに演習問 題・正答をアップするの で、確認すること。
演習	10/6(火)	1	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	神経生理学 感覚、運動、自律系、本 能行動、高次神経機能に 関連するCBT形式の問題 演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修 科目について、復習してお くこと。所要時間 40分以 上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答 をアップするので、作問の 意図を説明できるようにす ること。所要時間 40分以 上 【ICT】WebClassに演習問 題・正答をアップするの で、確認すること。

演習	10/7(水)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	神経解剖学 神経解剖学の各論に関するCBT類似の問題演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修科目について、復習しておくこと。所要時間 40分以上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答をアップするので、作問の意図を説明できるようにすること。所要時間 40分以上 【ICT】WebClassに演習問題・正答をアップするので、確認すること。
演習	10/7(水)	4	統合生理学分野	鈴木 喜郎 准教授	医科生理学 細胞生理学、血液生理学に関するCBT類似の問題演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修科目について、復習しておくこと。所要時間 40分以上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答をアップするので、作問の意図を説明できるようにすること。所要時間 40分以上 【ICT】WebClassに演習問題・正答をアップするので、確認すること。
演習	10/8(木)	1	細胞生物学分野	成田 啓之 准教授	組織学 組織学の各論に関するCBT類似の問題演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修科目について、復習しておくこと。所要時間 40分以上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答をアップするので、作問の意図を説明できるようにすること。所要時間 40分以上 【ICT】WebClassに演習問題・正答をアップするので、確認すること。
演習	10/8(木)	2	統合生理学分野	鈴木 喜郎 准教授	器官生理学 腎・体液生理学に関するCBT類似の問題演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修科目について、復習しておくこと。所要時間 40分以上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答をアップするので、作問の意図を説明できるようにすること。所要時間 40分以上 【ICT】WebClassに演習問題・正答をアップするので、確認すること。

演習	10/15(木)	1	統合生理学分野	中隲 克己 教授	器官生理学 呼吸生理学、内分泌生理学に関するCBT類似の問題演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修科目について、復習しておくこと。所要時間 40分以上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答をアップするので、作問の意図を説明できるようにすること。所要時間 40分以上 【ICT】 WebClassに演習問題・正答をアップするので、確認すること。
演習	10/20(火)	1	統合生理学分野	中隲 克己 教授	器官生理学 循環器生理学、消化器生理学に関するCBT類似の問題演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修科目について、復習しておくこと。所要時間 40分以上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答をアップするので、作問の意図を説明できるようにすること。所要時間 40分以上 【ICT】 WebClassに演習問題・正答をアップするので、確認すること。
演習	10/23(金)	2	統合生理学分野	鈴木 享 助教	細胞生物学Ⅰ 細胞の形態・機能に関連するCBT方式の設問を用いた問題演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修科目について、復習しておくこと。所要時間 40分以上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答をアップするので、作問の意図を説明できるようにすること。所要時間 40分以上 【ICT】 WebClassに演習問題・正答をアップするので、確認すること。
演習	10/27(火)	1	統合生理学分野	中隲 克己 教授	医化学Ⅰ 生化学の領域における基本的な知識を確認するための、CBT方式の設問を用いた演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修科目について、復習しておくこと。所要時間 40分以上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答をアップするので、作問の意図を説明できるようにすること。所要時間 40分以上 【ICT】 WebClassに演習問題・正答をアップするので、確認すること。

演習	11/19(木)	1	統合生理学分野	中隴 克己 教授	医化学Ⅱ 生化学・分子生物学の領域における基本的な知識を確認するための、CBT方式の設問を用いた演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修科目について、復習しておくこと。所要時間 40分以上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答をアップするので、作問の意図を説明できるようにすること。所要時間 40分以上 【ICT】 WebClassに演習問題・正答をアップするので、確認すること。
演習	11/19(木)	2	統合生理学分野	中隴 克己 教授	細胞生物学Ⅱ 細胞の機能、特に分子生物学的な領域に関連するCBT方式の設問を用いた演習	1,2,3	【事前学修】 講義タイトル記載の既履修科目について、復習しておくこと。所要時間 40分以上 【事後学修】 webclassに演習問題・正答をアップするので、作問の意図を説明できるようにすること。所要時間 40分以上 【ICT】 WebClassに演習問題・正答をアップするので、確認すること。

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参考書	Essential細胞生物学（原書第4版）	中村桂子・松原謙一監訳	南江堂	2016
参考書	イラストレイテッド生化学（原書7版）	石崎泰樹・丸山敬監訳	丸善出版	2019
参考書	標準生理学 第9版	本間研一監修	医学書院	2019
教科書	エッセンシャル細胞生物学（原書第4版）	中村桂子、松原謙一	南江堂	2016

・成績評価方法

【総括評価】 進級試験（100%）で評価し、100点満点に換算して60点以上を合格とする。								
【形成的評価】 演習テストを実施し、終了後に問題と解答についての解説を行い、学生自身の理解度を確認できるようにする。								
到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1、2、3	4				100			100
合計					100			100

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前・事後学修の時間は最低各30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

講義資料はWebclassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、図書館、PC、インターネット環境

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	PC画面投影装置	1	問題演習・解説
講義	ノートパソコン	1	問題演習・解説

症例基盤・問題解決型学修(実践)

ナンバリング M1-S1-E01

責任者・コーディネーター	地域医療学分野 伊藤 智範 教授		
担当講座・学科(分野)	地域医療学分野、教育支援システム開発分野、呼吸器内科分野、総合診療医学講座、看護学部看護専門基礎講座、消化器内科分野、脳神経内科・老年科分野、医学教育学分野		
担当教員	伊藤 智範 教授、前沢 千早 教授、川田 一郎 教授、下沖 収 教授、遠藤 龍人 教授、梁井 俊一 准教授、高橋 真 講師、相澤 純 特任講師		
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 17コマ 34.0時間
期間	通期		演習 0コマ 0.0時間 実習 0コマ 0.0時間

・学習方針(講義概要等)

代表的疾患を理解できるようになるために、ペーパーペイシエントを用いて、病態生理を基礎医学から結び付けて学習する。基礎医学に立脚して疾病を理解できるように、疾患の症状を生理学や解剖学と結び付けて、確認をしながら問題解決型学習(PBL; Problem based learning)をおこなう。一般的な症候を訴える患者に対して、どのようなアプローチで疾患の診断と治療を行えば良いか、またそれを論理的に進める際に必要な基礎的知識と技能が何かを、少人数グループ(履修背景をもとにしたメンバー構成)で調べて、プレゼンテーション資料をつくり、発表と討議を行うコースである。

・教育成果(アウトカム)

1年生に引き続き、低学年から症例・症候ベースで患者情報に接することで、基礎医学と臨床医学のつながりを病態生理について理解しながら、学修できるようになる。症例をベースにした少人数グループ作業によるPBLをおこなうことで、常に病者を念頭において、ヒトの体の正常構造と機能、および病態生理を学ぶことができるようになる。また、チームとして作業をする上で必要な、役割分担とコミュニケーション能力が向上する。自己の学修履歴を記録しておき、常に振り返る習慣を身につけることで、自己学修を自律的に行う事ができる。1年生での基礎と臨床を繋げる学修を継続的に実践し、3年生で学ぶより複雑な症例を理解できる基礎を作る。以下の項目は、形成的評価を行う。①与えられたテーマや模擬症例についてグループ内で積極的にディスカッションできるようになる。②チームの和を保ち、良好なコミュニケーションをとることができる。

(ディプロマ・ポリシー: 1,2,4,5,6)

・到達目標(SBOs)

No.	項目
1	重要な症候について鑑別すべき疾患を挙げることができる。
2	疾患に関する症候とその病態生理を、必要な基礎医学に基づいて述べることができる。
3	医療面接を想定し、必要な問診事項と追加すべき検査を挙げることができる。
4	基礎医学に立脚して与えられた臨床データ(検体検査、生理検査、特殊検査)を解釈し、診断のプロセスを述べることができる。
5	習得したプレゼンテーションスキルをもとに、適切なスライド作成ができる。

・ 講義場所

講義：東1-B講義室 実習：東1-B講義室、西4-A・西4-B実習室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはWebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標 番号	事前事後学修/ICT
講義	4/20(月)	1	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	イントロダクション【講義室】	1	【事前学修】 37症候のうち扱う症候を事前学習して、定義を事前学習しておく。所要時間 30分 【事後学修】 講義時間内でのPBL作業に引き続き、グループ成果物の作成に取り掛かる。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClassに資料を公開する。に資料を公開する。
講義	4/20(月)	2	医学教育学分野	相澤 純 特任講師	プレゼンテーションの基礎と応用【講義室】 プレゼンテーションの基礎から応用までについて、「最低限押さえておくべき内容」「お約束（業界の常識）」「更に知っておくと良いtips」を実例や実習を交えて学修する。	5	【事前学修】 【事後学修】 講義の内容を踏まえ、例示した不適切なスライドを修正する。 【ICT】 WebClassに資料を公開する。
講義	5/18(月)	1	地域医療学分野 教育支援システム開発分野	伊藤 智範 教授 前沢 千早 教授	解説講義・追加情報提示 A・B ・発熱・易疲労感について、事前の症例提示を予習し、与えられた課題に対して準備しておく。 ・事前の症例提示の解説講義をうける。追加情報と課題が提示される。 ・割り当てられた内容について、各自学修し、成果物を作成する。	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようにグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。
講義	5/18(月)	2	地域医療学分野 教育支援システム開発分野	伊藤 智範 教授 前沢 千早 教授	解説講義・追加情報提示 A・B ・発熱・易疲労感について、事前の症例提示を予習し、与えられた課題に対して準備しておく。 ・事前の症例提示の解説講義をうける。追加情報と課題が提示される。 ・割り当てられた内容について、各自学修し、成果物を作成する。	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようにグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。

講義	6/1(月)	1	地域医療学分野 看護学部看護専門基礎講座	伊藤 智範 教授 遠藤 龍人 教授	解説講義・追加情報提示 C・D ・浮腫、黄疸について、事前の症例提示を予習し、与えられた課題に対して準備しておく。 ・事前の症例提示の解説講義をうける。追加情報と課題が提示される。 ・割り当てられた内容について、各自学修し、成果物を作成する。	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。
講義	6/1(月)	2	地域医療学分野 看護学部看護専門基礎講座	伊藤 智範 教授 遠藤 龍人 教授	解説講義・追加情報提示 C・D ・浮腫、黄疸について、事前の症例提示を予習し、与えられた課題に対して準備しておく。 ・事前の症例提示の解説講義をうける。追加情報と課題が提示される。 ・割り当てられた内容について、各自学修し、成果物を作成する。	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。
講義	6/15(月)	1	地域医療学分野 総合診療医学講座 教育支援システム開発分野 看護学部看護専門基礎講座	伊藤 智範 教授 下沖 収 教授 前沢 千早 教授 遠藤 龍人 教授	共有化発表会1・教員レクチャー ・成果物の発表を行う。発表者は当日指名する。 ・教員による解説講義を行う。 ・確認テストの実施。	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。IRAT/GRATで出題された内容を復習する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。

講義	6/15(月)	2	地域医療学分野 総合診療医学講座 教育支援システム開発分野 看護学部看護専門基礎講座	伊藤 智範 教授 下沖 収 教授 前沢 千早 教授 遠藤 龍人 教授	共有化発表会1・教員レクチャー ・ 成果物の発表を行う。発表者は当日指名する。 ・ 教員による解説講義を行う。 ・ 確認テストの実施。	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。
講義	9/4(金)	2	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	解説講義・追加情報提示 E・F ・ 胸痛・動悸について、事前の症例提示を予習し与えられた課題に対して準備しておく。 ・ 事前の症例提示の解説講義をうける。追加情報と課題が提示される。 ・ 割り当てられた内容について、各自学修し、成果物を作成する。	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。
講義	10/2(金)	5	地域医療学分野 消化器内科分野 呼吸器内科分野	伊藤 智範 教授 梁井 俊一 准教授 川田 一郎 教授	解説講義・追加情報提示 G・H ・ 腹痛・呼吸困難について、事前の症例提示を予習し与えられた課題に対して準備しておく。 ・ 事前の症例提示の解説講義をうける。追加情報と課題が提示される。 ・ 割り当てられた内容について、各自学修し、成果物を作成する。	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。IRAT/GRATで出題された内容を復習する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。

講義	10/16(金)	3	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	共有化発表会2・教員レクチャー ・教員による解説講義を行う。 ・成果物の発表を行う。 ・確認テストの実施	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。
講義	10/16(金)	4	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	共有化発表会2・教員レクチャー ・教員による解説講義を行う。 ・成果物の発表を行う。 ・確認テストの実施	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。IRAT/GRATで出題された内容を復習する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。
講義	11/30(月)	3	地域医療学分野 脳神経内科・老年科分野	伊藤 智範 教授 高橋 真 講師	解説講義・追加情報提示 I・J 麻痺・感覚障害、頭痛について、事前の症例提示を予習し与えられた課題に対して準備しておく。 ・事前の症例提示の解説講義をうける。追加情報と課題が提示される。	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。IRAT/GRATで出題された内容を復習する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。

講義	12/9(水)	3	地域医療学分野 呼吸器内科分野	伊藤 智範 教授 川田 一郎 教授	共有化発表会3・教員レクチャー ・教員による解説講義を行う。 ・成果物の発表を行う。 ・確認テストの実施	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。IRAT/GRATで出題された内容を復習する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。
講義	12/9(水)	4	地域医療学分野 消化器内科分野	伊藤 智範 教授 梁井 俊一 准教授	共有化発表会3・教員レクチャー ・教員による解説講義を行う。 ・成果物の発表を行う。 ・確認テストの実施	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。
講義	12/16(水)	3	地域医療学分野 脳神経内科・老年科分野	伊藤 智範 教授 高橋 真 講師	共有化発表会4・教員レクチャー ・教員による解説講義を行う。 ・成果物の発表を行う。 ・確認テストの実施	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。

講義	12/16(水)	4	地域医療学分野 脳神経内科・老年科分野	伊藤 智範 教授 高橋 真 講師	共有化発表会4・教員レクチャー ・教員による解説講義を行う。 ・成果物の発表を行う。 ・確認テストの実施	1 - 5	【事前学修】 成果物発表のための課題症例を病態生理から学び、スライドを作成する。発表の練習を繰り返し行い、聴衆が分かりやすいように練習を行う。質問へ回答できるようグループワークしておく。所要時間 30分 【事後学修】 症例の病態生理を復習して、他人へ説明できるようにする。ポートフォリオを作成する。所要時間 30分 【ICT】 WebClassに資料を公開する。
----	----------	---	------------------------	---------------------	---	-------	---

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参考書	岩手医科大学基本症例集（オープン問題）			
教科書	内科診断学 第3版	福井 次矢、奈良 信雄 編集	医学書院	2016
参考書	内科学書 改訂第8版	小川 聡 総編集	中山書店	2019
参考書	Andreoli and Carpenter's Cecil essentials of medicine 9th ed.	Ivor J. Benjamin ほか	Saunders	2016
参考サイト	https://tsutawarudesign.com			
参考書	プレゼンテーションzen	ガー・レイノルズ 著	丸善出版	2009
参考書	あなたのプレゼン誰も聞いていませんよ！	渡部欣忍 著	南江堂	2014
参考書	技術1割のプレゼン	阿部泰之 著	中外医学社	2018
参考書	岩手医科大学 国試対策テキスト			

・成績評価方法

【総括評価】

総括評価は、事前成果物提出者を対象とする。未提出者は、総括評価の対象としない。
以下の①前期試験と後期試験を合算した評価と、②事前課題・チーム成果物・発表スライド・ポートフォリオ評価を合算して、総括評価とする（担当6症候分）。

①前期試験（多選択肢問題：MCQ）後期試験（MCQ90%、記述式10%）で行う。前期試験（40%）後期試験（60%）で評価する。

②症候ごとに、事前成果物（4点;到達目標1-3）・チーム成果物（20点;到達目標1-4,6）を、ルーブリックで評価する。②の合計点24点/症候になる。6症候で144点となり、これを100点に換算する。

上記の評価完了後に、①を60%、②を40%として、合算した評点を算出する。

【形成的評価】

事前学修による提出物評価を行い、フィードバックする。フィードバックは、講義時間に実施する。適切な提出物でない場合、再提出してもらう。①の未提出者は、総括評価の対象としない。

①チーム成果物発表後に確認テスト（IRAT, GRAT）を実施する。（認知領域：形成的評価）

②確認テスト回答シートは毎回回収し、出席確認にする。出席アプリによるものも併用する。（情意領域：形成的評価）

③教育成果（アウトカム）に記載している①と②はピアレビューを行い、グループ内の結果を担任へ通知する。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1 - 5	1,2,4,5,6				60	40		100
合計					60	40		100

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前課題および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行い、事前成果物を提出すること。各授業に対する事前学修の時間は最低60分を要する。作成した事前課題を、講義前までに提出すること。期限までに提出がないものは当日を欠席扱いとする。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設けて、発表者を指名する。授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。最終の共有化講義では、優れたチームの発表を指名することがある。

講義資料はWebClassで配信する。

本科目では、事前事後学修以外に各回2時間30分の自己学修を要す。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

岩手医科大学オープン問題症例集・内科診断学・講義室・図書館・PC・スマートフォン・インターネット環境

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン Spectre x360 13-ap0000	1	講義時に使用
講義	ノートパソコン MacBook Air 13インチ	1	講義時に使用

薬理学

ナンバリング M2-S1-B16

責任者・コーディネーター	情報伝達医学分野 平 英一 教授		
担当講座・学科（分野）	情報伝達医学分野、麻酔学講座、薬学部医療薬科学講座薬物代謝動態学分野、薬学部病態薬理学講座分子細胞薬理学分野、薬学部臨床薬学講座臨床薬剤学分野、薬学部医療薬科学講座衛生化学分野		
担当教員	平 英一 教授、幅野 涉 教授、奈良場 博昭 教授、工藤 賢三 教授、杉山 晶規 教授、大畑 光彦 准教授、朝賀 純一 准教授、ハサン アリフ ウル 講師、水間 謙三 講師、高橋 宏彰 講師、小原 真美 助教、那谷 耕司 非常勤講師、小笠原 正人 非常勤講師、古濱 和久 非常勤講師、佐藤 洋 非常勤講師、前原 都有子 非常勤講師、近藤 ゆき子 非常勤講師		
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 25コマ 50.0時間
期間	後期		演習 0コマ 0.0時間 実習 6コマ 12.0時間

・学習方針（講義概要等）

薬理学は薬と生体との相互作用を研究する学問である。薬が生体に作用し、その結果生じる生体反応及び薬の動態を、生体、細胞、細胞下のそれぞれのレベルで究明する事がこの教科の目的である。以上の知識を身につけ、医師、研究者として薬物の作用機序、さらに副作用を理解し、その使用ができるようになる。

・教育成果（アウトカム）

薬理学的知識を講義及び実習を通して学習することで、医師として治療に必要な薬物の知識を説明できる。

(ディプロマ・ポリシー: 1,2,4,5,6)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	薬物の種類、特徴、作用機序を説明できる。
2	薬物に対する生体の反応を説明できる。
3	病態とその薬物治療法を説明できる。
4	薬物の相互作用や薬物動態を説明できる。
5	代表的な薬物の副作用と毒性を説明できる。
6	服薬の基本、コンプライアンスを説明できる。
7	医薬品の開発について説明できる。
8	薬物治療の化学的根拠と、倫理、法律を説明できる。
9	薬物の処方について説明できる。
10	薬物に対する反応の個人差について説明できる。
11	薬物動態について説明できる。
12	薬害について説明できる。

・ 講義場所

講義：東1-B講義室 実習：西3-C・西3-D実習室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標 番号	事前事後学修/ICT
講義	10/30(金)	2	情報伝達医学分野	平 英一 教授	薬理学総論	1,2,4,6,8,9	【事前学修】 薬理学総論について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ薬理学総論についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/4(水)	2	薬学部 医療薬科学講座 薬物代謝動態学 分野	幅野 渉 教授	薬物の有効性と安全性	1,2,4,5, 10	【事前学修】 薬物の有効性と安全性について該当する指定教科書、推薦図書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ薬物の有効性と安全性についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/6(金)	2	薬学部 病態薬理学講座 分子細胞薬理学 分野	奈良場 博昭 教授	薬の作用様式と作用機序	1,2,4,11	【事前学修】 薬の作用様式と作用機序について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ薬の作用様式と作用機序についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/10(火)	1	薬学部 臨床薬学講座 臨床薬剤学分野	工藤 賢三 教授	薬物動態	1,2,3,4, 11	【事前学修】 薬物動態について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ薬物動態についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

講義	11/10(火)	2	情報伝達医学分野	近藤 ゆき子 非常勤講師	発達・老年薬理・薬物相互作用	1,2,3,4,5,6,10	【事前学修】 発達・老年薬理・薬物相互作用について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ発達・老年薬理・薬物相互作用についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/13(金)	2	薬学部 医療薬科学講座 衛生化学分野	杉山 晶規 教授	毒物学	1,2,3,4,5	【事前学修】 毒物学について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ毒物薬についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/17(火)	1	薬学部 臨床薬学講座 臨床薬剤学分野	工藤 賢三 教授	医薬品開発	7,12	【事前学修】 医薬品開発について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ医薬品開発についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/20(金)	1	薬学部 医療薬科学講座 衛生化学分野	杉山 晶規 教授	中毒学	1,2,3,4,5	【事前学修】 中毒学について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ中毒学についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/20(金)	2	薬学部 医療薬科学講座 薬物代謝動態学分野	幅野 涉 教授	薬理遺伝学	1,2,4,5,10	【事前学修】 薬理遺伝学について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ薬理遺伝学についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

講義	11/26(木)	1	情報伝達医学分野	小原 真美 助教	自律神経	1,2,3,4,5	【事前学修】 自律神経について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ自律神経についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/26(木)	2	情報伝達医学分野	平 英一 教授	演習	1,2,3,4,5	【事前学修】 薬理学総論、中枢薬理学について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ薬理学総論、中枢薬理学についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/27(金)	1	情報伝達医学分野	那谷 耕司 非常勤講師	糖・脂質代謝薬	1,2,3,4,5	【事前学修】 糖・脂質代謝薬について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ糖・脂質代謝薬についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	11/27(金)	2	情報伝達医学分野	ハサン アリフ ウル 講師	狭心症・抗不整脈薬の薬理学	1,2,3,4,5	【事前学修】 狭心症・抗不整脈薬の薬理学について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ狭心症・抗不整脈薬の薬理学についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	12/3(木)	1	情報伝達医学分野	ハサン アリフ ウル 講師	心不全・利尿薬の薬理学	1,2,3,4,5	【事前学修】 心不全・利尿薬の薬理学について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ心不全・利尿薬の薬理学についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

講義	12/3(木)	2	情報伝達医学分野	ハサン アリフ ウル 講師	降圧薬の薬理学	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 降圧薬の薬理学について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ降圧薬の薬理学についてノートにまとめること。所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする</p>
講義	12/4(金)	1	情報伝達医学分野	那谷 耕司 非常勤講師	消化器作用薬、骨粗鬆症・高尿酸血症治療薬	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 消化器作用薬、骨粗鬆症・高尿酸血症治療薬について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ消化器作用薬、骨粗鬆症・高尿酸血症治療薬についてノートにまとめること。所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする</p>
講義	12/4(金)	2	麻酔学講座	水間 謙三 講師	全身麻酔薬・局所麻酔薬	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 全身麻酔薬・局所麻酔薬について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ全身麻酔薬・局所麻酔薬についてノートにまとめること。所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする</p>
講義	12/7(月)	1	情報伝達医学分野	ハサン アリフ ウル 講師	抗精神病薬・抗うつ薬の薬理学	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 抗精神病薬・抗うつ薬の薬理学について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ抗精神病薬・抗うつ薬の薬理学についてノートにまとめること。所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする</p>

講義	12/7(月)	2	情報伝達医学分野	近藤 ゆき子 非常勤講師	鎮痛・炎症薬と免疫・アレルギー薬	1,2,3,4,5	【事前学修】 鎮痛・炎症薬と免疫・アレルギー薬について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ鎮痛・炎症薬と免疫・アレルギー薬についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
実習	12/7(月)	3	情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 薬学部臨床薬学講座 座臨床薬剤学分野 薬学部臨床薬学講座 座臨床薬剤学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野	平 英一 教授 ハサン アリフ ウル 講師 小原 真美 助教 朝賀 純一 准教授 高橋 宏彰 講師 古濱 和久 非常勤講師 佐藤 洋 非常勤講師 前原 都有子 非常勤講師 近藤 ゆき子 非常勤講師	実習：①薬物動態、②利尿薬、③消化器作動薬	1,2,3,4,5,1 1	【事前学修】 実習項目の該当する箇所を指定教科書、推薦書を読み、さらに関連する授業のノートを振り返り、まとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で行った実験結果のまとめと考察をまとめ、レポートを作成すること。所要時間 90分以上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
実習	12/7(月)	4	情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 薬学部臨床薬学講座 薬学部臨床薬学講座 座臨床薬剤学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野	平 英一 教授 ハサン アリフ ウル 講師 小原 真美 助教 朝賀 純一 准教授 高橋 宏彰 講師 古濱 和久 非常勤講師 佐藤 洋 非常勤講師 前原 都有子 非常勤講師 近藤 ゆき子 非常勤講師	実習：①薬物動態、②利尿薬、③消化器作動薬	1,2,3,4,5,1 1	【事前学修】 実習項目の該当する箇所を指定教科書、推薦書を読み、さらに関連する授業のノートを振り返り、まとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で行った実験結果のまとめと考察をまとめ、レポートを作成すること。所要時間 90分以上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
講義	12/10(木)	1	情報伝達医学分野	小笠原 正人 非常勤講師	呼吸器作用薬の薬理学	1,2,3,4,5	【事前学修】 呼吸器作用薬の薬理学について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ呼吸器作用薬の薬理学についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする

講義	12/10(木)	2	麻酔学講座	大畑 光彦 准教授	漢方薬	1,2,3,4,5	【事前学修】 漢方薬の薬理学について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ漢方薬の薬理学についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	12/11(金)	3	情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 薬学部臨床薬学講座 臨床薬剤学分野 薬学部臨床薬学講座 臨床薬剤学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野	平 英一 教授 ハサン アリフ ウル 講師 小原 真美 助教 朝賀 純一 准教授 高橋 宏彰 講師 古濱 和久 非常勤講師 佐藤 洋 非常勤講師 前原 都有子 非常勤講師 近藤 ゆき子 非常勤講師	実習：①薬物動態、②利尿薬、③消化器作動薬	1,2,3,4,5,1 1	【事前学修】 実習項目の該当する箇所を指定教科書、推薦書を読み、さらに関連する授業のノートを振り返り、まとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で行った実験結果のまとめと考察をまとめ、レポートを作成すること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	12/11(金)	4	情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 薬学部臨床薬学講座 臨床薬剤学分野 薬学部臨床薬学講座 臨床薬剤学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野	平 英一 教授 ハサン アリフ ウル 講師 小原 真美 助教 朝賀 純一 准教授 高橋 宏彰 講師 古濱 和久 非常勤講師 佐藤 洋 非常勤講師 前原 都有子 非常勤講師 近藤 ゆき子 非常勤講師	実習：①薬物動態、②利尿薬、③消化器作動薬	1,2,3,4,5,1 1	【事前学修】 実習項目の該当する箇所を指定教科書、推薦書を読み、さらに関連する授業のノートを振り返り、まとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 実習で行った実験結果のまとめと考察をまとめ、レポートを作成すること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
講義	12/14(月)	1	情報伝達医学分野	小原 真美 助教	中枢抑制薬・抗てんかん薬・依存性薬物	1,2,3,4,5,6	【事前学修】 中枢抑制薬・抗てんかん薬・依存性薬物について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ中枢抑制薬・抗てんかん薬・依存性薬物についてノートにまとめること。所要時間 90分以上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

講義	12/14(月)	2	情報伝達医学分野	近藤 ゆき子 非常勤講師	抗腫瘍薬・血液作用薬	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 抗腫瘍薬・血液作用薬について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ抗腫瘍薬・血液作用薬についてノートにまとめること。所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする</p>
実習	12/14(月)	3	情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 薬学部臨床薬学講座 臨床薬理学分野 薬学部臨床薬学講座 臨床薬理学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野	平 英一 教授 ハサン アリフ ウル 講師 小原 真美 助教 朝賀 純一 准教授 高橋 宏彰 講師 古濱 和久 非常勤講師 佐藤 洋 非常勤講師 前原 都有子 非常勤講師 近藤 ゆき子 非常勤講師	実習：①薬物動態、②利尿薬、③消化器作用薬	1,2,3,4,5,1 1	<p>【事前学修】 実習項目の該当する箇所を指定教科書、推薦書を読み、さらに関連する授業のノートを振り返り、まとめを作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 実習で行った実験結果のまとめと考察をまとめ、レポートを作成すること。所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする</p>
実習	12/14(月)	4	情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 薬学部臨床薬学講座 臨床薬理学分野 薬学部臨床薬学講座 臨床薬理学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野 情報伝達医学分野	平 英一 教授 ハサン アリフ ウル 講師 小原 真美 助教 朝賀 純一 准教授 高橋 宏彰 講師 古濱 和久 非常勤講師 佐藤 洋 非常勤講師 前原 都有子 非常勤講師 近藤 ゆき子 非常勤講師	実習：①薬物動態、②利尿薬、③消化器作用薬	1,2,3,4,5,1 1	<p>【事前学修】 実習項目の該当する箇所を指定教科書、推薦書を読み、さらに関連する授業のノートを振り返り、まとめを作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 実習で行った実験結果のまとめと考察をまとめ、レポートを作成すること。所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする</p>
講義	12/18(金)	1	薬学部 病態薬理学講座 分子細胞薬理学 分野	奈良場 博昭 教授	内分泌治療薬	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 内分泌治療薬について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ内分泌治療薬についてノートにまとめること。所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする</p>

講義	12/18(金)	2	情報伝達医学分野	ハサン アリフ ウル 講師	パーキンソン病・アルツハイマー病治療薬	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 パーキンソン病・アルツハイマー病治療薬について該当する箇所を指定教科書、推薦書を読んでまとめを作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだパーキンソン病・アルツハイマー病治療薬についてノートにまとめること。所要時間 90分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料をアップする</p>
----	----------	---	----------	---------------	---------------------	-----------	---

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	NEW薬理学 改訂7版	田中千賀子、加藤隆一 編	南江堂	2017
参考書	シンプル薬理学 改訂5版	野村隆英、石川直久 編	南江堂	2014
参考書	Goodman & Gilman's the pharmacological basis of therapeutics 13th ed.	Laurence L. Brunton	McGraw-Hill	2017
参考書	カッツング薬理学 原著12版	Bertram G.Katzung 著、荒木 勉ほか訳	丸善出版	2021
推薦図書	医科薬理学 改訂4版	遠藤政夫ほか編	南山堂	2005
推薦図書	分子神経薬理学：臨床神経科学の基礎	E.J.ネスラーほか編 樋口 宗史 ほか監訳	西村書店	2004
参考書	カラー図解 これならわかる薬理学 第2版	Heinz Luellmann, Klaus Mohr, Lutz Hein著、佐藤俊明訳	メディカルサイエンスインターナショナル	2012
推薦図書	新しい薬理学	石井邦明、西山成 監修	西村書店	2018
推薦図書	ベッドサイドの薬理学	笹栗俊之、宮田篤郎 編	丸善出版	2018
推薦図書	漢方医学講義	日本漢方医学教育協議会 編	羊土社	2020
参考書	集中講義薬理学：カラーイラストで学ぶ 第2版	渡邊康裕 編	メジカルビュー社	2015
参考書	薬がみえる vol.1～4 第2版	野元 正弘、弘世 貴久ほか監修	メディックメディア	2021

・成績評価方法

【総括評価】

進級試験（50%）、中間試験（30%）、実習記録（20%）で評価し、100点満点に換算して60点以上を合格とする。

【形成的評価】

小テストを実施して講義内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックする。
実習中の口頭試問および毎時間の実習内容をまとめたポートフォリオを評価し、学生にフィードバックする。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
6,7,12	1,	20	2		5			27
6,8,12	2	5	3					8
1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12	4	5	5		40			50
6,10,12	5				5			5
5,6,9,12	6		10					10
合計		30	20		50			100

・特記事項・その他

教室スタッフ：平 英一 教授、ハサン アリフ ウル 講師、小原 真美 助教
 学内講師：工藤 賢三 教授、杉山 晶規 教授、奈良場 博昭 教授、幅野 涉 教授、大畑 光彦 准教授、朝賀 純一 准教授、水間 謙三 講師、高橋 宏彰 講師
 学外講師：古濱 和久 教授、佐藤 洋 教授、小笠原 正人 教授、那谷 耕司 教授、前原 都有子 准教授、近藤 ゆき子 講師

講義：薬理学総論と主に臓器別の作用薬の作用機序、副作用等について講義を行う。

実習：下記の3項目をローテーションして実施する。

1. 薬物動態
2. 利尿薬
3. 消化管作用薬

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分、事後学習は最低90分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。各回の事前事後学修時間以外に660分の教科書・参考書を用いた自己学習を要す。

講義資料はWebclassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、実習室、図書館、コンピューターソフトウェア、シミュレーター

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン Yoga 7i Gen8 タイダルティール	1	講義
講義	iMac Retina 4.5K 24インチ 256GB SSD ブルー	1	講義
講義	Mac mini (認定整備済製品) Apple	1	講義

医療プロフェッショナルリズムⅡ

ナンバリング M2-S1-F04

責任者・コーディネーター	医学教育学分野 高田 亮 教授		
担当講座・学科（分野）	医学教育学分野、人体発生学分野		
担当教員	高田 亮 教授、木村 英二 教授		
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 4コマ 8.0時間
期間	通期		演習 0コマ 0.0時間 実習 9コマ 18.0時間

・学習方針（講義概要等）

医師という仕事は、単に専門的な知識や技術を身につけるだけでなく、患者さん一人ひとりと真摯に向き合い、チーム医療の中で他の医療職種と協力し、社会の一員として貢献することが求められる。医療プロフェッショナルとしての行動や態度を養うため、本科目では、「医療プロフェッショナルリズム」を多角的に学ぶ。具体的には、省察をおこない生涯にわたって学び続けることのできる医師像を目指すため、成人学習理論についての講義を行う。また他の医療職種との連携の重要性を理解し、チーム医療の中で円滑なコミュニケーションと協働を図るため、多職種を理解する講義と実習を行う。さらに、指導医や医療スタッフの行動を観察することで自らの行動を省察するために、当直体験実習を行う。

・教育成果（アウトカム）

成人学習理論を理解することで、成人学習者としての自覚を持ち、自主的で協同的な学習ができる。多職種の職務内容を理解することで、医学部生としての自覚と他の医療職種との連携の必要性を理解し、チーム医療における自身の役割を明確にすることができる。献体登録者による講話会においては、臨床解剖学実習を、登録者と社会から託された「医師になるための信託」であると認識し、実習に誠実に取り組むことができる。当直体験実習においては、指導医や医療スタッフの行動を観察することで、医療者としてのプロフェッショナルな行動・態度に照らし合わせて、自らの行動を省察するとともに、社会生活における初期治療・救急医療の重要性を説明できる。

(ディプロマ・ポリシー： 1,2,4,5,6,7,8)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	医師に必要なプロフェッショナルな行動・態度を説明できる。
2	成人学習理論を説明できる。
3	成人学習者としての自覚を持ち、能動的で継続的な学習意欲を養うことができる。
4	地域医療におけるチーム医療やプロフェッショナルリズムのあり方を説明できる。
5	地域特性が健康と疾病の分布に及ぼす影響を説明できる。
6	チーム医療における自・他職種の役割を説明できる。
7	他の医療職種の職務内容を説明することができる。
8	主要な医療専門職の業務が法律によって規定されていることを説明できる。
9	厚生済民の理念と、多職種連携が社会保障制度を支える仕組みであることとの関連性を説明できる。
10	病院で勤務する医療スタッフと良好なコミュニケーションをとることができる。
11	臨床解剖学実習を、登録者と社会から託された「医師になるための信託」であると認識し、実習に誠実に取り組むことができる。

12	初期治療・救急医療について現場を見聞し、その重要性を説明できる。
13	医師となるために今の自分に何が必要かを省察できる。

・ 講義場所

教員が指定する場所

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	6/22(月)	4	医学教育学分野	高田 亮 教授	成人学習とは何か	1,2,3	【事前学修】 成人学習理論について、資料を見てまとめる（所要時間 60分） 【事後学修】 講義で学んだことを基に自己学習計画を作成する（所要時間 60分） 【ICT】WebClassに事前資料をアップする。 講義中にクリッカーを使用し理解度を測定する。
講義	6/24(水)	4	町立西和賀 さわうち病院顧問	北村 道彦 医師支援調整監	地域医療講義	4,5,13	【事前学修】 医師の職務内容について、事前にインターネットや文献を用いて基礎学修を行う。（所要時間 60分） 【事後学修】 講義の内容をまとめると共に、自分が担当する職種の仕事内容と多職種連携における役割をまとめる。（所要時間 60分） 【ICT】WebClassに事前資料をアップする。
講義	6/26(金)	1	医学教育学分野	高田 亮 教授	多職種連携における各職種の役割	6,7,8,9	【事前学修】 医療施設で働く職種とその仕事内容について、事前にインターネットや文献を用いて調べる。（所要時間 60分） 【事後学修】 講義の内容をまとめる（所要時間 60分） 【ICT】WebClassに事前資料をアップする。 講義中にクリッカーを使用し理解度を測定する。
実習	7/6(月)	1 5 4	医学教育学分野	高田 亮 教授	多職種見学実習	1,6,7,8,9,10	【事前学修】 見学する医療職種の仕事内容とチーム医療での役割を調べて、疑問点などをまとめる。（所要時間 60分） 【事後学修】 提出物をまとめ、提出する。（所要時間90分） 【ICT】WebClassに提出物の書式をアップする

講義	10/1(木)	2	人体発生学分野	木村 英二 教授	献体登録者による講話会	1,11,13	【事前学修】 献体について、資料を見てまとめる。(所要時間60分) 【事後学修】 講義で学んだことを基にレポートを作成する(所要時間60分) 【ICT】WebClassに提出物の書式をアップする
実習	別途指定		附属病院	担当指導医(当直医)	当直体験	1,10,12,13	【事前学修】 注意事項の確認を行う。(所要時間30分) 【事後学修】 レポートの作成(2種)を行う。(所要時間90分) 【ICT】WebClassに提出物の書式をアップする

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	診療参加型臨床実習に必要なとされる技能と態度についての学修・評価項目(1.1版)	医療系大学間共用試験実施評価機構	左記ホームページ内医学系OSCE公開資料より入手	
参考書	診察ができるVol.1 身体診察		MEDIC MEDIA	2023
参考書	医学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂版	モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会	文部科学省ホームページより入手	2022
参考書	実践 多職種連携教育	駒澤伸泰	中外医学社	2020

・成績評価方法

<p>【総括評価】 講義・実習後のレポートで総括評価を行う。前期・後期進級試験では評価を行わない。 講義・実習を欠席した場合は、正当な理由を記載した欠席届が提出されているときのみ代替の評価を行う。</p> <p>100点満点のうち60点以上を合格とする。各講義・実習の評価方法と配点は以下の通りである。</p> <p>◎成人学習講義(10点) ・講義で学んだことのまとめと自己学習計画レポートで評価を行う。</p> <p>◎地域医療講義(10点) ・講義の内容(簡潔に)と講義を受けての自身の考え(感想文ではない)を、800-1200字でまとめたレポートで評価をおこなう。</p> <p>◎多職種連携講義(10点) ・講義で指示するレポートの内容で評価を行う。</p> <p>◎多職種連携実習(30点) ・実習中の態度を評価する。(10点) ・実習で学んだことのまとめたレポートで評価を行う。(10点) ・グループワークのプロダクトの内容で評価を行う。(10点)</p> <p>◎献体登録者による講話会(10点) ・講話の内容(簡潔に)と講話を受けての自身の考え(感想文ではない)・臨床解剖学実習に対する決意を、800-1200字でまとめたレポートで評価をおこなう。</p> <p>◎当直体験実習(30点) ・当直体験用レポートを評価する(10点) ・当直体験を通して医療者としてのプロフェッショナルな行動・態度について考察し、今の自分が改善していくべき行動・態度について省察したレポートを評価する(800~1200字)(20点)</p> <p>※ レポートは実習終了後2週間以内に提出すること。遅れた場合には採点后0.6をかけた点数を評価とする。ただし、1か月以上遅れた場合には評価をしない(0点)</p>
--

【形成的評価】

十分な考察あるいは省察がなされておらず、到達目標に達していないと判断したレポートに対してはフィードバックし、再提出もしくは別課題のレポートの提出を求める。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1,2,3	2		10					10
4,5	2,6,8		10					10
6,7,8,9,10	1,2,6,7		40					40
11	2		10					10
12	1,2,5		30					30
合計			100					100

・特記事項・その他

7月7日の実習は、学生を2グループにわけて半日ずつ見学実習を行う。各グループ5-10名のチームを形成し、附属病院の各職種に配属される。また病院見学実習以外の時間は、担当職種の職務内容とチーム医療の役割をチームでまとめ、発表会を行いグループ内で共有する。

・Aグループ 午前：附属病院での多職種見学 午後：多職種の役割の理解と共有

・Bグループ 午前：多職種の役割の理解と共有 午後：附属病院での多職種見学

病院実習中は、スマートフォン・タブレットPCなどの電子デバイスの持ち込みおよび使用を一切禁止する。電子デバイスの使用は、院内感染のリスクを高めるだけでなく、撮影・録音等の有無にかかわらず患者情報の漏えいにつながる重大な問題を引き起こす可能性がある。これらの理由から、病院実習の円滑かつ安全な実施のため、本規則を必ず遵守すること。

本科目では、事前事後学修以外に390分の自己学修を要す。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

講義室、実習室、インターネット環境、シミュレーター、附属病院

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済みの機器・器具はありません			

データサイエンスⅡ

ナンバリング

M2-L1-C02

責任者・コーディネーター		情報科学科医学統計情報学分野 高橋 史朗 教授			
担当講座・学科（分野）		情報科学科医学統計情報学分野			
担当教員		高橋 史朗 教授			
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義	10コマ	20.0時間
期間	前期		演習	4コマ	0.0時間
			実習	0コマ	8.0時間

・学習方針（講義概要等）

近年、情報通信技術の発展によりビッグデータの扱いが容易となり、医療の現場においてもICTやAIへの関心が急速に高まっている。特にゲノム医療、画像診断支援、診療・治療支援への活用は、国の重点施策に選定されるほどである。これらを支える主要な学問の一つがデータ科学・統計学であり、その重要性が以前に増して強く認識されている。医療関係者のみならず現代を生きる人々に対してデータ駆動型の思考法が社会的に強く求められている。本講義では、データ科学のリテラシーレベルであるデータの可視化と要約の方法、統計的推定法と検定法に関する基本的な知識を身につけることを目指す。さらに岩手県医療ビッグデータや公開データを用いた演習をととして、データ駆動型思考法を涵養するとともに、地域医療の現状の把握と問題点を抽出し、解決方法を考察・発信することにより、地域医療に関する見識を深めることを目指す。

・教育成果（アウトカム）

単に一般教養的知識の習得を目的とするのではなく、将来の実務・研究への適用可能性および有用性を認識した上で、基礎的な知識や技法を論理的に学ぶ。また統計解析ソフトウェアの使用方法を学ぶ。これにより、将来の様々な問題に対して統計学的に再構成を行い、適切な技法を選択し、得られた解析結果をより良く評価できる能力とセンスを修得することができる。

(ディプロマ・ポリシー： 4)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	統計的推測（推定と検定）の原理と方法を理解し、概説することができる。
2	与えられた課題を統計学的解析対象として再構成でき、最も適切な統計的技法を選択でき、説明ができる。
3	統計解析ソフトを利用して平均値の差の検定、一元配置分散分析・多重比較法を実践でき、結果を解釈できる。
4	統計解析ソフトを利用して基本的なノンパラメトリック法を実践でき、結果を解釈できる。
5	統計解析ソフトを利用して試験デザインに応じた2値データの関連指標（リスク差、リスク比、オッズ比）を算出できる。
6	統計解析ソフトを利用してカイ2乗検定法・Fisherの直接確率法を実践でき、結果を解釈できる。
7	感度、特異度、陽性的中率、陰性的中率、ROC曲線を説明でき、結果を解釈できる。
8	交絡因子とバイアスを説明できる。
9	層別解析を用いた交絡因子の調整解析を説明できる。年齢調整死亡割合を算出することができる。
10	回帰分析方法（重回帰、ロジスティック回帰、コックス回帰）を説明できる。統計解析ソフトを利用して実践でき、結果を解釈できる。

11	回帰分析法を用いた交絡因子の調整解析を説明できる。統計解析ソフトの結果を解釈できる。
12	生存時間データの特徴と解析方法を概説できる。統計解析ソフトの結果を解釈できる。

・ 講義場所

講義：東1-B講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	4/3(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	ガイダンス、一年次科目「データサイエンス」の復習。ノンパラパラメトリック法（1）	1,2,3,4	【事前学修】 講義資料を通読し、まとめ、不明点を明らかにする。所要時間45分以上。 【事後学修】 ノンパラメトリック法を用いる状況をまとめる。所要時間30分。 【ICT】WebClassに資料をアップロードする
講義	4/10(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	ノンパラメトリック法（2）	1,2,4	【事前学修】 教科書p123-141および講義資料を通読し、まとめ、不明点を明らかにする。所要時間45分以上。 【事後学修】 並べ替え理論に基づくp値算出方法をまとめる。所要時間30分。 【ICT】WebClassに資料をアップロードする
演習	4/14(火)	1	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	演習（1）	1,2,4	【事前学修】 前回までの講義内容およびEZRの操作方法を復習する。所要時間30分以上。 【事後学修】 解析結果をレポートにまとめる。所要時間30分以上 【ICT】WebClassに資料をアップロードする

講義	4/17(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	一年次科目「データサイ エンス」の復習。割合に 関する推測 (1)	1,2,5	【事前学修】 教科書p41-p48, p74-p75, p143-p154 および講義資料を通読 し、まとめ、不明点を 明らかにする。所要時 間 45分以上。 【事後学修】 割合に関する推測方法 をまとめる。所要時間 30分以上。 【ICT】WebClassに資 料をアップロードする
講義	4/24(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	割合に関する推測(2)	1,2,4,6	【事前学修】 教科書p154-188およ び講義資料を通読し、 まとめ、不明点を明ら かにする。所要時間 45分以上。 【事後学修】 試験デザインと要約指 標をまとめる。割合に 関する推測方法をまと める。所要時間30分 以上。 【ICT】WebClassに資 料をアップロードする
講義	5/1(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	割合に関する推測(3)	1,2,7,8,9	【事前学修】 講義資料を通読し、ま とめ、不明点を明らか にする。所要時間 45 分以上。 【事後学修】 予測判別能の指標をま とめる。交絡(因子) についてまとめる。直 接法および間接法をま とめる。所要時間30 分以上。 【ICT】WebClassに資 料をアップロードする
演習	5/8(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	演習 (2)	1,2,5,6,7,8 ,9	【事前学修】 前回までの講義内容お よびEZRの操作方法を 復習する。所要時間 30分以上 【事後学修】 解析結果をレポートに まとめる。所要時間 30分以上 【ICT】WebClassに資 料をアップロードする

講義	5/15(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	一年次科目「データサイエンス」の復習。(重) 相関係数と(重)回帰分析	1,2,10	【事前学修】 教科書p189-p206および講義資料を通読し、まとめ、不明点を明らかにする。所要時間 45分以上。 【事後学修】 線形回帰モデルとその結果の解釈についてまとめる。所要時間30分以上。 【ICT】WebClassに資料をアップロードする
講義	5/22(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	重回帰分析と交絡因子調整	1,2,8,10	【事前学修】 教科書p241-257および講義資料を通読し、まとめ、不明点を明らかにする。所要時間 45分以上。 【事後学修】 回帰分析を用いた交絡因子の調整についてまとめる。所要時間30分以上。 【ICT】WebClassに資料をアップロードする
講義	5/29(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	ロジスティック回帰分析と交絡因子調整	1,2,5,6,8,9,10	【事前学修】 教科書p273 - 296および講義資料を通読し、まとめ、不明点を明らかにする。所要時間 45分以上。 【事後学修】 ロジスティック回帰モデル、それを用いた交絡因子調整についてまとめる。所要時間30分以上。 【ICT】WebClassに資料をアップロードする
演習	6/5(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	演習 (3)	1,2,5,6,8,9,10,11	【事前学修】 前回までの講義内容およびEZRの操作方法を復習する。所要時間 30分以上 【事後学修】 解析結果をレポートにまとめる。所要時間 45分以上 【ICT】WebClassに資料をアップロードする

講義	6/12(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	生存時間解析 (1)	1,2,12	【事前学修】 教科書p297-313および講義資料を通読し、まとめ、不明点を明らかにする。所要時間45分以上。 【事後学修】 生存時間データの特徴およびカプランマイヤー法についてまとめる。所要時間30分以上。 【ICT】 WebClassに資料をアップロードする
講義	6/19(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	生存時間解析 (2)	1,2,4,5,8,9 ,10,11,12	【事前学修】 教科書p314-342および講義資料を通読し、まとめ、不明点を明らかにする。所要時間45分以上。 【事後学修】 生存関数に関する推測方法、Cox回帰を用いた交絡因子調整についてまとめる。所要時間30分以上。 【ICT】 WebClassに資料をアップロードする
演習	6/26(金)	2	情報科学科医学 統計情報学分野	高橋 史朗 教授	演習 (4)	1,2,5,6,8,9 ,10,11,12	【事前学修】 前回までの講義内容およびEZRの操作方法を復習する。所要時間30分以上。 【事後学修】 解析結果をレポートにまとめる。所要時間45分以上 【ICT】 WebClassに資料をアップロードする

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	生物統計学標準教科書 第2版	寺尾 哲、森川敏彦	ムイスリ出版	2023
参考書	医薬統計Q&A	佐久間昭	金原出版	2007
参考書	生物統計学入門	竹内正弘	丸善	2003
参考書	EZRでやさしく学ぶ統計学「改定3版」	神田善伸	中外医学社	2020

・成績評価方法

【総括評価】

進級試験（MCQ40%、計算・論述40%）、提出物（20%）で評価し、100点満点に換算して60点以上を合格とする。

【形成的評価】

授業態度、出欠、遅刻などにより態度評価を行う。講義ごとの課題で理解度を確認し、学生全員を対象に次講義開始時にフィードバックを行う。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～12	4		20		80			100
合計			20		80			100

・特記事項・その他

講義資料はWebclassで配信する。シラバスに記載されている内容を事前に学修して講義に臨むこと。各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要する。講義内で統計ソフトRを用いた実習を15分程度行う予定のため、統計ソフトRがインストールされたノートPCを持参すること。講義内で課したりレポートは、Wordを用いて文書化し、次講義開始前までにWebclassを介して提出すること。

当該科目に関連する実務経験の有無 無

・教育資源

教科書・参考書、講義室、PC、統計解析ソフトR EZRパッケージ、タブレット、関数電卓、インターネット環境

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	タブレット（Apple iPad）	1	板書代用、資料掲示、プレゼン
講義	関数電卓	1	統計問題計算、演示
講義	教卓附属AVシステム一式	1	資料掲示、プレゼン
講義	ノートPC（MS Windows/Apple Mac）	1	統計問題計算、演示

医学英語入門

ナンバリング	M2-L1-Z31
--------	-----------

責任者・コーディネーター		教養教育センター外国語学科英語分野 松田 竜宙 助教		
担当講座・学科（分野）		外国語学科英語分野		
担当教員		松田 竜宙 助教、アサノ ロバート ケン 助教		
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義	22コマ 44.0時間
期間	通期		演習	0コマ 0.0時間
			実習	0コマ 0.0時間

・学習方針（講義概要等）

This course is a comprehensive introduction to English for medical purposes. It will include an intensive focus on the word roots, prefixes, and suffixes used in common medical terms, as well as a focus on short case reports and conversations based on common medical complaints. Students who successfully complete the course will obtain the knowledge required for basic written and spoken communication in the medical field. Half the course will be conducted in English so as to maximize exposure to the target language. However, lessons will be student centred, with students spending most class time working alone, in pairs, or in groups on various learning tasks. In addition to two exams, tests will be given during class time as detailed in the lesson schedule. Punctual attendance, active participation, and completion of homework assignments are essential in order to achieve a high grade.

・教育成果（アウトカム）

Through engagement in classroom learning tasks, and completion of self-study activities, students will become able to understand and use appropriate vocabulary, phrases and strategies in basic medical communication contexts.

（ディプロマ・ポリシー： 2,4,6 ）

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	Students will become able to identify key English medical terms in stretches of written and spoken text.
2	Students will become able to break English medical terms down into word roots, prefixes, and suffixes.
3	Students will become able to extract meaning, or to construct English medical terms, based on knowledge of word roots, prefixes, and suffixes.
4	Students will become able to pronounce English medical terms correctly.
5	Students will become able to explain the basic structure of the human body using the appropriate English medical terms.
6	Students will become able to use a wide range of medical vocabulary and expressions on basic medical topics in English.
7	Students will become able to hold a basic medical conversation in English with a patient.
8	Students will become able to listen to and comprehend a patient's medical problem in English.
9	Students will become able to express basic medical symptoms and diseases in English.
10	Students will become able to read basic medical texts in English.

・講義場所

講義：松田助教：東1-B講義室、アサノロバート助教：東2-E講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

クラス	区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
C1	講義	4/3(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロバート ケン 助教	Introduction/ Basic word structure (1)	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 Read the syllabus. Purchase the assigned textbook. Read pages 2-4. Download supplementary study resources (PDF) from WebClass. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete meanings of keywords pp. 1-19 and review exercises A-L pp. 23-31. (30-60 mins)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT available after class on WebClass.</p>
C1	講義	4/10(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロバート ケン 助教	Basic word structure (2)	1,2,3	<p>【事前学修】 Check "Answers to Exercises" (textbook p. 31), paying particular attention to any answers you got wrong. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete AT LEAST ONE of the review activities on pp. 33~46 of the textbook. (30-60 mins)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT available after class on WebClass.</p>
C1	講義	4/17(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロバート ケン 助教	Basic word structure (3)	1,2,3,4	<p>【事前学修】 Create a login for online study following the instructions in the supplementary materials. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Repeat Chapter 1 online resources exercises. (30-40 mins)</p> <p>【ICT】 Chapter 1 online resources at textbook website to be completed in groups during class</p>
C1	講義	4/24(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロバート ケン 助教	Organization of the body (1)	1,2,3,4	<p>【事前学修】 Complete tasks I-V in the supplementary resources booklet pp. 8-9. Check understanding of 1) Body systems, 2) Body cavities, 3) Divisions of the spinal column, 4) Planes of the body. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete textbook exercises A-I in the textbook pp. 66-71, and study abdominopelvic regions and quadrants (pp. 78-9). (30-40 mins)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT available after class on WebClass. Self-study using textbook online resources recommended for supplementary review.</p>
C1	講義	5/1(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロバート ケン 助教	Organization of the body (2)	1,2,3	<p>【事前学修】 Check "Answers to Exercises" (textbook p. 72), paying particular attention to any answers you got wrong. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Study for the upcoming test. (Over 30 minutes)</p> <p>【ICT】 Self-study using textbook online resources recommended for supplementary review.</p>

C1	講義	5/8(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Test (1)/ Suffixes (1)	1,2,3,4	<p>【事前学修】 Study for the upcoming test. (Over 30 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete meanings of keywords relating to suffixes (textbook pp. 88-105). (30-40 mins)</p> <p>【ICT】 Test questions and audio available on WebClass after class. Self-study using textbook online resources recommended for supplementary review.</p>
C1	講義	5/15(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Suffixes (2)	1,2,3,4	<p>【事前学修】 Review Chapter 3 keywords. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete Chapter 3 review exercises (pp. 107-113). (30-40 mins)</p> <p>【ICT】 Test answers and Chapter 3 lesson PPT available on WebClass after class. Self-study using textbook online resources recommended for supplementary review.</p>
C1	講義	5/22(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Suffixes (3)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Check "Answers to Exercises" (textbook p. 113), paying particular attention to any answers you got wrong. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete AT LEAST ONE of the suffix-related review activities on pp. 115-128 of the textbook. (30-40 mins)</p> <p>【ICT】 Self-study using textbook online resources recommended for supplementary review.</p>
C1	講義	5/29(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Test (2)/ Prefixes (1)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study for the upcoming test. (Over 30 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete meanings of keywords relating to prefixes (textbook pp. 132-147). (30-40 mins)</p> <p>【ICT】 Test questions and audio available on WebClass after class. Self-study using textbook online resources recommended for supplementary review.</p>
C1	講義	6/5(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Prefixes (2)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Review Chapter 4 keywords. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete Chapter 4 review exercises (pp. 150-158). (30-40 mins)</p> <p>【ICT】 Test answers and Chapter 4 lesson PPT available on WebClass after class.</p>
C1	講義	6/12(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Prefixes (3)/ Course review	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Check "Answers to Exercises" (textbook p. 158-9), paying particular attention to any answers you got wrong. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Study for the final exam. (180-240 mins)</p> <p>【ICT】 Self-study using textbook online resources recommended for supplementary review.</p>

C1	講義	9/4(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Course Introduction / Fever (1)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Purchase the assigned textbook. Read pages iii – ix. Download textbook audio. Study p. 6–9 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 10–13 and complete supplementary exercises from WebClass. (30–60 mins.)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT and review exercises available after class on WebClass. Quizlet access available for unit vocabulary supplementary review</p>
C1	講義	9/11(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Anemia (2)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 19–21 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 22–25 and complete supplementary exercises from WebClass. (30–60 mins.)</p> <p>Review units 1–2 for Quiz 1. (Over 60 mins.)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT and review exercises available after class on WebClass. Quizlet access available for unit vocabulary supplementary review</p>
C1	講義	9/18(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Headache (3) ***Quiz 1 (1–2)***	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 52–55 unit vocabulary. (60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 56–59 and complete supplementary exercises from WebClass. (30–60 mins.)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT, Quiz 1 answers and review exercises available after class on WebClass. Quizlet access available for unit vocabulary supplementary review.</p>
C1	講義	9/25(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Chest Pain (4)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 64–67 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 68–71 and complete supplementary exercises from WebClass. (30–60 mins.)</p> <p>Review for Quiz 2. (Over 60 mins.)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT and review exercises available after class on WebClass. Quizlet access available for unit vocabulary supplementary review.</p>
C1	講義	10/2(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Cough (5) ***Quiz 2 (Units 3–4)***	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 76–78 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 80–83 and complete supplementary exercises from WebClass. (30–60 mins.)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT, Quiz 2 answers and review exercises available after class on WebClass. Quizlet access available for unit vocabulary supplementary review.</p>

C1	講義	10/9(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Abdominal Pain (6)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 88-91 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 92-95 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT and review exercises available after class on WebClass. Quizlet access available for unit vocabulary supplementary review.</p>
C1	講義	10/16(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Dysphagia (7)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 102-103 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 104-107 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.)</p> <p>Review for Quiz 3. (Over 60 mins.)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT and review exercises available after class on WebClass. Quizlet access available for unit vocabulary supplementary review.</p>
C1	講義	10/23(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Hearing Loss (8) ***Quiz 3 (Units 5-7)***	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 113-115 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 116-119 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT, Quiz 3 answers and review exercises available after class on WebClass. Quizlet access available for unit vocabulary supplementary review.</p>
C1	講義	10/30(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Fracture (9)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 125-129 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 130-133 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT and review exercises available after class on WebClass. Quizlet access available for unit vocabulary supplementary review.</p>
C1	講義	11/6(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Pregnancy (10)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 139-142 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 143-146 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.)</p> <p>Review for Quiz 4. (Over 60 mins.)</p> <p>【ICT】 Lesson PPT and review exercises available after class on WebClass. Quizlet access available for unit vocabulary supplementary review.</p>

C1	講義	11/13(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Course Review ***Quiz 4 (8-10)***	4,6,7,8,9, 10	【事前学修】 Write an original doctor-patient dialog for exam study and provide peer feedback for improvement. (Over 60 mins.) 【事後学修】 Complete practice exam questions and review audio for listening practice. Reflect on your weak study points for exam preparation. (180-240 mins.) 【ICT】 Course review PPT, exam study materials, and Quiz 4 answers available after class on WebClass. Quizlet access available for unit vocabulary supplementary review.
----	----	----------	---	-----------	----------	--------------------------------------	------------------	---

クラス	区分	月日	時	講座 (学科)	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
C2	講義	4/3(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Course Introduction / Fever (1)	4,6,7,8,9, 10	【事前学修】 Purchase the assigned textbook. Read pages iii - ix. Download textbook audio. Study p. 6-9 unit vocabulary. (Over 60 mins.) 【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 10-13 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.) 【ICT】 WebClass
C2	講義	4/10(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Anemia (2)	4,6,7,8,9, 10	【事前学修】 Study p. 19-21 unit vocabulary. (Over 60 mins.) 【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 22-25 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.) Review units 1-2 for Quiz 1. (Over 60 mins.) 【ICT】 WebClass
C2	講義	4/17(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Headache (3) ***Quiz 1 (1-2)***	4,6,7,8,9, 10	【事前学修】 Study p. 52-55 unit vocabulary. (60 mins.) 【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 56-59 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.) 【ICT】 WebClass
C2	講義	4/24(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Chest Pain (4)	4,6,7,8,9, 10	【事前学修】 Study p. 64-67 unit vocabulary. (Over 60 mins.) 【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 68-71 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.) Review for Quiz 2. (Over 60 mins.) 【ICT】 WebClass
C2	講義	5/1(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Cough (5) ***Quiz 2 (Units 3-4)***	4,6,7,8,9, 10	【事前学修】 Study p. 76-78 unit vocabulary. (Over 60 mins.) 【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 80-83 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.) 【ICT】 WebClass

C2	講義	5/8(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Abdominal Pain (6)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 88-91 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 92-95 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
C2	講義	5/15(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Dysphagia (7)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 102-103 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 104-107 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.)</p> <p>Review for Quiz 3. (Over 60 mins.)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
C2	講義	5/22(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Hearing Loss (8) ***Quiz 3 (Units 5-7)***	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 113-115 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 116-119 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
C2	講義	5/29(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Fracture (9)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 125-129 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 130-133 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
C2	講義	6/5(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Pregnancy (10)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Study p. 139-142 unit vocabulary. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Answer reading and vocabulary review exercises pp. 143-146 and complete supplementary exercises from WebClass. (30-60 mins.)</p> <p>Review for Quiz 4. (Over 60 mins.)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
C2	講義	6/12(金)	1	外国語学科英語分野	松田 竜宙 助教	Course Review ***Quiz 4 (8-10)***	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Write an original doctor-patient dialog for exam study and provide peer feedback for improvement. (Over 60 mins.)</p> <p>【事後学修】 Complete practice exam questions and review audio for listening practice. Reflect on your weak study points for exam preparation. (180-240 mins.)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
C2	講義	9/4(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロバート ケン 助教	Introduction/ Basic word structure (1)	1,2,3,4,5	<p>【事前学修】 Read the syllabus. Purchase the assigned textbook. Read pages 2-4. Download supplementary study resources (PDF) from WebClass. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete meanings of keywords pp. 1-19 and review exercises A-L pp. 23-31. (30-60 mins)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>

C2	講義	9/11(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Basic word structure (2)	1,2,3	<p>【事前学修】 Check "Answers to Exercises" (textbook p. 31), paying particular attention to any answers you got wrong. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete AT LEAST ONE of the review activities on pp. 33~46 of the textbook. (30-60 mins)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
C2	講義	9/18(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Basic word structure (3)	1,2,3,4	<p>【事前学修】 Create a login for online study following the instructions in the supplementary materials. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Repeat Chapter 1 online resources exercises. (30-40 mins)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
C2	講義	9/25(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Organization of the body (1)	1,2,3,4	<p>【事前学修】 Complete tasks I-V in the supplementary resources booklet pp. 8-9. Check understanding of 1) Body systems, 2) Body cavities, 3) Divisions of the spinal column, 4) Places of the body. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete textbook exercises A-I in the textbook pp. 66-71, and study abdominopelvic regions and quadrants (pp. 78-9). (30-40 mins)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
C2	講義	10/2(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Organization of the body (2)	1,2,3	<p>【事前学修】 Check "Answers to Exercises" (textbook p. 72), paying particular attention to any answers you got wrong. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Study for the upcoming test. (Over 30 minutes)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
C2	講義	10/9(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Test (1)/ Suffixes (1)	1,2,3,4	<p>【事前学修】 Study for the upcoming test. (Over 30 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete meanings of keywords relating to suffixes (textbook pp. 88-105). (30-40 mins)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
C2	講義	10/16(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Suffixes (2)	1,2,3,4	<p>【事前学修】 Review Chapter 3 keywords. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete Chapter 3 review exercises (pp. 107-113). (30-40 mins)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
C2	講義	10/23(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロハート ケン 助教	Suffixes (3)	4,6,7,8,9,10	<p>【事前学修】 Check "Answers to Exercises" (textbook p. 113), paying particular attention to any answers you got wrong. (30-40 mins)</p> <p>【事後学修】 Complete AT LEAST ONE of the suffix-related review activities on pp. 115~128 of the textbook. (30-40 mins)</p> <p>【ICT】 WebClass</p>

C2	講義	10/30(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロバート ケン 助教	Test (2)/ Prefixes (1)	4,6,7,8,9,10	【事前学修】 Study for the upcoming test. (Over 30 mins) 【事後学修】 Complete meanings of keywords relating to prefixes (textbook pp. 132~147). (30-40 mins) 【ICT】 WebClass
C2	講義	11/6(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロバート ケン 助教	Prefixes (2)	4,6,7,8,9,10	【事前学修】 Review Chapter 4 keywords. (30-40 mins) 【事後学修】 Complete Chapter 4 review exercises (pp. 150-158). (30-40 mins) 【ICT】 WebClass
C2	講義	11/13(金)	1	外国語学科英語分野	アサノ ロバート ケン 助教	Prefixes (3)/ Course review	4,6,7,8,9,10	【事前学修】 Check "Answers to Exercises" (textbook p. 158-9), paying particular attention to any answers you got wrong. (30-40 mins) 【事後学修】 Study for the final exam. (180-240 mins) 【ICT】 WebClass

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	Medical Terminology : A Short Course, 9th ed.	Davi-Ellen Chabner	Elsevier Saunders	2023
教科書	総合医学英語 テキスト Step 1	日本医学英語教育学会	Medical View	2016

・成績評価方法

【総括評価】 Grades out of 100 will be calculated as follows: first-semester final exam (30%), second-semester final exam (30%), in-class tests (20%), attitude and performance in class (20%; includes effort, responsiveness in class, completion of homework, and active participation in pair and group activities). Students with a final total score of 60 or above will pass.								
【形成的評価】 Students will complete assignments in class and for homework to check understanding of course material. Feedback will be given in class or via WebClass.								
到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1、5、6、7、9、10	2、4、6			5	30		10	45
2、3、4	2			10	20		10	40
8	6			5	10			15
合計				20	60		20	100

・特記事項・その他

1. Students will be divided into class C1 and C2 based on final scores in 1st-year English classes (ESL and ERW).
2. All students must purchase both assigned textbooks.
3. The order in which the course material is covered will differ between class C1 and class C2, but the material covered will be the same.
4. Tests given in class will be returned the following week together with the correct answers, and full explanations will be given.
5. WebClass and other internet-based resources (LINE OpenChat, Quizlet, etc.) will be used extensively, so students are encouraged to bring a WiFi-ready device (tablet, PC, or smartphone) to each lesson.

Students should review and prepare for upcoming lessons following the instructions in this syllabus, as well as any additional guidelines provided in class. More than 100 minutes should be allocated for lesson review and preparation. This requirement is applicable to all lessons. Feedback on exams and assignments completed in class will be provided in the following lesson or on WebClass. Where necessary, lessons may go beyond the directives in the Model Core Curriculum for Medical Education in Japan and present the most up-to-date medical research findings. Lecture materials are accessible through WebClass.

In this course, students are required to complete 160 minutes of independent study in addition to pre- and post-class learning.

当該科目に関連する実務経験の有無 無

・教育資源

教科書及び配布資料、講義室、PC、コンピューターソフトウェア (MS Powerpoint)、インターネット環境。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ビデオプロジェクター	2	講義

自由科目

海外英語演習

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 准教授		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
担当教員	柳谷 千枝子 准教授、Jonathan Levine-Ogura 助教、松田 竜宙 助教、Robert Ken Asano 助教		
対象学年	1, 2, 3, 4, 5, 6	区分・時間数	約 2 週間
期間	後期		

・学修方針（講義概要等）

英語圏の国に短期間滞在し、大学または語学学校の講師による語学コースを受講する。授業では、主として、日常会話に役立つ表現や文法事項などのテーマを扱う。さらに、リスニング練習を通してスピーキング能力を伸ばし、将来医師・歯科医師・薬剤師・看護師として活躍する際に必要な英語の総合力を培う。また、英語圏の国の文化や歴史に対する理解を深めるため、名所旧跡を見学する。その他、様々な国の人々と共にアクティビティーに参加したり、医療関連施設を訪問したりすることもある。

本演習では、外国で様々な経験を重ねることで医療者に求められる豊かな人間性を養い、また異文化コミュニケーションを図ることで国籍にかかわらず相手の立場を理解し、さらに、臆することなく自己を表現することで、友好的かつ国際的な人間関係を築くことができるようになる。

・教育成果（アウトカム）

本演習は教養教育に求められる豊かな人間性の涵養の一環として実施される。

1. 海外での生活体験を通して異文化に触れることで多様な価値観を理解でき、幅広い視点から人および物事を見ることができる。
2. 英語演習を通じて日本語を再認識することで、その能力向上を図るとともに、将来必要とされる患者との相互理解、信頼関係構築のためのコミュニケーション能力を育成できる。
(ディプロマポリシー：1, 2, 3, 7, 9)

・到達目標（SBOs）

- (1) 異文化を理解し、現地の人と英語で意思疎通を図ることができる。
- (2) 教室では間違いをおそれず積極的に発言することができる。
- (3) 日本人同士で集まることなく各国の人たちと積極的に交流することができる。
- (4) 英語圏の文化・歴史・価値観・医療に触れることで、医療者に求められる豊かな人間性と柔軟な思考力を身につけることができる。

・成績評価方法

【総括的評価】 研修レポート: 30%、演習態度*: 70%

【形成的評価】 研修内容に関する質疑応答により、異文化に対する理解度評価を行う。

*本科目の演習態度とは、主に、授業、イベントへの参加、各国の人たちとの積極的な交流、英語での積極的な発言、自主的行動、外国での問題解決能力等を指す。

*演習態度の具体的な評価方法については「参加者募集説明会」および「参加者対象説明会」で説明する。

到達目標	DP	中間 試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1、4	1、7、9		30					30
1、2、3、4	1、2、3、7						70	70
合計			30				70	100

備考：

「その他」（70％）は、授業・イベントへの参加、各国の人たちとの積極的な交流、英語での発言、自主的行動、外国での問題解決能力等による演習態度評価を含む。

・特記事項・その他

研修先：英語圏の国（例：イギリス、オーストラリア等）

期 間：3月（約2週間）の予定

宿泊施設：ホームステイ等

研修内容を把握し渡航に向けて準備するため、参加希望者は「参加者対象説明会」および「最終説明会」（各1時間程度）に出席する必要がある。なお、提出レポート（感想文）は、後日、個別にフィードバックする。

当該科目に関連する実務経験の有無 無

(令和8年度) 地域医療課題解決演習

科目担当責任者	医学部総合診療医学講座 下沖 収 教授		
担当講座・学科 (分野)	(医学部) 総合診療医学講座、内科学講座脳神経内科・老年科分野 (歯学部) 歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野、 法科学講座法歯学・災害口腔医学分野 (薬学部) 臨床薬学講座地域医療薬学分野、臨床薬学講座薬学教育学分野 (看護学部) 地域包括ケア講座		
担当教員	(医学部) 下沖 収 教授、大間々 真一 准教授、高橋 智弘 講師、前田 哲也 教授、 赤坂 博 助教 (歯学部) 小林 琢也 教授、熊谷 章子 特任教授 (薬学部) 松浦 誠 教授、白石 博久 特任教授 (看護学部) 岩淵 光子 教授、赤井 純子 助教 ＜協力＞矢巾町健康長寿課関係者の皆様、演習訪問先等関係者の皆様		
対象学年	全学年 (全学部)	期 間	通期
区分・時間数	演習 16.0時間 (全8回) (1 コマ 2 時間換算)	単位数	1 単位

■ 学習方針 (演習概要等)

患者 (対象者) を中心とする地域医療の実現のため、地域社会における医療課題についてグループワークを行う、多職種連携 PBL 科目である。自治体関連施設等の訪問、関係専門職や、対象者 (住民) へのインタビュー等をグループで行い、学部・学年を超えたディスカッションの上で提言をまとめる。

■ 教育成果 (アウトカム)

患者 (対象者) や専門職チーム、地域社会との関係における各専門職プロフェッショナリズムを理解し実践する力を身につける。施設等の訪問やインタビュー等を行い、グループ内でのディスカッションを経て提言をまとめる過程を通じ、他者尊重に基づきチームで協働する力を身につける。併せて、多職種 (専門職) 連携の重要性を理解し、自職種の責務の理解に基づく自己主導型学習力を身につける。
(ディプロマ・ポリシー)

医学部 : 1, 2, 4, 6, 8 歯学部 : 1, 2, 3, 5, 9 薬学部 : 1, 2, 3 看護学部 : 1, 2, 3, 7, 8

■ 到達目標 (SBOs)

1. 対象とする地域医療課題に関する現状と問題点を捉え、説明できる。
2. グループワークやフィールドワークで立場の異なる多様な人と良好なコミュニケーションがとれる。
3. 多分野にわたる幅広い情報収集ができる。
4. 課題解決策を検討する中で、地域医療・健康づくりにおける各職の役割が説明できる。
5. 自己学習を身につけるためにポートフォリオを記録し、省察できる。

■ 成績評価方法

最終発表会を含め演習への参加態度評価 (50%)、ルーブリックによるグループワーク等評価 (30%)、成果物評価 (20%) により評価する。

到達目標	DP				ルーブリック	発表参加態度	成果物	合計
	医	歯	薬	看				
1, 2, 3, 4	1, 2, 4, 6, 8	1, 2, 3, 5, 9	1, 2, 3	1, 2, 3, 7, 8	30	50	20	100
5	2	9	1	1				
合計					30	50	20	100

■ 事前学修時間・内容

各回到達目標の内容を事前に学習するとともに、実施前にメールで事前もしくは事後課題の指示あり。各回、事前事後4時間以上の学習を要する。学習結果は、演習当日に持参もしくは指示によりデータ提出すること。フィードバックは授業時、または個別にメール等で行う。

■ 特記事項・その他

開催日：別途調整のうえ指定 対 象：全学年（全学部） 会 場：矢巾キャンパス・矢巾町役場等
 ＊受講希望者は掲示を確認の上、所定の期日までに履修届を提出のこと。＊30分以上の遅刻は欠席とする。
 当該科目に関する実務経験の有無 有
 行政（矢巾町）と連携したフィールドワーク等を通じて、地域課題や解決方法について学ぶ。

■ 実施日程

月日	時限	内容／到達目標	担当教員	会場
第1回 6月 予定	5限 予定	オリエンテーションと概要講義 1. 科目の目標と全体構成を理解し説明できる。 2. 日本における当該課題の概要を理解し説明できる。 3. 地域における当該課題の概要を理解し説明できる。		矢巾町
第2回 6月 予定	5限 予定	グループワーク（課題理解の共有） 1. 地域における当該科目の概要理解について、グループ内検討により、関わり方の相違点・共通点を確認し自分の言葉で説明できる。 2. メンバーが理解を共有できるよう、必要なコミュニケーションを図ることができる。		矢巾キャンパス
第3回 7月 予定	未定	施設等訪問、インタビュー 1. 施設等でのフィールドワークにより、実際の仕組みや課題背景等を説明できる。 2. 関係各職への敬意をもち、インタビューすることができる。	下沖 収 教授 大間々 真一 准教授 高橋 智弘 講師	矢巾町
第4回 8月 予定	5限 予定	グループワーク（振り返り） 1. 訪問・インタビューについて、自らの言葉で振り返りを説明できる。 2. メンバーが課題等認識を共有できるよう、コミュニケーションを図ることができる。	前田 哲也 教授 赤坂 博 助教 小林 琢也 教授 熊谷 章子 特任教授 松浦 誠 教授	矢巾キャンパス
第5回 9-10月 予定	未定	施設等訪問、インタビュー 1. 施設等でのフィールドワークにより、実際の仕組みや課題背景等を説明できる。 2. 関係各職への敬意をもち、インタビューすることができる。	白石 博久 特任教授 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教	矢巾町
第6回 11月 予定	5限 予定	グループワーク（振り返り） 1. 訪問・インタビューについて、自らの言葉で振り返りを説明できる。 2. メンバーが課題等認識を共有できるよう、コミュニケーションを図ることができる。		矢巾キャンパス
第7回 11月 予定	5限 予定	グループワーク（プレゼンテーション作成） 1. グループ内で各専門領域を学ぶそれぞれの知見をあわせ、協働作業によりプロダクトを作成する過程で、多職種連携の重要性を理解し多職種を尊敬する謙虚さ、自己主導型学習を身につける。		矢巾キャンパス

<p>第8回 12月 予定</p>	<p>5限 予定</p>	<p>検討発表会・まとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当該課題への解決策を提案でき、医療人である自らの役目をも説明できるようになる。 2. 自他尊重に基づき、質疑応答その他において適切なコミュニケーションを図ることができる。 		<p>矢巾キャンパス</p>
---------------------------	------------------	--	--	----------------

諸 規 則

岩手医科大学学則

第1章 目的及び使命

第1条 本学の目的は、医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成するにある。すなわち、まず人としての教養を高め、十分な知識と技術とを修得させ、更に進んでは専門の学理を究め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献させること、これが本学の使命とする所である。

2 各学部における教育研究上の目的は別に定める。

3 本学は教育研究水準の向上を図り、前項の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行うものとする。

4 前項の点検及び評価の方法並びに体制等については、別に定める。

第2章 組織及び修業年限

第2条 本学に次の学部学科を置く。

医学部 医学科

歯学部 歯学科

薬学部 薬学科

看護学部 看護学科

2 医学部、歯学部及び薬学部の修業年限は6年とし、看護学部は4年とする。

3 各学部の学生及び再入学者の在学年限は、別に定める。ただし、通算して修業年限の2倍を超えることができない。

第3章 学年・学期及び休業日

第3条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、学長が教育上必要と認めるときは、変更することがある。

第4条 学年は、前期、後期の2期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から3月31日まで

ただし、前期及び後期の期間は、学長が教育上必要と認めるときは、変更することがある。

第5条 定期休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 春期休業 3月16日から4月15日まで

(4) 夏期休業 7月16日から8月31日まで

(5) 冬期休業 12月23日から1月15日まで

ただし、春期、夏期及び冬期休業の期間については、学長が教育上必要と認めるときは、変更することがある。

2 臨時休業日は、その都度学長が定める。

第4章 授業科目、授業時間数及び単位

第6条 各学部の授業科目等は別表1のとおりとする。

第5章 授業科目の履修及び課程修了の認定

第1節 医学部、歯学部

第7条 医学部、歯学部においては、第6条に定める所定の授業科目を履修しなければならない。

2 履修方法及び履修すべき授業時間数については別に定める。

3 履修した科目に単位を付与する場合は、45時間の学修を必要とする内容を1単位とすることを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位として単位数を計算するものとする。

第8条 所定の講義及び実習を履修した者に対し試験を行う。

2 試験に関する実施規程は別に定める。

第9条 試験の成績は、合格または不合格とし、評価等は別に定める。

第2節 薬学部、看護学部

第10条 薬学部、看護学部においては、第6条に定める授業科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

2 履修方法及び取得すべき単位数については別に定める。

3 単位の計算は、第7条第3項を準用する。

第11条 履修した授業科目については、別に定める方法で試験を行う。

第12条 試験の成績は、第9条を準用する。

第3節 全学部共通

第13条 特定の授業科目を履修した者に履修証明書を与えることがある。

第14条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを標準とする。

第14条の2 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が所属する学部以外の学部の授業科目を履修することができる。

第15条 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学

における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

第16条 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第17条 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生により修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、30単位を超えないものとし、かつ、第15条第1項（同条第2項において準用する場合を含む。）及び前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第6章 卒業及び学位

第18条 医学部、歯学部においては第2条に定める期間を在学し、かつ、第6条に定める所定の授業科目及び単位を履修修得し、試験に合格した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、医学部を卒業した者には学士（医学）、歯学部を卒業した者には学士（歯学）の学位を授与する。

- 2 薬学部においては第2条に定める期間を在学し、かつ、第6条に定める所定の授業科目を履修のうえ、試験に合格し、薬学実務実習20単位以上を含む186単位以上を修得した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与する。

- 3 看護学部においては第2条に定める期間を在学し、かつ、第6条に定める所定の授業科目を履修のうえ、試験に合格し、124単位以上を修得した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与する。

第7章 入学、休学、再入学、転入学、編入学、転部入学及び退学

第 19 条 入学の時期は、学年の始めとする。

第 20 条 本学に入学資格のある者は、次の各号の一に該当しなければならない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者。
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）。
- (3) 外国において、学校教育 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定資格試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）。
- (7) その他、相当の年令に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者。

第 21 条 入学志願者は、所定の入学願書に、履歴書、資格証明書、写真及び入学検定料を添えて学長に願出しなければならない。

第 22 条 本学に入学を志願した者については、教授会の議を経て学長が入学の許可、不許可を決定する。

- 2 本学を退学した者で、本学に再入学を志願する者については、欠員のある場合に限り、別に定めるところにより選考し、教授会の議を経て学長が相当年次に入学を許可することができる。

第 23 条 入学を許可された者は、本学所定の方式によって宣誓し、保証人 2 名を定めて在学保証書その他所定の書類を提出し、かつ所定の期日までに入学金を納入しなければならない。

第 24 条 保証人は、学生本人の父兄及び独立の生計を営む成年者とする。ただし、保証人のうち 1 名は学費負担者でなければならない。

- 2 保証人は学生の在学中の一切のことについて責任を負わなければならない。
- 3 保証人が死亡し、あるいはその資格を失ったときは、直ちに第 1 項の規定によって新たに設けなければならない。

第 25 条 学生、保証人が氏名、本籍、住所を変更した場合は直ちに届け出なければならない。

第 26 条 病気、その他やむを得ない事由により 3 ヶ月以上修学できないときは、その事由を証明する書類を添え保証人連署の休学願を提出し、教授会の議を経て学長の許可を得なければならない。

- 2 休学の期間は、1 年を超えることはできない。ただし特別の事情がある場合は、教授会の議を経て学長が更に 1 年以内の休学を許可することができる。
- 3 休学期間は、通算して 4 年を超えることができない。
- 4 休学期間は、在学期間に算入しない。

第 27 条 休学期間であっても事故止みとなり復学を願出た場合は、教授会の議を経て許可することができる。

第 28 条 他の大学から本学に、本学から他の大学に転入学、編入学を願い出た者がある場合は、教授会の議を経て学長が許可することがある。

2 本学の第 1 学年の学生で他学部への転部入学を希望する者があるときは、選考の上、第 2 学年の始めに限り転部入学を許可することがある。ただし、看護学部は除くものとする。

3 転入学、編入学、転部入学に関する規程は、別に定める。

第 29 条 本学を退学しようとする場合は、その事由を明記し、保証人連署の退学願を提出し教授会の議を経て、学長の許可を受けなければならない。ただし、退学の事由が病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

第 8 章 入学検定料、入学金、授業料、その他の学費

第 30 条 入学検定料、入学金、授業料、その他の学費（以下授業料等という）の額は別表 2 に定める。

第 31 条 授業料等の納入は、次の各号のとおりとする。

(1) 入学金は、入学手続き時に納入しなければならない。

(2) 入学初年度の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費は、入学初年度は入学手続き時に納入しなければならない。ただし、半額ずつ分納することができるものとし、分納する場合には所定の期日までに納入しなければならない。

(3) 入学次年度以降の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費は、毎年 4 月 25 日までに納入しなければならない。ただし、授業料は半額ずつ分納することができるものとし、分納する場合の 2 回目の納入期限日は 9 月 25 日までとする。

(4) 薬学部第 5 学年の長期実務実習にかかる費用の額及び納入方法は、別に定める。

第 32 条 授業料等を所定期日までに納入しない場合は、納入するまでその者の出席を停止し、30 日を経過して、なお納入しない場合は、学長がこれを除籍することがある。

第 33 条 納入した授業料等は、返還しない。ただし、入学手続きを完了したもので、所定期日までに入学辞退の届出を行い、かつ授業料等の返還を申し出た者については、入学検定料及び入学金を除く外の納入金を返還する。

2 前項の規定にかかわらず、休学期間中の授業料および実験実習費は、休学を許可された月の翌月から復学を許可された月の前月までの月割計算による額の半額を免除する。

第 9 章 職員組織

第 34 条 本学に次の職員を置く。

学長・副学長・教授・准教授・講師・助教・助手・技術員・事務員・その他必要な職員。

2 職員の定員に関しては、別にこれを定める。

第 10 章 教授会

第 35 条 本学に教授会を置く。

- 2 教授会は、医学部、歯学部、薬学部及び看護学部のそれぞれの専任教授をもって当該学部毎に組織する。
- 3 教授会は、学長が次の事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
 - (2) 学位の授与
 - (3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、別に定めるもの
- 4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 5 教授会の運営に関する規程は、別に定める。

第 11 章 学生収容定員

第 36 条 各学部の学生定員は次のとおりとする。

医学部医学科	入学定員	95 名	収容定員	570 名		
歯学部歯学科	入学定員	73 名	収容定員	438 名		
薬学部薬学科	入学定員	50 名	収容定員	300 名		
看護学部看護学科	入学定員	90 名	3 年次編入学定員	5 名	収容定員	370 名

第 12 章 研究生・研修生・研究員・聴講生・科目等履修生及び外国人学生

第 37 条 本学において特殊事項に関する研究及び研修を志願する者については、選考のうえ研究生、研修生、研究員として許可することができる。

- 2 研究生、研修生、研究員に関する規程は、別に定める。

第 38 条 本学に聴講を希望する者がある場合は、選考のうえ聴講生として入学を許可することができる。

- 2 聴講生の規程は、別に定める。

第 38 条の 2 本学の学生以外の者で、本学が開講する一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、授業に支障のない限り、選考のうえ、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

- 2 科目等履修生の規程は、別にこれを定める。

第 38 条の 3 研究生、研修生、研究員、聴講生には、第 8 条、第 9 条、第 11 条、第 12 条、第 18 条、第 19 条、第 20 条、第 30 条及び第 40 条は、これを適用しない。

第 39 条 外国人留学生を入学させることがある。外国人学生は、特に規定あるものの外は本学則の一般規定を準用する。

第 13 章 賞罰

第 40 条 人物及び学業の優秀な者は、教授会の議を経て学長がこれを表彰することがある。

第 41 条 学生がその本分にもとる行為をした場合は、教授会の議を経て学長が懲戒する。

2 懲戒は、戒告、停学、退学、退学のうえ除籍の 4 種とする。

第 42 条 次の各号の一に該当する学生は、教授会の議を経て学長が退学又は退学のうえ除籍することができる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなく欠席が多い者
- (4) 本学の秩序を乱す者

第 14 章 附属施設

第 43 条 本学に次の附属施設を置く。

- (1) 附属図書館
- (2) 附属病院
- (3) 附属薬用植物園

2 附属図書館規程、附属病院規程及び附属薬用植物園規程は、別に定める。

第 15 章 学生の厚生補導等

第 44 条 学生の厚生補導の充実を図るため、学生部を置く。

2 学生部規程および学生の厚生及び補導については別に定める。

第 45 条 本学に学生寮を置くことができる。

第 16 章 学生心得

第 46 条 学生心得は、別に定める。

第 17 章 改廃

第 47 条 この学則の改廃は、関係学部教授会及び教学運営会議の議を経て理事会が決定するものとする。

附 則

この学則は、昭和 22 年 6 月 18 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 29 年 9 月 15 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 40 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 41 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 43 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和 44 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 46 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の第 24 条の授業料等については、昭和 46 年以前から在学している者に対してはなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 48 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の第 24 条の授業料等については、昭和 48 年以前から在学している者に対してはなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 50 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料等は、第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和 50 年 10 月 24 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和 52 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 53 年 2 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和 54 年 2 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和 55 年 2 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 57 年 1 月 5 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 59 年 1 月 2 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の施設整備費は第 24 条及び第 25 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 61 年 1 月 6 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料、実験実習費及び施設整備費は第 24 条及び第 25 条の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、昭和 62 年 10 月 20 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料、実験実習費及び施設整備費は第 24 条第 1 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 24 条第 1 項に定める歯学部学納金のうち、実験実習費並びに施設整備費の () 書は昭和 63 年度以降歯学部に入学者に適用する。
- 3 この改正学則施行の際、昭和 60 年度以前に入学し、在学している学生については、第 24 条第 3 項の規定は適用しない。

附 則

- 1 この学則は、平成 2 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学している学生については、第 20 条第 2 項、第 3 項および第 27 条第 2 項の規定は、平成 2 年 4 月 1 日より適用する。
ただし、この改正学則施行の際、現に休学している学生については、第 20 条 2 項、第 3 項および第 27 条第 2 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 2 年 10 月 19 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第 24 条第 1 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 3 年 11 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第 24 条第 1 項の規定にかかわらず従前どおりとする。
ただし、消費税法の一部を改正する法律（平成 3 年 5 月 15 日法律第 73 号）の改正にともない、第 24 条の入学金及び施設整備費は非課税とする。

附 則

- 1 この学則は、平成 5 年 11 月 1 日から施行する。

2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

この学則は、平成7年9月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成10年9月1日から施行する。

2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料その他の学費は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の在学年限は、第2条第3項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

1 この学則は、平成13年10月1日から施行する。

2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料その他の学費は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

1 この学則は、平成14年10月1日から施行する。

2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料その他の学費は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年11月30日付、文部科学大臣からの薬学部設置認可に伴い改正し、平成19年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。

2 第36条の規定にかかわらず、平成20年度から平成29年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度～ 29年度
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90人
収容定員	490人	500人	510人	520人	530人	540人

3 第31条の規程にかかわらず、本附則第2項のうち医学部地域枠特別推薦入学による入学生（岩手県医師養成事業奨学金制度利用の者）の授業料、実験実習費、施設整備費、及び教育充実費の納入法については、別に定める。

附 則

この学則は、平成20年8月1日から施行する。

附 則

- この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 第36条の規定にかかわらず、平成21年度から平成29年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度～ 29年度
入学定員	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	505人	520人	535人	550人	565人	570人

- 第31条の規程にかかわらず、本附則第2項のうち医学部地域枠特別推薦入学による入学生（岩手県医師養成事業奨学金制度利用の者）の授業料、実験実習費、施設整備費、及び教育充実費の納入法については、別に定める。

附 則

- この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 学生定員の取扱については、平成20年8月5日付、文部科学省からの「地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成の推進について（通知）」に基づき改定するものとし、平成20年4月1日の「新医師確保総合対策」に基づく附則、ならびに平成21年4月1日施行の「緊急医師確保対策」に基づく附則に関わらず次のとおりとする。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度～ 29年度
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110人
収容定員	520人	550人	580人	610人	640人	660人

附 則

- この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 第36条の規定にかかわらず、平成22年度から平成37年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 ～29年度	平成30年度
入学定員	125人	125人	125人	125人	125人	125人	110人
収容定員	565人	610人	655人	700人	735人	750人	735人
	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
入学定員	110人	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	720人	690人	660人	630人	600人	585人	570人

- 第31条の規程にかかわらず、本附則第2項のうち医学部地域枠等に係る入学生（地方自治体による医学生奨学金制度等を利用の者）の授業料、実験実習費、施設整備費、及び教育充実費の納入法については、別に定める。
- 第36条の規定にかかわらず、平成22年度から平成31年度までの間における歯学部歯学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度～ 31年度
入学定員	75人	75人	75人	75人	75人	75人
収容定員	475人	470人	465人	460人	455人	450人

附 則

- この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。(平成 22 年 6 月 28 日一部改正)
- この改正学則施行の際、現に在学中の学生の学納金は第 30 条の規定にかかわらず従前どおりとする。
- この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。(平成 23 年 2 月 28 日一部改正)

附 則

この学則は、平成 23 年 6 月 1 日から施行する。(平成 23 年 5 月 30 日一部改正)

附 則

- この学則は、平成 24 年 7 月 1 日から施行する。(平成 24 年 6 月 25 日一部改正)
- この改正学則施行の際、現に在学中の学生の学納金は第 30 条の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。(平成 24 年 10 月 29 日一部改正)
- 第 36 条の規定にかかわらず、平成 25 年度から平成 37 年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
入学定員	123人	123人	123人	123人	123人	108人	108人
編入学定員	7人	7人	7人	7人	7人	7人	7人
収容定員	705人	745人	765人	770人	768人	751人	736人
	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	
入学定員	95人	95人	95人	95人	95人	95人	
編入学定員	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
収容定員	701人	666人	631人	596人	583人	570人	

- 第36条の規定にかかわらず、平成25年度から平成31年度までの間における歯学部歯学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度～ 31年度
入学定員	73人	73人	73人	73人	73人	73人
収容定員	458人	451人	444人	442人	440人	438人

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。(平成 27 年 3 月 23 日一部改正)

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 8 月 31 日付、文部科学大臣からの看護学部設置認可に伴い改正し、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の同一学年在学年限は、第 2 条第 3 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。（平成 29 年 7 月 31 日一部改正、平成 30 年 3 月 26 日一部改正(別表 1 第 6 条関係の変更)）
- 2 第 36 条の規定にかかわらず、平成 30 年度から平成 37 年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
入学定員	123 人	123 人	95人	95 人	95 人	95 人	95 人
編入学定員	7 人	7 人	0人	0 人	0 人	0 人	0 人
収容定員	766人	766人	731人	696人	661人	626人	598人
	平成37年度						
入学定員	95 人						
編入学定員	0 人						
収容定員	570人						

- 3 第 36 条の規定にかかわらず、平成 30 年度から平成 35 年度までの間における薬学部薬学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
入学定員	120 人	120 人	120 人	120 人	120 人	120 人
収容定員	920人	880人	840人	800人	760人	720人

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。（平成 30 年 4 月 23 日一部改正（別表 1 第 6 条関係の変更）、平成 31 年 3 月 25 日一部改正（別表 1 第 6 条関係の変更））

附 則

- 1 この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。（令和元年 7 月 29 日一部改正、令和 2 年 3 月 30 日一部改正（別表 1 第 6 条関係の変更））
- 2 第 36 条の規定にかかわらず、令和 2 年度から令和 9 年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入学定員	126 人	126 人	95人	95 人	95 人	95 人	95 人
編入学定員	4 人	4 人	0人	0 人	0 人	0 人	0 人
収容定員	766人	766人	731人	696人	664人	632人	601人
	令和9年度						

入学定員	95人
編入学定員	0人
収容定員	570人

附 則

- この学則は、令和3年4月1日から施行する。（令和2年6月29日一部改正、令和3年3月29日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 第36条の規定にかかわらず、令和3年度から令和8年度までの間における薬学部薬学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
収容定員	760人	680人	600人	560人	520人	480人

附 則

- この学則は、令和4年4月1日から施行する。（令和3年4月26日一部改正（別表1第6条関係の変更）、令和3年7月26日一部改正、令和4年3月28日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 第36条の規定にかかわらず、令和4年度から令和10年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
入学定員	126人	95人	95人	95人	95人	95人	95人
編入学定員	4人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
収容定員	766人	731人	699人	667人	632人	601人	570人

附 則

- この学則は、令和5年4月1日から施行する。（令和4年9月6日一部改正、令和5年3月27日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 第36条の規定にかかわらず、令和5年度から令和11年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
入学定員	130人	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	766人	734人	702人	667人	636人	605人	570人

附 則

- この学則は、令和6年4月1日から施行する。（令和5年10月26日一部改正、令和5年12月18日一部改正、令和6年3月25日一部改正（別表1第6条関係の変更、第7条関係の変更））
- 第36条の規定にかかわらず、令和6年度から令和12年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
入学定員	130人	95人	95人	95人	95人	95人	95人

収容定員	769人	737人	702人	671人	640人	605人	570人
------	------	------	------	------	------	------	------

3 第36条の規定にかかわらず、令和6年度から令和11年度までの間における薬学部薬学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
入学定員	50名	50名	50名	50名	50名	50名
収容定員	530名	460名	390名	360名	330名	300名

附 則

- この学則は、令和7年4月1日から施行する。（令和6年12月16日一部改正、令和7年3月24日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 第36条の規定にかかわらず、令和7年度から令和13年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
入学定員	130名	95名	95名	95名	95名	95名	95名
収容定員	772名	737名	706名	675名	640名	605名	570名

附 則

- この学則は、令和7年8月1日から施行する。（令和7年6月30日一部改正（別表2第30条関係の変更））

附 則

- この学則は、令和8年4月1日から施行する。（令和7年12月15日一部改正、令和8年3月30日一部改正（第2条第3項関係の変更、別表1第6条関係の変更））
- 第36条の規定にかかわらず、令和8年度から令和14年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
入学定員	130名	95名	95名	95名	95名	95名	95名
収容定員	772名	741名	710名	675名	640名	605名	570名

別表1(第6条関係:医学部)

科目区分	科目名	履修年次	コマ数	時間数	単位	区分	備考
教養教育科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	8	16.0	2	講義	必修
		1	8	16.0	2	演習	必修
	医療倫理学	1	8	16.0	1	講義	必修
	法学	1	8	16.0	1	講義	必修
	心理学	1	9	18.0	1	講義	必修
	医療面接の基礎	1	10	20.0	1	講義	必修
	データサイエンス	1	7	14.0	1	講義	必修
		1	7	14.0	1	演習	必修
	情報リテラシー	1	7	14.0	1	演習	必修
	物理学	1	14	28.0	1	講義	必修
	物理学実習	1	21	42.0	1	実験	必修
	専門課程への化学	1	14	28.0	1	講義	必修
	エッセンシャル生物	1	8	16.0	1	講義	必修
	化学実習	1	21	42.0	1	実験	必修
	生物学実習	1	21	42.0	1	実験	必修
	English Reading & Writing I	1	14	28.0	1	講義	必修
	English Reading & Writing II	1	14	28.0	1	講義	必修
	English Speaking & Listening I	1	14	28.0	1	講義	必修
	English Speaking & Listening II	1	14	28.0	1	講義	必修
	行動科学	1	9	18.0	1	講義	必修
	健康運動科学	1	8	16.0	1	講義	必修
		1	8	16.0	1	実技	必修
	ベーシック生物	1	14	28.0	1	講義	選択
	スタンダード生物	1	14	28.0	1	講義	選択
	アドバンスト生物	1	14	28.0	1	講義	選択
	自然・文化人類学	1	14	28.0	1	講義	選択
	ベーシック化学	1	14	28.0	1	講義	選択
	アドバンスト化学	1	14	28.0	1	講義	選択
	ベーシック物理	1	14	28.0	1	講義	選択
	ベーシック数学	1	14	28.0	1	講義	選択
	アドバンスト数学	1	14	28.0	1	講義	選択
	解析学入門	1	14	28.0	1	講義	選択
	文学の世界	1	14	28.0	1	講義	選択
	医療とコミュニケーション	1	14	28.0	1	講義	選択
	道徳のしくみ	1	14	28.0	1	講義	選択
	医療とスポーツ	1	9	18.0	1	講義	選択
		1	5	10.0	1	実技	選択
	実践英語	1	14	28.0	1	講義	選択
	医療と福祉	1	14	28.0	1	講義	選択
	医療と物語	1	10	20.0	1	講義	選択
	パーソナリティ心理学	1	10	20.0	1	講義	選択
	哲学の世界	1	10	20.0	1	講義	選択
	人間関係論	1	10	20.0	1	講義	選択
	医療と法律	1	10	20.0	1	講義	選択
	科学英語	1	10	20.0	1	講義	選択
	データサイエンスII	2	10	20.0	-	演習	必修
		2	4	8.0	-	演習	必修
医学英語入門	2	22	44.0	-	講義	必修	
医学英語	3	14	28.0	-	講義	必修	
医事法学	4	10	20.0	-	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	コマ数	時間数	単位	区分	備考
医学専門科目	医療入門	1	20	40.0	講義	必修	
	(全人的医療基礎講義含む)	1	50	100.0	実習	必修	
	分子細胞生物学I	1	12	24.0	講義	必修	
		1	2	4.0	実習	必修	
		1	1	2.0	演習	必修	
	分子細胞生物学II	1	12	24.0	講義	必修	
		1	2	4.0	演習	必修	
		1	9	18.0	講義	必修	
	基礎組織学	1	1	2.0	演習	必修	
		1	9	18.0	実習	必修	
	解剖学総論	1	4	8.0	講義	必修	
		1	10	20.0	実習	必修	
	医化学I	1	14	28.0	講義	必修	
	医科生理学	1	22	44.0	講義	必修	
	初年次ゼミナール	1	8	16.0	講義	必修	
	症例基礎・問題解決型学修(入門)	1	6	12.0	講義	必修	
		1	21	42.0	実習	必修	
	医療安全学	1	8	16.0	講義	必修	
		2	17	34.0	講義	必修	
	組織学	2	19	38.0	実習	必修	
		2	1	2.0	演習	必修	
	人体生理学	2	14	28.0	講義	必修	
	臨床解剖学	2	20	40.0	講義	必修	
		2	79	158.0	実習	必修	
	器官生理学	2	27	54.0	講義	必修	
		2	20	40.0	実習	必修	
	医化学II	2	21	42.0	講義	必修	
		2	18	36.0	実習	必修	
	神経科学	2	34	68.0	講義	必修	
		2	21	42.0	実習	必修	
		2	1	2.0	演習	必修	
	微生物学	2	35	70.0	講義	必修	
		2	8	16.0	実習	必修	
		2	2	4.0	演習	必修	
	免疫学	2	14	28.0	講義	必修	
		2	4	8.0	実習	必修	
		2	1	2.0	演習	必修	
	病理学総論	2	13	26.0	講義	必修	
		2	2	4.0	演習	必修	
	基礎医学演習	2	14	28.0	演習	必修	
	症例基礎・問題解決型学修(実践)	2	17	34.0	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	コマ数	時間数	単位	区分	備考
医学専門科目	薬理学	2	25	50.0	講義	必修	
		2	6	12.0	実習	必修	
	医療プロフェッショナリズムII	2	4	8.0	講義	必修	
		2	4	8.0	実習	必修	
	基本的医療手技I	2	20	40.0	実習	必修	
		3	36	72.0	実習	必修	
	器官病理学	3	12	24.0	実習	必修	
		3	22	44.0	実習	必修	
	疫学・環境医学	3	32	64.0	実習	必修	
	チーム医療リテラシー	3	12	24.0	演習	必修	
	基礎病態・社会医学演習	3	12	24.0	演習	必修	
	消化器病学	3	36	72.0	講義	必修	
	内分泌・代謝病学	3	23	46.0	講義	必修	
	循環器病学	3	27	54.0	講義	必修	
	呼吸器病学	3	29	58.0	講義	必修	
	神経病学	3	36	72.0	講義	必修	
	産婦人科学	3	35	70.0	講義	必修	
	免疫病学	3	13	26.0	講義	必修	
	血液病学	3	20	40.0	講義	必修	
	小児科学	3	14	28.0	講義	必修	
	腎臓病学	3	19	38.0	講義	必修	
	臨床検査医学	3	12	24.0	講義	必修	
	臨床医学演習	3	13	26.0	演習	必修	
	症例基礎・問題解決型学修(発展)	3	8	16.0	講義	必修	
		3	6	12.0	講義	必修	
	医学研究リテラシーI	3	6	12.0	実習	必修	
		3	2	4.0	実習	必修	
	医学研究リテラシーII(研究室配属)	3	72	144.0	実習	必修	
	地域医療学II	3	20	40.0	実習	必修	
	医療プロフェッショナリズムIII	3	7	14.0	講義	必修	
		3	7	14.0	実習	必修	
	基本的医療手技II	3	20	40.0	実習	必修	
	災害医学	4	4	8.0	講義	必修	
		4	5	10.0	実習	必修	
	老年医学	4	8	16.0	講義	必修	
	整形外科	4	17	34.0	講義	必修	
	リハビリテーション医学	4	8	16.0	講義	必修	
	形成外科	4	11	22.0	講義	必修	
	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	4	14	28.0	講義	必修	
	眼科学	4	10	20.0	講義	必修	
	皮膚科学	4	14	28.0	講義	必修	
	泌尿器科学	4	10	20.0	講義	必修	
	神経精神科学	4	14	28.0	講義	必修	
	放射線医学	4	14	28.0	講義	必修	
	麻酔学	4	8	16.0	講義	必修	
	救急医学	4	9	18.0	講義	必修	
	法医学	4	16	32.0	講義	必修	
		4	6	12.0	実習	必修	
	地域総合診療医学	4	8	16.0	講義	必修	
	臨床遺伝学	4	8	16.0	講義	必修	
	感染症学	4	11	22.0	講義	必修	
	臨床腫瘍学	4	8	16.0	講義	必修	
	臨床病理学	4	9	18.0	講義	必修	
	基本的臨床技能実習	4	47	47.0	実習	必修	
	統合医学演習	4	10	20.0	演習	必修	
	医療プロフェッショナリズムIV	4	8	16.0	講義	必修	
	症候学	4	20	40.0	実習	必修	
	総合臨床医学(ベーシック臨床実習)	4・5	20	40.0	演習	必修	
		4・5	540	810.0	実習	必修	
	予防医学	5	19	38.0	講義	必修	
		5	1	2.0	演習	必修	
	アドバンスト臨床実習(地域医療臨床実習)	5	80	120.0	実習	必修	
	アドバンスト臨床実習	5・6	740	1,110.0	実習	必修	
総合医学	6	126	126.0	講義	必修		
4学部合同セミナー	6	2	4.0	演習	必修		

科目区分	科目名	履修年次	コマ数	時間数	単位	区分	備考
自由科目	海外英語演習	1~6	40	80.0	2	演習	自由
自由科目	地域医療課題解決演習	1~6	8	16.0	1	演習	自由

別表 2 (第30条関係)

1. 入学検定料、入学金、授業料、その他学費は、次のとおりとする。(転部入学含む)

	医学部	歯学部	薬学部	看護学部
入学検定料	60,000 円	40,000 円	35,000 円	30,000 円
入学金	2,000,000 円	600,000 円	350,000 円	250,000 円
授業料 (年額)	2,500,000 円	2,500,000 円	1,300,000 円	1,000,000 円
実験実習費	初年度 (年額)	500,000 円	—	125,000 円
	第2学年以降 (年額)	500,000 円	—	195,000 円
施設整備費 (年額)	1,000,000 円	1,000,000 円	400,000 円	250,000 円
教育充実費	入学時	3,000,000 円	2,000,000 円	—
	第2学年以降 (年額)	1,000,000 円	800,000 円	—

※教育充実費のうち、平成 21 年度医学部在学中の学生の第 2 学年からの年額は 800,000 円とする。

※看護学部の保健師養成科目履修者については、別途実習費等として 150,000 円を加える。

※看護学部の助産師養成科目履修者については、別途実習費等として 200,000 円を加える。

2. 再入学に係る入学検定料、入学金、授業料、その他学費は、次のとおりとする。

	医学部	歯学部	薬学部	看護学部
入学検定料	60,000 円	40,000 円	35,000 円	30,000 円
入学金	500,000 円	300,000 円	175,000 円	125,000 円
授業料 (年額)	2,500,000 円	2,500,000 円	1,300,000 円	1,000,000 円
実験実習費	第 1 学年 (年額)	500,000 円	—	125,000 円
	第 2 学年以降 (年額)	500,000 円	—	195,000 円
施設整備費 (年額)	1,000,000 円	1,000,000 円	400,000 円	250,000 円
教育充実費	第 1 学年 (年額)	—	—	—
	第 2 学年以降 (年額)	1,000,000 円	800,000 円	—

3. 転入学 (歯学部に限る。)に係る入学検定料、入学金、授業料、その他学費は、前項と同額とする。

4. 編入学に係る入学検定料、入学金、授業料、その他の学費は、次のとおりとする。

	医学部	歯学部	薬学部	看護学部
入学検定料	60,000 円	40,000 円	35,000 円	30,000 円
入学金	2,000,000 円	600,000 円	350,000 円	250,000 円
授業料 (年額)	2,500,000 円	2,500,000 円	1,300,000 円	1,000,000 円
実験実習費 (年額)	500,000 円	—	195,000 円	150,000 円
施設整備費 (年額)	1,500,000 円	1,000,000 円	400,000 円	250,000 円
教育充実費	編入学時	3,000,000 円	800,000 円	—
	次年度以降 (年額)	1,000,000 円	800,000 円	—

※看護学部の保健師養成科目履修者については、別途実習費等として 150,000 円を加える。

※看護学部の助産師養成科目履修者については、別途実習費等として 200,000 円を加える。

5. 留年した者についての授業料、その他学費は、次のとおりとする。

(1) 第1学年において留年した者

留年年度における第1学年の授業料、実験実習費及び施設整備費とする。

(2) 第2学年以降において留年した者

留年年度における留年学年の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費とする。
ただし、最終学年で留年した者で、前期末に卒業する者については、授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費のいずれも半額とする。

備考 第1項から第5項における入学検定料、入学金、授業料、その他学費については、次年度以降変更することがある。

岩手医科大学における各学部等の人材養成および教育研究上の目的と使命に関する規程

(趣旨)

第1条 大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第2条に則り、学則第1条第2項に基づき、本学の教育研究方針を明確にし、学部等における教育の質を保証するとともにその基準を内外に示すため、以下に各学部等の人材養成および教育研究上の目的と使命（以下「各学部等の目的と使命」という）を定めるものとする。

(各学部等の目的と使命)

第2条 医学・歯学・薬学・看護学の四学部をもつ医療総合大学としての特色を活かし、各学部間の緊密な連携のもとに人類の健康・福祉の向上に貢献することを目指す。各学部等の目的と使命を以下のとおり定める。

(1) 医学部

教育・診療・研究において、主導的役割を担う豊かな人間性を備えた人材を養成する。このために、社会、患者、保健や医療に関わる機関の期待に応え、地域や世界的な医療、社会の保健、健康増進、医学教育並びに医学研究の専門的能力を高める人材を育成する。また、人としての教養を高め、医師としての十分な知識と技能を修得させ、発展を続ける医学に対応する生涯学習のための自己啓発能力を涵養する。

(2) 歯学部

豊かな教養と人間性を涵養し、全人的医療を実践し、歯科医学、歯科医療ならびに口腔保健の進歩発展に寄与することのできる人材を養成する。

(3) 薬学部

基礎薬学から医療・臨床薬学の教育研究を通し、豊かな人間性と広い視野から問題を発見し解決する能力を備え、薬学の進歩と地域医療の発展に貢献する人材を養成す

(4) 看護学部

人々の尊厳と権利を尊重し、最新の高度医療に対応する実践能力を持ち、自律的に責務を遂行できる看護専門職として、看護学の発展に寄与し、地域社会に貢献する人材を養成する。

(5) 全学教育推進機構教養教育センター

地域医療と国際社会に貢献する基盤として、学則に謳う「人としての教養」と、人文科学も含めた広い意味での科学を修得し、医学、歯学、薬学、看護学、またそれらの複合領域等において、自己研鑽を継続できる人材を養成する。

(改廃)

第3条 この規程の改廃は、教学運営会議の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 24 年 9 月 26 日 から施行し、改正後の規定は、平成 22 年 6 月 15 日から適用する。

附 則

この規程は、平成 27 年 12 月 1 日から施行する。(薬学部における目的の変更)

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。(看護学部の目的の追加、規程改廃の決定機関変更)

附 則

この規程は、令和 2 年 2 月 12 日から施行する。(教養教育センターの目的の追加)

附 則

この規程は、令和 8 年 2 月 1 日から施行する。(医学部における目的と使命の追記)

岩手医科大学障害のある学生等への合理的配慮に関する規程

令和6年4月1日制定

(目的)

第1条 この規程は、「障害者基本法(昭和45年法律第84号)」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号)」、その他関係法令、並びに岩手医科大学学生支援方針に基づき、岩手医科大学(以下「本学」という。)における障害のある学生等への合理的配慮に関し必要な事項等を定めることを目的とする。

(定義)

第2条 本規程において、次の用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 障害のある学生等 障害者基本法(昭和45年法律第84号)第2条第1号に規定する障害者、即ち、身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む。)その他の心身の機能の障害(難病に起因する障害を含む。以下「障害」と総称する。)により継続的に修学上相当な制限を受ける状態にある学生等。
- (2) 合理的配慮 障害のある学生等が、他の者との平等を基礎として修学上の不利益を被ることがないように必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において障害のある学生等本人が必要とするものであり、教育の目的・内容・評価の本質を変えないもの、かつ、均衡を失したまたは過重な負担を課さないもの。

(教職員の責務)

第3条 本学教職員は、障害のある学生等が修学上の不利益を被ることがないように、合理的配慮の提供に努めなければならない。

(支援体制)

第4条 本学における合理的配慮が必要な学生等に関するアセスメントとマネジメントは、学生支援室が担当する。

- 2 障害のある学生等が、合理的配慮の申請を希望する場合は、学生支援室を通じ、第5条及び第6条の手続きを経ることとする。
- 3 学生支援室は、次の各号に掲げる教職員及び所属により構成するものとする。
 - (1) 学生部長
 - (2) 学生副部長
 - (3) 学事課
 - (4) その他学生部長が必要と認めた者

(面談)

第5条 障害のある学生等が、合理的配慮の申請を希望する場合は、窓口にご相談後、面談を実施することとする。

- 2 面談は、次の各号に掲げる教職員および所属のうち、学生部長が必要と認めた人員に

より構成するものとする。

- (1) 学生部長
- (2) 学生副部長
- (3) 教務委員長
- (4) クラス担任
- (5) 当該学部教務課
- (6) 健康管理センター
- (7) 学事課
- (8) その他学生部長が必要と認めた者

3 前項構成員は、相互に連携し合理的配慮に関係する業務にあたるものとする。

(申請)

第6条 障害のある学生等が、合理的配慮の申請を希望する場合は、面談の実施後、様式1の申請書及び根拠資料等を学生支援室へ提出することとする。

- 2 新規申請は、合理的配慮が必要な事案が発生する都度、行うものとする。
- 3 更新申請は、年度ごとに行うものとする。

(合理的配慮の検討)

第7条 学生支援室は、学生等からの合理的配慮の申請意思について十分尊重するため、合理的配慮の提供について検討を行う。

2 前項の検討を行ったうえで、教育の目的・内容・評価の本質を変える、均衡を失する、または以下の各号を考慮し過重な負担にあたりと判断した場合は、申請者にその理由を説明し、理解を得るよう努めるものとする。

- (1) 本学および実習施設等の教育協力施設における教育研究その他の活動への影響の程度(その目的、内容、機能等)
- (2) 実現可能性の程度(物理的及び技術的制約、または人的および体制上の制約)
- (3) 費用及び負担の程度
- (4) 本学および実習施設等の教育協力施設の規模、財政および財務状況

(合理的配慮の提供)

第8条 本規程に定める合理的配慮の提供の可否は、当該学部教授会または教養教育センター委員会にて決定する。

2 合理的配慮の提供の期間は、当該学部教授会または教養教育センター委員会が特別の事情があると認める場合を除き当該年度までとし、更新申請があった場合はその提供の可否を前項に基づき決定する。

(情報保護)

第9条 合理的配慮を提供するために必要な場合は、守秘義務を遵守のうえで関係者が個人情報共有することができるものとする。

(事務)

第 10 条 本規程にて定める合理的配慮に関する事務は、学事課が行う。

(改廃)

第 11 条 この規程の改廃は、学生部長会議の議を経て学長が行う。

附則

この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

学生支援室 御中

修学上の合理的配慮申請書

下記のとおり、_____年度における修学上の合理的配慮の提供を希望いたします。

申請日	_____年 ____月 ____日		
(ふりがな) 氏名※自筆	(_____)	入学年度	_____年度
	※自筆 _____	学籍番号	_____
学部学年等	_____学部 _____年 出席番号 _____番		
連絡先・現住所	携帯電話： _____ E-mail : _____ 現住所 : _____		
緊急連絡先 (保護者等)	氏 名： _____ 住 所： _____ 電話番号： _____ 本人との関係： _____		
障がい等の名称	_____		
障がいの種類	※障害者手帳の写しまたは診断書等の根拠資料を添付のこと		
	障がいの種類(該当箇所にチェックのこと) <input type="checkbox"/> 身体障がい <input type="checkbox"/> 知的障がい <input type="checkbox"/> 精神障がい <input type="checkbox"/> その他心身の機能の障がい		
根拠書類	障害者手帳	診断書	その他
	<input type="checkbox"/> 有(_____ 手帳 種 級) <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (内容： _____)
申し出理由 及び 希望する配慮内容	配慮を申し出る理由(支障をきたす具体的な身体等の状況など) 希望する合理的配慮(科目等が限定される場合、科目名も明記のこと)		
備 考	<input type="checkbox"/> 規程第9条 関係者間における個人情報の共有に同意します。		

岩手医科大学学生の欠席の取扱いに関する規程

第1条 この規程は、岩手医科大学において、学生が授業又は試験を欠席した場合の取扱いに関して定める。

第2条 欠席の取扱いは、授業又は試験を担当する責任者等が判断する。

第3条 学生は、授業又は試験を欠席しようとするとき、又は欠席したときは、速やかに欠席届を提出しなければならない。

第4条 次に掲げるいずれかの欠席に該当する場合は、当該欠席について取扱いを考慮することができる。

- (1) 近親者の死亡の場合であって、1親等にあつては連続1週間、2親等にあつては連続3日、3親等にあつては1日の欠席（いずれの期間にも休日・祝日を含む。）
- (2) 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第18条に定める感染症による入院又は加療の場合における同規則第19条に定める期間の欠席
- (3) 授業中の事故による入院又は加療のための欠席
- (4) 交通機関の不通又は遅延による通学困難の場合における発生から復旧までの期間の欠席
- (5) 大学の行事又は学部長が認める公的行事への参加の場合における移動を含む必要期間の欠席
- (6) 学部長が認める就職試験の受験の場合における当該日数の欠席
- (7) その他学部長が特に認める欠席

第5条 前条に定める欠席を願い出ようとする学生は、欠席届に次の表の左欄の区分に応じ、それぞれ当該欄に定める書類を添付のうえ、期限内に提出しなければならない。

欠席事由に対応する前条の号	添付書類	提出期限
(1)	会葬礼状等の説明書類	当該期間最終日から2週間以内
(2)	医師の診断書	登校後1週間以内
(3)		
(4)	交通機関が発行する遅延証明書	欠席日から1週間以内
(5)	事由を証明する書類	原則として事前に提出。やむを得ない場合は欠席日から1週間以内
(6)		
(7)	学部長が指定する書類	学部長が指定する期間内

第6条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、学部ごとに別に定める。

第7条 この規程の改廃は、教学運営会議の議決による。

第8条 この規程に関する事務は、各教務課が行う。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

平成 20 年 8 月 18 日一部改正

附 則

この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 26 年 11 月 11 日から施行する（組織名の変更等）。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する（関係法令の名称変更）。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する（事務局組織の再編に伴う名称変更）。

岩手医科大学医学部試験規程

昭和 27 年 9 月 1 日制定
昭和 33 年 5 月 27 日改正
昭和 48 年 4 月 1 日改正
昭和 48 年 6 月 1 日改正
昭和 51 年 1 月 26 日改正
昭和 56 年 9 月 22 日改正
昭和 57 年 12 月 8 日改正
昭和 58 年 2 月 16 日改正
昭和 63 年 10 月 26 日改正
平成 2 年 3 月 14 日改正
平成 5 年 11 月 24 日改正
平成 6 年 4 月 13 日改正
平成 7 年 4 月 12 日改正
平成 9 年 5 月 14 日改正
平成 11 年 3 月 10 日改正
平成 12 年 4 月 1 日改正
平成 13 年 4 月 1 日改正
平成 14 年 6 月 7 日改正
平成 14 年 12 月 11 日改正
平成 16 年 2 月 6 日改正
平成 16 年 12 月 8 日改正
平成 19 年 2 月 21 日改正
平成 27 年 2 月 25 日改正
平成 28 年 2 月 10 日改正
平成 30 年 4 月 1 日改正
令和 4 年 4 月 1 日改正
令和 7 年 4 月 1 日改正

(趣旨)

第1条 この規程は、岩手医科大学学則第8条に基づき、医学部における授業科目の履修、試験、進級及び卒業に関して、必要な事項を定める。

(授業科目の履修及び試験科目)

第2条 履修すべき授業科目、試験科目及び認定する単位数については、これを学年毎に教育要項(シラバス)に定める。

2 選択科目又は自由科目を選択しようとする者は、年度始めに履修申請をしなければならない。

3 前項に定める科目以外でも、授業した科目については試験を行うことができる。

(試験の種類)

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

(1) 本試験 定期に行う進級試験及び卒業試験をいう。

(2) 追試験 病気その他やむを得ない事由で受験できなかった者に事故終了後に行う試験をいう。

(3) 再試験 所定の本試験に不合格の者に対し改めて行う試験をいう。再試験は原則として1回限りとする。

(追試験料及び再試験料)

第4条 追試験料は、1科目1,000円、再試験料は1科目3,000円とし、その都度前納するものとし、それぞれ所定の用紙に必要事項を記入のうえ医学部教務課を経て学部長に願い出なければならない。

2 共用試験の試験料については、別に定める。

(試験の方法)

第5条 試験の方法は、筆記、口述、レポート、実地等とする。

(試験日程)

第6条 本試験は、前期終了時又は後期終了時に行う。ただし、一部の科目の日程については、別に定める。

2 追試験は、本試験に係る学業成績判定までに行う。

3 再試験は、あらかじめ指定した日程に行う。

4 試験日及びその時間割は、実施2週間前までに発表するものとする。

(受験資格)

第7条 教育要項(シラバス)に定める各科目につき、所定の学習時間の2/3以上聴講し、かつ学習を完了した者でなければ本試験を受ける資格がない。

2 病気又はやむを得ない事由で受験が不可能の場合には、直ちに前者では医師の診断書、後者ではその事由書を添えて医学部教務課を経て学部長に届け出なければならない。

3 前項の手続を経て担当教授の承認を受けた者は、本試験の追試験を受けることができる。

(評点)

第8条 各学年の成績・評価は、学年毎に別に定め、教育要項(シラバス)に記載するものとする。

2 追試験の成績・評価は、その評点より1割を減じたものをもって得点とする。但し、教授会の議を経て減じないことが承認された場合、この限りではない。

3 再試験において、合格した場合の成績・評点は合格最低点とする。

(進級・単位付与)

第9条 各科目の講義及び実習終了後、教育要項(シラバス)に定める各学年の本試験を受け、全科目に合格した者について、教授会の議を経て進級及び単位付与について判定する。

2 進級した者のうち、教養教育センター科目を受講した者については所定の単位を付与する。

3 進級不可と判定された者は、留年とし、当該学年の全科目を再履修するものとする。

4 留年した場合でカリキュラムの変更に伴い当該学年に再履修すべき授業科目がない場合は、教授会の議を経て講座等の責任において補習授業(再履修)を行い、当該年度の進級判定前までに試験を行い、60点を合格とする。

5 前項で再履修により合格した科目については、第3項の規定を適用しない。

(卒業)

第10条 卒業の可否は、別に定める卒業判定基準に基づき、教授会において判定し、学長が認定する。

2 卒業不可と判定された者は、留年とし、第6学年の全科目を再履修するものとする。

(成績評価の開示)

第11条 個人の成績評価については、各学年の最終評価を開示するものとする。

(成績評価の異議申し立て)

第12条 成績評価に関する疑義が生じ、教員の説明では解決が得られなかった場合は、成績評価に関する異議申し立てをすることができる。異議申し立てを行なう場合には、別に定める「成績評価に関する異議申し立て規則」の手続きに拠り、「成績評価に関する異議申し立書」(所定の様式による)を、医学部長へ提出するものとする。

(雑則)

第13条 この規程に定めのない事項については、教授会の議を経て学部長が定める。

(規程の改廃)

第14条 この規定の改廃は、教授会の議を経て学部長が行う。

附 則

この規程は昭和27年9月1日から施行する。

附 則

この規程は昭和33年5月27日から施行する。

附 則

この規程は昭和48年4月1日から施行する。

附 則

この規程は昭和48年6月1日から施行する。

附 則

この規程は昭和51年1月26日から施行する。

附 則

この規程は昭和56年10月1日から施行する。

附 則

この規程は昭和57年12月1日から施行する。

附 則

この規程は昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この規程は昭和63年10月26日から施行する。

附 則

この規程は平成2年3月14日から施行する。

附 則

この規程は平成5年11月24日から施行する。

附 則

この規程は平成7年4月12日から施行する。

附 則

この規程は平成9年5月14日から施行する。

附 則

この規程は平成11年3月10日から施行する。

附 則

この規程は平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成13年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成16年4月1日から施行する。

ただし、4学年の消化器病学、免疫病学、血液病学については平成17年度から適用する。

附 則

この規程は平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

成績評価に関する異議申し立て制度について

本学には、学生が成績評価について異議申し立てすることができる「成績評価異議申立制度」があります。

この制度は、自分の成績評価に疑義がある場合に大学・教員側に申し立てすることが可能であり、医学部長がその異議に対して対応し、回答する制度となっています。

異議申立に関する手続き方法及びスケジュールは下記のとおりとなっております。期間外の申し立てや過去の学期の成績については一切受け付けませんので十分注意するようにしてください。

【手続き期間】

令和 年 月 日 () 9時00分～17時00分

※再試験結果については申し立てができません。

※本制度を利用したとしても再試験対象となっている学生は再試験手続き・再試験受験を行って下さい。

【提出書類】

「成績評価異議申立書」(申し立て期間に医学部教務課窓口に準備します。)

「学生証写し」

【提出先】

矢巾キャンパス 医学部教務課窓口

【結果通知】

口頭または文書にて本人に通知します。通知方法等は後ほど該当者に連絡いたします。

【対象科目】

医学部第 学年全科目

【成績開示】

令和 年 月 日 () 教授会終了後に Webclass で公開しますので、各自確認願います。なお、公開時間は準備状況により前後する可能性がありますので、ご了承願います(公開後に WebClass メールにて通知いたします)。

医学部第2学年進級試験・進級判定基準

(実施方法)

- 第1 進級試験・進級判定は、教育要項(シラバス)に定める試験科目毎に実施する。
- 2 複数講座担当科目の問題作成に当たっては、当該年度の教育担当責任講座(科)(コーディネーター科)が各科目を担当することとする。

(評価)

- 第2 試験は、100を満点とし、科目毎に評価を行う。

(判定)

- 第3 進級判定は、教授会の議決による。

(合否基準)

- 第4 合否基準は、次のとおりとする。
 - (1) 合格 全科目60点以上の場合
 - (2) 不合格 前号以外の場合

(再試験)

- 第5 60点未満の科目が科目全体の1/3以下の場合、当該科目について再試験を実施することができる。
- 2 60点未満の科目が科目全体の1/3を超えた場合、又は本試験若しくは追試験をやむを得ない事情無く欠席し不合格となった場合には、申請の上、当該科目について再試験を仮受験することができる。
但し、かかる仮受験の成績は、いずれの科目もその評点より1割を減じたものをもって得点とする。

(その他)

- 第6 大学が企画・実施・費用負担する施策(模擬試験・補講・アンケート回答等)については、原則として全員参加することとし、参加しなかった者は進級判定の対象としない。

追 試 験 願

岩手医科大学 医学部長 殿

年 月 日

医学部 年 番

学籍番号

氏 名

年度の（前期・後期）（定期・再）試験を下記事由により受験できませんでした。つきましては、下記科目について追試験を実施下さるようお願い致します。

記

番号	科目名	授業科目責任者	番号	科目名	授業科目責任者
1			5		
2			6		
3			7		
4			8		

合計 科目 (円)

※1科目1,000円

事由(具体的に記載のこと)

(注) 1. 理由書(病気等の場合は医師の診断書、その他明確な理由書)を添付すること。

証紙貼付	証紙貼付
証紙貼付	証紙貼付

再 試 験 願

岩手医科大学 医学部長 殿

年 月 日

医学部 年 番

学籍番号

氏 名

年度の下記科目について合格できませんでした。
つきましては、再試験を実施下さるようお願い致します。

記

番号	科 目 名	授業科目責任者	番号	科 目 名	授業科目責任者
1			8		
2			9		
3			10		
4			11		
5			12		
6			13		
7			14		

合計 科目 (円)

※1科目 3,000円

証紙貼付	証紙貼付
証紙貼付	証紙貼付

再試験 仮受験願

岩手医科大学 医学部長 殿

年 月 日

医学部 年 番

学籍番号

氏名

年度（ 前期 ・ 後期 ）の下記科目について合格できませんでした。
つきましては、再試験（仮受験）を実施下さるようお願い致します。

記

番号	科目名	授業科目責任者	番号	科目名	授業科目責任者
1			8		
2			9		
3			10		
4			11		
5			12		
6			13		
7			14		

合計 科目 (円)

※1科目 3,000円

証紙貼付	証紙貼付
証紙貼付	証紙貼付

岩手医科大学における人体標本取扱指針

平成 29 年 4 月 1 日

本学の教育と研究において、人体および人体標本(遺体およびその一部である標本、さらに手術による摘出標本を含みます)を用いることは、人体の構造と機能、疾病の病理・病態を深く理解するために不可欠です。もとよりご遺体には尊厳があり、その使用にあたっては、死体解剖保存法によって、「死因説明」、「医学教育」、「医学研究」という公共の利益となる明確な目的をもつこと、および、遺体の取扱に当たっては礼意を失わないように注意しなければならないことが規定されています(死体解剖保存法第一条および第二十条)。また、標本提供者の個人情報の漏出があってはなりません。教育現場においては、学生は、以下の点を遵守するよう、留意して下さい。

- 人体標本を、教員の許可なく所蔵場所から移動するのを禁じます。
- 講義室・実習室で供覧する人体標本を、教員の許可なく撮影してはいけません。
- 実物だけでなく視聴覚装置で供覧される標本写真等についても、撮影ならびにインターネットに掲載してはいけません。
- 許可を受けて撮影したとしても、その画像を、インターネット(含、Social Network Service)に転載することは一切禁じます。
- ヒト以外の動物や動物標本を用いる場合も、人体標本と混同されることを避けるという観点に加え、生命体への畏敬の念を育む意味でも撮影してはいけません。
- 個人が特定できる情報(姓名、病名、受診年月日、死亡・採取年月日等)を、教室・実習室外へ持出してはいけません。
- 学修者が、学修のために正常組織および病理組織顕微鏡標本(マイクロ標本)のデジタル情報を取得・保存(例、写真撮影、デジタル画像ファイルのダウンロード、バーチャルスライドの画像情報保管)することは認められますが、インターネットへの転載は禁じます。

岩手医科大学生命倫理規範

本学は、「誠の人間の育成」という建学の精神に基づき、専門の学理に対して誠実な理想を持ち、医療及び生命科学の研究、教育を通じて社会の進歩、福祉に貢献してきた。

関連諸科学が日々急速に進展するなか、本学が今後とも社会の要請に応えるために、すべての職員には、誠の精神に由来する高い倫理観をもって行動することが求められている。

本学は、すべての職員が常に自覚し、遵守すべき指針として、ここに生命倫理規範を制定し、本規範に基づき医療・研究を推進するとともに、生命倫理に関する教育と啓発活動に力を注ぐことを宣言する。

1. 医療及び生命科学の研究とその応用を行うに際しては、人間の尊厳を第一の原則とする。個人の有する基本的人権に敬意を払い、個人の自律を尊重するため、インフォームド・コンセントの原則を遵守し、意思決定能力が十分でない人々の権利擁護にも務める。また個人のプライバシーの権利を尊重し、個人情報の保護のために最善を尽くす。
2. 医療及び生命科学の研究とその応用を行うに際しては、無危害原則と善行原則を遵守する。医療においては個人に危害を加えることがあってはならず、個人に最善の利益を与えるよう努める。研究においては、個人、社会及び人類にもたらされる将来にわたる利益を最大化し、危害を最小化することを目指す。その際、個人の受ける不利益、未来世代への影響にも十分に配慮する。さらに、人類に多大な利益を与えると予想される研究であっても、個人の持つ人間の尊厳及び個人の福利を何よりも優先する。また実験動物の福祉にも十分に配慮する。
3. 医療及び生命科学の研究とその応用を行うに際しては、正義原則を旨とする。医療においては、個人を平等に扱い、医療資源の配分は公平に行う。研究においてもたらされる利益は社会的に公平に配分し、不適切な格差が生じないようにする。また極めて有用な研究であっても、社会的差別の要因となる可能性があるため、社会的に弱い立場にある人々を対象として実施する場合には、その人権・利益について最大限に配慮する。
4. 医療及び生命科学の研究とその応用を行うに際しては、多面的な要請に応えるために、学内諸分野及び学外諸機関・施設との共同作業を積極的に推進する。共同作業に伴う倫理的配慮や得られた科学的成果についての情報は適切に公表し、社会に対する説明責任を果たす。
5. 医療及び生命科学の研究とその応用を行うに際しては、世界医師会のヘルシンキ宣言、リスボン宣言をはじめとする各種宣言・倫理綱領の基本理念を尊重する。また省庁、関連学会によって作成された最新のガイドラインに準拠し、科学的及び倫理的観点から見て適切に課題を遂行する。これら宣言・倫理綱領・ガイドラインに示された生命倫理の精神に従い、将来の医療をになう人材の育成に努める。

平成 26 年 3 月 11 日制定

G P A (Grade Point Average) 制度について

- 定 義：アメリカの大学で一般的な成績評価方法で、学生の履修科目の成績評価を単位数に応じて重み付けした平均値であらわしたものである。
- 目 的：学生の学習意欲を高めることおよび学生自身が学修の状況及び成果を示す指標として自主的、意欲的に学修することを促すことを目的とする。
また、教員は個々の学生の学修成果を全体的に把握し、教育課程の到達度を評価するとともに、各学年において GPA1.0 未満のものは成績不振者として学習指導対象とすること、および GPA0.5 未満のものは進路再考の指導対象にすることを目的とする。併せて、GPA1.0 未満のものは、全学部共通の自由科目の履修単位数上限を 2 単位とする（CAP 制度参照）。

● 評価および GP

医学部 1～6 学年、歯学部 1 学年 薬学部 1～6 学年、看護学部 1～4 学年		
評価	GP	各科目成績
A	3	100～80 点
B	2	79～70 点
C	1	69～60 点
D	0	59 点以下

歯学部 2～6 学年		
評価	GP	各科目成績
A	3	100～80 点
B	2	79～70 点
C	1	69～65 点
D	0	64 点以下

- 対 象：各年度による

● 単位算出方法：
$$\frac{1 \text{ コマ } 2 \text{ 時間 (1 時間 30 分授業+事前学修時間 30 分)} \times \text{回数}}{\text{講義・演習 15 時間または実習 30 時間}}$$

● GPA 計算方法：
$$\frac{(\text{評価「A」単位数} \times 3 \text{ 点}) + (\text{評価「B」単位数} \times 2 \text{ 点}) + (\text{評価「C」単位数} \times 1 \text{ 点})}{\text{総単位数 (不合格科目を含める)}}$$

- GPA 判定機関：各学部教務委員会の議を経て教授会にて判定する。

- 対象外科目：自由科目他（各学部で設定）

CAP 制度について

●目的：学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修することができるよう、学生が1年間に履修する単位数（時間数）の上限を定めることを目的とする。

●対象：全学部・全学年

●制度内容について

本学医学部に於いては、モデル・コア・カリキュラムに基づき、必要な内容を必修科目・選択必修科目として設定している。1年間に履修できる単位数（時間数）は、学則別表により各学年に配当する必修科目・選択必修科目の単位数（時間数）に以下の単位数を加えたものを上限として定めている。

学年	自由科目単位数
1～6 学年	3 単位

学生の教育成果物の利用について

学生の皆さんの在学中の教育成果物（スケッチ、レポート、ポートフォリオ等）を、後進育成のために授業中に使用する教育資料として使用させていただく場合があります。また、e-learning システムへの掲載、教育成果報告書、学会発表、論文発表で使用し、機関リポジトリに掲載する場合がありますが、掲載する場合には個人の特定ができないように匿名化するなどの配慮をしますので、個々の事例に関して当該教員から要請があった場合はご協力下さい。同意されない場合でも、不利益になることはありません。

本学医学部学生の大学院授業科目の先行履修に関する取扱い内規

平成30年4月1日制定

岩手医科大学（以下「本学」という。）の医学部に在籍する学生に、岩手医科大学大学院（以下「本大学院」という。）の医学研究科（以下「研究科」という。）の授業科目を先行して履修させる場合の取扱いについて、次のとおり定める。

（先行履修）

第1条 研究科は、本学の医学部に在籍する学生であって、本大学院への入学を希望する者のうち、あらかじめ本大学院の研究科の授業科目を履修させることが教育研究上有益であると認める者については、当該研究科等の授業科目を先行して履修すること（以下「先行履修」という。）を認めることができる。

（資格）

第2条 先行履修をすることができる者は、本大学院の研究科等への入学を希望する本学の医学部3年次以上に在籍する学生のうち、先行履修をさせることが教育研究上有益であると当該研究科において認める者とする。但し、1～2次年生であっても、先行履修をさせることが教育研究上特に有益であると当該研究科において認められる場合は、当該希望者に先行履修を認めることができるものとする。

（履修範囲）

第3条 先行履修をすることができる授業科目は、本大学院研究科の、博士課程における共通教育科目（必修・選択必修）のみとする。

（単位認定）

第4条 研究科は、先行履修学生として授業科目を履修した者に対し、所定の単位を与えるものとする。この場合において、単位認定には、原則として講義全体の3分の2以上の実出席とレポートの提出を要するものとする。

（単位の取扱い）

第5条 第4条により先行履修学生が履修した授業科目について修得した単位は、当該先行履修学生が授業科目を履修した研究科に学部卒業後6年以内に入学した場合に限り、2単位を上限として当該研究科において修得した単位とみなす。

（単位認定の範囲）

第6条 学部は、先行履修学生が履修した研究科の授業科目について、これを学部の単位として認定することはできない。

（その他）

第7条 第1条から第6条までの事項のほか、先行履修に関し必要な事項については、研究科の定めるところによる。

（改廃）

第8条 この取扱いの改廃は、医学研究科委員会の議を経て行う。

附 則

- 1 この内規は、令和3年9月1日から施行する。
- 2 令和3年度に本学の医学部に在籍する学生から適用する。

岩手医科大学における風水害等に伴う授業及び定期試験の取扱要領

岩手医科大学における風水害等に伴う授業及び定期試験等の取扱に関し、必要な事項を下記の通り定める。

- 1 風水害等による事故の発生を防止するため、次の各号のいずれかに該当する場合は、休講または定期試験の実施を延期とする。
 - (1) 午前6時から授業または定期試験開始時刻までの間において、岩手県内陸部に暴風または大雪及び暴風雪の警報(以下「暴風警報等」という。)が発令されている場合または発令された場合。ただし、午前10時までに暴風警報等が解除され、公共交通機関が運行した場合、午後からの授業及び定期試験は実施する。
 - (2) 登校後、岩手県内陸部に暴風警報等が発令され、各学部長、研究科長、教養教育センター長が協議の結果、危険と判断した場合。
 - (3) 岩手県内陸部に暴風警報等が発令されると予め想定され、各学部長、研究科長、教養教育センター長が協議の結果、危険と判断した場合。
 - (4) 暴風警報等解除後においても被害が甚大な場合または、各学部長、研究科長、教養教育センター長が協議の結果、危険と判断した場合。
- 2 前項により休講となる場合の学生・教職員等への周知については、次の各号により行う。
 - (1) 前項第1号の場合の学生への周知は、緊急連絡用メールにより行う。
 - (2) 前項第2号及び第3号の場合の学生への周知は、学内掲示、館内放送、緊急連絡用メールにより行う。
 - (3) 前項各号による場合の教職員等への周知は、各教務課が緊急連絡網により行う。
 - (4) 学内外からの照会には各教務課があたる。
- 3 地震等の不測事態による休講等の取扱については、各部局長の判断による。
- 4 教職員の緊急連絡招集等については別に定める。
- 5 本取扱要領の改廃については、各教授会等の議を経るものとし、事務は全学教育企画課が担当する。

【注】(i) 警報は、「盛岡地方気象台が発表する警報」による。
(ii) 警報の発令・解除及び公共交通機関の運行の確認は、テレビ・ラジオ等の報道または各公共交通機関への照会による。
(iii) 学外の実習等の場合は、各実習先または実習担当教員の判断による。

附 則

この要領は令和2年1月30日より施行する。

この施行に伴い、「矢巾キャンパスにおける風水害等に伴う授業及び定期試験等の取扱」を廃止する。

附 圖

医学部医学科教育課程ナンバリング表

学部	レベル	科目種別	科目区分	中分類	小分類	ナンバリング	科目名	
M:医学部	1:1年次 (入門/導入レベル)	L:教養	1:必修	A:IPE	01	M1-L1-A01	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	
				C:社会医学	01	M1-L1-C01	データサイエンス	
				F:医療プロフェッショナリズム	01	M1-L1-F01	行動科学	
				Z:教養	01	M1-L1-Z01	医療倫理学	
					02	M1-L1-Z02	法学	
					03	M1-L1-Z03	心理学	
					04	M1-L1-Z04	医療面接の基礎	
					05	M1-L1-Z05	情報リテラシー	
					06	M1-L1-Z06	物理学	
					07	M1-L1-Z07	物理学実習	
					08	M1-L1-Z08	専門課程への化学	
					09	M1-L1-Z09	エッセンシャル生物	
					10	M1-L1-Z10	化学実習	
				11	M1-L1-Z11	生物学実習		
				12	M1-L1-Z12	English Reading & Writing I		
				13	M1-L1-Z13	English Reading & Writing II		
			14	M1-L1-Z14	English Speaking & Listening I			
			15	M1-L1-Z15	English Speaking & Listening II			
			2:選択必修	Z:教養	16	M1-L1-Z16	健康運動科学	
					17	M1-L2-Z17	ベーシック生物	
					18	M1-L2-Z18	スタンダード生物	
					19	M1-L2-Z19	アドバンスト生物	
					20	M1-L2-Z20	自然・文化人類学	
					21	M1-L2-Z21	ベーシック化学	
					22	M1-L2-Z22	ベーシック物理	
					23	M1-L2-Z23	解析学入門	
					24	M1-L2-Z24	医療とスポーツ	
					25	M1-L2-Z25	医療とコミュニケーション	
					26	M1-L2-Z26	道徳のしくみ	
				Z:教養	27	M1-L2-Z27	ベーシック数学	
					28	M1-L2-Z28	アドバンスト数学	
					29	M1-L2-Z29	アドバンスト化学	
					30	M1-L2-Z30	文学の世界	
					31	M1-L2-Z31	実践英語	
					32	M1-L2-Z32	医療と福祉	
					33	M1-L2-Z33	科学英語	
					34	M1-L2-Z34	医療と物語	
					35	M1-L2-Z35	人間関係論	
36	M1-L2-Z36	パーソナリティ心理学						
37	M1-L2-Z37	哲学の世界						
38	M1-L2-Z38	医療と法律						
S:専門	1:必修	F:医療プロフェッショナリズム	02	M1-S1-F02	医療入門(医療プロフェッショナリズムⅠ、地域医療学Ⅰを含む)			
		B:基礎医学	01	M1-S1-B01	分子細胞生物学Ⅰ			
			02	M1-S1-B02	分子細胞生物学Ⅱ			
			03	M1-S1-B03	医化学Ⅰ			
			04	M1-S1-B04	基礎組織学			
			05	M1-S1-B05	解剖学総論			
			06	M1-S1-B06	医科生理学			
		G:リサーチマインド	01	M1-S1-G01	初年次ゼミナール			
		E:基礎臨床統合医学	01	M1-S1-E01	症例基盤・問題解決型学修(入門)			
		F:医療プロフェッショナリズム	03	M1-S1-F03	医療安全学			
M:医学部	2:2年次 (基礎レベル)	L:教養	C:社会医学	02	M2-L1-C02	データサイエンスⅡ		
			Z:教養	39	M2-L1-Z39	医学英語入門		
			F:医療プロフェッショナリズム	04	M2-S1-F04	医療プロフェッショナリズムⅡ		
			H:臨床実習	01	M2-S1-H01	基本的医療手技Ⅰ		
		S:専門	1:必修	B:基礎医学	07	M2-S1-B07	組織学	
					08	M2-S1-B08	人体発生学	
					E:基礎臨床統合医学	02	M2-S1-E02	臨床解剖学
					B:基礎医学	09	M2-S1-B09	器官生理学
				10		M2-S1-B10	医化学Ⅱ	
				11		M2-S1-B11	神経科学	
				12		M2-S1-B12	微生物学	
				13		M2-S1-B13	免疫学	
				14		M2-S1-B14	病理学総論	
				15		M2-S1-B15	基礎医学演習	
				16		M2-S1-B16	薬理学	
				E:基礎臨床統合医学	03	M2-S1-E03	症例基盤・問題解決型学修(実践)	

医学部医学科教育課程ナンバリング表

学部	レベル	科目種別	科目区分	中分類	小分類	ナンバリング	科目名					
M:医学部	3:3年次 (応用/発展レベル)	L:教養	1:必修	Z:教養	40	M3-L1-Z40	医学英語					
		S:専門		A:IPE	02	M3-S1-A02	チーム医療リテラシー					
				E:基礎臨床統合医学	04	M3-S1-E04	器官病理学					
				C:社会医学	03	M3-S1-C03	疫学・環境医学					
				B:基礎医学	17	M3-S1-B17	基礎病態・社会医学演習					
				D:臨床医学	01	M3-S1-D01	消化器病学					
					02	M3-S1-D02	内分泌・代謝病学					
					03	M3-S1-D03	循環器病学					
					04	M3-S1-D04	呼吸器病学					
					05	M3-S1-D05	神経病学					
					06	M3-S1-D06	産婦人科学					
					07	M3-S1-D07	免疫病学					
					08	M3-S1-D08	血液病学					
					09	M3-S1-D09	小児科学					
					10	M3-S1-D10	腎臓病学					
					11	M3-S1-D11	臨床検査医学					
					12	M3-S1-D12	臨床医学演習					
				E:基礎臨床統合医学	05	M3-S1-E05	症例基盤・問題解決型学修(発展)					
				F:医療プロフェッショナリズム	05	M3-S1-F05	医療プロフェッショナリズムⅢ					
				H:臨床実習	02	M3-S1-H02	基本的医療手技Ⅱ					
G:リサーチマインド	02	M3-S1-G02	医学研究リテラシーⅠ									
	03	M3-S1-G03	医学研究リテラシーⅡ(研究室配属)									
F:医療プロフェッショナリズム	06	M3-S1-F06	地域医療学Ⅱ									
M:医学部	4:4年次 (高度レベル)	L:教養	1:必修	C:社会医学	04	M4-L1-C04	医事法学					
		S:専門		C:社会医学	05	M4-S1-C05	法医学					
				F:医療プロフェッショナリズム	07	M4-S1-F07	医療プロフェッショナリズムⅣ					
				D:臨床医学	13	M4-S1-D13	地域総合診療医学					
					14	M4-S1-D14	災害医学					
					15	M4-S1-D15	老年医学					
					16	M4-S1-D16	整形外科学					
					17	M4-S1-D17	リハビリテーション医学					
					18	M4-S1-D18	形成外科学					
					19	M4-S1-D19	耳鼻咽喉科頭頸部外科学					
					20	M4-S1-D20	眼科学					
					21	M4-S1-D21	皮膚科学					
					22	M4-S1-D22	泌尿器科学					
					23	M4-S1-D23	神経精神科学					
					24	M4-S1-D24	放射線医学					
					25	M4-S1-D25	麻酔学					
					26	M4-S1-D26	救急医学					
					27	M4-S1-D27	臨床遺伝学					
					28	M4-S1-D28	臨床腫瘍学					
					29	M4-S1-D29	臨床病理学					
					30	M4-S1-D30	感染症学					
					31	M4-S1-D31	統合医学演習					
					H:臨床実習	03	M4-S1-H03	基本的臨床技能実習				
					D:臨床医学	32	M4-S1-D32	症候学				
					M:医学部	5:5年次 配当レベル	S:専門	1:必修	H:臨床実習	04	M5-S1-H04	ベーシック臨床実習
									C:社会医学	06	M5-S1-C06	予防医学
									I:総合医学	01	M5-S1-I01	総合臨床医学
				M:医学部	6:6年次 配当レベル	S:専門	1:必修	H:臨床実習	05	M6-S1-H05	アドバンスト臨床実習	
								I:総合医学	02	M6-S1-I02	総合医学	
								A:IPE	03	M6-S1-A03	4学部合同セミナー	
				M:医学部	1:1年次 (入門/導入レベル)	L:教養	3:自由	Z:教養	41	M1-L3-Z41	海外英語演習	
S:専門	A:IPE	04	M1-S3-A04			地域医療課題解決演習						

M1-S1-A01
①②-③④-⑤⑥

①学部	②レベル	③科目種別	④科目区分	⑤中分類	⑥小分類
M:医学部	1:1年次配当レベル(または入門/導入レベル)	L:教養	1:必修	A:IPE	通し番号(2桁)
D:歯学部	2:2年次配当レベル(または基礎レベル)	S:専門	2:選択必修	B:基礎医学	
P:薬学部	3:3年次配当レベル(または応用/発展レベル)		3:自由	C:社会医学	
N:看護学部	4:4年次配当レベル(または高度レベル)			D:臨床医学	
	5:5年次配当レベル			E:基礎臨床統合医学	
	6:6年次配当レベル			F:医療プロフェッショナリズム	
	※学年跨ぎ、自由科目については、1~4のレベルで振り分ける。			G:リサーチマインド	
				H:臨床実習	
				I:総合医学	
				Z:教養	

学生健康診断規程

(趣旨)

第1条 この規程は、学校法人岩手医科大学が運営する大学院、大学及び専門学校（以下「大学等」という）に在籍する学生(大学院、大学及び専門学校に在籍する者をいう。以下同じ。)に関する健康診断及び事後措置等について定めるものとする。

(健康診断の実施)

第2条 大学等は、学校保健安全法(昭和33年法律第56号)に基づき毎年1回、健康診断を実施しなければならない。

2 健康診断は健康管理センターが実施する。

(健康診断の種類)

第3条 健康診断は定期健康診断及び臨時健康診断とする。

2 定期健康診断は、毎学年定期に行うものとする。

3 臨時健康診断は、健康管理センター長が必要と認めたときに行うものとする。

(受診の義務)

第4条 学生は健康診断を受けなければならない。

2 学生は、健康診断を受けなかったときは、健康管理センター長の定める期間内に、当該健康診断と同等の実施項目を含む健康診断書を健康管理センターに提出しなければならない。

3 前項の規定による健康診断書を提出できないときは、健康管理センター長に申し出て指示を受けなければならない。

(健康診断の総合評価及び通知)

第5条 健康管理センター長は、学校医に依頼し健康診断の結果を別表により判定し、学部長等に報告するとともに、学生に通知するものとする。

(事後措置)

第6条 学部長等は、健康診断の結果、疾病のため生活規制または治療を要する者がいるときは、健康管理センター長と協議の上、当該学生の健康回復に必要な指導を行わなければならない。

2 学校医は、必要に応じて相談指導を実施し、学校医の指示のもと保健師が保健指導を実施する。

3 健康診断の結果、疾病のある者は、前項の指導に従わなければならない。

(復学時の健康診断)

第7条 疾病のため休学中の者が復学しようとするときは、学部長等を経て、健康管理センター長に申し出て、健康診断を受けなければならない。

(証明書の発行)

第8条 第3条の健康診断を受けた者が、健康診断証明書を必要とするときは、これを発行することがある。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、健康管理センター運営委員会の議を経て、理事長が行う。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

令和8年度 学生健康診断等実施要領

1. 学生健康診断

*M：医学部、D：歯学部、P：薬学部、N：看護学部、DH：医療専門学校歯科衛生学科

健診日時		対象学生	個人票配付時間・場所		健診会場	健診項目
4月20日(月)	9:30~11:30	3M	9:20	キャンパスモール 階段下 (Yショップ前) ・詳細は掲示板で確認し、指定の時間に受診してください。	<矢巾キャンパス 1階> ■北側入口(胸部検診車) ・胸部X線撮影 ■キャンパスモール 正面入口付近 ・視力検査 ■キャンパスモール ヤマザキショップ向かい側 ・血圧測定 ■東研究棟 SGL ・身長 ・体重 ・内科診察 ・歯科健診 ■西講義実習棟 キャンパスモール側トイレ ・尿検査 ■西研究棟 ラウンジ ・血液検査	■必須項目 ・身長 ・体重 ・血圧 ・内科診察 ・視力検査 ・胸部X線撮影 ■学年別追加項目 【1年】 ・血液検査 ・尿検査 ・歯科健診 【4年】 ・血液検査 ・尿検査 ■B型肝炎接種前検査 (血液検査) ・3M ・4D ・4P ・1N ・1DH ・3N編入生
		4D	10:50			
	13:30~15:30	4P	13:20			
		4N	13:50			
		6M	14:20			
		3DH	14:50			
4月21日(火)	9:30~11:30	1M	9:20			
		1D	10:50			
	13:30~16:00	1P	13:20			
		6P	13:50			
		1N 3N編入生	14:30			
		1DH	15:20			
4月22日(水)	9:30~12:00	4M	9:20			
		2N	10:50			
	13:30~16:00	2M	13:20			
		2D	14:50			
		2P	15:10			
		2DH	15:30			
4月23日(木)	9:30~12:00	5M	9:20			
		3D	10:50			
		3P	11:20			
	13:30~15:30	5D	13:20			
		6D	13:40			
		5P	14:10			
		3N	14:40			

※ 変更の場合もありますので、掲示板で確認してください。

2. 心理テスト・メンタルヘルスチェックについて

対象学年	日時	会場	内容
1N	4月20日(月)5限 16:20~17:50	各教室	東大式エゴグラム 学生精神的健康調査
1D	4月22日(水)4限 14:40~16:10		
1P	4月22日(水)5限 16:20~17:50		
1M	4月24日(金)1限 8:50~10:20		
2~6年(M・D・P) 2~4年(N)	4月20(月)、21日(火)、22日(水)、23日(木)、 健康診断時に実施	健康診断会場	メンタルヘルスチェック

3. 健康講話

対象	日時	会場	内容
1M・1D・1P・1N	5月13日(水)5限 16:20~17:50	大堀記念講堂	受動喫煙講習会 (学生部と共催)
	6月5日(金) 2限 10:30~12:00	大堀記念講堂	メンタルヘルス講習会

4. ワクチン接種日程について

(1) B型肝炎ワクチン 対象：3M・4D・4P・1N・1DH・3N編入生

区 分	日	時	対象学生	会 場
接種前 採血検査	4月20日(月)	9:30~11:30	3M、4D	矢巾キャンパス 西研究棟1階 ラウンジ
		13:30~15:30	4P	
	4月21日(火)	13:30~16:00	1N・1DH・3N編入生	
ワクチン接種 1回目	5月21日(木)	14:40	1N、3N編入生	
		15:30	4D	
		16:10	4P	
	5月22日(金)	15:00	3M	
		16:00	1DH	
ワクチン接種 2回目	6月18日(木)	14:40	1N、3N編入生	
		15:30	4D	
		16:10	4P	
	6月19日(金)	15:00	3M	
		16:00	1DH	
ワクチン接種 3回目	11月5日(木)	14:40	1N、3N編入生	
		15:30	4D	
		16:10	4P	
	11月6日(金)	15:00	3M	
		16:00	1DH	
接種後採血	12月3日(木)	14:40	1N、3N編入生	
		15:30	4D	
		16:10	4P	
	12月4日(金)	15:00	3M	
		16:00	1DH	
追加接種 (該当者のみ)	1月7日(木)	15:30	3M、4D、4P	
		16:10	1DH、1N、3N編入生	
追加接種後採血 (該当者のみ)	2月4日(木)	15:30	3M、4D、4P	
		16:10	1DH、1N、3N編入生	

(2) インフルエンザワクチン 対象：全員（接種料金は自己負担）

キャンパス	日	時	対象学生	会 場
内 丸	10月13日(火)	15:30	6D	内丸 創立60周年記念館 8階 研修室
		14:30	1DH	
	10月14日(水)	15:00	2DH	
		15:30	3DH	
矢 巾	10月19日(月)	13:30	1N	矢巾キャンパス 西講義実習棟2階 西2-C実習室
		15:00	4D	
		15:30	4P	
		16:10	3M	
	10月20日(火)	13:30	1P	
		14:00	5D	
		15:00	1M	
		16:10	2N	
	10月21日(水)	13:30	2M	
		14:30	6P	
		15:00	3P・3D	
		16:10	1D	
	10月22日(木)	13:30	4M	
		15:00	6M	
		16:10	4N	
		10月23日(金)	13:30	
14:00	2D			
14:30	5M			
15:00	2P			
		16:10	3N	

※日時・場所の変更もありますので、掲示板で確認してください。

教養教育センター オフィスアワー一覧

オフィスアワーとは、学生が教員に学業や大学生活全般について広く質問をしたり、相談あるいは指導等を受けたりするために開かれた時間です。有効に利用してください。希望者は以下一覧表を確認のうえ、各教員の実施方法に従って面談を受けてください。

担当教員		担当教員	曜日	時間帯	備考
人間科学科	哲学分野	林 研	月・金	16:30～17:30	266人間科学科 教授・准教授室
		三浦 康宏	水	16:30～17:30	264-1文学分野 研究室
	法学分野	廣瀬 清英	火～木	12:00～13:00	223法学分野 研究室
	心理学・ 行動科学分野	藤澤 美穂	水・金	12:00～13:00	262人間科学科 教授・准教授室
		香川 由美	月・水・金	16:30～17:30	267心理学・行動科学分野 研究室
体育学分野	佐々木 亮平	月・水・金	12:00～13:00	103体育学分野 研究室	
情報科学科	数学分野	江尻 正一	月～金	16:30～17:30	257情報科学科 教授・准教授室
		長谷川 大	月～金	16:30～17:30	225数学分野 研究室
	医学統計 情報学分野	高橋 史朗 教養教育センター長 教養教育センター学生部長	月・木	16:30～17:30	258情報科学科 教授・准教授室
		小野 保	月・水	16:30～17:30	222医学統計情報学分野 研究室
物理学科	奥村 健一	月～金	16:30～17:30	253物理学科 教授・准教授室	
	小松 真	月～金	17:00～18:00	254物理学科 研究室2 komatum@iwate-med.ac.jp	
	小田 泰行	月～金	16:30～17:30	254物理学科 研究室2	
化学科	中島 理 教務専門委員長	月	12:00～13:00	256化学科 教授・准教授室	
	東尾 浩典	月～金	16:30～17:30	255化学科 研究室	
	吉田 潤	月・水	16:30～17:30	255化学科 研究室	
生物学科	三枝 聖	月・水・金	16:30～17:30	261生物学科 研究室	
	菅 孔太朗	月・水・金	16:30～17:30	261生物学科 研究室	
	内藤 雪枝	月・水・金	12:00～13:00	261生物学科 研究室	
外国語学科	英語分野	柳谷 千枝子	月・木・金	16:30～17:30	265外国語学科 教授・准教授室
		松田 竜宙	火・木	16:30～17:30	224英語分野 研究室2
		Jonathan Levine-Ogura	月～金	16:30～17:30	221英語分野 研究室4
		Robert Ken Asano	月・水・金	16:30～17:30	226英語分野 研究室1
教養教育センター		非常勤教員		授業終了時	各講義室

医学部・オフィスアワー一覧

「オフィスアワー」とは、授業科目等に関する学生の質問・相談等に応じるための時間として、教員があらかじめ示す特定の時間帯のことである。

所属	氏名	曜日	時間帯	場所	備考
学長	小笠原 邦昭	水	10:00~12:00	学長室	事前に学長室内線5001に連絡し アポイントを取ること
副学長	仲 哲治	月~金	9:00~17:00	創薬・医療機器開発教授室	内線：5635
医学教育学講座 医学教育学分野	高田 亮	月・火・水・金	16:00~18:00	医学教育学講座	内線：5102 内線：71339
	相澤 純	月	月：12:00~13:00		内線：71392
医学教育学講座 地域医療学分野	伊藤 智範	月・金	12:00~13:00	医学教育学講座 循環器内科医局	内線：5102 内線：6415
医学教育学講座 教育支援システム開発分野	前沢 千早	月・水	10:00~12:00、13:00~16:00	教育支援システム開発分野 (358)	内線：5661
	安平 進士	火・木	17:00~18:00	教育支援システム開発分野 (462)	
	柴崎 晶彦	月・火	16:00~17:00		
解剖学講座 人体発生学分野	木村 英二	火	12:00~13:00	人体発生学分野 スタッフルーム	内線：5831
	中野 真人	月~金	17:00~18:00		
	足立 礼孝	月~金	16:00~18:00		
	勝本 恵一	月~金	16:00~18:00		
解剖学講座 細胞生物学分野	齋野 朝幸	火~金	12:00~13:00、16:00~19:00	解剖学講座研究室 (405)	内線：5871
	成田 啓之	月~金	12:00~13:00、16:00~17:00		
	アブタリ サイド シャリフ	月~金	12:00~13:00、16:00~19:00		
	阿久津 仁美	月~金	12:00~13:00、16:00~17:00		
	平川 正人	月~金	12:00~13:00、16:00~17:00		
生理学講座 統合生理学分野	中階 克己	月~金	16:30~19:00	統合生理学分野 スタッフルーム	内線：5733
	木村 眞吾	月~金	16:30~19:00		
	鈴木 喜郎	月~金	16:30~18:45		
	望月 圭	月~金	18:00~20:30		
	駒切 洋	月・水・金	16:30~19:00		
	鈴木 享	月~金	16:30~19:00		
生化学講座 分子医化学分野	金子 桐子	月・火・水・木	16:00~18:00	分子医化学分野 スタッフルーム	内線：5751
	鈴木 亘	月・火・木	16:00~18:00		
	高橋 隼一郎	月・火・水・木	16:00~18:00		
微生物学講座 感染症学・免疫学分野	村木 靖	月・火・水・木・金	12:00~13:00	微生物学講座 教授室 (308)	内線：5792
	海部 知則	月・火・水・木・金	12:00~13:00	微生物学講座 スタッフルーム (307)	
	小田切 崇	月・火・水・木・金	12:00~13:00	微生物学講座 スタッフルーム (306)	
	石川 静麻	月・火・水・木・金	12:00~13:00		
薬理学講座 情報伝達医学分野	平 英一	火・水	16:30~17:30	薬理学講座 スタッフルーム (365)	内線：5821
	ハサン アリフ ウル	月・火・水・木・金	16:00~17:00		
	小原 真美	月・水・金	16:00~17:00		
病理学講座 機能病態学分野	片岡 竜貴	火・水	12:00~13:00	病理学講座 教授室 (455)	内線：5920
	中村 啓哉	木・金	12:00~13:00	研究室	
	伊藤 謙	水・木	12:00~13:00		
	松崎 駿	月・水	12:00~13:00		
法科学講座 法医学分野	高宮 正隆	火	12:00~12:20	医局	内線：5682
	森川 剛	火	12:00~12:20		
衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三	月~金	16:15~18:00	講座 研究室	内線：5775
	赤坂 憲	月~金	16:15~18:00		
	田鎖 愛理	月~金	16:15~18:00		
	事崎 由佳	月~金	16:15~18:00		
	下田 陽樹	月~金	16:15~18:00		
	高梨 信之	月・火・水・金	16:15~18:00		

内科学講座 消化器内科分野	松本 主之	水	17:00~18:00	医局	内線：6222、6223
	黒田 英克	水	17:30~18:30		
	宮坂 昭生	水	17:30~18:30		
	梁井 俊一	水	17:00~18:00		
	柿坂 啓介	火・木	16:00~18:00		
	鳥谷 洋右	水	17:00~18:00		
	永塚 真	水	17:00~18:00		
	佐々木 裕	水	17:00~18:00		
	遠藤 啓	水	16:30~17:00		
	吉田 雄一	水	16:00~16:30		
	阿部 珠美	水	18:00~18:30		
	鈴木 彰子	水	12:30~13:30		
	星 綾乃	水	17:00~18:00		
	大友 康司	水	17:00~18:00		
	佐々木 登希夫	水	16:30~17:00		
	今成 慧祐	水	16:30~17:30		
本多 俊介	水	16:30~17:30			
藤原 裕大	水	16:30~17:00			
内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野	石垣 泰	火	15:00~16:00	医局	内線：6271
	高橋 義彦	金	16:00~17:00		
	瀬川 利恵	木	12:00~13:00		
	武部 典子	月	16:00~17:00		
	長谷川 豊	金	9:30~10:30		
	小田 知靖	火	12:00~13:00		
	富樫 弘文	水	16:00~17:00		
	千田 愛	水	12:00~13:00		
	千葉 拓	月	9:00~10:00		
	川島 智美	水	12:00~13:00		
	吉田 絵里子	水	15:00~16:00		
内科学講座 腎・高血圧内科分野	旭 浩一	火	12:15~13:15	教授室	内線：6416
	吉川 和寛	火	12:15~13:15	医局	
	河嶋 英里	火	12:15~13:15		
	野田 晴也	火	12:15~13:15		
	岡本 好生	火	12:15~13:15		
内科学講座 循環器内科分野	森野 禎浩	月~金	12:00~13:30	循環器内科医局	内線：6413
	石田 大	月~金	12:00~13:30		
	大和田 真玄	月~金	12:00~13:30		
	房崎 哲也	月~金	12:00~13:30		
	肥田 頼彦	月~金	12:00~13:30		
	二宮 亮	月~金	12:00~13:30		
	芳沢 礼佑	月~金	12:00~13:30		
	芳沢 美知子	月~金	12:00~13:30		
	佐々木 航	月~金	12:00~13:30		
	二宮 開	月~金	12:00~13:30		
	澤 陽平	月~金	12:00~13:30		
	浅野 峻見	月~金	12:00~13:30		
	登坂 憲吾	月~金	12:00~13:30		
佐々木 健太	月~金	12:00~13:30			
内科学講座 呼吸器内科分野	川田 一郎	火・木・金	14:30~17:00	医局	内線：6251
	長島 広相	月・水・金	16:30~17:00		
	秋山 真親	火	16:30~17:00		
	内海 裕	月・水・金	16:30~17:00		
	堀井 洋祐	火・水・木	16:30~17:00		
	片桐 紘	月・木・金	16:30~17:00		

内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	藤本 稔	木(第4除く)	9:00~12:00	医局	内線：6471
	村田 典則	木	9:00~17:00		
	鈴木 悠地	木	9:00~17:00		
	駒ヶ嶺 正嗣	金	9:00~12:30		
	大河原 知治	水	9:00~12:00		
	舟嶋 英志	金	9:00~17:00		
	昆 康弘	水(第1.3)	14:00~17:00		
内科学講座 血液腫瘍内科分野	伊藤 薫樹	火	16:30~17:00	教授室	内線：6401
	小宅 達郎	火・木	17:00~18:00	医局・西6階血液病棟	
	古和田 周吾	月・火・木	17:00~18:00		
	岡野 良昭	火・水	17:00~18:00		
	佐藤 剛	火・水	17:00~18:00		
	西谷 真来	月・火・水	12:00~15:00		
	前田 峻大	火・水	17:00~18:00		
内科学講座 脳神経内科・老年科分野	前田 哲也	木	16:00~17:00	脳神経内科・老年科 医局	内線：6431,6432
	板橋 亮	水	16:00~17:00		
	工藤 雅子	月・火	16:00~17:00		
	石塚 直樹	金	16:00~17:00		
	赤坂 博	水	16:00~17:00		
	鈴木 真紗子	木	16:00~17:00		
	岩岡 和博	水	16:00~17:00		
	高橋 真	水	16:00~17:00		
	高橋 健太	水	16:00~17:00		
	津田 圭介	水	16:00~17:00		
	大井 清貴	水	16:00~17:00		
	田口 啓太	水	16:00~17:00		
	寺内 貴廣	水	16:00~17:00		
外科学講座	佐々木 章	火	15:00~17:00	外科学講座 教授室	内線：6220
	新田 浩幸	火	14:00~17:00	外科学講座 教授室	
	鈴木 信	火	14:00~17:00	外科学講座 医局	
	梅邑 晃	火	14:00~17:00		
	井原 欣幸	火	14:00~17:00		
	藤野 順子	火	10:00~11:00		
	馬場 誠朗	水	14:00~17:00		
	石田 和茂	火	14:00~17:00		
	八重樫 瑞典	木	9:00~11:00		
	武田 大樹	火	14:00~17:00		
	二階 春香	水	14:00~17:00		
	安藤 太郎	火	14:00~17:00		
	佐々木 教之	火	14:00~17:00		
	天野 総	火	14:00~17:00		
	瀬川 武紀	火	14:00~17:00		
	天野 怜	火	14:00~17:00		
	川島 到真	火	14:00~17:00		
	熊谷 秀基	水	14:00~17:00		
	棚橋 洋太	火	14:00~17:00		
	菊地 晃司	火	14:00~17:00		
脳神経外科学講座	赤松 洋祐	月~金	17:00~18:00	脳神経外科学講座 医局	会議等の予定がありますので、事前に医局に電話をして確認をお願いします。 (9:00~16:00) 内線：6422,6421
	別府 高明	火	17:00~18:00		
	石垣 大哉	月~金	17:00~18:00		
	佐藤 雄一	月・水・木	17:00~18:00		
	佐浦 宏明	月~金	17:00~18:00		
	吉田 純	月~金	17:00~18:00		
	大志田 創太郎	月~金	17:00~18:00		
	筒井 章太	月~金	12:00~13:00		
柳原 普	月~金	17:00~18:00			

心臓血管外科学講座	金 一	水・金	17:00~18:00	西5階心臓血管外科 医局	内線：6411
	小泉 淳一	水・木	17:00~18:00		
	枝木 大治	月~金	17:00~18:00		
	齋藤 大樹	月~金	17:00~18:00		
	塩屋 雅人	月~金	17:00~18:00		
	田林 東	月~金	17:00~18:00		
	正木 直樹	月~金	17:00~18:00		
呼吸器外科学講座	齊藤 元	月~金	8:30~17:00	呼吸器外科学講座 医局	内線：6505
	出口 博之	月~金	8:30~17:00		
	友安 信	月~金	8:30~17:00		
	重枝 弥	月~金	8:30~17:00		
	兼古 由香	月~金	8:30~17:00		
	岩井 英頌	月~金	8:30~17:00		
整形外科科学講座	田島 吾郎	水	9:00~12:00	整形外科科学講座 医局	内線：6562
	佐藤 光太郎	木	10:00~11:00		
	丸山 盛貴	木	17:00~18:00		
	大竹 伸平	木	16:00~17:00		
	三又 義訓	月	14:00~17:00		
	及川 伸也	金	9:00~10:00		
	及川 龍之介	火	16:00~17:00		
	鈴木 忠	金	9:00~10:00		
	村上 賢也	火	15:00~17:00		
	山部 大輔	水	17:00~18:00		
	楊 寛隆	金	17:00~18:00		
	千葉 佑介	金	9:00~10:00		
	和田 俊太郎	金	16:00~17:00		
	松浦 真典	水	8:30~9:30		
	高橋 裕孝	水	8:30~9:30		
月村 悦子	水	8:30~9:30			
形成外科学講座	櫻庭 実	水・金	17:00~18:00	医局	内線：6571
	本多 孝之	水・金	16:00~17:00		
	小野寺 文	水・金	16:00~17:00		
	三橋 伸行	木・金	16:00~17:00		
	阿部 桃子	月~金	15:00~16:30		
	山崎 友和	月・水	16:00~17:00		
産婦人科学講座	馬場 長	火	16:00~17:00	産婦人科学講座 医局	内線：3750
	小山 理恵	金	16:00~17:00		
	庄子 忠宏	金	16:00~17:00		
	利部 正裕	金	16:00~17:00		
	岩動 ちず子	金	16:00~16:30		
	永沢 崇幸	金	16:00~17:00		
	尾上 洋樹	火	16:00~17:00		
	羽場 巖	金	16:00~17:00		
	川村 花恵	金	16:00~17:00		
	佐々木 佳夏子	講義終了後に受け付ける			
	佐藤 翔	講義終了後に受け付ける			
	高取 恵里子	講義終了後に受け付ける			
	佐藤 千絵	講義終了後に受け付ける			
	海道 善隆	金	16:00~17:00		
	村上 一行	講義終了後に受け付ける			
	鈴木 南奈子	講義終了後に受け付ける			
	黒川 絵里加	講義終了後に受け付ける			
	武蔵 実久	講義終了後に受け付ける			
	岡田 有加	講義終了後に受け付ける			
高木 駿	講義終了後に受け付ける				

小児科学講座	赤坂 真奈美	月・木	17:00~18:00	医局	内線：3701
	石川 健	火	12:00~13:00		
	齋木 宏文	木	12:00~17:00		
	外館 玄一朗	火・木	13:00~17:00		
	鳥谷 由貴子	火・水・木・金	15:00~17:00		
	中野 智	火	12:00~13:00		
	松本 敦	月・水	17:00~18:00		
	三浦 翔子	水・金	14:00~16:00		
	水間 加奈子	月・火・金	12:00~13:00		
	草野 修司	月・火・金	12:00~13:00		
	朝倉 賀子	月・火・木・金	14:00~18:00		
	八畝 瑛子	火・木	11:00~12:00		
	谷藤 幸子	月・火	12:00~14:00		
	浅見 麻耶	月・火	9:00~17:00		
	佐藤 啓	水・木	12:00~14:00		
	小野寺 千夏	金	12:00~14:00		
	田金 星都	月~木	16:00~17:00		
	滝沢 友里恵	木・金	12:00~14:00		
	千田 悠太郎	火・水	16:00~17:00		
	吉田 太郎	月・木・金	14:00~16:00		
	阿部 志津香	月~金	11:00~17:00		
	齋藤 寛治	月・金	16:00~17:00		
	鈴木 幸之介	月・水・木	9:00~17:00		
	高橋 学	火・木	14:00~16:00		
千葉 智子	月・火・木・金	9:00~11:00			
豊島 浩志	月・水・木	14:00~17:00			
耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	中西 啓	月	17:00~19:00	医局	内線：6302
	片桐 克則	木・金	17:00~19:00		
	及川 伸一	火	10:00~17:00		
	亀井 昌代	火・木	17:00~		
	阿部 俊彦	火・木・金	17:00~		
	桂 彩	火・水	17:00~		
	土田 宏大	月	18:00~18:30		
眼科学講座	黒坂 大次郎	月	17:00~18:00	眼科学講座 医局	内線：6582
	橋爪 公平	月	16:00~17:00		
	新田 順福	月	17:30~18:30		
	及川 誠	月	17:30~18:30		
	清野 太郎	月	17:30~18:30		
	橋浦 哲哉	月	14:00~16:00		
	伊藤 愉一胤	月	17:00~18:00		
	今泉 利康	月	17:00~18:30		
	大島 広之	月	17:00~18:00		
	福田 一央	月	17:00~18:00		
皮膚科学講座	天野 博雄	水	17:00~18:00	皮膚科学講座 医局	内線：6543
	角田 加奈子	月	10:00~12:00		
	渡部 大輔	木	17:00~18:00		
	三浦 慎平	火	17:00~18:00		
	渡辺 彩乃	水	16:00~17:00		
	井上 剛	水	17:00~18:00		

泌尿器科学講座	小原 航	水	9:00~10:00	泌尿器科学講座 医局	内線：6551
	阿部 貴弥	月	9:00~10:00		
	杉村 淳	水	18:00~19:00	内丸MC控室	
	兼平 貴	火	18:00~19:00	泌尿器科学講座 医局	
	加藤 廉平	月	18:00~19:00		
	前川 滋克	火	18:00~19:00		
	五十嵐 大樹	火	18:00~19:00		
	塩見 叡	火	18:00~19:00		
	井藤 綾人	火	18:00~19:00		
	阿部 正和	火	18:00~19:00		
	田村 大地	海外留学中	海外留学中		
	久野 瑞貴	火	18:00~19:00		
神経精神科学講座	大塚 耕太郎	火	16:30~18:00		矢巾附属病院10階 神経精神科学講座 医局
	八木 淳子	金	12:00~13:00		
	三條 克巳	水	17:00~18:00		
	福本 健太郎	火	16:00~17:00		
	山家 健仁	火	16:00~17:00		
	内出 希	金	10:00~12:00		
	三田 俊成	水	16:00~17:00		
	吉岡 靖史	月	16:00~17:00		
	本多 笑奈	木	9:00~10:00		
放射線医学講座	田中 良一	月・金	16:00~16:30	放射線科 医局	内線：6322
	加藤 健一	月・水・木・金	16:00~16:30	放射線科 読影室	内線：2121
	鈴木 智大	火・木	16:00~17:00		
	田村 明生	火~金	16:00~17:00	放射線科 医局	内線：6322
	鈴木 美知子	月・木・金	9:00~10:00	放射線科 読影室	内線：2121
	折居 誠	月・金	16:00~17:00		
	小原 牧子	水	12:00~13:00		
	川島 和哉	月・金	15:00~17:00		
	曾根 美都	月・金	15:00~17:00		
	向井田 瑛佑	水・木	16:00~17:00		
	藤原 純平	月・金	15:00~17:00		
麻酔学講座	熊谷 基	月~金	16:30~	麻酔科管理室	内線：2465
	大畑 光彦	月~金	16:30~		
	脇本 将寛	月~金	16:30~		
	水間 謙三	月~金	16:30~		
	久慈 昭慶	月~金	16:30~		
	中野 雄介	月~金	16:30~		
	田村 雄一郎	月~金	16:30~		
	畠山 知規	月~金	16:30~		
	富田 美智子	月~金	16:30~		
	小川 祥平	月~金	16:30~		
	高橋 裕也	月~金	16:30~		
	栗原 寛人	月~金	16:30~		
	新居 正季子	月~金	16:30~		
臨床検査医学・感染症学講座	仲村 究	火	14:00~17:00	臨床検査医学・感染症学講座 教授室	内線：6331
	藤原 亨	木	12:00~13:00	臨床検査医学・感染症学講座 医局	
	小野寺 直人	木	9:00~10:00		
	熊谷 亜希子	月	12:30~13:30		
	七崎 之利	月	13:00~14:00		
	高橋 敬太	木	11:00~12:00		
	日比谷 健司	火	9:00~12:00		

救急・災害医学講座	眞瀬 智彦	火・木	14:00~17:00	災害センター 研究室	内線：5565
	高橋 学	月~金	12:00~13:00	救急センター 医局	内線：2682、2683
	藤田 友嗣	月~金	12:00~13:00		
	菅 重典	月~木	12:00~13:00		
	佐藤 寿徳	月~金	12:00~13:00		
	吉直 大佑	月~金	12:00~13:00		
	森野 豪太	月~金	12:00~13:00		
	野々口 マリア	月~金	12:00~13:00		
	横藤 壽	月~金	12:00~13:00		
	富永 綾	火・水	14:00~17:00	災害センター 研究室	内線：5565
	藤原 弘之	火・木	14:00~17:00	災害センター 研究室	内線：5565
	金子 拓	火・木	14:00~17:00		
	寺山 茉莉	月~金	12:00~13:00		
	星 眞太郎	月~金	12:00~13:00		
総合診療医学講座	下沖 収	月	17:00~18:00	医局	内線：#6304
	大間々 真一	月	17:00~18:00		
	高橋 智弘	木	17:00~18:00		
	米田 真也	月・火・水	16:00~17:00		
	山田 哲也	月・火	17:00~18:00		
岩手県高度救命救急センター	藤野 靖久	月~金	12:00~13:00	救急センター 医局	内線：2683
	小鹿 雅博	月~金	12:00~13:00		
	千田 光平	月~金	12:00~13:00		
	三崎 俊斉	月~金	12:00~13:00		
	丹田 実	月~金	12:00~13:00		
	石井 修平	月~金	12:00~13:00		
	佐々木 秀策	月~金	12:00~13:00		
	八鍬 一貴	月~金	12:00~13:00		
	藤本 健太郎	月~金	12:00~13:00		
	石田 馨	月~金	12:00~13:00		
	藤澤 良介	月~金	12:00~13:00		
佐藤 貴紀	月~金	12:00~13:00			
病理診断学講座	柳川 直樹	月~金	17:00~	医局	内線：2393
	刑部 光正	月~金	17:00~		
	杉本 亮	月~金	17:00~		
	伊藤 一洋	月~金	17:00~		
臨床腫瘍学講座	板持 広明	月	15:00~17:00	医局	内線：2083
	岩谷 岳	水・木	17:00~19:00		
	遠藤 史隆	金	15:00~17:00		
医療安全学講座	肥田 圭介	木	12:00~14:00	医療安全管理部	内線：6112
睡眠医療学科	西島 嗣生	火・水	17:00~19:00	睡眠医療学科 医局	内線：#3358 emailでの連絡可
	細川 敬輔	月・火・木	17:00~19:00		
	細川 里絵	水	9:00~12:00		
臨床遺伝学科	鈴森 伸宏	金	16:00~17:00	臨床遺伝学科 医局	内線：#3258
	山本 佳世乃	金	16:00~17:00		
	吉田 明子	水	16:00~17:00		
	小林 有美子	金	16:00~17:00		
	勝部 暢介	月	16:00~17:00		
緩和医療学科	木村 祐輔	月~水	17:00~18:00	緩和医療学科 医局	内線：3364
	鴻巣 正史	月・火・金	17:00~18:00		
	中村 聖華	月・火	17:00~18:00		
放射線腫瘍学科	有賀 久哲	火	17:00~18:30	医局	内線：6322
	菊池 光洋	月	17:00~18:00		
	及川 博文	火	17:00~18:00		
	家子 義朗	月	17:00~18:00		
	瀬川 昂史	月	12:00~13:00		
リハビリテーション医学講座	西村 行秀	月・火	月：14:00~17:00 火：10:00~12:00	教授室	内線：3733
	西山 一成	火・金	火：9:00~12:00 金：10:00~12:00	リハビリテーション科医室	内線：3731
災害・地域精神医学講座	赤平 美津子	火	17:00~18:00	神経精神科学講座 医局	内線：2371

いわて東北メディカル・メガバンク 機構臨床研究・疫学研究部門	永井 雅人	随時	随時	医局	内線：5464
いわて東北メディカル・メガバンク 機構生体情報解析部門	須藤 洋一	月～金	12:30～13:30	医局	内線：5472
	山崎 弥生	月～金	10:00～12:00		
	楠 詩織	月～金	10:00～12:00		
非常勤（客員）講師	授業終了後に教室で質問を受け付ける。後日質問がある際には各科目のコーディネータを通じて連絡すること。				

医歯薬総合研究所 オフィスアワー一覧

「オフィスアワー」とは、授業科目等に関する学生の質問・相談等に応じるための時間として、教員があらかじめ示す特定の時間帯のことである。

所属	氏名	曜日	時間帯	場所	備考
学長	小笠原 邦昭	水	10:00~12:00	学長室	事前に学長室内線5001に連絡し アポイントを取ること
副学長	仲 哲治	月~金	9:00~17:00	創薬・医療機器開発教授室	内線：5635
医歯薬総合研究所長	仲 哲治	月~金	9:00~17:00	創薬・医療機器開発教授室	内線：5635
	世良田 聡	月・木	13:00~17:00	107室	内線：5635
	西塚 哲	火・木	火：16:00~17:00木：12:00~13:00	教授室	内線：5685
	鈴木 悠地	木	9:00~17:00	医局	内線：6471
	阿保 亜紀子	水・木・金	10:00~17:00	スタッフルーム（102室）	内線：5686
	真柳 平	月~金	16:00~17:00	神経科学研究部門	内線：5711
	開 勇人	火・木・金	10:00~17:00	スタッフルーム（102室）	内線：5687
医歯薬総合研究所基盤的研究部門	吉岡 芳親	水・木・金	12:00~13:00	超高磁場先端MRI研究所 データ解析室	内線5374 ※事前に連絡をすること
	和田 学	月・木	15:00~17:00	109-2	内線：5634
	寺崎 一典	随時	随時	医局	内線：3331
	山下 典生	月・水	15:00~17:00	超高磁場先端MRI研究センター	内線：5370
	上野 育子	月・火・水	15:00~17:00	超高磁場先端MRI研究センター	内線：5370
	佐々木 敏秋	随時	随時	医局	内線：3331
	若井 淳	水	12:00~13:00	動物研究センター	内線：5390
	森 太志	水・木・金	15:00~17:00	超高磁場先端MRI研究センター	内線：5370
非常勤（客員）講師	授業終了後に教室で質問を受け付ける。後日質問がある際には各科目のコーディネータを通じて連絡すること。				

歯学部教員・オフィスアワー一覧

オフィスアワーとは、学生が各科目の教員に学業や大学生活全般に関する質問・相談、あるいは指導等を受けるために設定されている時間で、広く学生に対して開かれた時間です。学生諸君は、日々の授業での疑問などを後々まで残さないよう、この制度を積極的に利用してください。

面談を希望する学生は、科目ごとに記載されているオフィスアワー一覧（シラバスに掲載）により各教員の実施方法を確認の上、面談希望教員とそれぞれの方法に従い連絡をとり、面談を受けてください。

内線番号は矢巾キャンパス、及び外線を経由して発信する際の番号です。内丸キャンパスから発信する際は、#のある番号は#を抜き、#のない番号は最初に#を付けて発信してください。

1. 時 間 あらかじめ特定の時間帯を示す。
2. 面談方式 オープン方式（学生は自由に教員を訪問し、質問等ができる）

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
学 長	小笠原 邦昭	水	10:00~12:00	学長室 事前に学長室（内線 5001）に連絡しアポイントを取ること
解剖学講座 機能形態学分野	藤原 尚樹	月~金	16:30~17:30	解剖学講座機能形態学分野研究室 410 室 （内線 5842） naokif@iwate-med.ac.jp
	吉岡 望	月~金	16:30~17:30	解剖学講座機能形態学分野研究室 410 室 （内線 5842） yoshinoz@iwate-med.ac.jp
解剖学講座 発生生物・再生医学分野	原田 英光	月~金	16:30~17:30	解剖学講座 発生生物・再生医学分野研究室（内線 5881）または hideha@iwate-med.ac.jp
	大津 圭史	月~金	16:30~17:30	解剖学講座 発生生物・再生医学分野研究室（内線 5881）または kotsu@iwate-med.ac.jp
	池崎 晶二郎	月~金	16:30~17:30	解剖学講座 発生生物・再生医学分野研究室（内線 5881）または sikezaki@iwate-med.ac.jp
生理学講座 病態生理学分野	黒瀬 雅之	月・木	16:30~17:30	病態生理学分野 211 室 内線 5692 kurose@iwate-med.ac.jp
	加藤 哲也	火・水	16:30~17:30	病態生理学分野 213 室 内線 5690 tkkatou@iwate-med.ac.jp
生化学講座 細胞情報科学分野	石崎 明	月	16:30~17:30	生化学講座細胞情報科学分野教授室 内線 5740 aishisa@iwate-med.ac.jp
	帖佐 直幸	水	16:30~17:30	生化学講座細胞情報科学分野 スタッフルーム（253 室）内線 5741 nchosa@iwate-med.ac.jp
	横田 聖司	水	16:30~17:30	生化学講座細胞情報科学分野 スタッフルーム（253 室）内線 5741 syokota@iwate-med.ac.jp
微生物学講座 分子微生物学分野	石河 太知	月~金	16:00~17:00	微生物学講座分子微生物学分野教授室 内線 5800 tishikaw@iwate-med.ac.jp
	三浦 利貴	月~金	12:00~13:00 16:00~17:00	微生物学講座分子微生物学分野 スタッフルーム 1 303 内線 5801 tosmiura@iwate-med.ac.jp

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
薬理学講座 病態制御学分野	中村 正帆	月	16:00~16:30	薬理学講座病態制御学分野スタッフルーム 363 内線 5811 tadahonk@iwate-med.ac.jp
	田村 晴希	月	12:00~13:00 16:00~17:00	薬理学講座病態制御学分野スタッフルーム 363 内線 5811 htamura@iwate-med.ac.jp
	山田 ありさ	月	16:00~17:00	薬理学講座病態制御学分野スタッフルーム 363 内線 5811 yamaari@iwate-med.ac.jp
病理学講座 病態解析学分野	入江 太朗	木	16:00~18:00	病理学講座病態解析学分野 教授室 内線 5900 tarou@iwate-med.ac.jp
	佐藤 泰生	木	16:00~17:30	病理学講座病態解析学分野 461 室 staisei@iwate-med.ac.jp
法科学講座 法歯学・災害口腔医学分野	熊谷 章子	木	18:00~19:00	法科学講座法歯学・災害口腔医学分野 スタッフルーム 内線 5684 kumagaia@iwate-med.ac.jp
医療工学講座	武本 真治	木	16:30~17:30	医療工学講座教授室西 317 (内線 5760) takemoto@iwate-med.ac.jp
	佐々木 かおり	月・木	16:30~17:30	医療工学講座スタッフルーム西 316 (内線 5763) sskkaori@iwate-med.ac.jp
歯科保存学講座 う蝕治療学分野	野田 守	木	18:00~19:00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 nodam@iwate-med.ac.jp
	浅野 明子	月	18:00~19:00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 akiasano@iwate-med.ac.jp
	千田 弥栄子	火	18:00~19:00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 yaekon@iwate-med.ac.jp
	東 兼司	水	18:00~19:00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 kenjih@iwate-med.ac.jp
	相上 雄亮	水	18:00~19:00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 yaigami@iwate-med.ac.jp
	大塚 泰寛	水	18:00~19:00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 oyasuhir@iwate-med.ac.jp
	清水 彩恵子	水	18:00~19:00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 tobishi@iwate-med.ac.jp
	鈴木 大平	水	18:00~19:00	歯科保存学講座う蝕治療学分野医局 273 号室 staihei@iwate-med.ac.jp
	歯科保存学講座 歯周療法学分野	佐々木 大輔	月	17:00~18:00
村井 治		火・木	17:00~18:00	歯周療法学分野医局 (372 号室) osamura@iwate-med.ac.jp
鈴木 啓太		水	17:00~18:00	歯周療法学分野医局 (372 号室) esuzuki@iwate-med.ac.jp
相原 恵子		火	17:00~18:00	歯周療法学分野医局 (372 号室) kaihara@iwate-med.ac.jp

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野	小林 琢也	金	17:00~18:00	教授室(441号室) 内線 #4531 kobataku@iwate-med.ac.jp
	佐藤 宏明	木	17:30~18:30	義歯外来、医局、研究室 内線 4441 satohiro@iwate-med.ac.jp
	米澤 悠	木	17:00~18:00	医局、研究室 内線 4406 yyone@iwate-med.ac.jp
	米澤 紗織	木	17:00~18:00	医局、研究室 内線 71576 saki@iwate-med.ac.jp
	原 総一郎	火	17:00~18:00	医局、研究室(406号室) 内線 4406 sohara@iwate-med.ac.jp
	島田 崇史	木	17:00~18:00	医局、研究室(406号室) 内線 #71575 shimtak@iwate-med.ac.jp
	伊藤 凌	木	17:00~18:00	医局、研究室(404号室) 内線 71563 itoryo@iwate-med.ac.jp
歯科補綴学講座 冠橋義歯・口腔インプラント学分野	今 一裕	火	17:00~18:00	医局、研究室 453号室 kazukon@iwate-med.ac.jp
	深澤 翔太	水	17:30~18:30	医局、研究室 447号室 sfu@iwate-med.ac.jp
	横田 潤	火	17:00~18:00	医局、研究室 445号室 jyokota@iwate-med.ac.jp
	福德 暁宏	水	17:00~18:00	医局、研究室 447号室 内線 #4418 afukuto@iwate-med.ac.jp
	齊藤 裕美子	月	16:00~17:00	医局、研究室 433号室 内線 4439 ysaito@iwate-med.ac.jp
	佐々木 溪斗	水	17:00~18:00	医局、研究室 407号室 内線 4418 sasakikeito0329@gmail.com
	八戸 勇樹	水	17:00~18:00	医局、研究室 407号室 内線 4418 yk.8nohe@gmail.com
	星 美貴	水	17:30~18:30	医局、研究室 445号室 内線 #4440 hoshmiki@iwate-med.ac.jp

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	山田 浩之	月	18:00~19:00	矢巾附属病院 口腔外科学分野 教授室 内線 6311 yamadah@iwate-med.ac.jp
	川井 忠	木	17:00~18:00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 6311 kawait@iwate-med.ac.jp
	大橋 祐生	月・火・ 木・金	18:00~20:00	矢巾附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科医局 内線 6302 yohashi@iwate-med.ac.jp
	古城 慎太郎	金	17:00~18:00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 6311 kshint@iwate-med.ac.jp
	平野 大輔	月・木・金	16:00~17:00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 71535 thirano@iwate-med.ac.jp
	高橋 美香子	水	17:00~18:00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 71590 tmikako@iwate-med.ac.jp
	野宮 孝之	月・水	17:00~18:00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 71116 tnomiya@iwate-med.ac.jp
	秋本 祐基	火	17:00~18:00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 71527 akimoto@iwate-med.ac.jp
	川又 慎介	月・火・ 木・金	17:00~18:00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 71529 kawashi@iwate-med.ac.jp
	矢菅 絵里加	月・火	17:00~18:00	矢巾附属病院 口腔外科学分野医局 内線 71530 erikay@iwate-med.ac.jp
口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野	佐藤 健一	火	17:00~18:00	矢巾附属病院 5階 歯科麻酔学分野医局 内線 6342 satoken@iwate-med.ac.jp
	筑田 真未	月	17:00~18:00	矢巾附属病院 5階 歯科麻酔学分野医局 内線 6342 mchikuda@iwate-med.ac.jp
	佐藤 州	金	17:00~18:00	矢巾附属病院 5階 歯科麻酔学分野医局 内線 6342 satoshu@iwate-med.ac.jp
	坂野上 和奏	水	17:00~18:00	矢巾附属病院 5階 歯科麻酔学分野医局 内線 6342 sakanoue@iwate-med.ac.jp
	柳町 晴香	木	17:00~18:00	矢巾附属病院 5階 歯科麻酔学分野医局 内線 6342 yanaharu@iwate-med.ac.jp
	前澤 五月	木	17:00~18:00	矢巾附属病院 5階 歯科麻酔学分野医局 内線 6342 satsukim@iwate-med.ac.jp

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野	泉澤 充	火・木・土	12:00~13:00	歯科放射線学分野・特任教授室(134号室) 内線 #4513 mizumisa@iwate-med.ac.jp
	高橋 徳明	火・木	17:00~18:00	歯科放射線学分野・第1研究室(135号室) 内線 71574 tnoriaki@iwate-med.ac.jp
	佐藤 仁	木	17:00~18:00	歯科放射線学分野・第1研究室(135号室) 内線 #4513 satohito@iwate-med.ac.jp
	星野 正行	水・金	17:00~18:00	歯科放射線学分野・第1研究室(135号室) 内線 #4513 mhoshino@iwate-med.ac.jp
	星 勲	水	17:00~18:00	歯科放射線学分野・第1研究室(135号室) 内線 #4513 isaohosh@iwate-med.ac.jp
	金森 尚城	月・火・水	12:00~13:00	歯科放射線学分野・第1研究室(135号室) 内線 #4513 kanataka@iwate-med.ac.jp
	菅野 江美	火・木・金	12:00~13:00	歯科放射線学分野・第1研究室(135号室) 内線 #4513 emkanno@iwate-med.ac.jp
口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野	佐藤 和朗	木	17:00~18:00	歯科矯正学分野・教授室(456号室) 内線:4533 kazsatoh@iwate-med.ac.jp
	桑島 幸紀	木	17:00~19:00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 ykuwaji@iwate-med.ac.jp
	飯塚 康之	月	17:00~19:00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 yiizuka@iwate-med.ac.jp
	菊池 恵美子	木	12:00~13:00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 eaomatsu@iwate-med.ac.jp
	浅沼 莞奈	木	12:00~13:00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 asanumak@iwate-med.ac.jp
	深澤 慶子	木	12:00~13:00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 keikof@iwate-med.ac.jp
	上田 茜	木	12:00~13:00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 uakane@iwate-med.ac.jp
	吉田 弘法	月	17:00~18:00	歯科矯正学分野・医局(472号室) 内線:4511 hironori@iwate-med.ac.jp

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野	熊谷 美保	月～木	18:00～19:00	小児歯科学・障害者歯科学分野 5階医局 (PHS 71557) mkumagai@iwate-med.ac.jp
	齊藤 桂子	月～金	18:00～19:00	小児歯科学・障害者歯科学分野 5階医局 (PHS 71587) ksaitho@iwate-med.ac.jp
	磯部 可奈子	月・水・ 木・金	16:00～17:00	小児歯科学・障害者歯科学分野 5階医局 (PHS 71485) kisobe@iwate-med.ac.jp
口腔医学講座 関連医学分野	千葉 俊美	月～金	16:00～17:00	口腔医学講座 関連医学分野 教授室 440号室 内線 #4435 toschiba@iwate-med.ac.jp
	王 挺	月～金	16:00～17:00	口腔医学講座 関連医学分野 研究室 444号室 内線 #4228 tingwang@iwate-med.ac.jp
口腔医学講座 予防歯科学分野	佐藤 俊郎	火・水・木	17:00～18:00	予防歯科学分野 519号室 (内 #4516) toshiros@iwate-med.ac.jp
	衣斐 美歩	月～金	16:00～17:00	予防歯科学分野 519号室 (内 #4516) mibi@iwate-med.ac.jp
	大石 泰子	火・木・金	16:00～17:00	予防歯科学分野 519号室 (内 #4516) toishi@iwate-med.ac.jp
	佐藤 華子	月・金	17:00～18:00	予防歯科学分野 517号室 (内 #4518) satohana@iwate-med.ac.jp
	杉山 由紀子	月・水・木	17:00～18:00	予防歯科学分野 517号室 (内 #4518) yukikosu@iwate-med.ac.jp
非常勤教員	授業後に教室で質問を受け付ける。後日、質問がある場合は科目責任者を通じて連絡すること。			

オフィスアワーについて

オフィスアワーとは、学生が教員に学業や大学生生活全般について広く質問をしたり、相談あるいは指導等を受けるために開かれた時間です。有効に利用してください。

希望者は、分野ごとに記載されている下記一覧表を確認の上、各教員の実施方法に従って面談を受けてください。

所属	氏名	曜日	時間帯	備考
薬科学講座	創薬有機化学分野	河野 富一	月・水・金	12:00~13:00 場所：創薬有機化学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		辻原 哲也	火・木・金	17:00~18:00 場所：創薬有機化学分野スタッフルーム2 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		稲垣 祥	火・水・木	17:00~18:00 場所：創薬有機化学分野スタッフルーム1 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
	天然物化学分野	田浦 太志	月～金	12:00~13:00 16:00~18:00 場所：天然物化学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		浅野 孝	月～金	16:00~18:00 場所：天然物化学分野スタッフルーム
	構造生物薬学分野	野中 孝昌	金	16:20~17:00 場所：Moodleの構造生物薬学分野コース Zoomによるオンライン面談。予約不要。
		阪本 泰光	月～金	16:30~17:30 場所：構造生物薬学分野スタッフルーム 質問の際には、教科書、ノートおよび筆記用具を持参してください。 左記の時間帯以外でも在室時は相談可。
分析化学分野	藤本 康之	月～金	12:00~13:00 17:00~19:00 場所：分析化学分野スタッフルーム(東研究棟4階 454) 左記以外でも在室時は対応可。	
生物薬学講座	機能生化学分野	關谷 瑞樹	月～金	12:00~13:00 16:30~19:00 場所：機能生化学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
	生体防御学分野	大橋 綾子	月～金	12:05~12:55 場所：生体防御学分野にて(東研究棟3階 352-353) 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		錦織 健児	月～金	16:10~18:00 質問の際は、教材や筆記用具を持参すること。
病態薬理学講座	分子細胞薬理学分野	奈良場 博昭	月～金	12:00~13:00 17:00~19:00 場所：分子細胞薬理学分野教授室 左記以外でも在室時は可
		藤原 俊朗	月・火・木 水・金	16:10~18:00 18:00~19:00 場所：分子細胞薬理学分野スタッフルーム(西研究棟356) 等 左記以外でも在室時は可
		高橋 巖	月～金	12:00~13:00 16:10~17:00 場所：分子細胞薬理学分野スタッフルーム 左記以外でも在室時は可
	臨床医化学分野	野口 拓也	月～金	16:00~19:00 場所：臨床医化学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
医療薬科学講座	創剤学分野	杉山 育美	月～金	16:10~17:30 場所：創剤学分野スタッフルーム 左記以外でも在室時は可
	薬物代謝動態学分野	幅野 渉	月～金	16:00~18:00 場所：薬物代謝動態学分野(東研究棟4階 459~461) 左記の時間帯以外でも在室時は相談可。
		寺島 潤	月～金	9:00~17:00 場所：薬物代謝動態学分野(東研究棟4階 459~461) 在室時は随時対応
	衛生化学分野	杉山 晶規	月～金	17:00~19:00 場所：衛生化学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		米澤 穂波	月～金	17:00~19:00 場所：衛生化学分野スタッフルーム 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
臨床薬学講座	臨床薬剤学分野	工藤 賢三	月～金	17:00~19:00 場所：臨床薬剤学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		朝賀 純一	月～金	17:00~19:00 場所：臨床薬剤学分野スタッフルーム315 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
		高橋 宏彰	月～金	16:30~18:00 場所：臨床薬剤学分野スタッフルーム317 左記の時間帯以外でも在室時は相談可能。
	情報薬科学分野	西谷 直之	月～金	16:30~18:00 場所：情報薬科学分野教授室 左記の時間帯以外でも在室時は相談可
		佐京 智子	月～金	16:30~18:00 場所：情報薬科学分野スタッフルーム
		氏家 悠貴	火～金	13:00~17:00 左記の時間帯以外でも在室時は相談可
	地域医療薬学分野	松浦 誠	月～金	16:10~18:00 場所：地域医療薬学分野スタッフルーム 左記以外でも在室時は可
	薬学教育学分野	白石 博久	月～金	12:10~12:50 場所：薬学教育学分野スタッフルーム 左記以外でも在室時は可

※非常勤教員は、授業終了後に教室で質問を受け付ける。後日質問がある際には科目責任者を通じて連絡すること。

看護学部 オフィスアワー 一覧

オフィスアワーとは、学生が各科目の教員に学業や大学生活全般について質問、相談、あるいは指導等を受けるために設けられている時間です。学生に対して広く開かれた時間ですので、有効に活用して下さい。質問や相談等を希望する学生は、曜日・時間帯を確認し、各教員の研究室にて面談を受けて下さい。

看護学部

所属	担当教員	曜日	時間帯	備考	
(マルチメディア教育研究棟4階) 共通基盤看護学講座	基礎	野里 同	火・水・木	16:30~17:30	研究室19 内線5403 nozato@iwate-med.ac.jp
		柏木 ゆきえ	水	16:00~17:00	研究室8 内線5401 事前アポイントがあれば随時可 kasiwagi@iwate-med.ac.jp
		小林 由美子	火・水・木	16:00~17:00	研究室15 内線5402 事前アポイントがあれば随時可 yumikoba@iwate-med.ac.jp
		松田 悠史	火・水・木	16:00~17:00	研究室9 内線5406 メールでの事前連絡があれば随時可 matsuy@iwate-med.ac.jp
	成人	佐藤 奈美枝	月	16:00~17:00	研究室6 内線5419 事前連絡があれば随時可 namies@iwate-med.ac.jp
		伊藤 奈央	火・木	16:00~17:00	研究室20 内線5358 事前アポイントがあれば随時可 naoito@iwate-med.ac.jp
		小坂 未来	火・金	15:30~16:30	研究室13 内線5404 事前連絡があれば調整可 mkosaka@iwate-med.ac.jp
		三上 邦子	月・金	16:30~17:30	研究室13 内線5303 mikamik@iwate-med.ac.jp
		畑中 るり子	木	16:00~17:00	研究室9 内線5425 hatanrur@iwate-med.ac.jp
	(マルチメディア教育研究棟4階) 地域包括ケア講座	地域	岩淵 光子	木	12:00~13:00
藤澤 純子			月・金	12:00~13:00	研究室9 内線5359 事前連絡があれば随時可 fujisawa@iwate-med.ac.jp
赤井 純子			火・木	12:00~13:00	研究室9 内線5426 メールでの事前連絡があれば随時可 jakai@iwate-med.ac.jp
五日市 瑠美子			水・木	12:00~13:00	研究室9 内線5202 事前連絡があれば随時可 rumikoi@iwate-med.ac.jp
老年		館向 真紀	火・水・木	16:00~17:00	研究室15 内線5407 事前アポイントがあれば随時可 makiy@iwate-med.ac.jp
		菊池 佑弥	火・水・木	16:00~17:00	研究室9 内線5405 事前アポイントがあれば随時可 yuyakkc@iwate-med.ac.jp
精神		遠藤 太	木	16:30~18:00	研究室3 内線5417 事前アポイントがあれば随時可 futoshie@iwate-med.ac.jp
		熊地 美枝	水・木	16:00~17:00	研究室4 内線5201 事前連絡があれば随時可 kumachi@iwate-med.ac.jp
		高崎 邦子	火・木	16:30~17:30	研究室16 内線5418 事前連絡があれば調整可 takasaki@iwate-med.ac.jp
(マルチメディア教育研究棟4階) 成育看護学講座		小児	高橋 亮	水	16:30~17:00
	伊東 佐由美		月~金	16:00~17:00	研究室14 内線5409 事前連絡があれば随時可 sayumii@iwate-med.ac.jp
	母性	蛸崎 奈津子	月	15:00~17:00	研究室7 内線5353 事前連絡があれば随時可 kakizaki@iwate-med.ac.jp
		遊田 由希子	水・木	12:00~14:00	研究室11 内線5355 事前連絡があれば随時可 yuuda@iwate-med.ac.jp
		西里 真澄	月・水	15:00~17:00	研究室10 内線5354 事前連絡があれば随時可 nishima@iwate-med.ac.jp
		高橋 淳美	火・木・金	16:00~17:00	研究室14 内線5427 事前連絡があれば随時可 atsumi@iwate-med.ac.jp
看護専門基礎講座 (東研究棟2階)	遠藤 龍人	水・木	14:00~16:00	研究室2 内線5420 メールでの事前アポイントメントが望ましい ryuendo@iwate-med.ac.jp	
	塚本 恭正	月~金	15:00~17:00	研究室3 内線5421 tsukamot@iwate-med.ac.jp	
	一ノ渡 学	水・木	15:00~17:00	研究室4 内線5422 事前アポイントがあれば随時可 gakuichi@iwate-med.ac.jp	
看護学部	非常勤教員	授業終了後、教室にて質問等を受け付けます。 後日質問等がある場合は、科目責任者を通じて連絡して下さい。			

